

# 保育学科の教育と授業計画

令和2(2020)年度



福島学院大学短期大学部  
保 育 学 科

# 保育学科の教育



1. 保育学科の教育目標	1
2. 保育学科の学習成果	1
3. 保育学科の卒業認定・学位授与の方針	1
4. 保育学科学生の努力目標	1
5. 保育者に求められるもの	2
6. 科目履修生・研究生・特別聴講学生	2
7. 学生の表彰	3
8. 教育課程編成・実施の方針	4
9. 履修と免許状・資格の取得	12
10. 教育実習・保育実習	17
11. 国内研修旅行・クラスセミナー	23
12. 学生支援プログラム	23
別表 保育学科 教育課程	24
保育学科 カリキュラムツリー	26
保育学科の関連規程	
福島学院大学短期大学部学長賞授与規程	28
保育学科長賞授与規程	28
千葉記念賞授与規程	29
保育学科履修細則	29

## 1. 保育学科の教育目標

保育学科においては、多様な保育ニーズに対応できる教養と専門的な知識・技術を持った人材を育成することを教育目標としています。

## 2. 保育学科の学習成果

保育学科では前述の通り、「多様な保育ニーズに対応できる教養と専門的な知識・技術を持った人材育成」を目指しており、皆さんには、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を取得することを奨励しています。

免許状・資格取得そのものを卒業要件とはしていませんが、学習成果はこれに沿って以下のよう

- に設定しています。
- (1) 幼稚園、保育所、認定こども園にかかわらず、地域社会や家庭など様々な保育ニーズに対応し、実践者として活躍できる保育者となる理論と実践を身につけている
  - (2) 学内・学外実習とその事前・事後指導を通して、子どもの発達上の諸課題の把握や子どもの生活行動を正しく把握して、保育者に必要な知識、技術、態度を修得している

## 3. 保育学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、入学希望者選考の方針に示すように創立者の信念に基づき、さらに教育課程編成の方針に示すように専門の学芸を教授し、職業又は實際生活に必要な能力を育成するとともに、地域社会の向上に寄与できる有為な人材の育成を目指しています。これを踏まえて、学則に示された所定の要件を満たした者に本学の卒業を認め、学位を授与します。

保育学科は、子育てに関する多様な変化と時代背景に対応した人材の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、定められた単位を修得する事が基本となります。

各科目には、科目それぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定され、単位が認定されます。

これら個々の評価を本学が定めるGPA基準により総合的な学修経験を通して修学したと学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「短期大学士（保育学）」の学位を授与します。

## 4. 保育学科学生の努力目標

- (1) 保育学科では、「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」が取得できます。平成27年度施行の「子ども・子育て支援新制度」では、幼保連携型「認定こども園」で従事する保育教諭に対して、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方が求められています。従って、卒業時に両方を取得できるようにしましょう。
- (2) 保育者として望まれる諸資質、すなわち明朗、思慮深さ、思いやり、使命感、責任感、研究意欲、協調性などを身につけるようにしましょう。

- (3) 教育・保育実習は保育者になるための大切な体験です。実習とその事前・事後指導を通して、子どもの発達上の諸課題や子どもの生活行動を正しく把握して、保育者に必要な知識、技術、態度を身につけましょう。
- (4) 教育・保育に関するイベント、研修会などのボランティア活動へ積極的に参加し、子ども理解とコミュニケーション能力の向上に努めるとともに、地域社会にも貢献するようにしましょう。

## 5. 保育者に求められるもの

多様な保育ニーズに対応できる教養と専門的な知識・技術を持った保育者になるために、次の点が求められます。よく理解して努力しましょう。

- (1) 保育者は子どもを愛する強い信念が必要です。本学の建学の精神「真心こそすべてのすべて」に基づいた誠実さや思いやりを持つようにしましょう。
- (2) 子どもに接する保育者にとって、明るく、豊かな人間性は必要不可欠です。子どもの心にそって物事を考え対応できるようにしましょう。
- (3) 世の中の新しい動きにも関心を持ち、幅広い知識や教養を身につけ保育やその周辺領域の理解を深めるようにしましょう。
- (4) コミュニケーション能力の優れた保育者を目指しましょう。保育者は子どもの思いを大切にしながら、同僚や保護者とも良好な関係作りが必要です。
- (5) 子ども自身の事柄ばかりではなく、保護者の要望や地域社会の要請など、現場では様々な問題や課題が生じます。どのような場面でも、ゆとりを持って対応できる強くてしなやかな「心」を持った保育者を目指しましょう。
- (6) 保育現場は日進月歩でマンネリ化は許されません。常に探究心を持ち、授業などで疑問に思ったことは積極的に質問したり調べたりしましょう。
- (7) 自分の人間力を向上させるため進学も視野に入れましょう。卒業後は、本学福祉学部への進学も検討しましょう。

「保育者」

保育者（ほいくしゃ）とは、乳幼児、児童の教育・保育に直接かかわっている、保育士・幼稚園教諭・保育教諭の総称として理解され、それぞれを示す言葉ではありません。

## 6. 科目履修生・研究生・特別聴講学生

### (1) 科目履修生について

正規に在学している皆さんに直接関係はありませんが、本学ではさらに学問の門戸を開くために、学則第54条に明記してあるように科目履修生の制度を設けております。

これは在学生以外で、本学への入学資格を持っている方が、本学において開講している授業科目の履修を希望する場合は、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ希望科目の履修を許可する制度です。

履修期間は、許可された科目の開講期間ですが、履修を終了した場合には履修証明書または単位取得証明書を授与いたします。

詳しくは担当教員または教務課にお尋ねください。

## (2) 研究生について

大学または短期大学を卒業した方、もしくはこれと同等以上の学力があると認められた方が対象となります。

本学教員を指導教員として、さらに研究を深めたいと希望する方には、本学の教育に支障がない限りにおいて、選考のうえ研究生として許可しています。

研究期間は研究生として許可された年度内が原則ですが、引き続き研究を希望する場合は、通算2年まで延長することができます。詳しくは担当教員または教務課にお尋ねください。

## (3) 特別聴講学生について

本学では、平成11年度（1999年度）に福島大学と単位互換に関する協定を締結し、特別聴講学生の制度を始めました。さらに平成16年度（2004年度）からは、アカデミア・コンソーシアムふくしま（旧・福島県高等教育協議会）加盟大学・短期大学間で単位互換の協定が結ばれ、受講できる授業科目も拡大されました。

単位互換とは、本学に在籍する学生が、他大学において開講される科目（単位互換協定にある科目）を受講し、単位を認定された際に、本学の卒業要件となる単位として認定するものです。

他大学での開講科目等、詳しくは担当教員または教務課にお尋ねください。

## 7. 学生の表彰

保育学科では、学業成績が優秀かつ人格に優れ、他者の模範となるような学生に対して、各種表彰を行っています。

在学中、学業に努力し、授業以外の活動にも積極的に参加し、他者の模範となることは、並大抵のことではありません。そのような学生は、必ずその成果が学業成績にも、また人間的な成長にもみられます。本人にとっては社会に出てからの励みにもなり、自信にもつながることと思います。他者と共に、人間が努力することの尊さを認めあうという点からも意義あるものと考えています。

選考の基準は、かなり厳しいものとなっています。例えば、各種学外実習の評価も基準の大きな要素になっているからです。学内だけではなく、学外実習における評価が含まれることは意味のあることと考えます。毎年数人の学生がその対象者となり、表彰できることは学科の誇りです。なお、学内の表彰の他に「全国保育士養成協議会会長表彰」があります。

### (1) 短期大学部学長賞の授与

短期大学部学長賞の選考基準は、次に該当する学生を対象として、教授会において審査され、学長が決定します。

1. 学業成績が優良で、人格に優れている者
2. 学外実習において、特に高い成績評価を得た者
3. 学生の課外活動もしくは学内の自主的活動において特に優れた実績をあげた者
4. 学外活動もしくはボランティア活動において特に優れた実績をあげた者
5. その他学生の模範となる顕著な行為のあった者

## (2) 保育学科長賞の授与

保育学科では、学業成績が優秀かつ人格に優れ、他者の模範となる学生に対して、保育学科長賞を授与しています。学科会議で審議され学長の承認のもとに保育学科長が決定します。

1. 学業成績が特に優秀な者
2. 学外実習において特に優秀な評価を得た者
3. 課外活動（学友会、学科学友会、クラブ、クラス、ボランティア活動等）において、よくその職責もしくは活動を遂行した者

## (3) 千葉記念賞の授与

千葉記念賞とは、学生部長、保育科（現保育学科）長等を歴任し、本学の発展に大きな功績を残した故千葉恭造副学長（理事）を記念して制定された賞です。

保育学科では、教育実習、保育実習において特に優れた評価を得た学生等に授与しています。

## 8. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、感銘と感動を与え、知的好奇心を喚起する授業の実施を目指すとともに、自らの人生を創造的に生きようとする学生への支援を理念とし、学院創立者の信念である「真心こそすべてのすべて」という建学の精神に基づき、Sincerity（真心）とHospitality（思いやり）を教育の根本におき、広く知識を授けるとともに、専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、地域社会に積極的かつ実践的に貢献することを人材育成の基本的精神としています。

本学は地域社会に根ざし、広く地域の各分野に貢献できる人材育成を目指しています。教養教育科目と専門教育科目からなる体系的な教育課程を編成し、職業又は實際生活に必要な知識と技術を培うための実践的な科目を設定しています。

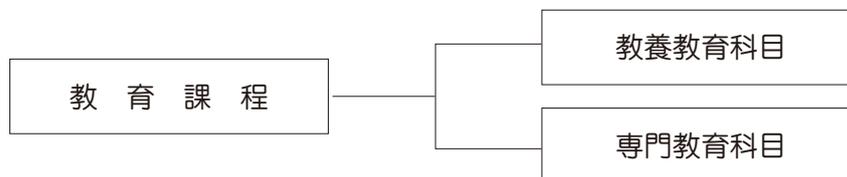
保育学科の専門教育科目は、子育てに関する多様な変化と時代背景に対応した人材の育成を目指し、多様なニーズに対応できる専門的な知識・技術を持った人材の育成を図るための科目を設定しています。

専門教育科目の学びを通し、教育・保育に関する専門職として必要な知識や技能を修得し、さらに子どもの育ちに対する深い洞察力をもって、一人ひとりの特性に柔軟に対応した教育・保育の実践を担う人材の育成ができるよう、教育課程を編成しています。

なお、「教員免許課程」および「指定保育士養成」に基づく教育課程を履修し、単位を修得した者に幼稚園教諭二種免許状、保育士資格が取得できるよう教育課程を編成しています。

### (1) 教育課程編成の基本的な考え方

保育学科で開設されている授業科目は、「教育課程表」（別表）の通りです。教育課程は、教養教育科目と専門教育科目に大別されています。



### (2) 教養教育科目の教育課程編成方針 \* 2019年度以降の入学生から適用

教養教育科目は、次の6つの科目分野に分かれています。

#### 教育方針

「本学の教育」は、本学学生として、建学の精神、教育理念、および特色ある教育について理解し、実践することを共に考える科目です。そして、建学の精神の高揚に努め、学生生活の充実を図るとともに、社会的貢献について考えることができる人材育成を目標としています。

## 表現力向上分野

教養ある社会人として、最低限身につけておかなければならない基礎知識は数多くありますが、本学では、明快適切な自己表現によって、より良い人間関係を作り上げていくことを教養教育の基本としています。特に正しい文字言語と音声言語の修得を基本とした、豊かな国語力は必要なものとして重視しています。

本来、国語力を身につけるには、“より多く読み、より多く聴き、より多く書き、より多く話す”ことが最良の方法であると言われていますが、これには多くの時間が必要です。

しかし、漢字・成語などの読み書き、意味の理解の基本的なものに限定すれば、比較的短期に修得が可能と思われます。話す・書くについても、生活のさまざまな具体的な場面に即した実践的方法を身につけることによって、表現力の向上を図ることができます。

保育学科では、文章並びに会話による表現力の修得を目的とした「文章表現」（4単位）と「会話演習」\*対話及びプレゼンテーションを含む。（2単位）を必修科目として開設しています。

なお、「文章表現」の担当者から「書写演習」の受講を指定された学生は、「書写演習」は必修科目となります。その授業を必ず履修して単位を取得するようにしてください。

\*「書写演習」…悪筆（くせ字など）で矯正が必要であると判断された学生が受講を指定されます。

## 情報教育分野

現代の情報ネットワーク社会を支えるIT（情報技術）活用に不可欠な、パーソナルコンピュータやコンピュータネットワーク活用の実践的知識とスキルを、保育・教育の現場での実践を意識した演習課題を通して身につける科目です。

保育学科では、入学時の学生の情報機器操作スキルに格差がある現況から、学生の能力に応じた授業が展開できるよう、次のようなレベル別授業を展開しています。

なお、履修レベルは、学科オリエンテーション時の課題作成など、スキル状況を確認して決定します。

「情報機器操作Ⅰ」	初級レベル	} 選択必修科目
「情報機器操作Ⅱ」	中級レベル	
「情報機器操作Ⅲ」	中級習熟レベル	

※初級レベルの履修者は、中級レベルまで、計4単位以上を必修としています。

その他、本学の特色ある科目として「スマートフォン活用法」、「スマートフォンのモラルとリスク」、「ウェブ動画制作」の3科目を選択科目として開設しています。

## 現代教養分野

現代社会において、大学生の一般的なマナーの悪さがよく取り沙汰されています。大学在学中、学外実習や就職活動の際も実習先や求人先から、マナーの欠如が指摘されます。そこで、「生活教養」の必修科目を設け、人間関係を円滑に図るためのマナー教育（冠婚葬祭の基礎知識を含む）を必修科目として位置づけています。

また、教養を兼ね備えた保育者になるためには、一般的な幅広い教養「音楽」「美術」「文学」などに親しみ、学びを深めることも重要です。これらの科目は選択科目ですが、保育者を目指す学生にとって興味を持って受講ができるように、そして専門教育にも繋がるような授業内容としています。

### 「音楽演習」

音楽に親しみ、音楽を通して歌や踊りで自己を表現し、演じることを楽しみながら豊かな情操と磨かれた感性を養う科目。

### 「美術演習」

造形遊びなどの様々な今日的表現を通して、ものを作り出す喜びを味わい、季節感を取り入れた作品制作の中で自然に親しみ、保育者としての美的感性を豊かにする科目。

### 「文学演習」

児童文学を取り上げ、子どもの年齢や発達に合わせたお話の選び方などを学び、子どもの夢や想像力を育む教材としてのお話の魅力を修得する科目。

その他の選択科目としては、国際情勢に関することはもちろんのこと、国内の社会情勢についても学ぶ「テレビ報道に見る現代理解」、それぞれの時代にあったテーマ（メンタルヘルスなど）を設定して学ぶ「教養演習Ⅰ」と「教養演習Ⅱ」、「日本国憲法」（幼稚園教諭免許状必修科目）では、日本国憲法の基本理念・基本構造や教育を受ける権利、児童の権利擁護なども学ぶ内容としています。

## 国際理解分野

国際理解分野は、国際理解教育と語学教育で構成しています。

### <国際理解教育>

本学の「教育の理念」にも掲げている『国際的な視野に立ち、相手のことを理解し、相互理解の心を持つひとを育てます』を具現化する科目です。

「国際理解演習」では、本学で企画する海外研修旅行に参加し、各自の研究テーマに沿った事前学習や現地での体験、研修後のレポート作成を通して、諸外国の社会や異文化への理解を深める内容としています。

### <語学教育>

国際事情や諸外国の文化を理解し、国際的な視野を形成する上で、その基礎となる英会話を修得する科目です。国際化の時代、教育・保育施設においても、外国人の子どもたちが幼稚園、保育所などに在籍し、その保護者と関わることが多くなってきています。

そこで、「英会話」は、日常的な事柄を英語で聞き、話すことができる能力を身につけるため、英語の発音、リスニングに重点を置きます。基礎的な語彙力、構文を修得し、通常会話での基本的なコミュニケーションができることを目的としています。

なお、入学時の学生の英語力に格差がある現況から、学生の能力に応じた授業が展開できるよう、「英会話Ⅰ」（ベーシックレベル）と「英会話Ⅱ」（アドバンスレベル）のレベル別授業を実施します。

## 体育分野

保育・教育者は、活動的な子どもたちと共に行動をする仕事です。常日頃から、体力の維持と健康管理は極めて重要です。

「体育講義」では、日常生活における心身の健康の確立について、特に運動やスポーツの持つ現代的な意味や役割、可能性を探り、学生が生涯にわたり健康なライフスタイルを創造するために必要な知識について学びます。

「体育実技」では、学生が生涯継続してスポーツに親しむ技術と習慣を身につけ、健康・体力づくりの実践力向上を目標とし、完全種目選択制を導入します。種目数は5種目程度（バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球・レクリエーションスポーツ他）に厳選して開講します。

### (3) 専門教育科目の教育課程編成方針 \* 2019年度入学生から適用

2019年度からの幼稚園教諭免許状に関する科目区分は、教科の専門的内容と指導法を一体的に学ぶことを可能とした、次の5項目の区分となりました。

- 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」
- 「教育の基礎的理解に関する科目」
- 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」
- 「教育実践に関する科目」
- 「大学が独自に設定する科目」

また、保育士資格に関する科目区分も、2019年度から次の5系列で構成されるようになりました。

- 「保育の本質・目的に関する科目」
- 「保育の対象の理解に関する科目」
- 「保育の内容・方法に関する科目」
- 「保育実習」
- 「総合演習」

保育学科では、理論と実践の両面から、多彩な科目を系統的に学び、幼稚園教諭や保育士などに必要な知識・技能、多面的素養を培っていきます。

## 1) 幼稚園教諭免許状取得にかかわる教育課程（指定科目）について

### (1) 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」（幼二種：12単位）

#### イ 領域に関する専門的事項（6単位）

- 「幼児と健康」 (演習：1単位)
- 「幼児と人間関係」 (演習：1単位)
- 「幼児と環境」 (演習：1単位)
- 「幼児と言葉」 (演習：1単位)
- 「幼児と表現（造形）」 (演習：1単位)
- 「幼児と表現（音楽）」 (演習：1単位)

#### ロ 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）（6単位）

- 「保育内容総論」 (演習：1単位)
- 「保育内容指導法 健康」 (演習：1単位)
- 「保育内容指導法 人間関係」 (演習：1単位)
- 「保育内容指導法 環境」 (演習：1単位)
- 「保育内容指導法 言葉」 (演習：1単位)
- 「保育内容指導法 表現」 (演習：1単位)

(2) 「教育の基礎的理解に関する科目」(幼二種：15単位)

- イ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 (4単位)  
「教育原理」(講義：2単位) 「保育原理」(講義：2単位)
- ロ 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む) (2単位)  
「保育者論」(講義：2単位)
- ハ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (2単位)  
(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)  
「教育行政」(講義：2単位)
- ニ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (3単位)  
「教育心理学」(演習：1単位) 「発達心理学」(講義：2単位)
- ホ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 (2単位)  
「特別支援教育」(講義：2単位)
- ヘ 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む) (2単位)  
「保育・教育課程論」(講義：2単位)

(3) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

(幼二種：6単位)

- イ 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む) (2単位)  
「教育方法及び技術」(演習：2単位)
- ロ 幼児理解の理論及び方法 (2単位)  
「幼児理解の理論及び方法」(演習：2単位)
- ハ 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法 (2単位)  
「教育相談の理論及び方法」(演習：2単位)

(4) 「教育実践に関する科目」(幼二種：7単位)

- イ 教育実習 (5単位)  
「教育実習」(実習：5単位) ※事前・事後指導1単位を含む
- ロ 教職実践演習 (2単位)  
「保育・教職実践演習(幼稚園)」(演習：2単位)

(5) 「大学が独自に設定する科目」(幼二種：開設科目なし)

幼稚園教諭二種免許状取得に必要な最低単位数は、(1)～(5)の科目区分の単位数を合計して31単位です。

保育学科は、この区分を除く(1)～(4)の科目区分の単位数だけで、40単位分を開設しています。単位数が充足されていることから、(5)の科目区分には授業科目を設定していません。

## 2) 保育士資格取得にかかわる教育課程（指定科目）について

<b>(1) 「保育の本質・目的に関する科目」(保育士：14単位)</b>	
「教育原理」(講義：2単位)	「子ども家庭支援論」(講義：2単位)
「保育原理」(講義：2単位)	「子ども家庭福祉」(講義：2単位)
「保育者論」(講義：2単位)	「社会的養護Ⅰ」(講義：2単位)
「社会福祉」(講義：2単位)	
<選択科目> 「教育行政」(講義：2単位)	
<b>(2) 「保育の対象の理解に関する科目」(保育士：10単位)</b>	
「発達心理学」(講義：2単位)	「幼児理解の理論及び方法」(演習：2単位)
「子どもの保健」(講義：2単位)	「子どもの食と栄養」(演習：2単位)
「子ども家庭支援の心理学」(講義：2単位)	
<選択科目> 「教育心理学」(演習：1単位) 「特別支援教育」(講義：2単位)	
「臨床心理学Ⅰ」(講義：2単位) 「臨床心理学Ⅱ」(講義：2単位)	
<b>(3) 「保育の内容・方法に関する科目」(保育士：22単位)</b>	
「幼児と健康」(演習：1単位)	「幼児と人間関係」(演習：1単位)
「幼児と環境」(演習：1単位)	「幼児と言葉」(演習：1単位)
「幼児と表現(造形)」(演習：1単位)	「幼児と表現(音楽)」(演習：1単位)
「保育・教育課程論」(講義：2単位)	「保育内容総論」(演習：1単位)
「保育内容指導法 健康」(演習：1単位)	「保育内容指導法 環境」(演習：1単位)
「保育内容指導法 言葉」(演習：1単位)	「保育内容指導法 表現」(演習：1単位)
「保育内容指導法 人間関係」(演習：1単位)	
「乳児保育Ⅰ」(講義：2単位)	「乳児保育Ⅱ」(演習：1単位)
「子どもの健康と安全」(演習：1単位)	「障害児保育」(演習：2単位)
「社会的養護Ⅱ」(演習：1単位)	「子育て支援」(演習：1単位)
<選択科目>	
「教育方法及び技術」(演習：2単位)	「教育相談の理論及び方法」(演習：2単位)
「ピアノ演習Ⅰ」(演習：2単位)	「ギター演習」(演習：2単位)
<b>(4) 「保育の本質・目的に関する科目」(保育士：2単位)</b>	
「保育・教職実践演習(幼稚園)」(演習：2単位)	
<b>(5) 「保育実習」(保育士：9単位)</b>	
「保育実習指導Ⅰ」(演習：2単位) 「保育実習Ⅰ」(実習：4単位)	
<選択必修科目> 「保育実習指導Ⅱ」(演習：1単位) 「保育実習Ⅱ」(実習：2単位)	
もしくは「保育実習指導Ⅲ」(演習：1単位) 「保育実習Ⅲ」(実習：2単位)	

### 3) 保育学科独自の選択科目について

幼稚園教諭免許状、保育士資格取得に関わる科目の他に、保育学科の特色ある専門教育科目として、実践的な知識・技術力を修得することを目的に、次の6科目を設定しています。

#### 「臨床心理学Ⅰ」

臨床心理学における様々な援助理論とその技法に関して基礎的な知識を理解します。また、代表的な症状に対するアプローチについても学びます。

#### 「臨床心理学Ⅱ」

臨床心理学Ⅰでは触れることが出来なかった他の症状に関して具体的な事例を通して学びます。また、臨床心理学の活躍領域や、子どもの問題についても事例を通して学び、理解を深めていきます。

#### 「創作ミュージカル」

子どものための音楽劇等を作り上げ、その成果を舞台上で表現（発表）します。現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力や自己表現力を高めることも目的の一つとなっています。

#### 「バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流」

本学認定こども園の姉妹園でもあるインドネシアバリ島のハラパン幼稚園を訪問し、幼児教育の実際を現地で学びます。また、バリ島での異文化体験をすることにより、自国の文化との比較研究を行います。

#### 「特別研究Ⅰ」（2講座）

##### 『子どもと園芸』

幼稚園や児童福祉施設などで役立つ野菜栽培や草花を育てるなどの園芸活動を体験的に学習します。

##### 『障害児生活支援演習』

身体的に障害のある児童の日常生活を支援するための基本的な「食事・入浴・排泄」を中心とした技術を修得します。さらに、車椅子介助の基本についても、実践を通して学びます。

#### 「特別研究Ⅱ」

##### 『保育者の音楽遊び』

保育者として必要な歌・踊りなどの音楽表現を体験し、学外実習でも実際に活用できる音楽遊びを実践的に学んでいきます。

## 保育学科で学ぶ「ピアノ演習」と「ギター演習」

### 「ピアノ演習Ⅰ」（選択必修科目）・「ピアノ演習Ⅱ」（選択科目）

- (1) 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。
- (2) 幼児の歌を中心に、歌曲（童謡・あそび歌等）、練習曲（バイエル・ツェルニー等）を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。
- (3) 各学生のピアノ演奏技術に応じて、次の4つのグレードから一つを選択します。

#### ◆ グレードの名称と選択する際の基準

「初心者グレード」 バイエル1番～バイエル60番程度

「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度

「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度

「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度  
バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度

- (4) グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式での授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック（確認テスト）を受けます。各グレードの課題曲数は以下の通りです。

#### ◆ 各グレードの課題曲数

「初心者グレード」 28曲（練習曲8曲 + 歌曲20曲）

「初級者グレード」 35曲（練習曲11曲 + 歌曲24曲）

「中級者グレード」 42曲（練習曲11曲 + 歌曲31曲）

「上級者グレード」 47曲（練習曲8曲 + 歌曲39曲）

- (5) 年度途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組み、高得点取得を目指します。

### 「ギター演習」（選択必修科目）

ピアノ以外の楽器で、ギターを履修したい学生を対象に授業を開設しています。

ただし、履修者7名以上で開講します。授業で使用する練習用ギターは各自で準備していただきます。

- ※1. 「ピアノ演習Ⅰ」または「ギター演習」のいずれかの単位を取得しないと、「教育実習」を実施することはできません。
- ※2. 「ピアノ演習Ⅰ」と「ギター演習」のどちらも学びたい方は履修することは可能です。授業担当者にご相談ください。

## 9. 履修と免許状・資格の取得

### (1) 単位制と履修方法について

授業科目は、教育課程表にまとめられています。この中から卒業、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格を取得するために必要な科目と単位数を確認して、履修する授業科目を決めていきます。

- ① 単位とは学習時間を表したものであって、ある科目について所要の時間数を履修し、その試験に合格したとき、あるいは授業科目担当者がその科目を履修したことを認定した時に単位を取得したことになります。
- ② 学習時間は年間を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）の2期に分け、1期15週とします。授業科目によっては前後各1期で完結する「半期科目」と、1か年（通年）30週で完結する「通年科目」があります。
- ③ 単位の計算方法は「短大設置基準」に基づいて本学学則に定められています。各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間以外に必要な学修を考慮して、次の基準により計算します。

- 講義および演習については、15時間から30時間の範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とします。
- 実験・実習および実技については、30時間から45時間の範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とします。
- 授業時間は2時間連続（正味90分）を1時限としておりますので、各時限を2時間として単位の計算をします。

なお、本学宮代キャンパスの授業時間割は次の通りです。

授業時間割

時 限	1	2	3	4	5	6
時 間	8：50～ 10：20	10：30～ 12：00	12：50～ 14：20	14：30～ 16：00	16：10～ 17：40	17：50～ 19：20

#### ④ 授業科目の種類

保育学科に開設されている科目は、「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に大別されます。

必修科目	<p><b>卒業必修科目</b> 保育学科を卒業するために、必ず取得しなければならない科目</p> <p><b>資格・免許状取得のための必修科目</b> 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得するために、必ず取得しなければならない科目</p>
選択必修科目	<p><b>卒業選択必修科目</b> 保育学科を卒業するために、どちらかを選択して必ず取得しなければならない科目（例：英会話Ⅰまたは英会話Ⅱ。ピアノ演習Ⅰまたはギター演習）</p> <p><b>資格取得のための選択必修科目</b> 保育士資格を取得するために、どちらかを選択して必ず取得しなければならない科目（例：保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲ）</p>

## 選 択 科 目

選択科目はそれぞれが自由に選択して履修することができる科目です。

ただし、履修者数を制限している科目や、卒業は選択科目であっても、資格・免許状を取得するためには必修科目となっている科目等もありますので、授業計画、教育課程表をよくご覧の上、履修するようにしてください。

### ○ 履修者数を制限している科目

⇒ 美術演習（造形を楽しむ）、音楽演習（ポップスの世界） など

### ○ 卒業は選択科目で幼稚園免許状、もしくは保育士資格取得には必修科目となっている科目

⇒ 教育心理学、保育・教職実践演習（幼稚園） など

### ○ 卒業は必修科目で幼稚園免許状取得には選択科目となっている科目

⇒ 文章表現、乳児保育Ⅰ、創作ミュージカル など

## (2) 免許状・資格の取得について

保育学科においては、免許状・資格に関する授業科目を履修することによって、次の免許状・資格を取得することができます。取得するためのそれぞれの最低必要単位数は表の通りです。

### ○ 幼稚園教諭二種免許状      ○ 保育士資格

※希望する免許状・資格取得に必要な単位数は100単位程度が適当と思われます。

なお、1年間に登録できる履修単位の上限は、おおむね55単位までとします。

最低必要単位数

科目名	卒業	幼稚園教諭二種	保育士
教養教育科目	17単位	21単位	19単位
専門教育科目	46単位	55単位	65単位
合 計	63単位	76単位	84単位

さらに、保育学科では、社会福祉主事の任用資格に必要な指定科目を設置しています。

### 社会福祉主事とは

社会福祉主事とは社会福祉法第19条に認定されている資格です。社会福祉主事は福祉事務所で働く時に必要な資格であり、福祉事務所で「現業員」という仕事に就いたときに「社会福祉主事」と初めて名乗れるというもので、このような資格を「任用資格」と呼んでいます。

社会福祉法では指定科目を34科目規定しており、「指定科目を3科目以上履修した者」は、その単位が認定されれば、卒業と同時に「社会福祉主事任用資格」を有することになります。保育学科の指定科目は、「社会福祉」、「子ども家庭福祉」、「保育原理」、「教育原理」などです。詳しくは担当教員または教務課にお尋ねください。

## (3) 履修届について

教育課程表により、卒業に必要な科目と単位、資格・免許状取得に必要な科目と単位とを兼ね合わせて、その授業科目の授業計画と時間割表を参照して、履修する科目を決めます。そして別に配布される「履修届」に記入して、指定の期日までに必ず教務課に提出してください。

#### ① 履修科目の変更

届け出た履修科目（必修科目と学外実習科目を除く）の変更は、1回目の授業が開始された日から2週間以内であれば「履修変更届」を教務課へ提出し、他の科目への変更を行うことができます。

#### ② 履修科目の放棄

授業科目を実際に履修してみて履修の継続が困難になった場合、必修科目を除き、その科目の授業開始日から2週間以内であれば、「履修科目放棄届」により履修を放棄することができます。

ただし、学外実習の科目を放棄する場合は、実習開始日の2週間前までに届けを出してください。

履修科目の変更・放棄をする場合は、必ずクラスアドバイザー等に相談してから、速やかに手続きをとってください。手続きがないまま欠席を続けると「欠格」になりますので注意してください。履修についての疑問や不明の点は、担当教員または教務課にお尋ねください。

### (4) 成績評価と単位認定について

本学では、評価の公正化と厳格性を確保するため、「素点」と「単位数」をもとにGPA（グレード・ポイント・アベレージ：成績評定平均点）を算出する方法を取っています。

#### ① 成績評価は、100点を満点として、60点以上を合格、59点以下を不合格とします。

成績は6段階となっており、評価点ごとの点数は次の通りです。

A+	(100~90点)	C	(69~60点)
A	(89~80点)	D	(59~50点)
B	(79~70点)	F	(50点未満)

※ GPAの向上のため、C以下の評価点を得た授業科目は、「再履修願」により再履修をすることができます。

#### ② 単位の認定は、当該授業科目の担当教員が、次の条件を備えた者に対して行います。

##### [1] 通常の授業については、必要な時数として定められた時数の3分の2以上を出席した者

・定められた授業回数の3分の1を超える回数を欠席した場合は、期末試験への出席も認められません。そして、単位認定は行われず「欠格」となります。実習や病気などのやむを得ない場合を除き、欠席はしないようにしてください。

(遅刻や早退については、30分以上を欠席とし、30分未満の場合は、3回で1回の欠席とみなされますので、欠席回数を計算するときは、これを加えることも忘れないようにしてください)

##### [2] 学外実習を伴う実習科目（海外における演習・実習科目を含む）については、事前・事後指導時数の5分の4以上出席し、かつ当該現場実習において、定められた全ての日数および時数を出席した者

・5分の1を超える時数を欠席した場合、および当該現場実習において欠席した日数分の延長を行わなかったときは、当該科目が「欠格」となりますので、十分に注意してください。

##### [3] 海外実習（演習）を行う場合は、当該実習（演習）における所定の全プログラムに出席した者

・体調不良もしくは病気・怪我等で所定のプログラム（オプションプログラムを除く）に参加できなかった場合は、1プログラムごとに5点の減点として成績の評価を行います。

## 成績評価への補足的対応措置

成績評価の際、私語や欠席などに対して、以下の措置が取られ、成績評価点から減点されます。また、授業担当教員が禁止した事項等によっても、減点されることもありますので注意が必要です。

### ○ 授業内容に関係のない私語、授業の流れを阻害する学生の私語

- ・注意1回につき1点減点

※同一学生の注意3回以降は1回につき2点減点。そして、必要と判断した場合は履修制限に関する細則に従い、退席指示、履修取消などの措置がとられます。

### ○ 遅刻・早退・欠席

- ・遅刻・早退1回につき1点減点
- ・欠席1回につき3点減点

※遅刻・早退3回で1回の欠席となった場合は、その欠席分は減点されません。また、次の場合の欠席等は減点の対象から除外されます。該当したときは、各授業担当教員に事前、もしくは事後に「事由書」を文書（書式自由）で提出してください。

- ① 学内外における本学所定の実習を実施する場合（基本実習、保育実習、教育実習等）
- ② 学校保健安全法の規定に基づき、学長による出席停止の指示に従う場合
- ③ 裁判員制度による裁判員に選任された場合
- ④ 就職試験（面接を含む）を受験する場合
- ⑤ 公共交通機関の遅延や運休による場合
- ⑥ 悪天候または事故等により、やむを得ない場合
- ⑦ 親族の不幸等やむを得ない場合

### ○ 欠 格

定められた授業回数の3分の1を超える回数を欠席した場合は、上記、①から⑦までの場合を含めて欠格とし、期末試験への出席は認められず、単位認定は行われません。

### ○ 質疑応答

#### 〈指名応答〉

- ・指名した学生が質問に適切に応答したと認めるときは、その内容の評価に応じて1回につき1～2点が加点されます。
- ・質問に不適切な応答をしたと認めるとき、または質問に答えられなかったときは、1回につき1点が減点されます。

#### 〈自発的応答〉

- ・授業担当教員の質問に対して、自ら挙手するなど学生が自発的に適切に応答したと認めるときは、その内容の評価に応じ1回につき1～3点が加点されます。
- ・学生の自発性および授業の双方向性推進の措置として、全授業回数中、授業担当教員の質問に対し、学生が自発的応答を1回もしなかったときは、5点が減点されます。

### ○ 小論文（宿題）

- ・未提出の小論文1件につき2点が減点されます。
- ・授業担当教員が小論文を優良と評価したときは、小論文1件につき内容の優良さに応じて1～3点が加点されます。

## ○ 小テスト

授業の理解度を計る小テストについて授業担当教員が優良と認めた場合は、小テスト1件につき評価により1～3点が加点されます。

## ○ 期末試験としてのレポート提出を課す場合

- レポートは原則として試験期間開始前に提出します。
- 授業担当教員が指定する締め切り期限を過ぎた場合は、期限後1日（土曜、日曜、祝日を含む）あたり、2点減点とします。
- 提出がない場合のレポート評価は零点です。
- 授業担当教員が定めた場合の最低字数に不足する場合も適宜減点されます。  
また、字数の上限を定めた場合で、それを超えた場合も同様です。

### 授業受講上の留意点

授業を受講する際の留意点は「学生受講規程」に定められています。この規程の第2条には、下記のようなマナーに反した受講態度は禁じられています。よく読んで授業に臨んでください。

- コート類、小物類（マフラー・帽子等）着用の教室入室、及び受講
- 授業の進行を妨げるような私語
- 携帯電話等の送信や交信
- 飲食や喫煙行為
- 授業担当者の意欲を阻害するマナーの悪い居眠り
- 授業に関係のない荷物（バッグ・紙袋など）を机上に置くこと
- 授業中の教室への無断入退室

## (5) 進級制限について

次のいずれかに該当する者は、2年次への進級を認めないことがあります。

1年次は比較的実習や行事も少ないので、次年度以降の学外実習に向けて、勉学に励むようにしましょう。

- ① 1年次の取得単位数20単位未満の者
- ② 1年次のGPAが65点未満の者

## 10. 教育実習・保育実習

### (1) 教育実習について

教育実習は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目です。履修方法は学内実習、学外実習、および実習に関する事前・事後指導（1単位）があり、単位数は5単位です。

学内実習は福島学院大学認定こども園（幼保連携型）での基本実習が1週間（1単位）、学外実習は、幼稚園または認定こども園での教育実習が3週間（3単位）です。教育実習をまとめると、表1のようになります。

表1 「教育実習」実習日数・単位

実習施設	実習日数	単位数	備 考
本学認定こども園 （幼保連携型）	1週間	1単位	幼稚園教諭二種免許状 取得希望者は必修
幼稚園 認定こども園 （幼保連携型・幼稚園型）	3週間	3単位	

学内での実習に関する事前・事後指導（1単位）は、オリエンテーションやクラスセミナーでの実習指導、実習授業、実習反省会等で行います。

#### 教育実習の目標

1. 幼稚園や認定こども園についてその実態を知り理解を深める。
2. 幼稚園教諭の職務や役割を体験的に理解し、責任感を喚起する。
3. 指導計画の役割について実際の保育に即して理解する。
4. 指導・援助について実践的に学ぶと共に、専門職の幼児教育に対する姿勢や考え方に触れる。
5. 幼稚園教諭としての適切な勤務態度を身につける。
6. 子どもの発達を現実に即して理解し、幼稚園教諭が担う役割について考える。
7. 幼稚園教諭に求められる適性や態度、能力等について実感を持って考え、自己を見直す。

#### 〈基本実習の指導内容〉 ※「保育実習」の基本実習も兼ねている。

1. 保育者としての愛情と使命感を深め、自己の能力や適性について自覚する。
  - 実習の心構え（保育者の心構え）
  - 幼児教育の考え方
  - 保育者の望ましい資質
  - 実習の反省と適性への自己評価
2. 実習日誌について学ぶ。
  - 実習日誌の書き方
  - 環境構成の仕方
3. 観察実習・技術演習等を通じて、指導法の基礎を体験的に理解する。
  - 幼児の行動観察からの読み取り
  - 自由遊びにおける指導法
  - 基本的生活習慣の指導
  - 教材研究と教材教具の準備の仕方
  - 一人ひとりの子どもに応じたかかわり方

※実際に保育者と幼児のかかわりを通して幼児理解を深める。
4. 幼児教育の実践についての体験的・総合的理解と、適切な勤務態度を身につける。
  - 施設・設備とその活用
  - 園の1日・1年の生活
  - 保育者の職務内容
  - 勤務の基本マナー（勤務の在り方、服装と態度、清掃と整理整頓の仕方等）

## 〈教育実習の指導内容〉

1. 幼稚園教諭としての愛情と使命感を深め、自己の能力や適性について自覚する。
  - 実習の心構え（幼稚園教諭の役割）      ○幼児教育について
  - 幼稚園教諭の望ましい資質              ○実習の反省と自己評価
2. 参加、部分実習、全日実習等における、指導計画を作成し実践する。
  - 日案や部分的な指導案の作成の方法      ○実践結果の反省・評価の方法
  - 反省・評価に基づく事後評価
3. 参加、部分実習、全日実習等を中心として、様々な指導方法を体験し、理解する。
  - 指導計画に基づいた保育の実践          ○幼児の個々に応じた指導法
  - 環境構成への理解                      ○生活指導への理解
4. 幼児理解の方法について体験し、実践に生かす。
  - 観察と記録の取り方                      ○実習日誌の記録とその活用
  - 個々に応じた対応の仕方              ○幼児の発達に応じた指導計画や指導法
5. 幼児教育の実際についての体験的、総合的に理解をする。
  - 施設・設備とその活用                  ○実習施設の教育計画
  - 保護者や地域との連携                  ○幼稚園教諭の職務内容
  - 勤務の基本マナー（勤務の在り方、服装と態度、職場内の人間関係等）

表2 『教育実習』での標準的な指導計画

実 習 内 容	
事前 (学外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習施設を訪問し、事前打ち合わせを行う。</li> <li>○オリエンテーション               <ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤・退勤時間の確認、服装（出退勤時や保育中）、その他勤務上の注意点等、施設内外の見学、設立の沿革、教育目標、年齢・園児数・クラス編成等、職員組織・構成、教育実習の心得他</li> <li>・教育課程、実習期間中の月案および行事、週案等、ディリープログラム、部分実習や全日実習について、季節の歌などの課題曲の選定や楽譜等について</li> </ul> </li> </ul>
第1週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導講話（園長・実習担当者等）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせ：週および本日の流れ、ねらい、保育内容他（実習担当者）</li> <li>・観察・参加実習：保育室の環境構成、幼児との関わりや援助活動、保育補助 明日の教材・教具の準備、保育室の清掃や遊戯室および園庭の清掃</li> <li>・打ち合わせ：反省・考察、明日の保育について</li> </ul> </li> </ul>
第2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部分実習（30分程度）についての指導を受ける。（回数に応じ指導案を提出する）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回部分実習の実施      ・第1回部分実習についての反省会</li> </ul> </li> <li>○全日実習について指導を受ける。</li> </ul>
第3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部分実習、全日実習の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回部分実習の実施      ・第2回部分実習についての反省会      ・全日実習の実施</li> <li>・全日実習についての反省会（保育の振り返り、課題の明確化他）</li> </ul> </li> <li>○反省会（園長、主任、実習担当および担任等）との話し合い、実習のまとめ</li> </ul>
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習のまとめをする（振り返り）</li> </ul>

\*第3週まで  
継続

## (2) 保育実習について

### [保育実習 I]

保育実習 I は保育士資格取得のための必修科目です。保育実習指導 I (2 単位) の他、保育所における実習 2 単位と、その他表 3 (A) に掲げる保育所以外の施設における実習 2 単位を履修します。

保育実習 I の実施基準は以下の通りです。

表 3 『保育実習 I』実施基準 (その 1)

実習種別	履 修 方 法		実習施設
	単位数	おおむねの実習日数	
保育実習 I	4 単位	20 日	(A)

※実習施設の種別は、次の通りです。

(A) 保育所、幼保連携型認定こども園又は児童福祉法第 6 条の 3 第 10 項の小規模保育事業（ただし、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」（平成 26 年厚生労働省令第 61 号）第 3 章第 2 節に規定する小規模保育事業 A 型及び同基準同章第 3 節に規定する小規模保育 B 型に限る）若しくは同条第 12 項の事業所内保育事業であって同法第 34 条の 15 第 1 項の事業及び同法同条第 2 項の認可を受けたもの（以下「小規模保育 A・B 型及び事業所内保育事業」という。）及び乳児院、母子生活支援施設、障害児入所支援施設、児童発達支援センター（児童発達支援及び医療型児童発達支援を行うものに限る）、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行うものに限る）、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童相談所一時保護施設又は独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

以上の実施基準を別表にまとめると次のようになります。

表 4 『保育実習 I』実施基準 (その 2)

実習種別	保 育 実 習 I		
	保育士資格取得希望者は必修		
実習施設	保 育 所	おおむね 10 日間	2 単位
実習日数 単位数	保育所を除く表 3 (A) 欄に掲げる施設	おおむね 10 日間	2 単位

表 3、表 4 に示されているのが現行の実施基準です。本学ではこの基準を踏まえて、より実習の効果をあげることを目的として、独自の方法で実施しています。

保育実習 I の履修方法は、学外実習と学内での保育実習指導 I があります。

学外実習に先立ち、児童福祉施設見学実習を 1 日間実施します。さらに、保育所実習を予定している実習先でのボランティア活動を 1 日間実施します。

また、実習の基礎を学ぶために福島学院大学認定こども園（幼保連携型）での基本実習を 1 週間実施いたします。

その後、学外実習は、児童福祉施設実習と保育所実習をおおむね 10 日間ずつ行います。

実習の実施内容は、表 5 の通りです。学内での実習に関する事前・事後指導は、教育実習同様、オリエンテーション、クラスセミナーでの実習指導、実習授業、実習反省会等で行います。実習の事前・事後指導には必ず出席しなければなりません。

表5 「保育実習Ⅰ」実施時期

実習施設	学年	実施時期	実習日数	備考
児童福祉施設	1	9月	1日	見学実習
保育所 認定こども園 (幼保連携型・保育所型)	1	7月下旬～9月	1日(8時間)、または 半日間(4時間)を2回	見学実習
児童福祉施設 (保育所を除く)	2	5月	おおむね10日間	児童福祉施設実習
保育所 認定こども園 (幼保連携型・保育所型)	2	7月下旬～8月	おおむね10日間	保育所実習

**保育実習の目標(保育所・児童福祉施設)**

1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。
3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

**[保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲ]**

保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲは、保育士資格取得の選択必修科目です。したがって、資格を取得するためには、保育実習Ⅰのほかどちらかを選択し、履修しなければなりません。詳細は下記の通りです。なお、保育実習指導Ⅱ・保育実習指導Ⅲ(各1単位)もどちらかを履修します。授業内容は授業計画をご覧ください。

表6 「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」実施基準・時期

実習種別	実習施設	単位数	実習日数	実習時期	備考
保育実習Ⅱ	(B)	2単位	おおむね10日間	8～9月、または 10月～12月	どちらか1科目 を履修する
保育実習Ⅲ	(C)	2単位	おおむね10日間	8月、または 10月～12月	

- (B) 保育所又は幼保連携型認定こども園或いは小規模保育A・B型及び事業所内保育事業  
 (C) 児童厚生施設又は児童発達支援センターその他社会福祉関係諸法令の規定に基づき設置されている施設であって保育実習を行う施設として適当と認められるもの(保育所及び幼保連携型認定こども園並びに小規模保育A・B型及び事業所内保育事業は除く。)

**備考**

1. 保育実習Ⅰ(必修科目)4単位の履修方法は、保育所又は幼保連携型認定こども園或いは小規模保育A・B型及び事業所内保育事業における実習2単位及び(A)に掲げる保育所又は幼保連携型認定こども園或いは小規模保育A・B型及び事業所内保育事業以外の施設における実習2単位とする。
2. 児童福祉法(昭和22年法律第164号。以下「法」という。)第6条の3第9項に規定する家庭的保育事業又は、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」第3章、第4節に規定する小規模保育事業C型において、家庭的保育者又は補助者として、20日以上従事している又は過去に従事していたことのある場合にあつては、当該事業に従事している又は過去に従事していたことをもって、保育実習Ⅰ(必修科目)のうち保育所又は幼保連携型認定こども園或いは小規模保育A・B型及び事業所内保育事業における実習2単位、保育実習Ⅱ(選択必修科目)及び保育実習指導Ⅱ(選択必修科目)を履修したものとすることができる。

### 保育実習Ⅱの目標（保育所）

1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。
2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。
3. 既習の教科や保育実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。
4. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取組み、理解を深める。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。
6. 保育士としての自己の課題を明確化する。

### 保育実習Ⅲの目標（児童福祉施設）

1. 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して理解を深める。
2. 家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。
3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。
4. 保育士としての自己の課題を明確化する。

## (3) ボランティア活動について

保育学科では全学生を対象に、教育実践の一環として、福島学院大学認定こども園、教育・保育施設（幼稚園・保育所、認定こども園、施設等）、地域での教育・保育に関するイベント・研修会などでのボランティア活動を奨励しています。

2年次以降は、各種学外実習を計画しているので、ボランティア活動の時間がなかなか取れません。しかし、1年次は、学外実習はありませんので、土・日曜日、祝日、学生休業期間中に実施することができます。

1年生の皆さんは、次年度以降の学外実習に向けて、子ども理解とコミュニケーション能力の向上に努めるとともに、地域社会にも貢献できる保育者となれるようにボランティア活動へ積極的に参加しましょう。

ボランティア活動の手続きは、大学でボランティア活動にかかる保険に加入していますので、事前に実習指導室へ「ボランティア活動届」を提出してから実施します。終了後には報告書も提出します。

ボランティア活動の概要は以下の通りです。詳細はオリエンテーションやクラスセミナーで説明します。

#### ボランティア活動（1）

- 内 容 … 福島学院大学認定こども園、教育・保育施設（幼稚園・保育所、認定こども園、施設等）、地域での教育・保育に関するイベント・研修会など
- 対 象 … 1年生
- 期 間 … 1年次5月から翌年の3月まで
- 日数等 … 1日間（8時間）を2回以上 \*半日単位も可

#### ボランティア活動（2）

- 内 容 … 次年度、学外実習を希望している保育所や認定こども園など
- 対 象 … 1年生
- 期 間 … 1年次7月下旬から9月まで
- 日数等 … 1日間（8時間）を1回 \*半日単位も可

#### (4) 実習反省会について

保育学科では、「教育実習」「保育実習Ⅰ」「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」の履修者全員を対象に、実習事前・事後指導の一環として、全学外実習終了後に「実習反省会」を開催しています。

実習反省会の趣旨は以下の通りです。

- 実習を終えた履修生は、事後学習として、実習の反省など、実習で学んだことを振り返り、保育者としての自覚を一層深めることを目的とします。
- これから実習を予定している履修生には、事前学習として、実習に対する理解と今後の学外実習へ向けての意欲高揚を図ることを目的で実施します。

なお、この実習反省会は、教育実習・保育実習等の授業回数に含まれます。単位認定に関わる授業なので、必ず出席しなければなりません。

#### (5) 実習の履修制限・解除

教育実習・保育実習等については、次のような実習の履修制限があります。

※詳細については、「短期大学部履修規程」第17条（実習の履修制限）をご覧ください。

- ① 幼稚園教諭免許状取得に必須の科目の単位を取得していない者【教育実習のみ】
- ② ピアノ演習Ⅰまたはギター演習のいずれかの単位を取得していない者【教育実習のみ】
- ③ 保育士養成課程「必修科目」の単位を取得していない者【保育実習Ⅰのみ】
- ④ 実習を行う時点におけるGPAが70点未満の者
- ⑤ 基本実習が不合格の者
- ⑥ 実習の事前・事後指導(授業)において、定められた時数の5分の4以上出席していない者
- ⑦ 実習を完遂するのに支障があると学科会議で判断された者
- ⑧ 保育実習Ⅰにおける保育所実習、もしくは児童福祉施設実習が不合格の者

【保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲのみ】

上記、履修制限にかかっても、本人の努力次第で解除される場合もありますので、同規程の第18条（履修制限の解除）も併せてご覧ください。

なお、「ピアノ演習Ⅰ」再履修者の「教育実習」時期については以下の通りです。

- ① 前期に成績評価が行われ、単位が認定された者  
学科会議の議を経て、各年度で設定している教育実習期間中に教育実習を行うことができます。
- ② 前期に単位を取得できず、後期に同科目を再々履修し、後期に成績評価が行われ、単位が認定された者  
学科会議の議を経て、年度内（2月中旬以降）に教育実習を行うことができます。  
ただし、年度末にかかるため、教育実習先は大学が指定する実習施設で実施する場合があります。また、実習時期が3月にかかるため、卒業が年度末（3月末日）となります。

## 11. 国内研修旅行・クラスセミナー

保育学科の社会に対する使命は、質の高い保育者を社会に送り出すことです。地域社会に貢献できる優れた保育者は、学問、知識、技術だけの教育では十分とは言えません。社会に参加するために必要な知識の修得、研修の機会も当然重要になります。

そこで、保育学科では通常の授業科目の他に、さまざまな経験や学習をする機会として国内研修旅行、クラスセミナー等を設定しています。

### (1) 国内研修旅行について

国内研修旅行は、近い将来、保育者を志す学生の皆さんが社会参加に必要な知識を、体験を通して修得するための機会として設定しています。これは、教育課程による通常の授業を重視しながらも、これと有機的関連を持つよう厳選したものを研修内容として計画しています。具体的には、保育施設や文化施設などの見学を実施します。学生の皆さんは、この機会を積極的に活用し社会的見聞を広めるようにしましょう。

### (2) クラスセミナーについて

保育学科では、学年ごとにクラスセミナーを実施しています。その内容は、就職・学内進学に関する説明会や相談会、実習に関する事前・事後指導（授業）、学力向上を目指す講座、さらに、現代社会に対応していくための生活指導などです。学生の皆さんにとって直接的に関わる重要な内容が数多く計画されますので、必ず出席してください。

## 12. 学生支援プログラム

保育学科では、授業とは別に、次のような学生支援プログラムを計画し、希望者を対象に実施しています。詳細については、クラスセミナー等でご案内いたします。

- 「オリエンテーション」、「国語力向上特別講座」、「コンピュータ特別講座」等の開催
- 本学福祉学部編入学の学生支援
- クラスアドバイザー（クラス担当教員）による「個人面談」（前期・後期）の実施
- 「学生・ご家族個別面談会」の開催
- 学業、実習、就職への相談・支援

※保育学科では、教育・保育実習に関する相談・支援を行う「実習指導室」と、就職相談・支援を行う「キャリア支援室」をすみれ館2階に設置しています。  
学生の皆さんはお気軽にご利用ください。

## 保育学科教育課程

### 教養教育科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教育方針 本学の教育	1		
表現力向上分野			
文章表現	4		
書写演習		2	指定者必修
会話演習	2		対話及びコミュニケーションを含む
情報教養分野			
情報機器操作Ⅰ		2	初級レベル } 入学時のテストにより履修レベル 中級レベル } を決定する。2単位以上必修とするが、初級レベルⅠの履修者は、 中級習熟レベル } 中級レベルⅡまで計4単位以上を必修とする。
情報機器操作Ⅱ		2	
情報機器操作Ⅲ		2	
スマートフォン活用法		1	
スマートフォンのモラルとリスク		1	
ウェブ動画制作		2	
現代教養分野			
生活教養	4		
音楽演習		2	
美術演習		2	
文学演習		2	
日本国憲法		2	
テレビ報道に見る現代理解		2	
教養演習Ⅰ		2	
教養演習Ⅱ		2	
国際理解分野			
英会話Ⅰ		2	ベーシックレベル } いずれか2単位必修 アドバンスレベル }
英会話Ⅱ		2	
国際理解演習		2	
体育分野			
体育講義	1		
体育実技	1		

### 専門教育科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教育原理	2		
保育原理	2		
保育者論	2		
教育行政		2	
社会福祉	2		
子ども家庭支援論		2	
子ども家庭福祉	2		
社会的養護Ⅰ		2	

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教 育 心 理 学		1	
教 育 心 理 学	2		
子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学		2	
臨 床 心 理 学 I		2	
臨 床 心 理 学 II		2	
特 別 支 援 教 育		2	
子 ども の 保 健	2		
子 ども の 食 と 栄 養		2	
保 育 ・ 教 育 課 程 論		2	
幼 児 と 健 康		1	この内より4単位必修
幼 児 と 人 間 関 係		1	
幼 児 と 環 境		1	
幼 児 と 言 葉		1	
幼 児 と 表 現 ( 造 形 )		1	この内より4単位必修
幼 児 と 表 現 ( 音 楽 )		1	
保 育 内 容 総 論		1	この内より4単位必修
保 育 内 容 指 導 法 健 康		1	
保 育 内 容 指 導 法 人 間 関 係		1	
保 育 内 容 指 導 法 環 境		1	
保 育 内 容 指 導 法 言 葉		1	
保 育 内 容 指 導 法 表 現		1	
乳 児 保 育 I	2		
乳 児 保 育 II		1	
子 ども の 健 康 と 安 全	1		
障 害 児 保 育	2		
社 会 的 養 護 II		1	
子 育 て 支 援		1	
教 育 方 法 及 び 技 術		2	
幼 児 理 解 の 理 論 及 び 方 法		2	
教 育 相 談 の 理 論 及 び 方 法		2	
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 ( 幼 稚 園 )		2	
教 育 実 習		5	事前・事後指導1単位を含む。
保 育 実 習 指 導 I		2	
保 育 実 習 I		4	
保 育 実 習 指 導 II		1	
保 育 実 習 II		2	
保 育 実 習 指 導 III		1	
保 育 実 習 III		2	
ピ ア ノ 演 習 I		2	いずれか2単位必修
ギ タ ー 演 習		2	
ピ ア ノ 演 習 II		2	
創 作 ミ ュ ー ジ カ ル	2		
バ リ ダ ン ス レ ッ ス ン と バ リ 島 幼 稚 園 交 流		2	
特 別 研 究 I		2	
特 別 研 究 II		2	

※詳細は入学時に配布した「教育課程表」をご覧ください。

## ■ 「保育学科」カリキュラムツリー

### 保育学科の教育目標 … 多様な保育ニーズに対応

項目	[1] 「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」の両方を在学中に取得 ➡ 地域社会や家庭など様々な保育ニーズに対応し、保育者として活躍できる教育・保育の理論と実践を修得
----	---

↑

科目名	専門教育科目				
幼稚園教諭二種	教育の基礎的理解に関する科目		領域及び保育内容の指導法に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目
保育士	保育の本質・目的に関する科目	保育の対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目		総合演習

↑

↑

↑

↑

↑

2年	教育原理	教育心理学	幼児と環境	教育方法及び技術(幼)	保育・教職実践演習(幼稚園)
	教育行政	子ども家庭支援の心理学	幼児と言葉	教育相談の理解及び方法(幼)	
	子ども家庭支援論	臨床心理学Ⅰ	保育内容指導法 健康		
		臨床心理学Ⅱ	保育内容指導法 人間関係		
		特別支援教育	乳児保育Ⅱ(保)		
		子どもの食と栄養	子どもの健康と安全(保)		
		保育・教育課程論(幼)	保育・教育課程論(保)		
			障害児保育(保)		
			社会的養護Ⅱ(保)		
			子育て支援(保)		
			教育方法及び技術(保)		
		教育相談の理解及び方法(保)			
1年	保育原理	発達心理学	幼児と健康	幼児理解の理論及び方法(幼)	
	保育者論	子どもの保健	幼児と人間関係		
	社会福祉	幼児理解の理論及び方法(保)	幼児と表現(造形)		
	子ども家庭福祉		幼児と表現(音楽)		
	社会的養護Ⅰ		保育内容総論		
			保育内容指導法 環境		
			保育内容指導法 言葉		
			保育内容指導法 表現		
			乳児保育Ⅰ(保)		
			ピアノ演習Ⅰ(保)		
		ギター演習(保)			

## できる教養と専門的な知識・技術を持った人材を育成

[2] 実習指導、教育・保育実習を通して、発達上の諸課題や子どもの生活行動を正しく把握し、保育者に必要な知識、技術、態度を修得

[3] 保育者として望まれる教養と諸資質(明朗、思慮深さ、思いやり、使命感、責任感、研究意欲、協調性など)を教養教育科目全般を通して学び修得

【学外実習】			教養教育科目
本学独自の科目	教育実践に関する科目 教育実習	保育実習	

ピアノ演習Ⅱ	教育実習 (1～2年継続科目)	保育実習指導Ⅰ (1～2年継続科目)	ウェブ動画制作
創作ミュージカル		保育実習指導Ⅱ	日本国憲法
バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流 (1・2年生共通科目)		保育実習指導Ⅲ	テレビ報道に見る現代理解
		保育実習Ⅰ	教養演習Ⅱ
		保育実習Ⅱ	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)
		保育実習Ⅲ	英会話Ⅱ(アドバンスレベル)
			国際理解演習 (1・2年生共通科目)
ピアノ演習Ⅰ(幼)	教育実習 (1～2年継続科目)	保育実習指導Ⅰ (1～2年継続科目)	本学の教育
ギター演習(幼)			生活教養
バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流 (1・2年生共通科目)			文章表現
特別研究Ⅰ			書写演習
特別研究Ⅱ			美術演習
			会話演習
			文学演習
			情報機器操作Ⅰ(初級)
			教養演習Ⅰ
			情報機器操作Ⅱ(中級)
			国際理解演習 (1・2年生共通科目)
			情報機器操作Ⅲ(中級習熟)
			体育講義
			スマートフォン活用法
			体育実技
			スマートフォンのモラルとリスク

## 福島学院大学短期大学部学長賞授与規程

(目的)

第1条 この規程は学則第52条の規定による学長褒賞の実施について定めることを目的とします。

(褒賞の実施)

第2条 褒賞は卒業時に行います。ただし、必要に応じ適時とすることがあります。

(褒賞者の選考および決定)

第3条 褒賞者の選考は、第4条の規定に該当し、各学科長・専攻科長が学科会議の議を経て推薦する学生について、教授会において審査し、学長が決定します。

(褒賞者選考の基準)

第4条 選考は学則第52条第2項の各号に沿い、次の各号(基準)の2以上に該当する者を対象として行います。

1. 学業成績が優良で、人格に優れている者

学業成績で平均点88点以上の者、またはA評価が40科目以上でC評価がない者で、人格に優れ、他の模範となる者

2. 学外実習において、特に高い成績評価を得た者

保育学科にあっては、教育実習、保育実習、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲの学外実習において、履修した3種実習科目の平均点が90点以上を得た者

3. 学生の課外活動もしくは学内の自主活動において特に優れた実績をあげた者

学生会、学科学友会、クラブ等の役員として職務に精励し、顕著な実績をあげ、本学の充実発展にも貢献した者

4. 学外活動もしくはボランティア活動において特に優れた実績をあげた者

(1) 地方または全国的規模で行われた権威ある展覧会、コンクール、体育大会競技会等において入賞(順位の定めのある場合は3位以内)もしくは国際的な大会等に日本代表として出場、出展した者

(2) 社会的貢献活動において顕著な業績をあげ、本学の名誉の高揚に貢献した者

5. その他学生の模範となる顕著な行為のあった者

善行、人命救助、奉仕の活動、発明発見等において顕著な行為のあった者

2 前項各号において、顕著に優れた者は、該当基準を1とすることができます。

(褒賞の重複)

第5条 学長賞と学科長賞については、学長賞を優先し、重複を避けて褒賞するものとします。

(褒賞の方法)

第6条 褒賞は、表彰状、記念品等によって行います。

附 則

1. この規程は、平成30年10月1日から施行します。

2. この規程の所管は教務課とします。

## 保育学科長賞授与規程

(目的)

第1条 この規程は福島学院大学短期大学部学則第52条第4項の学科長表彰の規定に基づき、保育学科長表彰について定めることを目的とします。

(表彰の実施)

第2条 表彰は卒業時に学長の立会いのもとに、保育学科長がこれを行います。

(表彰者の選考および決定)

第3条 表彰者の選考は、第4条の規定に該当する学生について、保育学科会議で審議し、学長の承認のもとに保育学科長が決定します。

(表彰者選考の基準)

第4条 選考は人格に優れ他の模範となる者で、次の各号のすべてに該当する者を対象として行います。

1. 学業成績が特に優秀な者

成績評定平均点84点以上の者、またはA評価38科目以上でC評価のない者

2. 学外実習において特に優秀な評価を得た者

教育実習、保育実習(保育所・児童福祉施設)、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲの4種実習のうち、3種実習以上において、80点以上の実習評価を得た者

3. 課外活動(学生会、学科学友会、クラブ、クラス、ボランティア活動等)において、よくその職責もしくは活動を遂行した者

2 前項第1号該当者の中で、成績評定平均点86点以上の者、またはA評価40科目以上を取得した者、もしくは前項第2

号に定める4種実習において平均88点以上の評価を得た者については、その他の各号に該当しない場合でも、表彰選考対象者に加えるものとします。

(表彰の方法)

第5条 表彰は、表彰状、記念品等によって行います。

附 則

1. この規程は、平成30年10月1日から施行します。
2. この規程は保育学科の所管とします。

## 千葉記念賞授与規程

(目的)

第1条 この規程は、学生部長、保育科（現保育学科）長、秘書科（現情報ビジネス学科）長等を歴任し、本学の発展に大きな功績を残した故千葉恭造副学長（理事）を記念して、千葉記念賞の授与について定めることを目的とします。

(表彰の実施)

第2条 表彰は卒業時に学長立会いのもとに、表彰される学生の所属学科長が行います。

ただし、第4条のうち1年次で評価される場合の学生の表彰は当該学科2年次のオリエンテーション時に学科長が行います。

(表彰者の選考および決定)

第3条 表彰者の選考は、第4条の規定に該当する学生について、各学科会議の議を経て、学長の承認のもとに、各学科長が決定します。

(表彰者選考の基準)

第4条 選考は次の各号に該当する者を対象とします。

1. 教養教育科目「音楽演習」（ポップスの世界）の最終発表会において、最優秀歌唱者またはグループとして選考された者
2. 保育学科「創作ミュージカル」発表会において、最優秀個人賞を受賞した者
3. 保育学科の教育実習、保育実習（保育所・児童福祉施設）、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲの学外実習において、すべての実習の評価が80点以上を得た者
4. 情報ビジネス学科1年次の成績評定平均点において、最高点を得た者
5. 情報ビジネス学科在学中に秘書検定準1級以上もしくはサービスマン検定1級を取得した者

(表彰の方法)

第5条 表彰は、表彰状、記念品等によって行います。

- 2 表彰の内容については、別に定めます。

附 則

1. この規程は、平成30年10月1日から施行します。
2. この規程の所管は教務課とします。

## 保育学科履修細則

(目的)

第1条 本細則は短期大学部学則第38条、39条に基づき、保育学科の幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得に係わる指定科目の履修について定めることを目的とします。

(幼稚園教諭二種免許状取得)

第2条 幼稚園教諭二種免許状取得を希望する者は、別表1に定める科目を履修して、所定の単位を取得するものとします。

(保育士資格取得)

第3条 保育士資格取得を希望する者は、別表2に定める科目を履修して、所定の単位を取得するものとします。

(幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得)

第4条 幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方の取得を希望する者は、別表3に定める科目を履修して、所定の単位を取得するものとします。

なお、幼保連携型認定こども園の保育教諭として従事する場合は、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を併有する必要があります。

附則

1. この細則は、平成31年4月1日から施行します。
2. この細則は保育学科の所管とします。

別表1 幼稚園教諭二種免許状取得 科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	備考
			必修	選択		
教養教育科目	情報機器操作Ⅰ(初級レベル)	1年	2	2	演習	レベルに応じ2単位以上必修 ただし、Ⅰの履修者はⅡまで必修
	情報機器操作Ⅱ(中級レベル)	1年		2	演習	
	情報機器操作Ⅲ(中級習熟レベル)	1年		2	演習	
	日本国憲法	2年	2		講義	
	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)	2年	2	2	演習	レベルに応じいずれか2単位必修
	英会話Ⅱ(アドバンスレベル)	2年		2	演習	
	体育講義	1年	1		講義	
	体育実技	1年	1		実技	
専門教育科目	教育原理	2年	2		講義	
	保育原理	1年	2		講義	
	保育者論	1年	2		講義	
	教育行政	2年	2		講義	
	教育心理学	2年	1		演習	
	発達心理学	1年	2		講義	
	特別支援教育	2年	2		講義	
	保育・教育課程論	2年	2		講義	
	幼児と健康	1年	1		演習	
	幼児と人間関係	1年	1		演習	
	幼児と環境	2年	1		演習	
	幼児と言葉	2年	1		演習	
	幼児と表現(造形)	1年	1		演習	
	幼児と表現(音楽)	1年	1		演習	
	保育内容総論	1年	1		演習	
	保育内容指導法 健康	2年	1		演習	
	保育内容指導法 人間関係	2年	1		演習	
	保育内容指導法 環境	1年	1		演習	
	保育内容指導法 言葉	1年	1		演習	
	保育内容指導法 表現	1年	1		演習	
	教育方法及び技術	2年	2		演習	
幼児理解の理論及び方法	1年	2		演習		
教育相談の理論及び方法	2年	2		演習		
教育実習	1・2年	5		実習	事前・事後指導1単位を含む	
保育・教職実践演習(幼稚園)	2年	2		演習		

別表2 保育士資格取得 科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	備考
			必修	選択		
教養教育科目	本学の教育	1年	1		講義	
	文章表現	1年	4		講義 演習	
	会話演習	1年	2		演習	対話及びプレゼンテーションを含む
	情報機器操作Ⅰ(初級レベル)	1年	2	2	演習	レベルに応じ2単位以上必修 ただし、Ⅰの履修者はⅡまで必修
	情報機器操作Ⅱ(中級レベル)	1年		2	演習	
	情報機器操作Ⅲ(中級習熟レベル)	1年		2	演習	
	生活教養	1年	4		講義 演習	
	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)	2年	2	2	演習	レベルに応じいずれか2単位必修
	英会話Ⅱ(アドバンスレベル)	2年		2	演習	
	体育講義	1年	1		講義	
体育実技	1年	1		実技		
専門教育科目	教育原理	2年	2		講義	
	保育原理	1年	2		講義	
	保育者論	1年	2		講義	
	社会福祉	1年	2		講義	
	子ども家庭支援論	2年	2		講義	
	子ども家庭福祉	1年	2		講義	
	社会的養護Ⅰ	1年	2		講義	
	発達心理学	1年	2		講義	
	子ども家庭支援の心理学	2年	2		講義	
	子どもの保健	1年	2		講義	
	子どもの食と栄養	2年	2		演習	
	保育・教育課程論	2年	2		講義	
	幼児と健康	1年	1		演習	
	幼児と人間関係	1年	1		演習	
	幼児と環境	2年	1		演習	
	幼児と言葉	2年	1		演習	
	幼児と表現(造形)	1年	1		演習	
幼児と表現(音楽)	1年	1		演習		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業 形態	備 考	
			必修	選択			
専 門 教 育 科 目	保育内容総論	1年	1		演習		
	保育内容指導法 健康	2年	1		演習		
	保育内容指導法 人間関係	2年	1		演習		
	保育内容指導法 環境	1年	1		演習		
	保育内容指導法 言葉	1年	1		演習		
	保育内容指導法 表現	1年	1		演習		
	乳児保育Ⅰ	1年	2		講義		
	乳児保育Ⅱ	2年	1		演習		
	子どもの健康と安全	2年	1		演習		
	障害児保育	1年	2		演習		
	社会的養護Ⅱ	2年	1		演習		
	子育て支援	2年	1		演習		
	幼児理解の理論及び方法	1年	2		演習		
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2年	2		演習		
	保育実習指導Ⅰ	1・2年	2		演習		
	保育実習Ⅰ	2年	4		実習		
	保育実習指導Ⅱ	2年	3	1	演習	いずれか3単位必修	
	保育実習Ⅱ	2年		2	実習		
	保育実習指導Ⅲ	2年	3	1	演習		
	保育実習Ⅲ	2年		2	実習		
	教育行政	2年	6	2	講義		この中から6単位以上必修
	教育心理学	2年		1	演習		
	臨床心理学Ⅰ	2年		2	講義		
	臨床心理学Ⅱ	2年		2	講義		
	特別支援教育	2年		2	講義		
	教育方法及び技術	2年		2	演習		
	教育相談の理論及び方法	2年		2	演習		
	ピアノ演習Ⅰ	1年		2	演習	いずれか2単位必修	
ギター演習	1年	2		演習			
ピアノ演習Ⅱ	1年			2	演習		
創作ミュージカル	2年	2		演習			
特別研究Ⅰ	1年		2	演習			

別表3 幼稚園教諭二種免許状・保育士資格取得 科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	備考
			必修	選択		
教養教育科目	本学の教育	1年	1		講義	
	文章表現	1年	4		講義 演習	
	会話演習	1年	2		演習	対話及びプレゼンテーションを含む
	情報機器操作Ⅰ(初級レベル)	1年	2	2	演習	レベルに応じ2単位以上必修 ただし、Ⅰの履修者はⅡまで必修
	情報機器操作Ⅱ(中級レベル)	1年		2	演習	
	情報機器操作Ⅲ(中級習熟レベル)	1年		2	演習	
	生活教養	1年	4		講義 演習	
	日本国憲法	2年	2		講義	
	英会話Ⅰ(ベーシックレベル)	2年	2	2	演習	レベルに応じいずれか2単位必修
	英会話Ⅱ(アドバンスレベル)	2年		2	演習	
	体育講義	1年	1		講義	
	体育実技	1年	1		実技	
専門教育科目	教育原理	2年	2		講義	
	保育原理	1年	2		講義	
	保育者論	1年	2		講義	
	教育行政	2年	2		講義	
	社会福祉	1年	2		講義	
	子ども家庭支援論	2年	2		講義	
	子ども家庭福祉	1年	2		講義	
	社会的養護Ⅰ	1年	2		講義	
	教育心理学	2年	1		演習	
	発達心理学	1年	2		講義	
	子ども家庭支援の心理学	2年	2		講義	
	臨床心理学Ⅰ	2年		2	講義	
	臨床心理学Ⅱ	2年		2	講義	
	特別支援教育	2年	2		講義	
	子どもの保健	1年	2		講義	
	子どもの食と栄養	2年	2		演習	
	保育・教育課程論	2年	2		講義	
	幼児と健康	1年	1		演習	
幼児と人間関係	1年	1		演習		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	備考	
			必修	選択			
専門教育科目	幼児と環境	2年	1		演習		
	幼児と言葉	2年	1		演習		
	幼児と表現(造形)	1年	1		演習		
	幼児と表現(音楽)	1年	1		演習		
	保育内容総論	1年	1		演習		
	保育内容指導法 健康	2年	1		演習		
	保育内容指導法 人間関係	2年	1		演習		
	保育内容指導法 環境	1年	1		演習		
	保育内容指導法 言葉	1年	1		演習		
	保育内容指導法 表現	1年	1		演習		
	乳児保育Ⅰ	1年	2		講義		
	乳児保育Ⅱ	2年	1		演習		
	子どもの健康と安全	2年	1		演習		
	障害児保育	1年	2		演習		
	社会的養護Ⅱ	2年	1		演習		
	子育て支援	2年	1		演習		
	教育方法及び技術	2年	2		演習		
	幼児理解の理論及び方法	1年	2		演習		
	教育相談の理論及び方法	2年	2		演習		
	教育実習	1・2年	5		実習	事前・事後指導1単位を含む	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2年	2		演習		
	保育実習指導Ⅰ	1・2年	2		演習		
	保育実習Ⅰ	2年	4		実習		
	保育実習指導Ⅱ	2年	3	1	演習	いずれか3単位保育士必修	
	保育実習Ⅱ	2年		2	実習		
	保育実習指導Ⅲ	2年	3	1	演習		
	保育実習Ⅲ	2年		2	実習		
	ピアノ演習Ⅰ	1年		2	演習		いずれか2単位必修
	ギター演習	1年		2	演習		
	ピアノ演習Ⅱ	1年		2	演習		
創作ミュージカル	2年	2		演習			
特別研究Ⅰ	1年		2	演習			

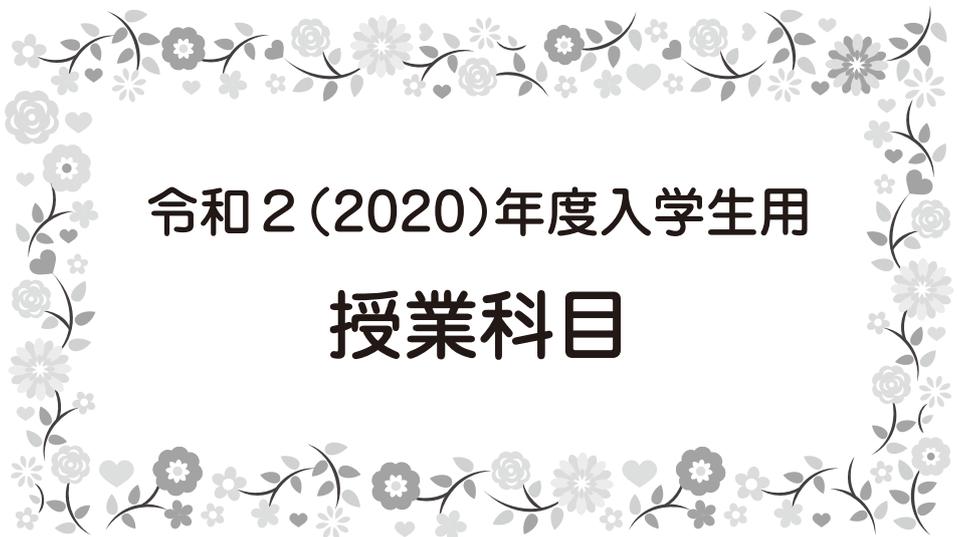
# 保育学科の授業計画



授業計画はシラバスとも呼ばれ、本学が学生の皆さんに提供する授業に関する計画書です。授業ごとに、担当教員、授業概要、授業の到達目標、各回の授業内容、到達度の評価などが記載されています。

また、それぞれの授業時間以外の必要な学修についても明記されていますので、予習・復習を励行するようにしてください。

この授業計画は、学生の皆さんが授業を学ぶための基本的な資料になります。熟読してそれぞれの履修計画を立ててください。

A decorative border composed of various floral and heart motifs in shades of gray, framing the central text.

令和2(2020)年度入学生用

**授業科目**

## 令和2(2020)年度 保育学科「授業計画」目次【1年生】

授 業 科 目	授 業 担 当 者	卒 業		幼稚園教諭		保 育 士		備 考	ページ
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		
<b>教 養 教 育 科 目</b>									
本 学 の 教 育	桜 田 葉 子	1			1	1			37
文 章 表 現	中 野 真 樹	4			4	4			39
書 写 演 習	白 石 真 弓		2		2		2	指定者必修	43
会 話 演 習	安 田 い つ 美	2			2	2			45
情 報 機 器 操 作 I (初級レベル)	酒 井 創	2		2		2		入学時のテストにより、履修レベルを決定する。2単位以上必修とするが、初級レベルⅠの履修者は、中級レベルⅡまで、計4単位以上を必修とする。	48
情 報 機 器 操 作 II (中級レベル)	酒 井 創								51
情 報 機 器 操 作 III (中級習熟レベル)	酒 井 創								54
スマートフォン活用法	桑 木 道 子		1		1		1		56
スマートフォンの モラルとリスク	桑 木 道 子		1		1		1		58
生 活 教 養	渡 辺 雅 子	4			4	4			60
美 術 演 習 (造形を楽しむ)	鈴 木 美 樹		2		2		2		68
文 学 演 習 (読み聞かせ)	安 田 い つ 美		2		2		2		71
教 養 演 習 I	梅 宮 れ い か		2		2		2	メンタルヘルス	74
国 際 理 解 演 習	佐 藤 敦 子	2		2		2	2	時間割外 (バリ島研修旅行)	167
	中 丸 一 志							時間割外 (シンガポール研修旅行)	77
体 育 講 義	藤 本 要	1		1		1			79
体 育 実 技 (バドミントン)	藤 本 要 島 田 貴 広	1		1		1			81
体 育 実 技 (バレーボール)	島 田 貴 広								84
体 育 実 技 (バスケットボール)	宮 崎 利 勝								87
体 育 実 技 (卓 球)	宮 崎 利 勝								90
体 育 実 技 (レクリエーションスポーツ)	金 野 麻 衣								93
体 育 実 技 (サッカー)	原 隆 弘								96

専 門 教 育 科 目									
保 育 原 理	中 野 明 子	2		2		2			99
保 育 者 論	長 島 輝 子	2		2		2			102
社 会 福 祉	高 橋 雄 二	2			2	2			105
子 ども 家 庭 福 祉	今 清 孝	2			2	2			107
社 会 的 養 護 I	八 木 孝 憲		2		2	2			110
発 達 心 理 学	梅 宮 れ い か	2		2		2			112
子 ども の 保 健	石 井 佳 世 子	2			2	2			115
幼 児 と 健 康	藤 本 要		1	1		1			118
幼 児 と 人 間 関 係	鈴 木 智 子		1	1		1			121
幼 児 と 表 現 (造 形)	石 田 敏 和		1	1		1			124
幼 児 と 表 現 (音 楽)	佐 藤 敦 子		1	1		1			127
保 育 内 容 総 論	鈴 木 智 子		1	1		1			130
保 育 内 容 指 導 法 環 境	杉 浦 広 幸		1	1		1			133
保 育 内 容 指 導 法 言 葉	中 野 真 樹		1	1		1			136
保 育 内 容 指 導 法 言 葉	佐 藤 佐 敏		1	1		1			139
保 育 内 容 指 導 法 表 現	石 田 敏 和 鈴 木 裕 美 子		1	1		1			142
乳 児 保 育 I	中 野 明 子 永 澤 孝 子	2			2	2			145
障 害 児 保 育	荒 井 美 智 子	2			2	2			148
幼 児 理 解 の 理 論 及 び 方 法	八 木 孝 憲		2	2		2			151
ピ ア ノ 演 習 I	佐 藤 敦 子	2			2	2		いずれか2単位必修	154
	ミハウ・ソブコウイアク								157
	渡 邊 聡 子								161
ギ タ ー 演 習	佐 藤 隆								164
バ リ ダ ン ス レ ッ ス ン と バ リ 島 幼 稚 園 交 流	佐 藤 敦 子		2		2		2		167
特 別 研 究 I (子 ども と 園 芸)	杉 浦 広 幸		2		2		2		170
特 別 研 究 I (障 害 児 生 活 支 援 演 習)	高 橋 雄 二		2		2		2		173
特 別 研 究 II (保 育 者 の 音 楽 遊 び)	佐 藤 敦 子		2		2		2		175
教 育 実 習	長 島 輝 子 関 本 仁		5	5			5	2年間継続履修 (事前・事後指導 I 単位を含む)	268
保 育 実 習 指 導 I	鈴 木 翔 太		2		2	2		2年間継続履修	272

授業科目名	<b>本学の教育</b>		授業形態・単位数	講義・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任教授 <small>さくら</small> 桜 <small>だ</small> 田 <small>よう</small> 葉 <small>こ</small> 子	開講期	前期	
		授業回数	8回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	福島県議会議員（平成15年～平成29年）			
社会貢献としての委員会・職等	聖光学院理事、福島県高等理容美容学院顧問、福島県薬剤師連盟特別顧問 福島県理容生活衛生同業組合顧問、福島県美容業生活衛生同業組合顧問 福島県歯科技工士会顧問、福島職業訓練技能協会顧問			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国立音楽大学声楽学科卒業（芸術学士） 大学行政管理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。 オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
建学の精神「真心こそすべてのすべて」の理念と本学の教育が目指す姿を三つの視点で学びます。 一つ目の視点は「高校と大学の学びの違い」 二つ目の視点は「地域課題」 三つ目の視点は「本学での学生生活」 この三つの視点で本学の目指す姿を学ぶことによって、感性豊かな心と無限の可能性に挑戦する心を育む大学生生活の充実につなげていきます。	A	知識
	B	技能
	<input type="radio"/> C	論理的思考力
	<input type="radio"/> D	文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/> E	課題対処力
	F	多様性の理解力
	G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	イ	ディスカッション、ディベート
	<input type="radio"/> ウ	グループワーク
<input type="radio"/> エ	プレゼンテーション	
オ	実習・フィールドワーク	
<b>授業の到達目標</b>		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)
① 本学の建学の精神や教育理念及び本学の教育について理解する	目標	C・D・E
② 挑戦する心を育む	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	福島学院大学で学ぶということ ・建学の精神 ・教育理念 ・福島学院の歴史	「本学の教育」「授業計画」 パワーポイント ※スーツ着用	「本学の教育」を読んでおく
2	大学で学ぶということ(1) ・高校までの学びとの違い ・受講のルールやマナー ・ノートの取り方、質問の仕方 ・オフィスアワー活用の仕方	「教務・履修ガイド」 パワーポイント ※スーツ着用	「教務・履修ガイド」を読んでおく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	<b>大学で学ぶということ(2)</b> ・レポート／小論文／作文の違い ・レポート課題の取り組み方 ・著作権の基礎（研究不正も含む）	自作資料 パワーポイント ※スーツ着用	授業に関するキーワードを予習する
4	<b>大学で学ぶということ(3)</b> ・プレゼンテーションと発表の違い ・話し方の基礎 ・メディアリテラシー（SNSなどの注意）	自作資料 パワーポイント ※スーツ着用	授業に関するキーワードを予習する
5	<b>地域課題を理解する</b> ・人口減少社会について ・生産性向上と働き方改革について ・地域創生について ・SDGsについて ・地域連携活動	自作資料 パワーポイント ※スーツ着用	授業に関するキーワードを予習する
6	<b>福島学院で学生生活を送るとのこと(1)</b> ・ボランティア活動 ・友人関係などで悩んだら ・学習が思うように進まなくて悩んだら ・差別とハラスメントについて	「学生生活ガイドブック」 「教務・履修ガイド」 パワーポイント ※スーツ着用	レポート作成を始める ＊レポート提出 6月26日(金)13:00まで 「学生生活ガイドブック」 を読んでおく
7	<b>福島学院で学生生活を送るとのこと(2)</b> ・キャリアデザイン ・卒業生講話	「学生生活ガイドブック」 パワーポイント ※スーツ着用	「学生生活ガイドブック」を読んでおく
8	<b>生と性を考える</b> (福島県立医科大学との連携授業)	自作資料 パワーポイント ※スーツ着用	授業に関するキーワードを予習する
期末試験	レポート提出		
<b>期末試験の講評</b>			
レポートの評価は、コメントを付して返却します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①② … レポート100点満点 ※ レポート（1,000字以上1,200字以内）は、次のいずれかのテーマで作成し、6月26日(金)13:00までに教務課へ所定様式にて提出してください。 なお、誤字・脱字の多いもの、文章不整なもの及び内容や趣旨が不十分なものは、再提出を求めます。 また、期日に遅れた場合は、100点満点から1日につき2点を減点します。 <レポートのテーマ> 2つのうちのいずれかを選択 ① 私の夢      ② 私のキャリアデザイン			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
「本学の教育」「学生生活ガイドブック」「教務・履修ガイド」 ※必要に応じて資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 授業はカーサ・フローラ千葉記念ホールで行います。出欠確認をスムーズに行うため座席指定とします。 ※3回目の授業だけは学科別としますので、別途教室を指定します。 2. 授業8回の3分の1を超える回数を欠席した場合は欠格となります。遅刻・早退は3回で1回の欠席となります。 2コマ連続授業ですので注意してください。			

授業科目名	文章表現		授業形態・単位数	講義・演習 4単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 <small>なか</small> の <small>ま</small> 野 <small>ま</small> 真 <small>き</small> 樹		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了 文学(博士)		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	選択	
保育士資格		教養教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	120時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>大学生・社会人・保育者として求められる日本語表現の基本を身に付けるための講義と演習を展開します。</p> <p>前期は、文章表現への理解を深め、表現技術を習得するために授業時に講義と合わせて各種文書・記録や小論文の作成練習などを行います。また、保育の場での文章表現の基礎力も養います。同時に、後期の日本語検定受験に向けてワークに取り組みます。</p> <p>後期は、実際に広報紙を作るために、テーマの設定、取材の仕方、記事の書き方と割り付けを学修します。授業外で取材をすることもあります。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力	
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	<input type="radio"/>	E	課題対処力	
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力	
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力	
	アクティブラーニングの要素		<input type="radio"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
	<input type="radio"/>	ウ	グループワーク	
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション		
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 社会人として通用する文章表現力を習得します		目標	A・D	
② グループ活動によって、広報紙のテーマ絞りから取材、執筆、割り付けまで一連の作業を通して、広報紙作りを身に付けます		目標	B・D	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション (1) 授業の概要と目標 (2) 評価方法 (3) 毎回の授業の受け方・予習復習について	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画と目標、評価方法をスライドを用いて説明する</li> <li>授業と毎回の課題の取り組み方、日本語検定受験の説明をする</li> </ul>		
2	大学生の日本語表現 日本語検定に向けて(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> <li>日本語検定のワークと解説</li> </ul>	課題に解答する	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	日本語の文章・文字・表記について 日本語検定に向けて(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> <li>日本語検定のワークと解説</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
4	敬語の使い方 日本語検定に向けて(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> <li>日本語検定のワークと解説</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
5	デジタルテキスト文書の書き方・マナー 日本語検定に向けて(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン・PCにおけるデジタルテキスト文書の書き方の演習</li> <li>日本語検定のワークと解説</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
6	アカデミック・ライティング 日本語検定に向けて(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時事ニュース・模擬講義のビデオ視聴 (20分)</li> <li>聞き取り、ノートテイキングの確認</li> <li>日本語検定のワークと解説</li> </ul>	時事ニュースについて調べてくる 課題に解答する
7	保育の日本語(1) — 保育の用語・保育の文章 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
8	保育の日本語(2) — 観察記録の書き方① 観察と文章化 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>DVD「保育所と幼稚園の一日」視聴 (20分)</li> <li>記録の取り方、文章化についての説明</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
9	保育の日本語(3) — 観察記録の書き方② 観察記録を書く —	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> <li>模擬観察記録の執筆</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
10	保育の日本語(4) — 観察記録の書き方③ エピソード記録を書く —	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> <li>模擬観察記録の執筆</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
11	保育のコミュニケーション(1) — 保育者保護者との文章コミュニケーション —	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
12	保育のコミュニケーション(2) — 子どもとの文字によるコミュニケーション —	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
13	論作文の書き方(1) テーマ・構成の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
14	論作文の書き方(2) 論作文・レポートのなかの文章表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	論作文の書き方(3) 文章の自己点検・校正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
期末試験	論作文 (600~800字)		
16	広報紙づくりの基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ分け</li> <li>広報紙づくりの概要・手順の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論作文の返却</li> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	返却した論作文を復習 広報誌記事を読む
17	広報紙づくりの具体化(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>割り付けソフト「パーソナル編集長」の使い方</li> <li>記事のデザイン・レイアウトについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 課題に解答する
18	広報紙づくりの具体化(2) テーマの設定と指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 課題に解答する
19	広報紙づくりの具体化(3) 取材と取材記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 現場取材
20	広報紙づくりの具体化(4) 記事の執筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 記事執筆・確認
21	広報紙づくりの具体化(5) 記事の執筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 記事執筆・確認
22	広報紙づくりの具体化(6) 紙面の割り付け・レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 記事確認
23	広報紙づくりの具体化(7) 紙面の校正・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌作りのグループワーク</li> </ul>	広報誌記事を読む 記事確認
24	ビジネス日本語(1) — 自己分析と自分史の記述 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
25	ビジネス日本語(2) — ビジネス文書の基本とマナー —	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
26	ビジネス日本語(3) — ビジネスコミュニケーション —	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスコミュニケーションに関する説明</li> <li>グループ活動によるシミュレーション・ディスカッション</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
27	小論文の書き方(1) テーマ・構成の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
28	小論文の書き方(2) 小論文の執筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
29	小論文の書き方(3) 文章の自己点検・校正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の答え合わせ</li> <li>教科書とスライドを用いての講義</li> </ul>	教科書の指定された範囲の予習課題に解答する
30	まとめ 授業のふりかえりと広報誌紙面の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した広報誌のグループ発表と講評・総括</li> </ul>	授業課題を振り返り、まとめる
期末試験	小論文 (600～800字)		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
<p>目標① … 80点満点 授業中の返答 (20点)、授業課題への取り組み (20点)、前期論作文 (20点)、後期小論文 (20点)</p> <p>目標② … 20点満点 グループ活動による広報誌作り</p> <p>※日本語検定の結果により、3級取得10点、準3級取得8点、さらに取得点数に応じて1～5点の加点をします。なお、以上を合計して100点を上回る場合は、一律100点として評価します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
<p>書名：これだけは知っておきたい 保育のマナーと言葉 著者名：川口直子 発行所：わかば社 価格：1,000円 (税別)</p>		<p>書名：日本語検定公式練習問題集3訂版3級 著者名：日本語検定委員会 発行所：東京書籍 価格：900円 (税別)</p>	
<p>書名：これだけは知っておきたい 保育の基本用語 著者名：川口直子 発行所：わかば社 価格：1,000円 (税別)</p>			
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. 日本語を読む、書く、話す、聞く能力を高めるため、毎回の授業時に課題を出します。次の授業時に答え合わせを行いますので、かならず各自で課題に取り組むようにしてください。</p> <p>2. 日本語検定の受検日は、11月14日(土)です。それに向けて各自配布された課題に取り組んでください。</p>			

授業科目名	書 写 演 習		授業形態・単位数	演習・2単位
			開 講 年 次	1年次
担当教員	非常勤講師 しろ いし ま ゆみ 白石真弓	開 講 期	後期	
		授 業 回 数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		梓風書道教室（主宰）1998年～現在		
社会貢献としての委員会・職 等		墨雅書道会監事（2014年～現在） 北信学習センター運営審議会委員（2015年～現在） 福島県書道連盟理事、同連盟副審査員（2016年～現在）		
最終卒業（修了）学校及び学位 等 資格・免許及び所属学会 等		聖和学園短期大学国文科 準学士 墨雅書道会 漢字部・実用書部・ペン字部・細字部・近代詩文書部・かな部 師範		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	選択（受講指定者は必修）	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	選択（受講指定者は必修）	
保育士		教養教育科目	選択（受講指定者は必修）	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		授業終了後に教室で質問等に対応します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
「文章表現」授業担当者から、受講を指定された学生が履修する科目です。 1. 文字を適切かつ美的に筆記できるように演習を行い、書写能力の向上・美的書写表現技法を修得します。また、文字の成り立ちを学び、記録・伝達手段としての文字についての専門的知識を高めていきます。 2. 教養教育科目「文章表現」との関連性を考慮した教材の使用により、適切な用語用法を修得し、豊かな教養と情緒の涵養を図っていきます。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力		
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	<input type="radio"/>	E	課題対処力		
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力		
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション			
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
① 目的に応じて用語用法を考え、表現技法や書体を工夫することができる能力を養う		目標	A・D		
② 書表現技法の修得、鑑賞力と美意識の高揚を図る		目標	A・B		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション (1) 授業の進め方 (2) 授業時間以外の必要な学修の進め方 (3) 評価の観点と方法	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト、授業計画		自己紹介の用意 授業計画の確認	
2	書くための準備 ― 姿勢・用具・持ち方	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト		予習：テキストの練習 課題	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	漢字とかな(文字の成り立ち)／隙間均等法	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
4	美文字三原則	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト・補充課題	予習：テキストの練習課題
5	漢字の8パーツ	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
6	字形の整え方 ルール1～3	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト・補充課題	予習：テキストの練習課題
7	字形の整え方 ルール4～7	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
8	「へん」と「つくり」	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
9	「にょう」と「たれ」	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト・補充課題	予習：テキストの練習課題
10	ひらがな 練習	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
11	ひらがな 清書と補充	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト・補充課題	予習：テキストの練習課題
12	カタカナ 練習	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
13	カタカナ 清書と補充	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト・補充課題	予習：テキストの練習課題
14	文字の揃え方(中心線串刺し法)	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
15	まとめと振り返り	指名問答、フィードバックシート、書実技 教材：テキスト	予習：テキストの練習課題
期末試験	後期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標① … 期末試験(60%) 目標①② … 実技の完成度(40%) 上記項目から評価します。 ※テキスト忘れは一回につき3点減点とします。詳細については初回授業時に説明します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：クセ字が直る美文字レッスン帳 著者名：青山浩之 発行所：NHK出版 価格：500円(税別)		特に指定しません。	

授業科目名	<b>会 話 演 習</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開 講 年 次	1年次
担当教員	兼任講師 やす だ 安 田 かつ 美		開 講 期	前期・後期
			授 業 回 数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	元TUFアナウンサー（平成4年4月～平成10年3月） フリーアナウンサー（平成10年4月～平成31年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	法政大学社会学部社会学科卒業（社会学士）			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは、初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
<p>SNSの普及により、顔を合わせない「非対面コミュニケーション」が促進され、コミュニケーションは相手や話題、時間さえも選べる時代になりました。</p> <p>この授業では、社会生活上不可欠な「対面コミュニケーション」である言葉を受けて返す「話すこと」「聞くこと」に焦点を当てます。実践的な演習により、社会生活で役立つ「会話力」を身につけます。</p> <p>さらにテレビ番組制作に取り組み、取材を通して実践的なコミュニケーション能力を養います。また、言葉を発信する能力も高めます。</p>	○	A	知識		
			B	技能	
			C	論理的思考力	
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
	○	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	○	イ	ディスカッション、ディベート		
○	ウ	グループワーク			
	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
<b>授業の到達目標</b>			<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>		
① 「話し言葉」の正しい知識を持ち、会話力を高める			目標	A	
② 自分の意見を持ち、表現できるようになる			目標	D	
③ 対面でのコミュニケーション力、会話力を身につける			目標	G	
<b>授 業 計 画</b>					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション 授業の進め方と評価方法について 名前を覚えてもらうための自己紹介	授業計画	授業計画を読んでおく		
2	自己紹介	発表 VTR収録	自己紹介を考えてくる		
3	自己紹介からわかること 話し方・口癖・伝わり方・印象の確認	VTRプレビュー 評価表作成	日常生活での話し方を確認		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	<b>話し方の基礎</b> 発声・発音・アクセントなど 印象の良い話し方	プリント グループディスカッション	プリント復習
5	<b>「話す力」を高める</b> 会話するときの心構え 話題の選び方	プリント グループディスカッション	日常的に話している話題を 考えてくる
6	<b>「聞く力」を高める</b> 話の要点をとらえる ポジティブリスニング	グループに分かれ演習	日常的に話している話題を 考えてくる
7	<b>フリートーク(1)</b> 人前で話す時のコツ 事実を正確に伝える	グループに分かれ演習	復習 物事の伝え方について考える
8	<b>フリートーク(2)</b> テーマに沿って発表	発表 個別に指導	発表の準備
9	<b>ゲストスピーカー</b> 番組制作について 取材の仕方・原稿の書き方・映像の撮り方	TV局スタッフによる 特別講義	ニュース番組、情報番組などを見る
10	<b>全体討議(1)</b> 班分けと番組企画・取材計画 各班15分程度の番組を制作する	班ごとに取材計画 撮影・編集は各自のスマートフォンを使用	授業時間外に取材、原稿を まとめ編集する
11	<b>全体討議(2)</b> 編集素材確認・番組構成・役割確認	班ごとに収録に向けた準備	授業時間外に取材、原稿を まとめ編集する
12	<b>番組収録リハーサル</b>	常設スタジオ 収録リハーサル	役割確認 原稿準備 収録に向け練習
13	<b>番組収録</b>	常設スタジオ 収録本番	原稿確認 収録に向け練習
14	<b>番組視聴</b>	試写会、感想発表	感想をまとめる
15	<b>まとめ</b> 正しい言葉遣い 会話力が人間関係を豊かにする	全体討議	復習 プリント
期末試験	<b>期末試験</b>	筆記試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標① … 期末試験40点 目標② … 授業での発表、取材活動、スタジオ収録での表現力40点 目標③ … グループ活動、取材活動20点 総計100点満点で評価。ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			

教科書	参考書
使用しません。	書名：日本語会話表現とプレゼンテーション 著者名：古閑博美 他 発行所：学文社 価格：2,000円（税別）
その他補足事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取材活動は、対象により班ごとに通常授業時間外で行います。</li> <li>2. 撮影、編集には原則スマートフォンを使用しますが、希望者にはデジタルカメラを貸与します。</li> <li>3. ゲストスピーカーは変更となる場合があります。</li> <li>4. 制作した番組は、のぎく館での放送を予定しています。</li> <li>5. 履修状況により、授業内容が変更になる場合があります。</li> </ol>	

授業科目名	<b>情報機器操作Ⅰ（初級レベル）</b>	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	1年次
担当教員	准教授 <small>さか</small> 酒井 <small>はじめ</small> 創	開講期	前期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	玉川大学大学院工学研究科生産開発工学専攻博士課程 情報処理学会、コンピュータ利用教育学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択必修	
保育士資格	教養教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	詳しくは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
現代の情報ネットワーク社会を支えるICT（情報通信技術）活用に必要な、PCやネットワーク活用の実践的知識とスキル（リテラシー）を、保育・幼児教育の現場での実践を意識した演習課題を通して身につける演習科目です。コンピュータ利用経験の少ない受講者を対象に、本科目と後期の「情報機器操作Ⅱ」を併せて以上の内容を実施します。	<input type="radio"/> A	知識
	<input type="radio"/> B	技能
	<input type="radio"/> C	論理的思考力
	<input type="radio"/> D	文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/> E	課題対処力
	<input type="radio"/> F	多様性の理解力
	<input type="radio"/> G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/> ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/> イ	ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/> ウ	グループワーク	
<input type="radio"/> エ	プレゼンテーション	
<input type="radio"/> オ	実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 後期に履修する「情報機器操作Ⅱ」において実践的な技術・知識の演習を実施するためのベースができる	目標	A・B
② パーソナルコンピュータの基本操作とタイピング操作、日本語入力操作を習得することができる	目標	A・B
③ 具体的な「道具（ソフト）」として、ワープロ機能の実践的な利用技術と知識を習得することができる	目標	A・B・C

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方</li> <li>実習環境の実際とその理解</li> <li>タイピング練習ソフトの配布と練習方法の説明</li> <li>正しいタイピング練習の理解と実践</li> </ul>	授業計画、テキスト タイピング練習ソフト 「Mikatype」 テキストUnit 3	事前理解：授業計画内容の確認

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	タイピング練習 OS (Windows) 操作の基本理解 日本語入力と文書作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語入力システムの確認</li> <li>ファイル、フォルダ管理の基本</li> </ul>	タイピング練習ソフト 「Mikatype」 テキストUnit 2 テキストUnit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>事前理解：テキスト内容</li> <li>課題：Exe.1</li> </ul>
3	タイピング練習 図形ツール操作演習(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPointスライド上での図形ツールの操作</li> </ul>	タイピング練習ソフト 「Mikatype」 テキストUnit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>事前理解：テキスト内容</li> </ul>
4	タイピング練習 図形ツール操作演習(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPointスライド上での図形ツールの操作</li> </ul>	タイピング練習ソフト 「Mikatype」 テキストUnit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>事前理解：テキスト内容</li> </ul>
5	タイピング練習とタイピング速度の測定 図形ツールの活用(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>図形操作の確認</li> <li>案内図を作る</li> </ul>	タイピング練習ソフト 「Mikatype」 テキストUnit 3 Exercise 1 (PowerPoint)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>事前理解：テキスト内容</li> <li>課題：Exe.1</li> </ul>
6	タイピング練習 図形ツールの活用(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストを作る①</li> <li>PowerPointスライド上での図形ツール</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3 Exercise 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>事前理解：テキスト内容</li> <li>Exercise復習</li> </ul>
7	タイピング練習 図形ツールの活用(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストを作る②</li> <li>PowerPointスライド上での図形ツール</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3 Exercise 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> </ul>
8	タイピング練習 図形ツールの活用(4) <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストを作る③</li> <li>PowerPointスライド上での図形ツール</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3 Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> </ul>
9	タイピング練習 図形ツールの活用(5) <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストを作る④</li> <li>PowerPointスライド上での図形ツール</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3 Let's Try	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> </ul>
10	タイピング練習とタイピング速度の測定 実践ワープロソフト Word演習 1-1 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語入力とワープロ基本機能の確認</li> <li>簡単なお便りの作成</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> <li>「イラスト集」課題</li> </ul>
11	タイピング練習 実践ワープロソフト Word演習 1-2 <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな「書式設定」の理解</li> <li>簡単なお便りの作成</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> </ul>
12	タイピング練習 実践ワープロソフト Word演習 1-3 <ul style="list-style-type: none"> <li>Word文書上での「図形」「画像」配置</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> <li>授業外課題</li> </ul>
13	タイピング練習 実践ワープロソフト Word演習 2-1 <ul style="list-style-type: none"> <li>図表が入ったおたよりの作成</li> </ul>	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 6 Exercise.1 Exercice.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>Exercise復習</li> <li>授業外課題</li> </ul>

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	タイピング練習 実践ワープロソフト Word演習2-2 ・やや複雑なレイアウト文書の作成	Webアプリ「e-typing」 Exersice.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピング練習</li> <li>・Exercise復習</li> <li>・授業外課題</li> </ul>
15	タイピング練習とタイピング速度の測定 Word総合演習 ・これまでの授業課題のまとめ	Webアプリ「e-typing」 総合演習課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのExercise内容の理解と復習</li> </ul>
期末試験	期末試験 Word総合演習課題（実技試験）		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 60点 ・Word文書作成課題 提出課題 30点 ・授業時作成および授業時間外での提出課題 授業参加状況 10点 ・評価基準により採点（初回授業時に説明） 詳細は初回授業時に説明します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：保育者のためのパソコン講座 著者名：阿部正平 他 発行所：萌文書林 価格：2,000円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 基本的には、テキストに従い、課題を進める授業形態となります。授業内外において積極的な態度で受講することを希望します。 2. 授業内容については、演習の進行状況などにより、一部入れ替えや変更を実施する場合があります。 3. 演習で作成した課題などを一時的に保存し、持ち運ぶための外部メディアとして、USBフラッシュメモリを各自で準備してください。詳細はオリエンテーション時に説明します。			

授業科目名	<b>情報機器操作Ⅱ（中級レベル）</b>	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	1年次
担当教員	准教授 <small>さか</small> 酒 <small>い</small> 井 <small>はじめ</small> 創	開講期	前期・後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	玉川大学大学院工学研究科生産開発工学専攻博士課程 情報処理学会、コンピュータ利用教育学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択必修	
保育士資格	教養教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	詳しくは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
現代の情報ネットワーク社会を支えるICT（情報通信技術）活用に必要な、パーソナルコンピュータやコンピュータネットワーク活用の実践的知識とスキル（リテラシー）を、保育・幼児教育の現場での実践を意識した演習課題を通して身につける演習科目です。	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	<input type="radio"/>	エ プレゼンテーション
	<input type="radio"/>	オ 実習・フィールドワーク

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 卒業後に就く現場において、情報ネットワーク社会に積極的に参画していくための「情報活用の実践力」の修得を目標とする	目標	A・B・C
② 自分にとってどのような情報が必要かを自分で判断する力、必要な情報を、主体的に収集・判断・表現・処理・創造する力を養成する	目標	A・B・C

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション ・授業の進め方 ・実習環境の実際とその理解 ・MS Officeアプリケーション操作の確認 ・タイピングスキルと「正しいタイピング」の理解と実践 ・タイピング速度の測定	授業計画、テキスト Webアプリ「e-typing」	事前理解：授業計画内容の確認
2	タイピング練習 MS Officeでの図形ツール活用演習(1) ・「Word」「PowerPoint」での図形ツール活用	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3	・タイピング練習 ・Exercise復習 ・各種イラスト作成課題

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	<b>タイピング練習</b> <b>MS Office での図形ツール活用演習(2)</b> ・ PowerPointスライド上での図形ツール活用 ・ 「イラスト集」の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピング練習</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 各種イラスト作成課題</li> </ul>
4	<b>タイピング練習</b> <b>実践ワープロソフト Word演習 1</b> ・ 文書成形機能の確認 ・ 簡単な文書の作成と再利用	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピング練習</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題</li> </ul>
5	<b>タイピング練習とタイピング速度の測定</b> <b>実践ワープロソフト Word演習 2-1</b> <b>ビジュアルツールの活用</b> ・ 図形、画像、表などの理解	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピング練習</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題「保育を学ぼう①」</li> </ul>
6	<b>タイピング練習</b> <b>実践ワープロソフト Word演習 2-2</b> ・ イラストの入った案内カードの作成 ・ 表を組み込んだ文書の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピング練習</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題「保育を学ぼう②」</li> </ul>
7	<b>タイピング練習</b> <b>実践ワープロソフト Word演習 2-3</b> ・ やや複雑なレイアウト文書の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイピング練習</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業復習課題</li> </ul>
8	<b>タイピング練習</b> <b>実践プレゼンテーション PowerPoint演習</b> ・ 課題解決のための情報分析・評価ツールの活用 ・ 情報探索 (Web検索、図書館の利用、論文検索)	Webアプリ「e-typing」 テキストPart 4 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> </ul>
9	<b>タイピング練習</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習 1</b> (作表とかんたんな計算) ・ 表計算ソフトの基本機能確認 ・ 「クラス表」(グラフ作成含む) ・ 「年間カレンダー」の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題「保育を学ぼう③」</li> </ul>
10	<b>タイピング練習とタイピング速度の測定</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習 2-1</b> (データベース機能の基礎) ・ 「児童台帳様式」の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> </ul>
11	<b>タイピング練習</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習 2-2</b> (データベース機能の基礎) ・ 「児童台帳」の作成、更新と検索・集計の実際	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題「保育を学ぼう④」</li> </ul>
12	<b>タイピング練習</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習 3-1</b> (グラフと計算式の活用) ・ 「身体計測記録表」と「身体計測記録台帳」の作成	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> </ul>
13	<b>タイピング練習</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習 3-2</b> ・ 「身体計測記録台帳」を活用したグラフ作成の実際と簡単なデータ分析	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前理解：テキスト内容</li> <li>・ Exercise復習</li> <li>・ 授業外課題「保育を学ぼう⑤」</li> </ul>

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	<b>タイピング練習</b> <b>実践表計算ソフト Excel演習3-3</b> ・「行事写真購入申し込み管理表」「健康診査表」による、場面に応じた活用方法の理解 ・期末試験（総合演習）の説明	Webアプリ「e-typing」 テキストUnit 9	・事前理解：テキスト内容 ・Exercise復習
15	<b>タイピング練習とタイピング速度の測定</b> <b>ネットワークの基礎知識</b> ・LAN、インターネット、クラウド・サービス、IoT ・情報リテラシー、情報セキュリティ、情報モラル	Webアプリ「e-typing」 テキストPart 5 テキストPart 6	・事前理解：テキスト内容 ・Exercise復習 ・授業外課題「保育を学ぼう⑥⑦」
期末試験	<b>期末試験</b> Word／Excel総合演習課題（実技試験） ・これまでの知識とスキルを活用する		・Word、ExcelのExercise内容の理解と復習
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 60点 ・Word総合課題、Excel総合課題 提出課題 30点 ・授業時作成および授業時間外での提出課題 授業参加状況 10点 ・評価基準により採点（初回授業時に説明） 詳細は初回授業時に説明する。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：保育者のためのパソコン講座 著者名：阿部正平 他 発行所：萌文書林 価格：2,000円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 基本的には、テキストに従い、課題を進める授業形態となります。授業内外において積極的な態度で受講することを希望します。 2. 授業内容については、演習の進行状況などにより、一部入れ替えや変更を実施する場合があります。 3. 演習で作成した課題などを一時的に保存し、持ち運ぶための外部メディアとして、USBフラッシュメモリを各自で準備してください。詳細はオリエンテーション時に説明します。			

授業科目名	<b>情報機器操作Ⅲ (中級習熟レベル)</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 <small>さか</small> 酒 <small>い</small> 井 <small>はじめ</small> 創	開講期	後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	玉川大学大学院工学研究科生産開発工学専攻博士課程 情報処理学会、コンピュータ利用教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択必修		
保育士資格	教養教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	詳しくは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
この授業では、保育・幼児教育の現場でのICT活用の一 場面として想定される、静止画・動画の編集、MIDIによる 音楽編集の基礎的な知識と編集技術を習得します。	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	<input type="radio"/>	ウ	グループワーク	
	<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション	
	<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク	
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>		
① ICTを活用した音楽・画像編集の基礎的知識を習得する		目標	A	
② ICTを活用した音楽編集ソフト、画像編集ソフトの基本操作を習得する		目標	A・B	
③ 習得した音楽・画像編集についての知識・技能を活用し、オリジナル作品の制作ができる		目標	A・B・C・F	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション ・授業内容、演習環境についての理解 静止画の知識と編集(1) ・ラスト画像についての知識と画像編集	授業計画 配布資料 ペイント系ソフトの操作練習	ラスト画像の特徴を復習	
2	静止画の知識と編集(2) ・ベクタ画像についての知識と画像編集	配布資料 ドロー系ソフトの操作練習	ベクタ画像の特徴を復習	
3	アニメーションの制作(1) ・アニメーション制作	配布資料 画像編集ソフトによるアニメーションの制作方法を習得し、オリジナル作品を制作する	配布資料の復習 オリジナル作品の制作	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	アニメーションの制作(2) ・アニメーション制作	配布資料 オリジナルのアニメーション作品を制作する	オリジナル作品の完成
5	アニメーションの制作(3) ・作品の相互鑑賞と自己評価・相互評価	他者が制作したアニメーション作品の鑑賞と評価を行う	アニメーション制作過程の復習
6	動画の知識と編集(1) ・動画の撮影と保存 ・分割とトリミング	配布資料 動画編集についての基礎知識を習得する	配布資料の復習
7	動画の知識と編集(2) ・タイトル、クレジット、キャプションの挿入 ・BGMの挿入	配布資料 動画編集についての基礎知識を習得する	配布資料の復習
8	動画の知識と編集(3) ・動画形式の変換 ・DVDへの書き込み	配布資料 動画編集についての基礎知識を習得する	配布資料の復習
9	MIDIシーケンサーの知識と活用(1) ・MIDIの基礎知識 ・MIDIシーケンサーの基本操作 ・和音・リズムパートの作成	配布資料 MIDIの基礎知識とシーケンサーの基本操作を習得する	配布資料の復習
10	MIDIシーケンサーの知識と活用(2) ・音の強弱、Velocityの設定 ・さまざまな音色の設定 ・音の形式変換	配布資料 MIDIシーケンサーの基本操作を習得する	配布資料の復習
11	MIDIシーケンサーの知識と活用(3) ・オリジナル曲の作成①	配布資料 オリジナルの楽曲を制作する	配布資料の復習 オリジナル曲の制作
12	MIDIシーケンサーの知識と活用(4) ・オリジナル曲の作成②	配布資料 オリジナルの楽曲を制作する	オリジナル曲の完成
13	MIDIシーケンサーの知識と活用(5) ・作品の相互鑑賞と自己評価・相互評価	他者が制作した楽曲の鑑賞と評価を行う	MIDIシーケンサーによる楽曲の制作過程の復習
14	MIDIシーケンサーの知識と活用(6) ・MIDIシーケンサーによるリアルタイム録音	配布資料	配布資料の復習
15	MIDIシーケンサーの知識と活用(7) ・MIDIシーケンサーと電子キーボード演奏の合奏	配布資料	配布資料の復習
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標① … 期末試験 40点満点 目標② … 課題（作品）の提出 40点満点 目標③ … 授業の振り返り・自己評価・相互評価の提出 20点満点			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 演習で作成した課題などを保存しておくための外部メディアとしてUSBフラッシュメモリを各自で準備してください。 2. 授業の復習や課題（作品）制作のために授業外でもコンピュータ教室は使用できます。積極的に使用し、課題の提出が遅れることのないようにしてください。			

授業科目名	スマートフォン活用法		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任講師 桑木道子		開講期	前期
			授業回数	8回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	宮城県内公立職業能力開発校および専門学校講師（情報処理科目） （平成6年4月～平成31年3月） 宮城県公立および私立高等学校非常勤講師（教科「情報」） （平成21年4月～平成31年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻博士課程前期2年の課程修了 修士（情報科学） 第一種情報処理技術者、職業訓練指導員免許「情報処理科」 高等学校教諭専修免許「情報」、高等学校教諭第一種免許「数学」 情報処理学会、日本教育工学会、教育システム情報学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>この授業では、近年普及と活用が拡大傾向にあるスマートフォンを、授業や業務で効果的に活用する方法をグループワークにより検討し、活用の実践を行います。</p> <p>また、保育学科の学生がスマートフォンをより効果的に活用できることを目的に、その活用法を提案書としてまとめます。</p>	<input type="radio"/> A	知識
	<input type="radio"/> B	技能
	<input type="radio"/> C	論理的思考力
	<input type="radio"/> D	文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/> E	課題対処力
	<input type="radio"/> F	多様性の理解力
	<input type="radio"/> G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/> ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/> イ	ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/> ウ	グループワーク	
<input type="radio"/> エ	プレゼンテーション	
<input type="radio"/> オ	実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① スマートフォンを活用する上で必要なセキュリティ関連の基礎知識を得る	目標	A
② 授業および保育分野におけるスマートフォン活用の提案ができる	目標	A・B・C
③ 授業および保育分野におけるスマートフォンの活用法を習得する	目標	A・B

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> ・スマートフォン利用に関するセルフアセスメント企業等におけるスマートフォン活用実態の把握 ・SNSを活用した情報発信の留意点 ・授業を通して使うアプリ（Gmail、Evernote、Slack）のインストールと簡単な操作説明	授業計画 経済産業省による統計資料などの配布資料	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	スケジュール管理(1) ・調査・活用法の検討	配布資料等をもとに グループでのディスカッション	予習：アプリの調査 復習：活用の実践
3	スケジュール管理(2) ・活用法の提案	各自の活用報告をもとに グループでのディスカッション Evernoteで提案書を作成	予習：活用報告をまとめる
4	授業における活用(1) ・調査・活用法の検討	配布資料等をもとに グループでのディスカッション	予習：アプリの調査 復習：活用の実践
5	授業における活用(2) ・活用法の提案	各自の活用報告をもとに グループでのディスカッション Evernoteで提案書を作成	予習：活用報告をまとめる
6	保育関連分野における活用(1) ・調査・活用法の検討	配布資料等をもとに グループでのディスカッション	予習：アプリの調査 復習：活用の実践
7	保育関連分野における活用(2) ・活用法の提案	各自の活用報告をもとに グループでのディスカッション Evernoteで提案書を作成	予習：活用報告をまとめる
8	これまでに提案した活用法についての意見交換 スマートフォン利用に関するセルフアセスメント	Slackで意見交換	予習：これまでの活用報告をふりかえる
期末試験	前期末試験 (レポート)		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標① … 期末試験40点満点 目標② … 提案書3回×5点=15点満点 目標③ … 意見交換5点満点 目標④ … 授業後のふりかえり8回×5点=40点満点			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 各自所有のスマートフォン (Android、iPhone等) を持参してください。iPad等のタブレット端末の持込みも可とします。 2. Wi-Fi環境が整備された教室で授業を行い、無料アプリを使用します。ただし、授業中に発生したパケット通信料金は自己負担とします。 3. 授業を通して使用するアプリ (Gmail、Evernote、Slack) の合計サイズは400MB程度です。そのほかに、各自が調査のためにインストールするアプリやデータが入る分の容量が必要となります。 4. 授業中にバッテリー切れにならないように授業前に自宅で充電をしてきてください。モバイルバッテリーの利用を推奨します。			

授業科目名	スマートフォンのモラルとリスク	授業形態・単位数	演習・1単位
		開講年次	1年次
担当教員	兼任講師 桑木道子	開講期	後期
		授業回数	8回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	宮城県内公立職業能力開発校および専門学校講師（情報処理科目） （平成6年4月～平成31年3月） 宮城県公立および私立高等学校非常勤講師（教科「情報」） （平成21年4月～平成31年3月）		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻博士課程前期2年の課程修了 修士（情報科学） 第一種情報処理技術者、職業訓練指導員免許「情報処理科」 高等学校教諭専修免許「情報」、高等学校教諭第一種免許「数学」 情報処理学会、日本教育工学会、教育システム情報学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択	
保育士資格	教養教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>インターネットに接続できるスマートフォンやタブレット端末の普及により私たちの生活は便利になりました。その反面、情報技術を悪用したトラブルや事件なども増えてきています。</p> <p>この授業では、そのようなトラブルや事件などから身を守るために最低限必要な情報モラルおよび情報セキュリティに関する知識を習得した上で、情報社会におけるスマートフォンやタブレット端末を活用する際の望ましい態度について考えます。</p>	<input type="radio"/> A	知識
	<input type="radio"/> B	技能
	<input type="radio"/> C	論理的思考力
	<input type="radio"/> D	文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/> E	課題対処力
	<input type="radio"/> F	多様性の理解力
	<input type="radio"/> G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/> ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/> イ	ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/> ウ	グループワーク	
<input type="radio"/> エ	プレゼンテーション	
<input type="radio"/> オ	実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 情報社会における問題の現状を理解する	目標	A・C
② 情報モラルおよび情報セキュリティに関する知識を習得する	目標	A・C
③ スマートフォンやタブレットを活用する際の望ましい態度を身につける	目標	A・B・C

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> ・スマートフォン利用に関するセルフアセスメント ・企業等におけるスマートフォン活用実態の把握 ・SNSを活用した情報発信の留意点	授業計画 配布資料	復習：授業のふりかえり

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	情報と情報社会	テキスト1章 グループディスカッション	予習：テキストを読む 復習：授業のふりかえり
3	個人情報と知的財産	テキスト2章 グループディスカッション	予習：テキストを読む 復習：授業のふりかえり
4	ネットにおけるコミュニケーションとマナー	テキスト3章 グループディスカッション	予習：テキストを読む 復習：授業のふりかえり
5	情報社会における生活	テキスト4章 グループディスカッション	予習：テキストを読む 復習：授業のふりかえり
6	情報セキュリティとネット被害	テキスト5章 グループディスカッション	予習：テキストを読む 復習：授業のふりかえり
7	まとめのプレゼンテーション資料作成	グループワーク	復習：授業のふりかえり
8	プレゼンテーション	グループ単位で発表 ピアアセスメント	復習：授業のふりかえり
期末試験	後期末試験(レポート)		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に依る到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標① … 期末試験40点満点 目標② … プレゼンテーション20点満点 目標③ … 授業後のふりかえり8回×5点=40点満点			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版 著者名：情報教育学研究会(IEC)・情報倫理教育研究 グループ 発行所：実教出版 価格：450円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各自所有のスマートフォン(Android、iPhone等)を持参してください。iPad等のタブレット端末の持込みも可とします。</li> <li>Wi-Fi環境が整備された教室で授業を行い、無料アプリを使用します。ただし、授業中に発生したポケット通信料金は自己負担とします。</li> <li>授業中にバッテリー切れになることがないように授業前に自宅で充電をしてきてください。モバイルバッテリーの利用を推奨します。</li> </ul>			

授業科目名	生活教養		授業形態・単位数	講義及び演習 4単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 わた なべ まさ こ 渡 辺 雅 子		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島女子短期大学（現福島学院大学）事務局研修担当 （平成元年4月～平成6年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	伊達市子ども・子育て会議委員、伊達市学校施設活用審議会委員			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島女子短期大学（現福島学院大学短期大学部）準学士 日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	120時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは前期と後期の最初の授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>学外実習にあたって、就職してからも、現代社会では、コミュニケーション能力が求められています。そのコミュニケーション能力の基本の一つに「マナー」があげられます。</p> <p>本授業では、品格ある教養を兼ね備えた社会人を目指すことを目的に、授業の前半は、社会生活をおくる上で必要な人間関係を円滑に図るため基本的なマナー（言葉遣いのマナー、訪問のマナー、応対のマナー、電話のマナーなど）を、これからの生活の中でも十分に活用できるように演習や事例研究を通して修得していきます。</p> <p>授業の後半では、会食のマナー（日本料理、西洋料理、中国料理、パーティーの基礎知識）、冠婚葬祭お付き合いのマナーについて、演習や実践を通して学んでいきます。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
	○	G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
○	オ	実習・フィールドワーク		
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 （受講して得られる力）</b>		
①	社会人としての基本マナー（言葉遣い・訪問・応対・電話等のマナー）を身に付ける	目標	A・B・G	
②	冠婚葬祭お付き合いのマナーの基礎知識を修得する	目標	A	
③	会食のマナー（食作法）について、実践を通して身に付ける	目標	A・B・G	
<b>授業計画</b>				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	<p>オリエンテーション</p> <p>授業概要と到達目標、授業内容（学外授業を含む）、評価、その他</p> <p>あなたのマナー好感度はどれくらい？</p> <p>訪問のマナー(1)</p> <p>訪問前の準備、手土産について</p>	<p>授業計画</p> <p>教科書・配布資料・スライド</p> <p>DVD「五節句」「長寿の祝い」</p> <p>各5分</p>	<p>授業計画</p> <p>教科書P32～37、160、164～165、171を見ておく</p>	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	訪問のマナー(2) 玄関先でのマナー、席次のマナー 客間でのマナー①	教科書・配布資料・スライド DVD「スマートなマナー①」5分 「和室での作法」7分 「上座・下座」5分	教科書P27～37、44～48、 配布資料を見て、席次の 課題①をまとめる(A4 判1枚)
3	訪問のマナー(3) 客間でのマナー②、辞去のマナー ◎事例研究①	課題①の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「スマートなマナー②」5分	課題② 実習先に訪問した際の言 葉遣いをまとめる(A4 判1枚)
4	訪問のマナー(4) ◎事例研究② 茶菓のいただき方 もてなしのマナー	課題②の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「スマートなマナー③」5分 「煎茶のいれ方」3分 茶菓の出し方の演習	課題③ 訪問のマナー小テストの 準備
5	◆小テスト①：訪問のマナー 電話のマナー(1) 対応のポイント、かけ方(基本編) ◎かけ方の演習①	教科書・配布資料・スライド 電話機を使用しての演習：事例研究	課題④ 実習先に電話をかける際 の言葉遣いをまとめる (A4判1枚)
6	電話のマナー(2) かけ方(応用編) ◎かけ方の演習②	課題④の発表・解説 前回実施の小テスト(返却)・解説 教科書・配布資料・スライド 電話機を使用しての演習：事例研究	課題⑤ 就職活動で電話をかける 際の言葉遣いをまとめる (A4判1枚)
7	電話のマナー(3) 受け方(基本編) 受け方(応用編)① ◎受け方の演習①	課題⑤の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 電話機を使用しての演習：事例研究 DVD「家族からの電話」3分	課題⑥ 職場で電話を受ける際の 言葉遣いをまとめる(A 4判1枚)
8	電話のマナー(4) 受け方(応用編)② ◎受け方の演習② 伝言メモ作成の留意点	課題⑥の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 電話機を使用しての演習：事例研究 DVD「会社の星：電話」7分 伝言メモの作成(演習)①	課題⑦ 職場で電話を受ける際の 言葉遣いをまとめる(A 4判1枚)
9	電話のマナー(5) 受け方(応用編)③ ◎受け方の演習③	課題⑦の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 電話機を使用しての演習：事例研究 伝言メモの作成(演習)②	課題⑧ 伝言メモ(3種類)の作 成、清書 課題⑨ 電話のマナー小テストの 準備
10	◆小テスト②：電話のマナー 対応のマナー(1) 来客対応の心構え お迎え(基本編) 名刺の受け渡し	課題⑧の発表(実物投影機)・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「会社の星：名刺」5分 名刺と名刺入れを使用しての演習 (二人一組)	課題⑩ 職場でお客様を迎える際 の言葉遣いをまとめる (A4判1枚)
11	対応のマナー(2) お迎え(応用編) 取次ぎ 案内 見送り	前回実施の小テスト(返却)・解説 課題⑩の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 事例研究(アポイントメントがない ケース他) DVD「案内の仕方」3分	課題⑪ 教科書P128～134を見て 今まで経験した中で、食 事の仕方の質問事項をま とめておく(A4判1枚)

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
12	会食のマナー：西洋料理(1) メニュー、テーブルセッティング、 レストランでの基本マナー、会食時の話題 ◆学外授業「テーブルマナー演習」事前指導(1)	課題⑪の発表・解説 教科書・配布資料・スライド ナプキン、カトラリー、洋食器等を 使用しての演習	課題⑫ テーブルマナー演習事前 レポートの準備 (A 4判 1枚)
13	会食のマナー：西洋料理(2) 食べ方の基本マナー① ◆学外授業「テーブルマナー演習」事前指導(2)	教科書・配布資料・スライド ナプキン、カトラリー、洋食器等を 使用しての演習 DVD「スマートな食べ方の流儀① ②」10分(5分×2項目)	課題⑫ テーブルマナー演習事前 レポートの作成(A 4判 1枚)
14	会食のマナー：西洋料理(3) 食べ方の基本マナー② グラスの扱い方・乾杯のマナー 難しい料理の食べ方(応用編) 西洋料理における酒の知識 ◆学外授業「テーブルマナー演習」事前指導(3)	教科書・配布資料・スライド ナプキン、カトラリー、洋食器、グ ラス等を使用しての演習 DVD「スマートな食べ方の流儀③ ④」10分(5分×2項目)	課題⑬ ナプキン・カトラリーの 使い方を日常生活で実践 する 課題⑭ 教科書P50～68を見て言 葉遣いのプリントをまと めておく
15	◆学外授業「テーブルマナー演習」事前指導(4) 言葉遣いと人間関係のマナー 社会生活での言葉のルール 前期のまとめ・前期末試験の説明	課題⑭の発表・解説 教科書・配布資料・スライド	前期末試験に向けて、教 科書・配布資料等、既修 内容を再確認
期末 試験	期末試験(中間試験)	筆記試験	前期末試験に向けて、教 科書・配布資料等、既修 内容を再確認
16	◆学外授業「テーブルマナー演習」実施 ① 特別講義「現代の結婚式事情」30分 ② 西洋料理テーブルマナー演習 90分	西洋料理テーブルマナーの実践 9月30日(水) 11:00～13:00 ウエディングエルティにて実施予定	課題⑮ テーブルマナー演習事後 レポートの作成(A 4判 2枚)
17	前期末試験の解説 ◆学外授業「テーブルマナー演習」事後指導 会食のマナー：日本料理(1) 日本文化としての箸のマナー	課題⑫⑮の提出 前期末試験返却・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「箸のマナー」20分 箸・椀を使用しての演習	課題⑯ カイセキ料理(会席料理・ 懐石料理)について調べ ておく(A 4判 1枚)
18	会食のマナー：日本料理(2) 日本料理の流れ(種類) 食べ方の基本マナー 日本酒の基礎知識	課題⑯の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「会席と懐石」7分 「土瓶蒸しの食べ方」3分 箸・椀・和食器等を使用しての演習	課題⑰ 中国料理(4大料理)に ついて調べておく(A 4 判 1枚)
19	会食のマナー：中国料理(1) 中国料理の種類 中国料理の基礎知識	課題⑰の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「高級中国料理を学ぶ」 30分(10分×3回) 箸・レンゲ・中国食器等を使用し ての演習	課題⑱ 中国料理(飲茶)につい て調べておく(A 4判 1 枚)

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
20	会食のマナー：中国料理(2) 食べ方の基本マナー 中国茶・中国酒の基礎知識	課題⑱の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「中国茶」7分 箸・レンゲ・中国食器等を使用しての演習	課題⑲ バイキングとビュッフェについて調べておく (A4判1枚) 課題⑳ 会食のマナー小テストの準備
21	会食のマナー：パーティーのマナー パーティーの基礎知識 立食パーティーのマナー 服装のマナー ◆小テスト③：会食のマナー (総合問題)	課題⑲の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「会食マナー①」7分 皿・グラス・カトラリー等を使用しての演習 グループワーク(ディスカッション) DVD「会食マナー②」10分	課題㉑ 学外授業時の資料を参考に挙式のスタイルをまとめておく (A4判1枚)
22	冠婚葬祭お付き合いのマナー 結婚式・披露宴での招待客のマナー(1) 招待状の返信・お祝い電報 祝品	前回実施の小テスト(返却)・解説 課題㉑の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 返信用ハガキの書き方(演習) DVD「六曜」7分	課題㉒ お祝い電報を作ってみる(電文・台紙の選択・金額の算出)
23	冠婚葬祭お付き合いのマナー 結婚式・披露宴での招待客のマナー(2) 祝金・かけ紙と祝儀袋の表書き	課題㉒の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「ウエディングマナー①」10分 祝儀袋の表書きの演習	課題㉓ 表書きを筆ペンで書いてみる
24	冠婚葬祭お付き合いのマナー 結婚式・披露宴での招待客のマナー(3) 服装と当日のマナー	課題㉓の発表(実物投影機)・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「ウエディングマナー②」10分 グループワーク(ディスカッション) 袱紗と祝儀袋を使用しての演習	課題㉔ 授業で視聴したDVDの披露宴受付時のパッドマナーについてまとめておく
25	冠婚葬祭お付き合いのマナー 人生の祝い事(赤ちゃん・子どもの祝い事) 帯祝から十三参りまで	課題㉔の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「七五三の由来」3分 「内祝い」7分	課題㉕ 五節句・二十四節気・雑節について調べておく (A4判1枚)
26	冠婚葬祭お付き合いのマナー 年中行事(1) 暦の基礎知識 お正月	課題㉕の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「お正月の過ごし方」30分(15分×2回)	課題㉖ 自分の誕生月の行事を一つ取り上げ由来や祝い方をまとめておく (A4判1枚)
27	冠婚葬祭お付き合いのマナー 年中行事(2) 1月から6月までの行事	課題㉖の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「節分」10分 「ひな祭り」8分 「端午の節句」4分	課題㉗ 自分が通っていた幼稚園・保育所等で行われた行事をまとめておく (A4判1枚)
28	冠婚葬祭お付き合いのマナー 年中行事(3) 7月から12月までの行事	課題㉗の発表・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「七夕の祝い」6分 「8・9月の行事」各8分 「クリスマスって何？」5分	課題㉘ お悔やみ電報を作ってみる(電文・台紙の選択・金額の算出)

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
29	冠婚葬祭お付き合いのマナー 弔問のマナー(1) 葬式のスタイル、葬式の手順、お悔やみ電報、供物・供花、弔慰金、不祝儀袋の表書き	課題⑳の発表・解説 教科書・配布資料・スライド 不祝儀袋の表書きの演習	課題㉑ 表書きを薄墨の筆ペンで書いてみる
30	冠婚葬祭お付き合いのマナー 弔問のマナー(2) 服装のマナー 通夜・告別式への参列のマナー 後期のまとめ	課題㉑の発表(実物投影機)・解説 教科書・配布資料・スライド DVD「お香典・お焼香悩み解決」 12分 焼香・玉串奉奠・献花の演習 袱紗と不祝儀袋を使用しての演習	後期末試験に向けて、教科書・配布資料等、既修内容を再確認
期末試験	後期末試験	筆記試験	後期末試験に向けて、教科書・配布資料等、既修内容を再確認
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標① … 前期末試験(筆記試験) 30% 目標② … 後期末試験(筆記試験) 30% 目標③ … テーブルマナー演習(事前レポート5%・事後レポート15%) 20% 目標① … 前期小テスト(2回×5%) 10% 目標③ … 後期小テスト(1回:グループごとに実施) 10% *その他、評価に関する共通理解に則る減点を総合点から行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名:新生活教養 — 社会人としての基本マナー — 著者名:近喰晴子・三村善美他 発行所:建帛社 価格:2,000円(税別) ※授業内容に応じて参考資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 配布資料を整理するための専用ファイル(A4判)を1冊準備してください。 2. 学外授業など、指定された場合にはスーツを着用してください。 3. 基本実習、学外授業の日程、授業の進捗状況により、授業内容の入れ替えや授業内容の一部を変更する場合があります。 4. 遅刻をした場合は授業終了時に必ず申し出てください。(申し出がない場合は出席扱いとはしないので注意してください) 5. 学外授業「テーブルマナー演習」は、こども学科と保育学科、2学科合同で実施します。 *9月30日(水) 11:00~13:00 ウエディングエルティにて実施予定です。必ず出席してください。 6. 学外授業「テーブルマナー演習」食事代の一部として、一人あたり2,200円の実費を徴収します。 その他の経費は大学で補助します。			

授業科目名	美術演習（造形を楽しむ）		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任准教授 鈴木美樹		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	幼稚園教諭免許状対象 教員免許状更新講座 講師（平成23年～現在）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	武蔵野美術大学大学院造形研究科日本画コース修了 芸術学修士 学芸員資格、中学校教諭一種免許（美術）、高等学校教諭専修免許（美術） 美術科教育学会、全国造形美術教育教員養成協議会会員			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>「美術」は、ものの見方を広げると同時に、コミュニケーションを可能にしてくれます。本演習では、専門性につながるそれら教養としての「美術」を学ぶものです。</p> <p>具体的には造形表現を通して、ものを作りだす喜びを味わいます。季節感のある製作を行うことで自然や文化に親しみ、月ごとの「歳時記」の記述を通して感性を豊かにします。また、美術を通じた幼児教育の教材映像視聴と解説も行います。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	アクティブラーニングの要素			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	○	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 「作品」の製作を通して、美術の楽しさや奥深さを味わうことができる	目標	A・B・D		
② 自然に対する興味・関心が育ち、そこから生み出された文化への理解を深めることができる	目標	A・D		
③ 作品の製作や鑑賞を通して、美的感性が養われ、美術の基礎技能や表現力を高めることができる	目標	A・B・D		
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション、今後の学習の進め方 キャンパス内で自然観察を行う (自然観察のポイント)	授業計画 プリント① ※キャンパス内散策は天候による散策の感想を述べ合う	自然観察と記録作成 プリント①の復習 ワークシートの記入と提出	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	季節や行事のカードをつくってみよう(1) ～立体カードの構造を知る	プリント② アイデアスケッチをする 画用紙、カッターなどで製作する	自然観察と記録作成 プリント②の復習 空き時間を使って課題を進める
3	季節や行事のカードをつくってみよう(2) ～基本のつくり方	プリント③ 画用紙、カッターなどで製作する	自然観察と記録作成 プリント③の復習 空き時間を使って課題を進める
4	季節や行事のカードをつくってみよう(3) ～基本から応用へ	プリント④ 画用紙、カッターなどで製作する	自然観察と記録作成 プリント④の復習 空き時間を使って課題を進める
5	季節や行事のカードをつくってみよう(4) ～様々な方法を試してみる 作品の鑑賞	画用紙、カッターなどで製作する 他者の作品に触れ、感想を述べ合う	自然観察と記録作成 プリント⑤の予習 空き時間を使って課題を進める
6	季節感のある造形を楽しもう(1) ～資料収集。作りたい物のイメージを膨らませる	プリント⑤ アイデアスケッチをする	自然観察と記録作成 プリント⑤の復習 空き時間を使って課題を進める
7	季節感のある造形を楽しもう(2) ～スケッチをもとに、製作する	スケッチをもとに製作する 他者の作品に触れ、感想を述べ合う	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める プリント⑥の予習
8	光と影で表現してみよう(1) ～スタンドグラス製作の説明、下がり	プリント⑥ 画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 プリント⑥の復習 空き時間を使って課題を進める
9	光と影で表現してみよう(2) ～スタンドグラス製作の説明、 下がきの完成(図案を決める)	画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める
10	光と影で表現してみよう(3) ～画用紙に転写し切り始める	画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める
11	光と影で表現してみよう(4) ～画用紙を切り抜き、フィルムに貼る	画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める
12	光と影で表現してみよう(5) ～配色について	画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める
13	光と影で表現してみよう(6) ～スタンドグラスの完成	画用紙、鉛筆などで製作する	自然観察と記録作成 空き時間を使って課題を進める プリント⑦の予習

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	「自然」と「芸術」を通した幼児教育を知ろう ～今日、世界で最も注目されている、イタリアの幼児教育の紹介	プリント⑦ 映像教材視聴（40分） 「レッジョ・エミリア市の挑戦—子どもの輝く創造力を育てる」 映像教材の感想や意見を述べ合う	自然観察と記録作成 プリント⑦の復習 ワークシートの記入と提出 空き時間を使って課題を進める
15	作品鑑賞とまとめ ～授業の振り返りと自己課題の確認	他者の作品に触れ、感想を述べ合う 半年間の感想を述べ合う	自然観察と記録作成 ワークシートの記入 ファイルの整理と提出準備
期末試験	期末試験 ～反省と感想も記入し、作品ファイルを完成させる	作品、プリント⑧ ファイルをまとめる	自然観察と記録作成 ワークシートの記入 ファイルの整理と提出
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 作品（提出状況や完成度）・提出物 70% 目標①②③ … 意欲や取り組み等の受講態度（作品制作への取り組み） 20% 目標①②③ … 期末試験 10% ※初回授業時に説明します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		その都度、紹介します。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 材料費として1,000円程度の実費を徴収します。 2. 各自の準備物として、A4判のクリアファイル（2リング）やクリアポケット、リサイクル品等が必要となります。 3. 実技を行うため、履修者は24名までとします。それを超える場合は調整することがありますが、特に第一希望の学生を優先します。 4. 履修人数や希望、天候、作業の進度により、一部内容が変わることもあります。			

授業科目名	文学演習（読み聞かせ）		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任講師 やすだ 安田 かつみ	開講期	前期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	フリーアナウンサー（平成10年4月～平成31年3月） 朗読教室（平成28年4月～平成31年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	法政大学社会学部社会学科（社会学士）			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>子どもの年齢や発達に合わせたお話の選び方や、実際にお話するときのポイントなどについて学びます。</p> <p>各作品の基本的な留意点を学んだ後、読み聞かせの練習、グループワーク、全体での発表会など実践的な授業を行い、保育現場で必要な読み聞かせの技術を身に付けます。</p> <p>伝統的な昔話のほか、子どもたちに聞かせたいお話、人気の絵本なども多数取り上げていきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
		C 論理的思考力
	○	D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 保育現場で読み聞かせをするときの基本的な知識を習得する	目標	A
② 聞き取りやすく、人を引き付ける読み聞かせの技術を身に付ける	目標	D

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と目標・進め方・評価方法など 思い出に残っている絵本について	授業計画 教科書 全体討議	
2	話し方の基礎・発声・発音 1歳から2歳くらいの子どものお話と 話し方のポイント	プリント 教科書P10～30 絵本	教科書P10～30 下読み
3	2歳から3歳くらいの子どものお話と 話し方のポイント(1) 「ももたろう」「おおきなかぶ」	教科書P32～34、P36～47 絵本 グループに分かれ練習発表	教科書P32～34、 P36～47下読み

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	2歳から3歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(2) 「おむすびころりん」「てぶくろ」	教科書P48～58 グループに分かれ練習発表	教科書P48～58下読み
5	3歳から4歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(1)	教科書P60～63 絵本	教科書P60～63下読み
6	3歳から4歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(2) 「3匹のこぶた」「大工とおに六」	教科書P64～70、P96～102 グループに分かれ練習発表	教科書P64～70、P96～102下読み
7	3歳から4歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(3) グリム童話について 「シンデレラ」原作との比較	教科書P77～85 「シンデレラ」原作	教科書P77～85下読み
8	読み聞かせの発表会	発表	発表の練習
9	4歳から5歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(1)	教科書P110～119 絵本	教科書P110～119下読み
10	4歳から5歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(2) 「さるかに」「花咲かじいさん」「かさじぞう」	教科書P120～133、P169～175 グループに分かれ練習発表	教科書P120～133、P169～175下読み
11	4歳から5歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(3) 「ねずみの嫁入り」「こびとのふしぎな白」	教科書P144～149、P161～168 グループに分かれ練習発表	教科書P144～149、P161～168下読み
12	4歳から5歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(4) 素話に挑戦 「北風と太陽」「よくばりな犬」「ぶたの計算」	教科書P185～197 グループに分かれ練習発表	教科書P185～197下読み
13	4歳から5歳くらいの子どもへのお話と話し方のポイント(5) 「三枚のお札」「こびととくつや」	教科書P176～184、P198～205 グループに分かれ練習発表	教科書P176～184、P198～205下読み
14	読み聞かせの発表会	発表	発表の練習
15	子どもたちと楽しみたい絵本 作品紹介	絵本	
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標① … 期末試験30点 目標② … 読み聞かせの発表50点 グループ発表20点 総計100点満点で評価 ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			

教科書	参考書
書名：お話とその魅力 著者名：相馬和子 他 発行所：萌文書店 価格：1,600円（税別）	特に指定しません。
その他補足事項	
1. 絵本は対象年齢に合わせて選び紹介し、授業内に学生同士で読み聞かせをします。 2. 実践的な練習をするため、教科書の下読みは必ずしてから授業に臨んでください。	

授業科目名	<b>教養演習 I (メンタルヘルス)</b>	授業形態・単位数	講義・2単位
		開講年次	1年次
担当教員	教授 <sup>うめ</sup> 梅 <sup>みや</sup> 宮 れいか	開講期	後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	日本学校心理士会福島支部会長 (平成30年6月～) 日本臨床発達心理士会研修委員 (平成27年～)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東海大学大学院文学研究科博士課程 (文学修士) 健康医学会、健康心理学会 学校心理士スーパーバイザー (学校心理士資格認定機構) 臨床発達心理士スーパーバイザー (臨床発達心理士認定運営機構)		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択	
保育士資格	教養教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは毎週火曜日午後、宮代キャンパス研究室		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>この授業は、ストレスと人体、社会生活との関係を理解し、ストレスマネジメントの方略について学びます。</p> <p>授業は、毎回のテーマを概観する講義と理解を深めるために映画の登場人物の心の動きを概観しながら、理解を深める2段階の授業を行います。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	ストレスに関する正確な知識を身に付ける	目標	A	
②	ストレスマネジメントの初歩的な方略を身に付ける	目標	B	
③	まごころを持って、ストレス軽減を担えるセンスを磨く	目標	G	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	オリエンテーション 現代人とストレス	授業の進め方の説明をします (授業計画) DVD「ベイマックス」30分	必ずB5判以上のノートを持参してください	
2	～ストレスがまねく うつ	予習のレビューで、有用なものを授業の導入とします	予習：レビューテーマ「朝食抜きと学力不振の関係について」400字	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	ストレスと自律神経 ～ストレスが生まれるシステム	予習レビューの授業導入活用 DVD「ストレスの最新治療」12分	予習：レビューテーマ「寒い朝に恋の告白は成功するか？」400字
4	ストレスと生活習慣病 ～ストレスが生活習慣病を作り出す	予習レビューの授業導入活用DVD 「キラーストレス」16分 DVD「カーズ」30分	予習：レビューテーマ「生活習慣病とは何か？」400字
5	ストレスと老化 ～ストレスホルモンと老化	予習レビューの授業導入活用 DVD「カーズ」40分	予習：レビューテーマ「老化とは？」400字
6	ストレスと豊かさ ～満たされ感について	予習レビューの授業導入活用 DVD「モアナと伝説の海」34分	予習：レビューテーマ「アメリカ国内の経済格差とは？」400字
7	アロマテラピー ～アロマテラピーの歴史、香料の抽出方法	予習レビューの授業導入活用 DVD「精油物語」16分	予習：レビューテーマ「クリスマスの香料について」400字
8	愛と救い	予習レビューの授業導入活用 DVD「美女と野獣」40分	予習：レビューテーマ「東洋医学と西洋医学の違い」400字
9	リフレクソロジー事故の問題 ～危険な慰安産業の実態	予習レビューの授業導入活用 DVD「クローズアップ現代、リフレクソロジー事故の実態」30分	予習：レビューテーマ「リフレクソロジーの定義」400字
10	ユマニチュード ～最新のストレス対処法(1)	予習レビューの授業導入活用 DVD「Humanitude」20分	予習：レビューテーマ「激怒する老人の実態」400字
11	アイデンティティと救い	予習レビューの授業導入活用 DVD「ウオーリー」43分	予習：レビューテーマ「アイデンティティ」400字
12	マインドフルネス ～最新のストレス対処法(2)	予習レビューの授業導入活用 DVD「ストレスと現代の癒し」26分	予習：レビューテーマ「マインドワンダリングとは？」400字
13	ストレスと家族	予習レビューの授業導入活用 DVD「リメンバーミー」40分	予習：レビューテーマ「ホスピス」400字
14	ストレスと希望	予習レビューの授業導入活用 DVD「ズートピア」37分	予習：レビューテーマ「元気が出ることは？」400字
15	総ディスカッション テーマ「ストレスで痛んでる人を『真心』でどう助けるか？」	ディスカッションはテーマにいたるまで、レポートに関する複数の質問をします	予習：総ディスカッションの準備としてレポートの提出を求めます
期末試験	期末試験	論述題 3問	
<b>期末試験の講評</b>			
希望者には、総ディスカッション準備レポート、期末試験の講評をオフィスアワーで行います。 メールでアポイントメントを取ってください。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 期末試験（各30点の平均値）  
 目標③ … 総ディスカッションの発言20点満点、準備レポート20点満点  
 目標①② … レビュー40点満点  
 総計110点満点で評価（100点を超えたものは一律100点とします）。  
 ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。

教科書	参考書	図書館購入・本人購入の別
使用しません。	書名：ストレスの生物学 著者名：室伏きみ子	1. 宮代図書館購入（各5冊） 2. 本人購入（0冊）
	書名：ニールズヤード式 アロマセラピーレッスン 著者名：ニールズヤード スクール オブ ナチュラルメディスンズ	
<b>その他補足事項</b>		
1. レビューは、ネットで調べたような内容ではなく、図書館で文献にあたって調べたものを高く評価します。 2. 総ディスカッションは、発言した者のみ加点の対象とします。		

授業科目名	国際理解演習（シンガポール）		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1・2年次
担当教員	兼任教授 <small>なか まる かず し</small> 中丸一志		開講期	後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	株式会社ナカノフドー建設 建築施工管理10年、建築設計及び工事監理24年			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	日本大学工学部 工学士、一級建築士、設備設計一級建築士 一級建築施工管理技士、宅地建物取引主任者、建築学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	選択		
開講キャンパス	福島駅前キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>「体験を通しての国際理解」</p> <p>国際理解演習「シンガポール研修旅行」を実施し、実地研修を行います。</p> <p>事前授業では、シンガポールの歴史や文化について学ぶほか、各自が設定したテーマに基づき調査研究します。また、それについての個別指導を行います。</p>	○	A	知識	
			B	技能
			C	論理的思考力
			D	文章・身体・感性等に関する表現力
			E	課題対処力
	○	F	多様性の理解力	
	○	G	対人関係構築力	
			アクティブラーニングの要素	
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
	○	エ	プレゼンテーション	
	○	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	集団行動に関するマナーの取得、旅行計画の立案等を学習できる	目標	A	
②	ホスピタリティとインバウンド、イノベーションを学ぶことができる	目標	A	
③	各自の興味ある分野（ビジネス、観光、デザイン、建築など）を事前調査し、現地体験することによって理解を深めることができる	目標	F・G	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション（授業の進め方・評価方法他） 研修旅行の意義・目的 シンガポールの歴史（歴史・人種・言語）	授業計画 配布資料 インターネット検索	シンガポールへの興味・感心を確認	
2	シンガポールの地理・気候・経済・産業（貿易・観光）	配布資料 インターネット検索	シンガポールの調査	
3	シンガポールの街並みと建築、交通事情	配布資料 インターネット検索	シンガポールの調査	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	シンガポールの食文化 入国手続きほか事前準備・現地の法律について	配布資料 インターネット検索	シンガポールの調査
5	現地での行動について(渡航前の最終確認) 各グループの旅行程プレゼンテーション	配布資料 インターネット検索	シンガポールの調査
6	現地体験(1)／1コマ 飛行機、空港、ホテル内のマナー等の注意事項確認 (移動バス内)、飛行機搭乗(羽田=SG)	シンガポール海外研修の実施 2021年2月21日～26日6日間 予定、全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
7	現地体験(2)／1コマ ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ、マーライオンパーク他	シンガポール研修の実施 全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
8 9	現地体験(3)／2コマ ニューウォータービジターセンター視察 各自のテーマによる自主研修①	シンガポール研修の実施 全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
10 11	現地体験(4)／2コマ 各自のテーマによる自主研修②	シンガポール研修の実施 全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
12 13	現地体験(5)／2コマ 各自のテーマによる自主研修③	シンガポール研修の実施 全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
14 15	現地体験(6)／2コマ 各自のテーマによる自主研修④	シンガポール研修の実施 全体及び個別指導	シンガポール観光・体験
期末 試験	最終レポート発表	プレゼンテーションの 評価・指導	プレゼンテーションの 練習
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>目標①② … 事前レポート20点、最終レポート40点で評価します。</p> <p>目標③ … 団体行動・グループ行動の在り方を40点で評価します。</p> <p>※海外研修における所定の全プログラムに出席してください。ただし、体調不良もしくは病気・怪我等で所定のプログラム(オプションプログラムを除く。)に出席できなかった場合は、1プログラムごとに5点の減点として成績の評価を行います。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. シンガポール渡航費用、海外での食事代・交通費、海外旅行保険費用が必要となります。</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 最少催行人数10名、最高催行人数は15名とします。なお、履修者が10名に達しない場合、または、履修放棄などによって、履修者が10名を割り込んだ場合は、学期の途中であっても休講となる場合があります。</p> <p>(2) 履修登録は後期履修登録時とし、事前授業は10月下旬より指導を開始します。</p> <p>(3) 単位の認定が3月末となるため、卒業年次生は卒業単位数に含めないでください。</p>			

授業科目名	<b>体 育 講 義</b>		授業形態・単位数	講義・1単位
			開講年次	1年生
担当教員	准教授 <sup>ふじもと</sup> 藤本 <sup>かなめ</sup> 要	開講期	後期	
		授業回数	8回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員 (2004年まで6年間) 全国私立短大体育大会運営委員競技副委員長、テニスの部競技委員長 (日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員在籍中) 国見町子ども・子育て支援推進協議会委員 (2015年まで2年間)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		日本体育大学体育学部健康学科卒業 学士 (体育学) 日本体育大学体育専攻科修了 (高等学校教諭一級免許状取得) 中学校教諭一級免許状 (保健体育)、高等学校教諭一級免許状 (保健体育) 衛生管理者証、スキーバッジテスト2級 (SAJ)、柔道初段 (講道館) パラグライダーパイロット技能証 (JHF) スクーバダイビングオープンウォーター (DACS、CMAS) 日本応用心理学会、日本ブリーフセラピー協会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	必修	
保育士資格		教養教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		29時間
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワー：研究室前に掲示 (金曜3時限/12:50~14:30)		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>自分の身体の仕組みについて理解し、健康の概念、スポーツと健康の関わり、健康を阻害する諸要因(薬物・環境・加齢等)を知ることで、自身の健康的な生活の具現化に繋がります。</p> <p>傷害とその処置等から健康についての知識を深めていきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 健康な生活を送るうえで必要な知識を習得する	目標	A
② 健康とスポーツとの関わりについて理解する	目標	A・C
③ 自分の身体の仕組みについて理解する	目標	A

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション からだを考える (骨、筋肉、呼吸循環機能、肥満他)	授業計画 配布資料を使用した講義 グループワーク：体の仕組みと肥満度(BMI計算)	からだのしくみについての復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
2	健康を考える (健康観の変遷、食事と栄養、睡眠、ストレス)	配布資料を使用した講義 グループワーク：健康の具現化策	健康観の変遷および食事と栄養について復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
3	病気を知る (死因順位と平均寿命、生活習慣病、喫煙、食中毒他)	配布資料を使用した講義 VTR「未知なるウィルスの襲撃」(20分)	病気についての復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
4	スポーツを考える(1) (運動と神経支配、スポーツの語源、健康に関する体力要素他)	配布資料を使用した講義 グループワーク：運動処方を作成	体力要素に関する復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
5	スポーツを考える(2) (運動に関する3原理5原則他)	配布資料を使用した講義 グループワーク：運動と健康の関係	運動に関する3原理5原則についての復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
6	スポーツを実践する (ウォーミングアップとクーリングダウン、全身持久力、筋力、柔軟性他)	配布資料を使用した講義 グループワーク：スポーツの実施計画作成	スポーツを実践するうえで大切なことについての復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
7	ケガを予防する (コンディション保持、疲労回復／マッサージ、アイシング、スポーツ障害、応急処置の基本／RICE)	配布資料を使用した講義 グループワーク：マッサージの種類と実際	疲労回復、応急処置に関する復習と次回のテーマに沿った予習をしておくこと
8	ケガの初期処置 (三角巾を使用した応急処置、止血法、テーピングの基本)	配布資料を使用した講義 VTR「スポーツ障害と応急処置」(25分) グループワーク：三角巾の使用方法	三角巾の使用方法等について復習し期末テストに備えた学習をしておくこと
期末試験	期末試験	ペーパーテストを実施	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 期末試験60点 目標①②③ … リアクションペーパー (小テスト) 20点 目標①②③ … グループワーク実施状況20点、 合計100点に加え、遅刻・早退、欠席による減点 (欠席1回3点減点、遅刻・早退1回1点減点)、 また授業に対する積極的発言を含む授業態度で加減点を行い、上限100点で評価を行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	

授業科目名	体育実技 (バドミントン)		授業形態・単位数	実技・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 藤本 要 兼任准教授 島田 貴広	ふじもと かなめ しまだ たかひろ	開講期	通年
			授業回数	20回
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		藤本：日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員（2004年まで6年間） 全国私立短大体育大会運営委員競技副委員長、テニスの部競技委員長 （日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員在籍中） 国見町子ども・子育て支援推進協議会委員（2015年まで2年間） 島田：特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		藤本：日本体育大学体育学部健康学科 体育学士 日本体育大学体育専攻科修了（高等学校教諭一級免許状） 中学・高等学校教諭一級免許状（保健体育）、衛生管理者証 日本応用心理学会、日本ブリーフセラピー協会 島田：東海大学体育学部体育学科 体育学士 日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科 修士（スポーツ科学） 中学・高等学校教諭専修免許状（保健体育） 日本体育学会、日本スポーツ運動学会、日本コーチング学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	必修（種目選択）	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	必修（種目選択）	
保育士資格		教養教育科目	必修（種目選択）	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		5時間
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>バドミントン種目における技術や知識を獲得し、健康・体力の維持向上を図りながら、継続してスポーツに親しむ習慣や態度を身に付けることをねらいとします。</p> <p>また実施に当たっては個人競技種目における技能レベルの差を考慮し、初心者と経験者を能力別に編成し、経験者には試合を多く取り入れた授業展開を行うことで、授業への参加意欲を高めるようにします。</p> <p>5つのフライングの種類と特性およびフォーメーションを理解し、最終的には試合の中で使用できるように戦術・戦略面での理解も深めていきます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>
① バドミントンのルールを理解し、ゲームを楽しむことができる		目標 A・B
② ドライブ、ハイクリア、サービスなどの基本技能ができる		目標 B
③ 戦術を工夫し、試合で生かすことができる		目標 B・E
④ トーナメントやリーグ戦などの組み立てができ、仲間と試合を楽しめる		目標 E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 今後の日程と授業展開・内容	講義 授業計画持参	授業計画を熟読しておく
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班編成</li> <li>・バドミントンの運動特性に応じた準備運動</li> <li>・基本技術(グリップ、ラケットの握り方)</li> </ul>		バドミントンの用語を予習してくる
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントンの運動特性に応じた準備運動</li> <li>・基本技術(グリップ、ラケットの握り方)</li> </ul>		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・ダブルスのルールを理解する</li> </ul>	グループワーク	ダブルスのルールを予習してくる
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;オーバーヘッドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;オーバーヘッドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;オーバーヘッドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;アンダーハンドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;アンダーハンドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;アンダーハンドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;アンダーハンドストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;サイドアームストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・基本技術&lt;サイドアームストローク&gt;</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試合に勝つためのダブルスの戦術・戦略</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シングルのルールを理解する</li> <li>・審判法</li> </ul>	グループワーク	シングルのルールを予習してくる
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シングル及びダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・リーグ戦及びトーナメント戦にて試合を実施</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シングル及びダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・リーグ戦及びトーナメント戦にて試合を実施</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シングル及びダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・リーグ戦及びトーナメント戦にて試合を実施</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シングルス及びダブルスの試合を中心に実施</li> <li>・リーグ戦及びトーナメント戦にて試合を実施</li> </ul>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
20	技能テスト		課題としている技能を練習しておく
<b>技能テストの講評</b>			
最終授業終了後、希望者には技能テストの講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に不達する到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標①②③ … 技能テスト 30点</p> <p>目標③④ … 試合中の観察評価（ルール・戦術理解）30点</p> <p>目標③④ … 授業参加時の態度 30点 （コートマナー・スポーツマンシップ・コート設営や片付けなどへの参加状況）</p> <p>目標①②③④ … 特記事項 10点 ※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価します。 （例）・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の模範となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。 ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。</p> <p>以上、合計100点満点で評価します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 服装はスポーツウェア上下、バドミントンシューズ（屋内用のスポーツシューズであれば可）を用意してください。</li> <li>2. 授業中、ネックレス、ピアスなどのアクセサリ類の着用は認めません。爪は怪我防止のため、手入れをしておいてください。長髪はゴムなどで束ねて運動の妨げにならないよう努めてください。</li> <li>3. 服装、身だしなみについて、注意を受けた場合はその都度、減点します。</li> </ol>			

授業科目名	<b>体育実技（バレーボール）</b>	授業形態・単位数	実技・1単位
		開講年次	1年次
担当教員	兼任准教授 <sup>しま</sup> <sup>だ</sup> <sup>たか</sup> <sup>ひろ</sup> 島田貴広	開講期	通年
		授業回数	20回
		期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東海大学体育学部体育学科 体育学士 日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科 修士（スポーツ科学） 中学・高等学校教諭専修免許状（保健体育） 日本スポーツ協会公認バレーボール指導員 日本体育学会、日本スポーツ運動学会、日本コーチング学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	必修（種目選択）	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	必修（種目選択）	
保育士資格	教養教育科目	必修（種目選択）	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	5時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>前半はバレーボールのルールの理解と、パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ブロックなど基本技能の獲得に重点を置きます。並行してゲームを行います。公式ルールに拘らず、技能レベルに合わせた簡易ゲームとし、学生相互のコミュニケーションを重視した内容とします。</p> <p>後半はゲーム中心に展開する中で、集団技能としてのコンビネーションプレーやフォーメーションなどの戦術を理解し、チームワークの形成とチームビルディングについて実践を通じて学びます。同時に、試合運営の方法や審判法について学習し、自立してスポーツ活動を行うための実践力を習得します。</p>	○ A	知識	
	○ B	技能	
		C	論理的思考力
		D	文章・身体・感性等に関する表現力
	○ E	課題対処力	
		F	多様性の理解力
		G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ	ディスカッション、ディベート
○ ウ		グループワーク	
	エ	プレゼンテーション	
○ オ		実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	バレーボールのゲームを楽しむために必要な基本技能を獲得する	目標	B
②	コンビネーションやフォーメーションなどの戦術的理解を深める	目標	A・B・E
③	チームづくりやチームワークを学ぶ	目標	A・E
④	バレーボールのルールやコートマナーを学ぶ	目標	A・E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
1	オリエンテーション 今後の日程と授業展開・内容や成績評価等に関する説明、グループ分け	講義 授業計画	バレーボールの用語を予習しておく
2	ボールを使ったウォーミングアップ・ボール慣れ・ストレッチ 基本技能(1) サーブとレシーブ（サーブを中心に）	グループワーク	6人制バレーボールのルールについて予習しておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	ボールを使ったウォーミングアップ・ボール慣れ・ストレッチ 基本技能(2) サーブとレシーブ (レシーブを中心に)	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
4	基本技能(3) パスの技術と動き (オーバーハンドパスを中心に) 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
5	基本技能(4) パスの技術と動き (アンダーハンドパスを中心に) 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
6	基本技能(5) ボールコントロール (ボールヒット) と スパイクの動き (ミートを中心に) 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
7	基本技能(6) ボールコントロール (ボールヒット) と スパイクの動き (ステップを中心に) 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
8	基本技能(7) スパイクとレシーブのドリル 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
9	基本技能(8) スパイクとブロックのドリル 簡易ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
10	基本の戦術(1) チーム編成と各プレイヤーの役割 (ローテーションの理解) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
11	基本の戦術(2) チーム編成と各プレイヤーの役割 (ポジションの理解) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
12	ディフェンスの戦術(1) サーブレシーブフォーメーション (5人でのレシーブ) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
13	ディフェンスの戦術(2) サーブレシーブフォーメーション (3～4人でのレシーブ) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
14	ディフェンスの戦術(3) ブロックとレシーブフォーメーション (マンアップフォーメーションの理解) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
15	ディフェンスの戦術(4) ブロックとレシーブフォーメーション (マウンドフォーメーションの理解) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
16	オフェンスの戦術(1) スパイクのコンビネーション (クイックを絡めたコンビネーション) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
17	オフェンスの戦術(2) スパイクのコンビネーション (移動を加えたコンビネーション) 6人制の練習ゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
18	公式戦の運営(リーグ戦)と審判法(1)	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
19	公式戦の運営(リーグ戦)と審判法(2)	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
20	技能テスト 技能チェックと評価 (ボールヒット、オーバーハンドパス、アンダーハンドパス) まとめのゲーム		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
<b>技能テストの講評</b>			
最終授業終了後、希望者には技能テストの講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>目標①②③ … 技能テスト 30点          目標③④ … 試合中の観察評価(ルール・戦術理解) 30点          目標③④ … 授業参加時の態度(コートマナー・スポーツマンシップ・コート設営や片付けなどへの参加状況) 30点          目標①②③④ … 特記事項 10点</p> <p>※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価します。          (例) ・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の模範となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。          ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。</p> <p>以上、合計100点満点で評価します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. 服装はスポーツウェア上下、バレーボールシューズ(屋内用スポーツシューズであれば可)を用意してください。          2. 授業中、ネックレス、ピアスなどのアクセサリ類の着用は認めません。爪は怪我防止のため、手入れをしておいてください。長髪はゴムなどで束ねて運動の妨げにならないよう努めてください。          3. 服装、身だしなみについて、注意を受けた場合はその都度、減点します。</p>			

授業科目名	<b>体育実技（バスケットボール）</b>	授業形態・単位数	実技・1単位
		開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <sup>みやざきとしかつ</sup> 宮崎利勝 〔本務先：仙台大学 職名：講師〕	開講期	通年
		授業回数	20回
		期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	筑波大学大学院（体育学修士） 日本体育学会、日本バイオメカニクス学会、日本陸上競技学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	必修（種目選択）	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	必修（種目選択）	
保育士資格	教養教育科目	必修（種目選択）	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	5時間
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に質問等への対応を行います。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>主に試合形式を中心に実施します。試合内においてシュートやドリブル、パスワークについての基本的技能を身につけていきます。また、戦術やルールについても簡易ゲームを用いながら理解を深めていきます。</p> <p>試合における審判の方法やトーナメント方式やリーグ戦方式などの運営についても理解を深め、スポーツ活動を自らが行える実践力を習得します。</p> <p>また、試合を通じ仲間とのコミュニケーションを積極的に図ることにより、協調性や対人関係についての能力の向上に繋げることができるようにします。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
	○	G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
○	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>		
①	ゲームを通じ実戦に用いられる基本的技能を習得する	目標	B	
②	ゲームを通じ戦術的な理解を深める	目標	A・B	
③	ゲームを楽しむチームワークやコミュニケーション能力を養う	目標	G	
④	ゲームを通じルールや審判法、運営について学ぶ	目標	A	
<b>授業計画</b>				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 今後の日程と授業展開・内容や成績評価等に関する説明、グループ分け	講義 授業計画	授業計画を熟読しておくこと	
2	基礎技術(1) ボールコントロール、ハンドリング、パッシング	グループワーク	用語やルールについて予習すること	
3	基礎技術(2) シューティング ドリブルとレイアップシュート	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	基礎技術(3) シューティング ジャンプシュートとリバウンド	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
5	基礎技術(4) パッシングとドリブル シューティングとの組み合わせ	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
6	基礎技術の総合練習 ドリブル ドリブルターン レイアップシュート ジャンプシュートの連続した組み合わせを体得	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
7	ゲーム (簡易化) 5対5のゲーム (シュートなし、ラインゴール形式)	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
8	ゲーム アウトナンバーのゲーム 基本技能①ドリブルの基本技能について	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
9	ゲーム アウトナンバーのゲーム 基本技能②ドリブルの基本技能について	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
10	ゲーム アウトナンバーのゲーム 基本技能③パスワークの基本的な技能について	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
11	バスケットボールの映像を視聴する	視聴覚教材を用いて、 戦術やルールを理解する (45分程度)	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
12	ゲーム 5対5による攻防の実践 マンツーマンディフェンスについて	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
13	ゲーム 5対5による攻防の実践 3点シュートによる展開	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
14	ゲーム 5対5による攻防の実践 リバウンドの影響について	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
15	ゲーム 5対5による攻防の実践 リーグ戦形式による①	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
16	ゲーム 5対5による攻防の実践 リーグ戦形式による②	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
17	ゲーム 5対5による攻防の実践 リーグ戦形式による③	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
18	ゲーム 5対5による攻防の実践 リーグ戦形式による④	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
19	オフェンス技術のまとめ オフェンスプレイに必要な基本的技術の総合練習	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
20	技能テスト 技能チェックと評価 (ドリブルチェンジ クロスオーバーシュート ゴールシュートまでのコンビネーションプレイ) まとめのゲーム		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する

**技能テストの講評**

最終授業終了後、希望者には技能テストの講評について説明します。

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）**

目標①② … 技能テスト 30点  
 目標②④ … 試合中の観察評価（ルール・戦術理解）30点  
 目標③ … 授業への意欲態度 30点  
 目標①②③④ … 特記事項 10点  
     ※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価します。  
     （例）・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の模範となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。  
     ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。

以上、合計100点満点で評価します。

**教科書**

**参考書**

使用しません。

特に指定しません。

**その他補足事項**

1. 服装はスポーツウェア上下、バスケットシューズ（屋内用スポーツシューズであれば可）を着用してください。着用していない場合は出席を認めない場合があります。
2. 授業中、ネックレス、ピアスなどのアクセサリー類の着用は認めません。爪は怪我防止のため、手入れをしておいてください。長髪はゴムなどで束ねて運動の妨げにならないよう努めてください。
3. 服装、身だしなみについて、注意を受けた場合はその都度、減点します。

授業科目名	<b>体育実技（卓球）</b>		授業形態・単位数	実技・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <sup>みやざきとしかつ</sup> 宮崎利勝 〔本務先：仙台大学 職名：講師〕		開講期	通年
			授業回数	20回
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	筑波大学大学院（体育学修士） 日本体育学会、日本バイオメカニクス学会、日本陸上競技学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	必修（種目選択）		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	必修（種目選択）		
保育士資格	教養教育科目	必修（種目選択）		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	5時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に質問等への対応を行います。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
<p>主に試合形式を中心に実施します。前半では基本技術の習得やルールなどについて内容を展開していきます。</p> <p>試合における審判の方法やトーナメント方式やリーグ戦方式などの運営についても理解を深め、スポーツ活動を自らが行える実践力を習得します。</p> <p>また、試合を通じ仲間とのコミュニケーションを積極的に図ることにより、協調性や対人関係についての能力の向上に繋げることができるようにします。</p>	○	A	知識		
	○	B	技能		
		C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
	○	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	○	イ	ディスカッション、ディベート		
○	ウ	グループワーク			
○	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
①	ゲームを通じ実戦に用いられる基本的技能を習得する	目標	B		
②	ゲームを通じ戦術的な理解を深める	目標	A・B		
③	ゲームを楽しみチームワークやコミュニケーション能力を養う	目標	G		
④	ゲームを通じルールや審判法、運営について学ぶ	目標	A		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 今後の日程と授業展開・内容や成績評価等に関する説明、グループ分け	講義 授業計画		授業計画を熟読しておくこと	
2	基礎技術(1) 各打法の紹介、ラケットの握り方、簡易ゲームの実施	グループワーク		用語やルールについて予習すること	
3	基礎技術(2) 打球時の基本姿勢、フォアハンド、簡易ゲームの実施	グループワーク		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	<b>基礎技術(3)</b> バックハンド、バックショート、裏面打法、簡易ゲームの実施	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
5	<b>基礎技術(4)</b> フットワーク、前後左右への動き、簡易ゲームの実施	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
6	<b>基礎技術(5)</b> 各種サーブとそのレシーブの紹介①、簡易ゲームの実施	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
7	<b>基礎技術(6)</b> 各種サーブとそのレシーブの紹介②、簡易ゲームの実施	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
8	<b>ゲームの方法 シングルス(1)</b> シングルの試合運営ならびにルールについて解説し、受講生同士で試合を行えるようにする	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
9	<b>ゲームの方法 シングルス(2)</b> 正規のルールによる審判法を解説し、受講生同士で試合を行えるようにする	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
10	<b>ゲームの方法 ダブルス(1)</b> ダブルスのフォーメーションについて解説し、受講生同士で試合を行えるようにする	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
11	<b>ゲームの方法 ダブルス(2)</b> ダブルスの試合運営ならびにルールについて解説し、受講生同士で試合を行えるようにする	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
12	<b>競技としての卓球を知る</b>	視聴覚教材を用いて、戦術やルールを理解する(45分程度)	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
13	<b>ゲーム</b> トーナメント形式による①	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
14	<b>ゲーム</b> トーナメント形式による②	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
15	<b>ゲーム</b> トーナメント形式による③	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
16	<b>ゲーム</b> リーグ戦形式による①	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
17	<b>ゲーム</b> リーグ戦形式による②	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
18	<b>ゲーム</b> リーグ戦形式による③	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
19	<b>まとめ</b> <b>基本的技術の総合練習</b>	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
20	<b>技能テスト</b> <b>技能チェックと評価 (サーブ レシーブ 各打法)</b> <b>まとめのゲーム</b>		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する

### 技能テストの講評

最終授業終了後、希望者には技能テストの講評について説明します。

#### 授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 技能テスト 30点  
 目標②④ … 試合中の観察評価（ルール・戦術理解）30点  
 目標③ … 授業への意欲態度 30点  
 目標①②③④ … 特記事項 10点  
     ※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価します。  
     （例）・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の模範となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。  
         ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。

以上、合計100点満点で評価します。

#### 教科書

使用しません。

#### 参考書

特に指定しません。

#### その他補足事項

1. 服装はスポーツウェア上下、屋内用スポーツシューズを着用してください。着用していない場合は出席を認めない場合があります。卓球用ラケットについては毎時、貸し出す予定です。
2. 授業中、ネックレス、ピアスなどのアクセサリ類の着用は認めません。爪は怪我防止のため、手入れをしておいてください。長髪はゴムなどで束ねて運動の妨げにならないよう努めてください。
3. 服装、身だしなみについて、注意を受けた場合はその都度、減点します。

授業科目名	<b>体育実技 (レクリエーションスポーツ)</b>		授業形態・単位数	実技・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <small>こんのま</small> 金野麻衣	開講期	通年	
		授業回数	20回	
		期末試験の有無	無	
授業に関する主な実務経験と期間		各種専門学校・短大における講師活動（平成13年～現在）		
社会貢献としての委員会・職等		桑折町スポーツ推進委員 総合型地域スポーツクラブマルベリーこおり運営委員		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		仙台大学大学院スポーツ科学研究科修了 修士（スポーツ科学） レクリエーションコーディネーター、日本スポーツ運動学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	必修（種目選択）	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	必修（種目選択）	
保育士資格		教養教育科目	必修（種目選択）	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	5時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		授業終了後に質問等への対応を行います。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本授業では、健康・体力の維持向上を図りながら、継続して運動やスポーツに親しむ習慣や態度を身につけることをねらいとします。様々なニュースポーツ種目を体験して、それぞれの基本技能の課題、チームワークの課題を設定することで、学生がより積極的に自立してスポーツ活動を行うための基本的な力を養っていきます。また、試合形式で行う場合は、準備から審判を含めた試合の管理運営方法までを学び、実践力を身につけていきます。</p>	<input type="checkbox"/>	A 知識
	<input type="checkbox"/>	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="checkbox"/>	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
	<input type="checkbox"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="checkbox"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/>	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① ニュースポーツのルールやマナーについて理解し実践できるようになる	目標	B
② チーム戦術、あるいはグループ戦術の理解、また、より運動を前向きに楽しむためのルールのアレンジ等、チームで協働して実践できるようになる	目標	G
③ 自分やチームの課題を見つけて解決しようとする態度を養う	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション ・授業の進め方 ・グループ分け ・実施種目と年間計画の説明 ・ウォーミングアップ、クールダウンの方法	授業計画 講義・実技	ウォーミングアップ・クールダウンの理解・確認
2	コミュニケーションゲーム(1) (アイスブレイキング)	実技(グループワーク)	アイスブレイキングの理解・確認
3	コミュニケーションゲーム(2) (アイスブレイキング)	実技(グループワーク)	アイスブレイキングの理解・確認

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	チャレンジ・ザ・ゲーム(1) (ロープ、ボール、ディスク、フープ使用)	実技(グループワーク)	チャレンジ・ザ・ゲームの理解・確認
5	チャレンジ・ザ・ゲーム(2) (ロープ、ボール、ディスク、フープ使用)	実技(グループワーク)	チャレンジ・ザ・ゲームの理解・確認
6	フライングディスク・ドッチビー(1) 基礎練習・パス練習・ミニゲーム	実技(グループワーク)	ディスク使用プログラムの理解・確認
7	フライングディスク・ドッチビー(2) 試合形式①	実技(グループワーク)	ディスク使用プログラムの理解・確認
8	フライングディスク・ドッチビー(3) 試合形式②	実技(グループワーク)	ディスク使用プログラムの理解・確認
9	ソフトバレーボール(1) 試合形式①	実技(グループワーク)	ソフトバレーボールのルールの理解・確認
10	ソフトバレーボール(2) 試合形式②	実技(グループワーク)	ソフトバレーボールのルールの理解・確認
11	ソフトバレーボール(3) 試合形式③	実技(グループワーク)	ソフトバレーボールのルールの理解・確認
12	インディアカ(1) 基礎練習・パス練習・ミニゲーム	実技(グループワーク)	インディアカのルールの理解・確認
13	インディアカ(2) 試合形式①	実技(グループワーク)	インディアカのルールの理解・確認
14	インディアカ(3) 試合形式②	実技(グループワーク)	インディアカのルールの理解・確認
15	ユニバーサルホッケー(1) 基礎練習・パス練習・ミニゲーム	実技(グループワーク)	ユニバーサルホッケーのルールの理解・確認
16	ユニバーサルホッケー(2) 試合形式①	実技(グループワーク)	ユニバーサルホッケーのルールの理解・確認
17	ユニバーサルホッケー(3) 試合形式②	実技(グループワーク)	ユニバーサルホッケーのルールの理解・確認
18	レクリエーションスポーツ プログラムの工夫と実施(1)	実技(グループワーク)	プログラムの実施・ 検討・振り返り
19	レクリエーションスポーツ プログラムの工夫と実施(2)	実技(グループワーク)	プログラムの実施・ 検討・振り返り
20	レクリエーションスポーツ プログラムの工夫と実施(3) 振り返り	実技(グループワーク)	プログラムの実施・ 検討・振り返り
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>目標① … 各種目に対する事前学習によるルールの理解と技能・知識の習得度 50点          目標②③ … グループワークによるプログラムのアレンジ考案と実践 10点          目標①②③ … 各種目の課題に対する個人・集団での取り組み、授業への参加態度 30点          目標①②③ … 特記事項 10点※</p> <p>※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価する。          (例)・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の見本となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。          ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。</p>			

教科書	参考書
使用しない。	特に指定しない。
その他補足事項	
<p><b>&lt;実施種目について&gt;</b>            実施するニュースポーツ種目は、「インディアカ、ソフトバレーボール、フライングディスク（ドッチビー）、ユニバーサルホッケー」をベースとし、アイスプレーキングやチャレンジ・ザ・ゲーム等を含めた活動とします。各種目の基本ルールでの活動からアレンジしたものまで、より運動に親しむことができるように工夫し活動します。（授業時の気象条件等により種目の順番を変更する場合があります）</p> <p><b>&lt;課題について&gt;</b>            ニュースポーツ種目の「基本技能の課題」「チームワークの課題」については、各種目実施前に説明を行いますが、事前にインターネット等を活用してルールを確認し、個人で理解を深め準備を整えておいてください。最終課題は、グループごとにレクリエーションスポーツプログラムを工夫し体験することで、実際にそのプログラムを体験したことによる振り返りを行います。</p> <p><b>&lt;服装・持ち物、活動場所について&gt;</b>            服装は気候・活動内容に合わせたスポーツウェア上下、屋内用のスポーツシューズを持参し、各自アクセサリ類は外し、安全に活動することができるよう努めてください。            活動は、基本的には屋内活動（体育館）となりますが、気象状況・活動内容によっては、グラウンドを使用することが適している場合もあるので、授業最後の事前の準備についての説明を聞き次週の準備を整えてください。</p>	

授業科目名	<b>体育実技（サッカー）</b>		授業形態・単位数	実技・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <sup>はら</sup> 原 <sup>たか</sup> 隆 <sup>ひろ</sup> 弘 〔本務先:株式会社AC福島ユナイテッド 職名:アカデミーダイレクター〕	開講期	通年	
		授業回数	20回	
		期末試験の有無	無	
授業に関する主な実務経験と期間	株式会社AC福島ユナイテッドアカデミー アカデミーダイレクター期間4年			
社会貢献としての委員会・職等	(一財)福島県サッカー協会キッズ委員会 委員			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東京教育大学体育学部健康教育学科 保健体育科 高等学校教諭専修免許 公益財団法人日本サッカー協会 公認S級コーチ			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	必修(種目選択)		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	必修(種目選択)		
保育士資格	教養教育科目	必修(種目選択)		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	5時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に質問等への対応を行います。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目				
<p>サッカーのプレーそれ自体を楽しみます。それを深めるためにボールを「止める」、「蹴る」、「運ぶ」、という基礎技術を身につけます。</p> <p>また、原理原則やルールについても理解し、同時に仲間とコミュニケーションを取り、協調してプレーすることの大切さを学びます。さらに、試合運営の方法や審判法についても学習します。</p> <p>以上のことを学び、身体活動や仲間との活動の楽しさ・重要性を実感し、生涯スポーツにつなげていきます。</p>	<input type="radio"/>	A	知識			
	<input type="radio"/>	B	技能			
		C	論理的思考力			
		D	文章・身体・感性等に関する表現力			
	<input type="radio"/>	E	課題対処力			
		F	多様性の理解力			
		G	対人関係構築力			
		<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		<input type="checkbox"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
			イ	ディスカッション、ディベート		
	<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
		エ	プレゼンテーション			
	<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)				
①	サッカーのゲームを楽しむために必要な基本技能を獲得する	目標	B			
②	戦術的理解を深める	目標	A・B・E			
③	チームづくりやチームワークを学ぶ	目標	A・E			
④	サッカーのルールやマナーを学ぶ	目標	A・E			
授業計画						
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション 今後の日程と授業展開・内容や成績評価等に関する説明	講義 授業計画持参		サッカーの用語を予習しておく		
2	基本練習(1) キックの種類(インサイド、インステップ他)、トラップ、ドリブル、1対1、ミニゲーム	グループワーク		ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	<b>基本練習(2)</b> シュートパス～ロングパス、グラウンダーと浮き球のパス、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
4	<b>基本練習(3)</b> ドリブルとシュート、壁パス他、動きの中でのパス、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
5	<b>ディフェンス</b> ディフェンスの基本(チャレンジ&カバー)、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
6	<b>オフェンス</b> ポジショニングと役割、コンビネーション、パス&ゴールの基本、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
7	<b>コンビネーション</b> 1対1、3対1、4対2、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
8	<b>個人技能の確認(1)</b> ドリブルのタイム計測、リフティングの回数、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
9	<b>個人技能の確認(2)</b> ドリブルのタイム計測、リフティングの回数、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
10	<b>個人技能の確認(3)</b> ドリブルのタイム計測、リフティングの回数、ミニゲーム	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
11	<b>ゲーム(1)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
12	<b>ゲーム(2)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
13	<b>ゲーム(3)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
14	<b>ゲーム(4)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
15	<b>ゲーム(5)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
16	<b>ゲーム(6)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
17	<b>ゲーム(7)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
18	<b>ゲーム(8)</b> ゲームとフォーメーション、戦術	グループワーク	ストレッチや基礎体力作りなど日常的に実践する
19	<b>実技テスト(1)</b> ドリブルシュート、リフティング	実技試験	苦手な技能について練習してくる
20	<b>実技テスト(2)</b> ドリブルシュート、リフティング	実技試験	苦手な技能について練習してくる

実技テストの講評	
授業終了後、希望者には実技テスト等の講評について説明します。	
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）	
目標① … 実技テスト 30点 目標②④ … 試合中の観察評価（ルール・戦術理解）30点 目標③④ … 授業参加時の態度（コートマナー・スポーツマンシップ・コート設営や片付けなどへの参加状況）30点 目標①②③④ … 特記事項 10点 ※特に秀でた活動や技能を示した者について、10点の範囲内で評価します。 （例）・全国大会出場レベルの技能や指導員資格者レベルの技能を持ち、他学生の模範となり、指導の補助など授業運営に大きく貢献した者。 ・リーダーシップを発揮し、授業効果の向上に貢献した者。 以上、合計100点満点で評価します。	
教科書	参考書
使用しません。	特に指定しません。
その他補足事項	
1. 服装はスポーツウェア上下、グラウンド用シューズ（屋外用のスポーツシューズであれば可）を用意してください。 2. 授業中、ネックレス、ピアスなどのアクセサリ類の着用は認めません。爪は怪我防止のため、手入れをしておいてください。長髪はゴムなどで束ねて運動の妨げにならないよう努めてください。 3. 服装、身だしなみについて、注意を受けた場合はその都度、減点します。 4. 雨天等でグラウンドのコンディションが悪く使用できない場合は、体育館で実施することもあります。	

授業科目名	保育原理		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	講師 <small>なかのあきこ</small> 中野明子	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 学校法人福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）		
社会貢献としての委員会・職等		福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム（保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理） 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>本授業では、教育・保育の基本的概念を学び、教育・保育における理念について理解します。そして、教育・保育の思想について、歴史の変遷と共にどのように捉えられてきたのかを学び、これまでの教育・保育に関する法令及び制度について理解します。また、教育・保育実践に生かせる知識の習得、専門職としての保育者の役割を理解すると共に、諸外国の教育・保育の多様なあり方への理解を深めます。さらに、日本の教育・保育の現状と今日的課題の理解等を通して、教育・保育現場の実際や、現代の子ども達がおかれている状況を把握し、子どもや保護者へ対してより良い支援の多様なあり方を考察します。</p>	○	A	知識	
			B	技能
		○	C	論理的思考力
			D	文章・身体・感性等に関する表現力
			E	課題対処力
		○	F	多様性の理解力
			G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
			ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		○	イ	ディスカッション、ディベート
		ウ	グループワーク	
		エ	プレゼンテーション	
		オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 教育学の基本的概念並びに教育・保育の意義及び目的について理解する	目標	A		
② 子ども、保育者、家庭、就学前教育・保育施設、学校等、教育を成り立たせる要素と、それらの相互関係を理解する	目標	C		
③ 教育・保育に関する法令及び制度を理解する	目標	A		
④ 近代教育制度の成立と展開及び就学前教育・保育施設に関わる保育の思想と歴史の変遷を理解する。代表的な教育家の思想を理解する	目標	A		
⑤ 保護案件の事例等を通して、現代社会における教育・保育の現状と課題について考察し、保育者の役割と専門性について、多様な教育の理念から理解を深める	目標	F		

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	1. オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法 その他(本科目の留意点) 2. 保育における「養護と教育の一体性」について	なぜ保育学科に入学したか、「保育」とは何かイメージしたことを発表する	入学した動機を自身の中でまとめておく
2	1. 教育・保育の必要性和社会的役割 (現代社会における教育・保育の意義及び理念) 2. 自分の子ども時代を知る (グループディスカッション)	教科書・プリント グループディスカッション	自分の子ども時代を思い起こし、家族などから聞き取りをして授業に臨む
3	幼稚園・保育所・認定こども園について 1. 就学前保育、教育制度と法体系、関係法令、 子ども子育て支援新制度 2. 教育・保育の理念と意義 3. 保育の現場から学ぶ(映像教材視聴)	プリント 保育所保育指針、幼稚園教育要領、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 DVD視聴 「さまざまな保育の職場 認定こども園」20分 グループディスカッション	保育所保育指針 第1章総則(P4~P12) 予習
4	今、子どもたちのまわりで何が起きているか (保護案件の事例を通し家庭との信頼関係、職員間・専門機関との連携の重要性についての理解)	教科書・プリント ※レポート作成	保護者支援に関する記事等に関心を持ち、報道された子ども虐待について調べておく
5	教育・保育思想の歴史の変遷 — 諸外国 —	教科書・プリント	教科書第3章「西欧の保育の思想と歴史」を復習
6	教育・保育思想の歴史と変遷 — 日本 —	教科書・プリント DVD視聴 「さまざまな保育の職場 保育園」20分	住んでいる地域の保育施設に関心を持ち、園の特徴等を調べておく
7	幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の基本理念と比較	プリント・教科書 グループワーク	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領の各総則を熟読
8	子どもを理解する — 子どもの発達 — (1) 乳幼児期の発達の特性について	DVD視聴 「赤ちゃん胎内からの出発」15分 グループディスカッション プリント	保育所保育指針 第2章保育の内容(P16~P31)復習
9	子どもを理解する — 子どもの発達 — (2) 自己肯定感・アタッチメントの重要性	教科書・プリント グループワーク ※レポート作成	保育所保育指針 第2章保育の内容(P13~P16)復習
10	教育・保育の環境(1) 人的環境・物的環境・自然や社会事象 (遊びの特性と、生活や遊びを通して学ぶ環境の重要性についての理解)	DVD視聴 「元氣遊びの川和保育園」30分 プリント	保育所保育指針 第2章保育の内容ウ環境(P26~P27)予習
11	教育・保育の環境(2) — 自然は偉大な教師 — (見守る援助、直接体験の重要性)	DVD視聴 「里山で子ども達が輝く」30分 グループディスカッション プリント	保育所保育指針 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(P11~P12)予習

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
12	<b>諸外国の教育・保育事情</b> 1. 世界の国々の多様な教育・保育の歴史及び事情について理解を深める 2. 外国につながる子ども、家庭への支援について考察する。(グループディスカッション)	プリント グループディスカッション 映像視聴 「世界で活躍する卒業生」10分	外国につながる子どもとの関わり等を思い出し関心を持つ
13	<b>特別な配慮を要する支援について</b> 1. 発達障害への理解を深める 2. 親の障害受容の難しさを知る 3. 子どもの最善の利益と保育	プリント・教科書 グループワーク ※レポート作成	保育所保育指針 第4章子育て支援 (P36～P37) 復習
14	<b>教育・保育の計画</b> 1. 教育・保育の目標 2. 教育・保育の内容 (様々な教育・保育形態、異年齢保育について知る) 3. 教育・保育における記録と評価について (PDCAサイクルの循環の重要性を理解する)	プリント・教科書 保育所保育指針解説書 幼稚園教育要領解説書	授業後、実習先の保育形態を調べ、実習施設の保育方針、保育の特色等について理解する
15	<b>教育・保育の制度 現状と課題</b> 1. 教育・保育の営みの変遷から、今、求められる保育者の役割と専門性とは 2. まとめ (グループディスカッション)	プリント・教科書 グループディスカッション	今までの授業内容をふりかえり整理しておく
期末試験	<b>期末試験</b>	ペーパー試験	授業ノート 配布資料を整理して臨む
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
<p>目標①②③④⑤ … 期末試験 60%</p> <p>目標②⑤ … レポート作成：3回 30%</p> <p style="padding-left: 20px;">* 課題は授業内容に沿い、捉えたことや理解を深めた内容について記述。</p> <p>目標②⑤ … グループディスカッション：3回 10%</p> <p style="padding-left: 20px;">* グループディスカッション時の発言、発表内容等、意欲を持って実施しているかを評価。</p> <p>※詳細は初回授業時に説明します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
<p>書名：保育原理 — はじめて保育の扉をひらくあなたへ — 第2版 著者名：咲間まり子監修、中野明子・林悠子編 発行所：株式会社みらい 価格：2,000円 (税別)</p>		<p>※授業中、適宜資料を配布します。</p> <p>書名：多文化保育・教育論 著者名：咲間まり子編 発行所：株式会社みらい 価格：1,800円 (税別)</p> <p>保育所保育指針、保育所保育指針解説書 幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書 幼保連携認定こども園教育・保育要領</p>	
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. 本授業では、授業計画の3・7・8・9回目において、平成29年告示「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等を使用します。必ず持参してください。</p> <p>2. 配布資料 (プリント) を整理するための専用ファイル一冊を準備してください。配布資料からも試験に出題することがあります。</p>			

授業科目名	保育者論		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	講師 ながしまてるこ 長島輝子	開講期	前期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	福島女子短期大学附属幼稚園教諭、副園長、園長 (昭和50年4月～平成17年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	國學院大學幼児教育専門学校、幼稚園教諭一種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
1. 保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）の職務内容とその社会的意義・役割について概説します。 2. 今、保育者に求められている倫理観及び資質・能力を概説します。 3. 保育者の地位・身分、サービス、及び養成・研修の制度を概説する。また、連携を必要とされる専門機関・組織・スタッフについて学びます。 4. 保育者間で育んでいきたい力(同僚性や実践的能力等)について学びます。 5. 昨今の幼児教育行政の動向を紹介し、将来の進路決定に役立つような情報を提供します。	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	○ ウ グループワーク	
	○ エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 幼児教育の意義と保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）の役割を理解する	目標	A
② 保育者に求められる資質・能力を理解する	目標	C
③ 保育者の地位・身分、及び守るべきサービス及び保育者と専門機関との連携の必要性を理解する	目標	A
④ 保育者間の連携・協働について理解する	目標	F
⑤ 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する	目標	F

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点 「保育者論」で何を学ぶのか	講義、質疑応答 授業計画 授業資料配布	予習 授業資料第1・2章の下読み

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	保育とは何か ・保育者とは ・保育者のタイプと役割	講義、グループワーク 授業資料配布	復習：本日の話し合いをレポートにまとめる
3	保育者に求められる資質・能力 — 指導者としての実践的指導能力面から (発表会DVDを視聴して) —	講義、授業資料配布 DVD視聴 「子どもはうったえている」20分 レポート作成	復習 授業資料第1・2章の読み込み
4	保育者に求められる資質・能力 — 指導者としての総合的人間力の面から (保育者の哲学、砂遊びを通して) —	講義、授業資料配布 グループワーク、まとめ、発表	復習 「砂遊び」の講義をまとめる
5	保育者の社会的位置づけ — 保育者の責務、保育者という職業 (地位・身分) —	講義、授業資料配布 質疑応答	復習 授業資料第2章の読み込み
6	保育者の服務について(1) — 地方公務員法第30条～第33条 — 幼稚園・保育所・認定こども園の業務	講義、授業資料配布 質疑応答	予習 授業資料第8章の下読み
7	保育者の服務について(2) — 地方公務員法第34条と児童虐待防止法 — 児童福祉施設における保育者の業務	講義、授業資料配布 質疑応答	復習 授業資料第8章の読み込み
8	保育者の服務について(3) — 地方公務員法第35条 ～第38条と教育公務員特例法 — ・子育て支援センターの業務、保護者に対する理解と支援 ・保育者と専門機関等の連携	講義、授業資料配布 質疑応答	予習 授業資料第12章の下読み
9	保育者の実践的能力について ・子どもを理解する力 ・保育を計画する力	講義、授業資料配布 グループワーク、発表	予習 授業資料第10章の下読み
10	保育者の実践的能力について ・保育を実践する力 ・保育を省察する力	講義、授業資料配布 グループワーク、まとめ、発表	復習 授業資料第10章の読み込み
11	保育の展開と再構成 ・保育の計画と記録の大切さ ・保育・教育課程と指導計画 ・省察、計画、実践	講義、授業資料配布 グループワーク、まとめ、発表	復習 授業資料第7章の読み込み
12	保育の実践事例 (DVD他) から ・保育の展開と再構成	講義、授業資料配布、質疑応答 DVD視聴 「きえちゃんのイメージ」20分 「先生ってなあに！」20分	復習 授業資料第7章の読み込み
13	保育者間の連携・協働と専門機関との連携 ・保育者間で育んでいきたい力とは ・保育カンファレンスの生かし方	講義、授業資料配布、質疑応答	復習 授業資料第9章の読み込み
14	最近の幼児教育行政の動向について	講義、授業資料配布、質疑応答	予習 授業資料第15章の下読み

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	これからの保育者に求められるもの	講義、授業資料配布 レポート作成	復習 授業資料第15章の読み込み
期末試験	期末試験	ペーパー試験 (持ち込みなし)	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②④ … 期末試験70%（レポート作成を含む） 目標③⑤ … 授業後の感想・質問・意見の提出 30%（授業後毎回提出） ※詳細は初回授業時に説明します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
授業資料を作成・配布します。(毎時間)		「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)(最新版) 「保育所保育指針解説書」(厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(内閣府他)(最新版) 「教職論」新井保幸・江口勇治編著(培風館) 「教育小六法」(学陽書房)	
<b>その他補足事項</b>			
授業資料を整理するためのA4判の紙ファイル一冊とインデックス(15枚)を準備してください。			

授業科目名	社会福祉		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	講師 高橋雄二	たか はし ゆう じ	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	NPO法人あざみ会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻 修士 (こども心理) 社会福祉士、介護福祉士、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本授業は、社会福祉の基本と原理的内容について総論的に取り上げます。社会福祉への関心と興味を深めると共に、社会福祉の基本的な理念であるノーマライゼーションを理解し、実践するために必要な社会福祉の理論史・理論構成・技術論などを体系的に修得していきます。</p>	○	A	知識
		B	技能
		C	論理的思考力
		D	文章・身体・感性等に関する表現力
		E	課題対処力
	○	F	多様性の理解力
	○	G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ	ディスカッション、ディベート
○	ウ	グループワーク	
	エ	プレゼンテーション	
	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 現代社会における社会福祉の意義と歴史的返還及び社会福祉における子ども家庭福祉の視点について理解する	目標	A	
② 社会福祉の制度や実施体系等について理解する	目標	F	
③ 社会福祉における相談援助について理解する	目標	G	
④ 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する	目標	A	
⑤ 社会福祉の動向と課題について理解する	目標	F	
授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 社会福祉の理念と概念・歴史的返還	授業の進め方を説明します(授業計画) DVD「この子らを世の光に」15分	教科書とノートを持参してください
2	子ども家庭支援と社会福祉	授業資料1 DVD「君と歩む道」15分	教科書p14～24を事前に読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	社会福祉の制度と法体系	DVD「暮らしと憲法」20分	教科書 p 26～36を事前に読む
4	社会福祉行財政と実施機関 社会福祉施設	DVD「孤独に苦しめられる人たち」 20分	教科書 p 38～46を事前に読む
5	社会福祉の専門職	DVD「社会福祉の専門職」20分	教科書 p 50～60を事前に読む
6	社会保障及び関連制度の概要	DVD「生活困窮者をどう救う」20分	教科書 p 62～72を事前に読む
7	相談援助の理論	授業資料 2 DVD「ぼけなんか恐くない」20分	教科書 p 74～86を事前に読む
8	相談援助の意義と過程	授業資料 3 課題レポートの説明	教科書 p 88～98を事前に読む
9	相談援助の対象と過程	授業資料 4	教科書 p 100～110を事前に読む
10	相談援助の方法と技術	授業資料 5 グループワーク	教科書 p 112～120を事前に読む
11	社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み	DVD「障害者虐待をくいとめるために」20分	教科書 p 124～132を事前に読む
12	少子高齢化社会における子育て支援	DVD「笑って泣いて 寄り添って」 20分	教科書 p 136～146を事前に読む
13	共生社会の実現と障害者施策	DVD「5万人に1人の私」20分	教科書 p 148～157を事前に読む
14	在宅福祉・地域福祉の推進	DVD「齋藤さんちの豆腐」30分	教科書 p 160～170を事前に読む
15	諸外国の動向	授業資料 6	教科書 p 172～181を事前に読む
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②④⑤ … 期末試験80点 目標③ … 課題レポート20点 総合100点満点で評価。そのほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：社会福祉 著者名：松原康雄・坪 洋一・金子 充 発行所：中央法規出版株式会社 価格：2,000円（税別）		特に指定しません。	

授業科目名	子ども家庭福祉		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任教授 <small>こん</small> 今 <small>きよ</small> 清 <small>たか</small> 孝	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	筒井福祉会筒井保育園 保父（昭和59年4月～平成2年3月） 筒井福祉会筒井保育園 園長（平成2年4月～平成20年6月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島市産官学プラットフォーム 保育士キャリア形成プロジェクトチームリーダー			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士課程修了 修士（社会福祉学）、保育士、日本社会福祉学会、日本家族研究・家族療法学会 日本子ども学会、日本保育者養成教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
<p>社会福祉の構成要素のひとつである子ども家庭福祉は、対象者を子どもだけではなく、子どもの育つ環境全体を視野に入れた理解により、豊かなものにすることができます。</p> <p>本講義では、子ども家庭福祉の基本的理念、制度、施設等の運営、ソーシャルワークなどの子ども家庭福祉援助について体系的に学び、保育者として必要な知識と思考方法を身につけます。</p>	○	A	知識		
		B	技能		
	○	C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
	○	F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	○	イ	ディスカッション、ディベート		
	ウ	グループワーク			
	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解する			目標	A・C	
② 子ども家庭福祉のサービスについて理解する			目標	A・F	
③ 子ども家庭福祉における専門職としての保育者の役割を理解する			目標	A・C・F	
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション (1) 授業の概要と到達目標 (2) 授業内容と評価方法及び留意点 保育における子ども家庭福祉	授業計画 授業資料1 授業資料完成	予習:テキスト「保育における子ども家庭福祉」熟読→資料完成に活用		
2	現代社会と子ども・家庭 — 社会・家庭・地域の変容 —	授業資料2 授業資料完成	予習:テキスト「現代社会と子ども・家庭」熟読→資料完成に活用		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	現代社会と子ども家庭福祉 — 子ども家庭福祉の方向性 —	授業資料3 授業資料完成	予習：テキスト「現代社会と子ども家庭福祉」熟読→資料完成に活用
4	子ども家庭福祉の概念と理念 — 児童の権利条約 —	授業資料4 授業資料完成	予習：テキスト「子ども家庭福祉の概念・理念」熟読→資料完成に活用
5	子ども家庭福祉の歴史的展開	授業資料5 授業資料完成	予習：テキスト「子ども家庭福祉の歴史的展開」熟読→資料完成に活用 復習：「1～5のまとめ」 レポート作成
6	子ども家庭福祉の法体系 — 児童福祉6法及び関連法 —	授業資料6 授業資料完成	予習：テキスト「諸外国の現状」「子ども家庭福祉の法体系」熟読→資料完成に活用
7	子ども家庭福祉の実施体制	授業資料7 授業資料完成	予習：テキスト「子ども家庭福祉の実施体制」熟読→資料完成に活用
8	子ども家庭福祉の費用 子ども家庭福祉の専門職とネットワーク	授業資料8 授業資料完成	予習：テキスト「子ども家庭福祉の費用」「専門職とネットワーク」熟読→資料完成に活用 復習：「6～8のまとめ」 レポート作成
9	子ども家庭福祉の現状と課題(1) — 子育て支援サービスと保育ニーズ —	授業資料9 授業資料完成	予習：テキスト「少子化と子育て支援サービス」「多様な保育ニーズへの対応」熟読→資料完成に活用
10	子ども家庭福祉の現状と課題(2) — 母子保健サービス —	授業資料10 授業資料完成	予習：テキスト「母子保健サービス」熟読→資料完成に活用
11	子ども家庭福祉の現状と課題(3) — 障害のある子どもへの支援 —	授業資料11 授業資料完成	予習：テキスト「障害のある子どもへの支援」「子どもの健全育成」熟読→資料完成に活用
12	子ども家庭福祉の現状と課題(4) — 子ども虐待とDV —	授業資料12 授業資料完成 視聴32分 「児童虐待」「DV」	予習：テキスト「子ども虐待とDVへの対応」熟読→資料完成に活用
13	子ども家庭福祉の現状と課題(5) — 社会的養護サービス —	授業資料13 授業資料完成	予習：テキスト「社会的養護サービス」熟読→資料完成に活用
14	子ども家庭福祉の現状と課題(6) — ひとり親家庭福祉 —	授業資料14 授業資料完成	予習：テキスト「ひとり親家庭福祉」熟読→資料完成に活用 復習：「9～14のまとめ」 レポート作成
15	子ども家庭福祉援助活動 — 子ども家庭福祉援助活動と保育及び相談援助 —	授業資料15 授業資料完成	予習：テキスト「子ども家庭福祉援助活動」熟読→資料完成に活用
期末試験	期末試験		

### 期末試験の講評

期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。

### 授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①②③ … 期末試験 70点満点

目標③ … レポート 30点満点（3回×10点）

\*課題は授業内容に基づいた枠組みのなかで、学生が関心のある事柄を各自設定する方式とします。

目標② … 授業内容に関して、質問や意見を積極的に述べる学生には加点します。

100点を超えたものは一律100点とし、ほかに評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。

#### 教科書

#### 参考書

書名：最新・保育士養成講座 第3巻 子ども家庭福祉

著者名：柏女霊峰ほか

発行所：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

価格：2,000円（税別）

特に指定しません。

### その他補足事項

1. 期末試験の際には、授業配布資料のみ持ち込みを可とし、教科書やノートの持ち込みは不可とします。
2. 授業配布資料は、授業内容及び必要事項を書き込み、授業中または授業後に完成させ試験に臨むようにしてください。

授業科目名	<b>社会的養護 I</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任講師 やぎ たかのり 憲		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	児童養護施設心理療法士（平成24年4月～平成27年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	東海心理療法研究会幹事（平成24年4月～現在）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程 修士（臨床心理学） 臨床心理士、専門社会調査士、公認心理師、日本福祉心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
社会的養護の意義とその歴史の変遷を踏まえ、子どもの権利擁護を基本とした制度や実施体系及び関連する専門職等に関して理解するとともに、今日の社会的養護の現状と課題を理解します。	○	A	知識	
		B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
	○	F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する	目標	A	
②	子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する	目標	A	
③	社会的養護の制度や実施体系等について理解する	目標	A・F	
④	社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する	目標	A・F	
⑤	社会的養護の現状と課題について理解する	目標	A・E	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、評価 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷 (1) 社会的養護の理念と概念	授業計画 授業の進め方等の説明をする	予習：児童養護施設の設置数を調べる	
2	(2) 社会的養護の歴史の変遷	講義を踏まえて年表を作成する	予習：里親の種類と現況を調べて提出	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	<b>2. 社会的養護の基本</b> (1) 子どもの人権擁護と社会的養護	DVD「子どもの権利とは」13分	予習：子どもの権利条約について調べて内容把握
4	(2) 社会的養護の基本原則	DVD「子どもの意向と最善の利益」9分	予習：虐待の種類と発生件数を調べる
5	(3) 社会的養護における保育士等の倫理と責務	グループワーク 保育観と保育士の専門性についてディスカッション	予習：施設における保育士の業務内容を調べる
6	<b>3. 社会的養護の制度と実施体系</b> (1) 社会的養護の制度と法体系	施設入所児童の特長についてスライド資料で説明する	予習：社会的養護に関連する法律を調べる
7	(2) 社会的養護の仕組みと実施体系	グループワーク 被虐待児の事例検討	予習：レビューテーマ「児童養護施設について」300字
8	<b>4. 社会的養護の対象・形態・専門職</b> (1) 社会的養護の対象	グループワーク アセスメントの方法と理解	予習：児童相談所の機能について調べる
9	(2) 家庭養護と施設養護	グループワーク 家庭養護・施設養護のメリットデメリットについてディスカッション	予習：家庭養護と施設養護の違いを調べる
10	(3) 社会的養護に関わる専門職	DVD「専門性と子どもの権利」13分	予習：レビューテーマ「専門職の種類と業務内容」300字
11	<b>5. 社会的養護の現状と課題</b> (1) 社会的養護に関する社会的状況	プレイセラピーに関する資料配布及び実際を事例で学ぶ	予習：厚労省HPで社会的養護施策を概観する
12	(2) 施設等の運営管理	DVD「ペアレントトレーニング」15分	予習：児童養護施設の規模や期待を分類把握する
13	(3) 被措置児童等の虐待防止	DVD「しつけと虐待」13分	予習：レビューテーマ「施設内暴力について」300字
14	(4) 社会的養護と地域福祉	グループワーク 児童養護施設による地域貢献についてディスカッション	予習：児童養護施設による地域貢献について調べる
15	まとめ	グループワーク 子どもの自立についてディスカッション	復習：ジェノグラム作成
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③④⑤ … 後期末試験 40%			
目標①②③④⑤ … 毎回のリアクションペーパー、授業内の小レポート等提出物 40%			
目標③④⑤ … 授業内の発言及び活動 20%			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		書名：子どもの未来を育む自立支援 著者名：井出智博・片山由季 発行所：岩崎学術出版社 価格：2,800円（税別）	図書館購入・本人購入の別 1. 図書館購入（1冊） 2. 本人購入（0冊）

授業科目名	<b>発達心理学</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 <sup>うめ</sup> 梅 <sup>みや</sup> 宮 れいか	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		日本学校心理士会福島支部会長（平成30年6月～） 日本臨床発達心理士会研修委員（平成27年～）		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		東海大学大学院文学研究科博士課程（文学修士） 健康医学会、健康心理学会 学校心理士スーパーバイザー（学校心理士資格認定機構） 臨床発達心理士スーパーバイザー（臨床発達心理士認定運営機構）		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは毎週火曜日午後、研究室		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
<p>本授業は、心身の発達や学習の過程について基礎的な知識を習得し、各発達段階における子どもの特徴や遊びの発達および保育・教育の方法に関する考え方を理解します。また、各段階についての心身の発達過程やその特徴をテーマとします。</p> <p>第Ⅰ部として発達全般に関する基礎知識（発達の定義、発達に影響を及ぼす外的要因や内的要因、発達のメカニズム、子ども観・保育観、生物学的理解、主な発達理論等）、第Ⅱ部として乳幼児期から老人期の発達特徴や発達課題について概説します。特に、乳幼児期・児童期については、身体・運動の発達、認知の発達、言語の発達、社会性の発達、発達障害等について、具体的な事実や現象を例にあげながら解説していきます。</p>	○	A	知識		
		B	技能		
		C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
		○	イ	ディスカッション、ディベート	
	○	ウ	グループワーク		
		エ	プレゼンテーション		
		オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	子どもの心身の発達に対する主な要因とその相互作用について理解する		目標	A	
②	発達に関する代表的理論を理解する		目標	A	
③	発達の概念、保育・教育に関する発達理解の意義について理解する		目標	A	
④	乳幼児期から青年期の各時期について、運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について理解する		目標	A	
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標（授業内容）、評価方法、授業の進め方の留意点 発達の定義と発達の規定要因、発達の原理		授業の進め方の説明をします（授業計画）	必ずB5判以上のノートを持参してください	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	子ども観と保育観の変遷 (ヨーロッパと日本、現代における子どもの姿)	予習のレビューで、有用なものをディスカッションテーマとし、授業の導入とします 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ ベラスケス「ラス・メニナス」を説明し、中央の人物の考えていることを推測せよ400字
3	発達の基礎的理解 (発達の生物学的基礎、初期経験、生活環境と子どもの発達)	予習レビューの授業導入活用 DVD「双子の科学」17分	予習：レビューテーマ 双子コーデについて 400字
4	発達理論的理解 (ピアジェ、ヴィゴツキー、フロイト、エリクソン)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ アイデンティティについて 400字
5	新生児期 (新生児の生活、新生児の知覚と能力、養育者とのかかわり)	予習レビューの授業導入活用 DVD「赤ちゃんの科学」 15分	予習：レビューテーマ アヴェロンの野生児について 400字
6	乳幼児期 (乳幼児期の特徴、発達課題、こころの芽生え)	予習レビューの授業導入活用 DVD「赤ちゃん成長の道のり」13分	予習：レビューテーマ LGBTについて400字
7	児童期 (小学校への入学、発達課題、発達の特徴)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ 幼少接続について400字
8	青年期・成人期・老人期 (青年期・成人期・老人期の特徴と発達課題)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ 婚姻について400字
9	身体・運動の発達 (乳幼児期の運動発達の様相、児童期の運動発達の様相)	予習レビューの授業導入活用 ゲストスピーカー	予習：レビューテーマ 不器用について400字
10	認知の発達(1) (乳児期の特徴、随伴性の理解、人に対する認知)	予習レビューの授業導入活用 DVD「心霊写真の科学」 10分	予習：レビューテーマ 認知症と介護者の表情 400字
11	認知の発達(2) (幼児期の特徴、表象、保存、心の理論、児童期の特徴)	予習レビューの授業導入活用 DVD「刑事コロポ」40分	予習：レビューテーマ 子どもの目線とは？ 400字
12	言語の発達 (前言語的コミュニケーション、言語的コミュニケーション)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ ペットに愛を伝える方法 400字
13	社会性の発達(1) (人とのかかわり、社会化、親子関係、仲間関係)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ ヤン・ステーン「大人が歌えば子供が笛吹く」解釈 400字
14	社会性の発達(2) (遊びと発達、自己意識と対人関係) 全体のまとめ(1)	予習レビューの授業導入活用 図書館での調べもの学習	予習：レビューテーマ ブリュッゲル「子供の遊戯」社会性からの解釈 400字
15	発達障害の理解 (発達障害の概念、発達障害の子どもの特徴、保育者としての対応) 全体のまとめ(2)	予習レビューの授業導入活用 DVD「きみがおしえてくれたこと」40分	予習：レビューテーマ 空気が読めないことについて 400字

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
期末試験	<b>期末試験</b> (到達目標を評価するため、それぞれ論述題4問で行います)	自筆ノート持込可	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③④ … 期末試験 (到達目標各25点、計100/2 = 50点満点)、レビュー50点満点、総計100点満点で評価。ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：幼児教育と保育のための発達心理学 著者名：小池庸生、藤野信行著 発行所：建帛社 価格：2,000円(税別)		特に指定しません。適宜紹介します。	
<b>その他補足事項</b>			
予習では必ずテーマを解決し、その都度レビューを授業開始時に提出してもらいます。レビューを作るのに、2～3時間程度の時間を想定しています。授業冒頭で提出されたレビューを担当教員が概読、質問に答えるとともに、冒頭のディスカッションの材料とします。			

授業科目名	子どもの保健		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 いし い かよこ 石井佳世子 〔本務先：福島県立医科大学 職名：助教〕		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	聖路加国際病院看護師、横浜市立港湾病院助産師（平成5年～13年） 福島県立医科大学看護学部（平成13年～16年助手、平成18年～22年助教）			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島県立医科大学大学院医学研究科博士課程修了 博士（医学） 聖路加看護大学大学院博士前期課程修了 修士（看護学） 日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本母性衛生学会 日本子ども虐待防止学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等				

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
この授業は、子どもの健康増進を図るための保健活動の意義とその内容について理解することを目標としています。具体的には、保育者として身につけておきたい基本的な知識として、健やかな発育発達とは何か、心身の健康状態を把握する方法、疾病とその予防や適切な対応等について理解を深める授業とします。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
①	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する	目標	A		
②	子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する	目標	A		
③	子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する	目標	A・B・C		
④	子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する	目標	A・B・C		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 人の成り立ち、子どもの特徴	授業の進め方の説明をします(授業計画) DVD視聴「ミラクルオブラブ」23分		予習：レビューテーマ 「自らの健康とは」	
2	小児保健の目標と現状 健康の概念	予習レビューの授業導入活用 健康の概念、「ようこそオランダへ」 「子どもの健康に関与する要因」 グループワーク		予習：レビューテーマ 「自分が生まれた時の出生体重、身長について」	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	子どもの成長発達 1) 身体発育	予習レビューの授業導入活用 成長発達とは、パーセンタイルの計算	予習：レビューテーマ 「自分の体温、脈拍数について」
4	子どもの成長発達 2) 生理機能・睡眠	予習レビューの授業導入活用 体温、呼吸数の正常値について 脈拍測定の実演	予習：レビューテーマ 「自分の寝返り、はいはい、つかまり立ち、独り歩きの年齢について」
5	子どもの成長発達 3) 運動機能、精神機能・感覚機能	予習レビューの授業導入活用 年齢における運動機能、精神機能について 動画視聴「赤ちゃんの育て方：お誕生日までの発育」15分	予習：レビューテーマ 「沐浴の注意点について」
6	子どもの生活 (清潔・免疫機能・排泄)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴「沐浴」11分	予習：レビューテーマ 「ミルクの作り方の注意点について」
7	子どもの生活 (栄養・遊び)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴 「すばらしき36か月子どもと社会」10分	予習：レビューテーマ 「自分が受けたワクチンについて」
8	子どもの疾病 (感染症・予防接種)	予習レビューの授業導入活用 ワクチンの種類、接種時の注意点について	予習：レビューテーマ 「食物アレルギーについて」
9	子どもの疾病とその予防・対処方法 (アレルギー・循環器・悪性疾患等)	予習レビューの授業導入活用 「電池が切れるまで」グループワーク	予習：レビューテーマ 「電池が切れるまで」の感想
10	子どもに起こりやすい症状と対応 (発熱・痛み)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴「発熱」9分	予習：レビューテーマ 「けいれん時の対処方法について」
11	子どもに起こりやすい症状と対応 (呼吸困難・脱水・けいれん)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴「鼻水、けいれん」9分	予習：レビューテーマ 「嘔吐・下痢時の対処方法について」
12	子どもに起こりやすい症状と対応 (嘔吐・下痢・便秘)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴「嘔吐、下痢」12分	レビューテーマ 「自分が考える発達障がいへの対応について」 ミニレポート400字以内
13	子どもの精神保健 (心身症、虐待・障害)	予習レビューの授業導入活用 動画視聴「発達障がい」8分 「虐待」11分	予習：レビューテーマ 「子どもに多い事故について」
14	起こりやすい事故・子どもの救急	予習レビューの授業導入活用 起こりやすい事故の時期、時間、場所について 動画視聴「救急処置」4分	レビューテーマ 「自分が考える望ましい保育環境とは」 ミニレポート400字以内
15	保育環境と衛生管理・安全管理 母子保健施策 まとめ	予習レビューの授業導入活用 保育環境についてのディスカッション	予習：これまでのノートを見返す
期末試験	期末試験		

期末試験の講評	
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。	
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）	
<p>目標②③④ … 期末試験70点満点            目標① … グループワークでの発言5点、授業後の感想用紙提出5点            目標①④ … ミニレポート2回20点（各10点満点）            総計100点満点で評価します。そのほか、評価に関する共通理解に則り加点減点（出席状況、授業中の参加度等）を総合点から行います。</p>	
教科書	参考書
<p>使用しません。            講義用のプリントを配布します。</p>	<p>特に指定しません。</p>

授業科目名	幼児と健康		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 藤本 かなめ	要	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員 (2004年まで6年間) 全国私立短大体育大会運営委員競技副委員長、テニスの部競技委員長 (日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員在籍中) 国見町子ども・子育て支援推進協議会委員 (2015年まで2年間)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		日本体育大学体育学部健康学科卒業 学士(体育学) 日本体育大学体育専攻科修了(高等学校教諭一級免許状取得) 中学校教諭一級免許状(保健体育)、高等学校教諭一級免許状(保健体育) 衛生管理者証、日本応用心理学会、日本ブリーフセラピー協会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		15時間
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワー：研究室前に掲示(月曜3時限/12:50~14:30)		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
幼児の健康、体の諸機能の発達と生活習慣の形成、安全な生活と病気の予防、幼児期の運動発達と身体活動の4項目について講義と演習を通して知識と技能を習得します。	○	A	知識		
	○	B	技能		
		C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	○	E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
		イ	ディスカッション、ディベート		
○	ウ	グループワーク			
	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に付ける			目標	A・B・E	
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要、到達目標、評価方法の説明等 <b>幼児の健康課題と健康の発達の意味の理解(1)</b> ~健康の定義と乳幼児期の健康の意義、運動発達などの健康課題	授業計画 教科書・資料をもとに展開 グループワーク 乳幼児期の健康の意義について		乳幼児の健康問題について調べておくこと	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	幼児の健康課題と健康の発達の意味の理解(2) ～乳幼児期の精神発達 (知覚、情緒、パーソナリティ)	教科書・資料をもとに展開 グループワーク 乳幼児期の精神発達について	乳幼児期の精神発達について調べておくこと
3	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成の理解(1) ～乳幼児期の身体の発達の特徴	教科書・資料をもとに展開 グループワーク 生活習慣の形成の理解について	乳幼児期の身体の発達の特徴について調べておくこと
4	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成の理解(2) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義 (食事、排せつ)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 基本的な生活習慣(食事、排せつ)	基本的な生活習慣の形成(食事、排せつ)について調べておくこと
5	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成の理解(3) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義 (着脱衣、睡眠)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 基本的な生活習慣(着脱衣、睡眠)	基本的な生活習慣の形成(着脱衣、睡眠)について調べておくこと
6	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成の理解(4) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義 (清潔)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 基本的な生活習慣(清潔)	基本的な生活習慣の形成(清潔)について調べておくこと
7	安全な生活とケガや病気の予防の理解(1) ～幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 幼児の安全教育・健康管理	幼児の安全教育・健康管理について調べておくこと
8	安全な生活とケガや病気の予防の理解(2) ～幼児の安全教育(交通安全指導と防犯指導)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表: 幼児の安全教育 (交通安全指導と防犯指導)	幼児の安全教育(交通安全指導と防犯指導)について調べておくこと
9	安全な生活とケガや病気の予防の理解(3) ～幼児の安全教育(危険な行動、特に注意を要する遊具・道具の指導)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表: 幼児の安全教育 (危険な行動、特に注意を要する遊具・道具の指導)	幼児の安全教育(危険な行動、特に注意を要する遊具・道具の指導)について調べておくこと
10	安全な生活とケガや病気の予防の理解(4) ～幼児の安全教育(幼児期の怪我の特徴や病気の予防、リスクとハザード)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表: 幼児の安全教育 (幼児期の怪我の特徴や病気の予防)	幼児の安全教育(幼児期の怪我の特徴や病気の予防等)について調べておくこと
11	幼児期の運動発達(1) ～幼児期運動指針と多様な動きの獲得	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表: 幼児期運動指針と多様な動きの獲得	幼児期運動指針の骨子を読んでおくこと
12	幼児期の運動発達(2) ～日常生活における幼児の動きの経験やその配慮	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表: 日常生活における幼児の動きの経験やその配慮	乳幼児期の日常生活における幼児の動きの経験やその配慮について調べておくこと
13	幼児期の運動発達(3) ～伝承遊び(鬼遊び他)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 伝承遊び(鬼遊び他)	伝承遊び(鬼遊び他)について調べておくこと
14	幼児期の運動発達(4) ～屋内遊び、屋外遊び、季節遊び	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 屋内遊び、屋外遊び、季節遊び	乳幼児期の屋内遊び、屋外遊び、季節遊びについて調べておくこと

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	食育基本法と食育教育 ～発達段階に沿った食育指導	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表 発達段階に沿った食育指導	食育基本法について調べておくこと
期末試験	期末試験	ペーパー試験を実施	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標① … 期末試験 25%</p> <p>目標① … グループ発表（制作を含む）（12回）60%</p> <p>目標① … 毎回の授業の最後に提出する小レポート（15回）15%</p> <p>その他、遅刻早退欠席による減点（欠席1回3点減点、遅刻早退1回1点減点）、また授業内における積極的な発言等により加減点を行い、100点を上限として評価を行います。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：幼稚園教諭・保育士をめざす 保育内容「健康」 著者名：井筒紫乃、川田裕次郎編 発行所：圭文社 価格：2,200円（税別）		幼児期運動指針ほか授業中に適宜資料を配布します。	

授業科目名	幼児と人間関係		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 鈴木智子		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間）			
社会貢献としての委員会・職等	国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」講師 （平成26年～現在）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院こども心理専攻修士課程修了 修士（こども心理） 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」について理解し、乳児期から幼児期にかけての人間関係の発達について理解します。</p> <p>保育の現場における乳幼児を取り巻く人間関係を理解し年齢別における保育者とのかかわりや遊びを通じた他者理解、保護者との人間関係等、現場での実践事例から、人間関係の指導方法を具体的に培い、保育者の援助の在り方を理解します。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	アクティブラーニングの要素	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 乳幼児を取り巻く人間関係における現代の社会的背景を理解する	目標	A
② 人と関わる力の育ちがその後の子どもたちの人生を支える力となることを理解する	目標	F
③ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「人間関係」のねらいや内容を具体的に理解し、人と関わる力が乳幼児期の遊びや生活の中で人と関りながら培っていくことを理解する	目標	B

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、 授業の進め方、その他の留意点 保育内容指導法「人間関係」の概要	授業計画 教科書 プリント資料1	現代社会の子どもを取り巻く今日的課題の予習 教科書P10～39

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	現代社会の子どもを取り巻く今日的課題	* 予習内容「現代社会の子どもを取り巻く今日的課題」の解説 * 復習内容の確認 教科書、プリント資料2	現代社会の子どもを取り巻く今日的課題の復習 教科書P40～50
3	遊びの中で育つ人間関係 「乳幼児期における遊びの意義」 「遊びと乳幼児の育ち」	* 現代社会の子どもを取り巻く今日的課題の確認 教科書、プリント資料3	乳幼児期における遊びの意義の復習 教科書P88～99
4	幼児期の環境構成や人とのかかわり	* 復習内容「乳幼児期における遊び」をテーマにグループワーク（遊びを考える） 教科書、プリント資料4	幼児期の環境構成や人とのかかわりの復習 教科書P51～87
5	保育者に求められている人間関係 「年齢別における保育者とのかかわり」 レポート①	* 教科書の内容の復習か所をグループでディスカッション（10分） 教科書、プリント資料5	年齢別における保育者とのかかわり レポート①【保育者に求められている人間関係】
6	保育者に求められている人間関係 「遊びをとおした他者理解」 「自然体験を取り入れた人間関係」	* レポート①「保育者に求められている人間関係」について、グループでまとめて発表する 教科書、プリント資料6	遊びをとおした他者理解の復習 教科書P113～135
7	特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ちあうためのかかわり	* 「遊びをとおした他者理解」の解説 教科書、プリント資料7	特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ちあうためのかかわりの復習 教科書P172～181
8	就学前の子どもの育ちを支える人間関係 「情動統制力の育ち」	* 特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ちあうためのかかわりを確認 教科書、プリント資料8	情動統制力の育ちの復習 教科書P136～150
9	就学前の子どもの育ちを支える人間関係 「身体能力の育ち」	* 復習内容「情動統制力の育ち」について事例の解説 教科書、プリント資料9	身体能力の育ちの復習 教科書P153～171
10	保育者と保護者の人間関係 「幼稚園、保育所、認定こども園の果たす役割」 レポート②	* 復習内容「身体能力の育ち」をスライドで確認 教科書、プリント資料10	「幼稚園、保育所、認定こども園の果たす役割」 レポート②【保育者と保護者の人間関係】
11	子育て支援活動や預かり保育における保育者の取り組み	* 保育者と保護者の人間関係についてグループディスカッション後に発表（20分） 教科書、プリント資料11	プリント資料 子育て支援の復習
12	多文化保育と人間関係 「異文化理解のためのかかわり」	* 子育て支援の復習内容を確認 教科書、プリント資料12	多文化保育と人間関係 プリント資料の復習
13	人間関係の指導計画 「教育課程・保育課程」	* 復習内容「多文化保育と人間関係」において保育現場で出来る多文化保育をテーマにディスカッション 教科書、プリント資料13	「教育課程・保育課程（全体的な計画）」の復習

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	領域「人間関係」と指導計画	*「教育課程・保育課程（全体的な計画）」の解説 教科書、プリント資料14	指導計画の復習
15	「人間関係」のまとめ	*指導計画の解説 教科書、プリント資料1～14の解説	「人間関係」のまとめ プリント資料1～14
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に必ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 70% 目標②③ … レポート（2回）30%			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：新時代の保育双書 保育内容人間関係 著者名：濱名浩編 発行所：(株)みらい 価格：2,100円（税別）  幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針、保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書		授業開始前に適宜資料を配布します。	

授業科目名	<b>幼児と表現（造形）</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 <small>いし だ とし かず</small> 石 田 敏 和		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		幼稚園教諭免許状対象 教員免許状更新講習講師（平成23年～平成30年） 社会福祉法人 謁藹会 理事		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		多摩美術大学 美術学部デザイン科卒業 芸術学士 高等学校「美術・工芸2種」教員免許状、中学校「美術1種」教員免許状 美術科教育学会、日本保育学会、全国造形美術教育教員養成協議会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		15時間
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
造形表現の技法について、実践を通して修得していきます。 幼児の生涯にわたる人格形成の基礎を養うため、造形表現における造形能力の発達の理解を学んでいきます。	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
	<input type="radio"/>	D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E 課題対処力
	<input type="radio"/>	F 多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
<input type="radio"/>	エ プレゼンテーション	
<input type="radio"/>	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	幼稚園教育における表現（造形）について、幼児期の終わりまでに育って欲しい造形能力を、遊びを通して、その造形表現の特性を踏まえて理解することができる	目標	A・B
②	講義及び実践により、感性を磨き、創意工夫を行うことができるようになる	目標	A・B・D

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点 造形表現とは何か 自然観察および環境の理解	授業計画 グループワーク、配布資料 携帯カメラで写真を撮る	授業計画を事前に読んでおく
2	幼児の造形能力の発達段階とその特徴と意味	グループワーク、配布資料 携帯カメラ、プロジェクターを使用	配布資料を熟読し、幼児の造形能力の発達段階を把握してまとめておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	創造性のある表現をするための教材の工夫、物的・空間的環境の構成	グループワーク、配布資料 こどもの描いた絵(教材)	配布資料を熟読し、環境の構成を理解してまとめておく
4	卒園後の小学校での造形教育が円滑に行われるように配慮し、創造的思考や主体的な態度を育む様な表現を考える	グループワーク、グループディスカッション、配布資料 こどもの描いた絵(教材)	課題を仕上げてくる(A4サイズ・1枚)
5	ありきたりの表現と、創造性のあるアイデアの出し方の公式	実技(スケッチ)、配布資料 画用紙、鉛筆	空き時間等を利用して製作物を完成させる
6	アイデアと様々な表現技法を体験し、幼稚園での表現活動に応用する	実技(スケッチ)、配布資料 画用紙、鉛筆	空き時間等を利用して製作物を完成させる
7	スパッタリングの技法を使って銀河系の宇宙を製作する	実技(スパッタリングの技法を使った製作物) 画用紙、絵の具、ブラシ	空き時間等を利用して製作物を完成させる
8	フロッタージュの技法を使って紅葉した樹木を製作する	実技(フロッタージュの技法を使った製作物) 和紙、クレヨン	空き時間等を利用して製作物を完成させる
9	マーブリングの技法を使って昆虫のはねの模様に見立てて蝶やトンボを製作する	実技(マーブリングの技法を使った製作物) 和紙、油性インク	空き時間等を利用して製作物を完成させる
10	ものの形の基本を製作する	実技(ものの形の基本形を製作) 色画用紙、両面テープ、のり、ハサミ、コンパス	空き時間等を利用して製作物を完成させる
11	色画用紙を使って ~立体の製作	実技(ものの形の基本形を応用し立体的なものを製作) 色画用紙、両面テープ、のり、ハサミ、コンパス	空き時間等を利用して製作物を完成させる
12	粘土を使って ~手の製作	実技(粘土で人の手を製作) 土粘土	空き時間等を利用して製作物を完成させる
13	粘土を使って ~人の顔の製作	実技(粘土で人の頭部を製作) 土粘土	空き時間等を利用して製作物を完成させる
14	粘土を使って ~動物の製作	実技(粘土で動物を製作) 土粘土	空き時間等を利用して製作物を完成させる
15	指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価の方法	指導計画の作成 グループワーク、グループディスカッション、配布資料	指導計画を仕上げる
期末試験	期末試験	ペーパーテスト	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標① … 期末試験 50%

目標①② … 作 品 50%

（内訳：スパッタリングの技法の製作物10%・フロッタージュの技法の製作物10%・マーブリングの技法の製作物10%・立体の製作物10%・粘土の製作物10%）

教 科 書

参 考 書

適宜資料を配布します。

書 名：新版 実践 保育内容シリーズ6「造形表現」  
 著者名：谷田貝公昭監修  
 おかもとみわこ、石田敏和 編著  
 発行所：株式会社一藝社  
 価 格：2,000円（税別）

授業科目名	幼児と表現（音楽）		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 佐藤敦子		開講期	前期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学認定こども園園長（2016年2月～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	日本音楽療法学会東北支部福島県代表、財団法人福島市私立幼稚園協会監事 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	日本音楽療法学会認定音楽療法士 国立音楽大学教育音楽学科 芸術学士、幼稚園教諭一種免許状 明星大学大学院修了修士（教育学）、幼稚園教諭専修免許状 日本音楽教育学会、日本音楽療法学会、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
幼児のための歌唱法、身体表現、楽器奏法、音楽への基礎的な知識、音楽療法等の知識を学びながら、保育現場で必要な音楽を習得します。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
		C	論理的思考力		
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
		E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	アクティブラーニングの要素				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 音楽を通して保育現場の子どもたちに音楽の楽しさを伝えるための音楽表現法を修得する			目標	B・D	
② 歌唱法、身体表現、楽器奏法、音楽への基礎的な知識・技能を習得する			目標	A・B	
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法 その他 学生の音楽表現への意識調査	授業計画、教科書 プリント配布			
2	幼児の歌唱法、身体表現 (踊りの歌、あそび歌、わらべ唄等) 簡単な音楽理論	ピアノ、歌唱 グループワーク	復習：踊りの歌、あそび歌、わらべ唄を練習して体得する		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	幼児の歌唱法、身体表現 (踊りの歌、あそび歌、わらべ唄等) 簡単な音楽理論	ピアノ、歌唱 グループワーク(踊りの歌、あそび歌、わらべ唄の練習成果の発表)	復習：踊りの歌、あそび歌、わらべ唄を練習して体得する
4	幼児の歌唱法、身体表現 (踊りの歌、あそび歌、わらべ唄等) 簡単な音楽理論	ピアノ、歌唱 グループワーク(踊りの歌、あそび歌、わらべ唄の練習成果の発表)	復習：踊りの歌、あそび歌、わらべ唄を練習して体得する
5	幼児の歌唱法、身体表現 (踊りの歌、あそび歌、わらべ唄等) 簡単な音楽理論	ピアノ、歌唱 グループワーク(踊りの歌、あそび歌、わらべ唄の練習成果の発表)	復習：踊りの歌、あそび歌、わらべ唄を練習して体得する
6	幼児の歌唱法 楽器奏法(簡易楽器)	ピアノ、歌唱 グループワーク 簡易楽器の演奏 (簡易楽器の種類の発表を含む)	予習：簡易楽器の種類を調べておく 復習：空き時間を利用して簡易楽器の演奏を練習して体得する
7	幼児の歌唱法 楽器奏法(簡易楽器・和太鼓)	ピアノ、歌唱 グループワーク (簡易楽器の練習成果の発表) 簡易楽器・和太鼓の演奏	予習：和太鼓の奏法を調べておく 復習：空き時間を利用して和太鼓の演奏を練習して体得する
8	幼児の歌唱法 楽器奏法(トーンチャイム)	ピアノ、歌唱 グループワーク (和太鼓の練習成果の発表) トーンチャイムの演奏	予習：トーンチャイムの奏法を調べておく 復習：空き時間を利用してトーンチャイムの演奏を練習して体得する
9	幼児の歌唱法 楽器奏法(ハンドベル)	ピアノ、歌唱 グループワーク (トーンチャイムの練習成果の発表) ハンドベル演奏	予習：ハンドベルの奏法を調べておく 復習：空き時間を利用してハンドベルの演奏を練習して体得する
10	幼児の歌唱法 音楽療法(気になる子への指導法)	ピアノ、歌唱 グループワーク (ハンドベルの練習成果の発表) グループディスカッション	予習：音楽療法の概要を調べておく
11	幼児の歌唱法 音楽療法(気になる子への指導法)	ピアノ、歌唱 グループディスカッション (音楽療法の概要についての発表)	復習：音楽療法の実践についてまとめる 予習：ミニミュージカルの発表内容を考えておく
12	ミニミュージカル	発表会に向けて、各グループの練習	復習：ミニミュージカルの発表内容をまとめる 予習：空き時間を利用してミニミュージカル発表の練習をする
13	ミニミュージカル	各グループの発表 発表内容の講評	復習：ミニミュージカル発表の反省点をまとめる

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	幼児のピアノの弾き語り奏法 (簡易伴奏法指導)	ピアノ、歌唱	予習：ピアノの弾き語りを練習する
15	まとめ	ピアノ、歌唱、楽器演奏	予習：実技試験に向けて歌唱、楽器演奏を練習する
期末試験	期末試験	実技試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に必ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①② … 期末試験 30% 目標①② … 実技 70% (ミニミュージカル (12・13回目) 30%・幼児の歌唱法 (2～11回目) 20%、身体表現 (2～5回目) 10%、楽器奏法 (6～9回目) 10%)			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：こどもの歌名曲選 著者名：足羽 章 発行所：ドレミ楽譜出版社 価格：1,500円 (税別) *その他は、プリントを配布します。		特に指定しません。	

授業科目名	保育内容総論		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	准教授 鈴木智子		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間）			
社会貢献としての委員会・職等	国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」講師 （平成26年～現在）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院こども心理専攻修士課程修了 修士（こども心理） 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>保育内容を総合的に捉える視点を養い、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいと内容を中心に、保育の基本・指導の在り方、各領域の捉え方を理解し、総合的に指導することの重要性について学びます。</p> <p>子どもの生活や遊びなどは、ある領域に偏って指導されるものではなく、子どもの発達や生活に基づき、各領域の間で相互に関連を持ちながら、総合的に展開するものであることを学びます。</p> <p>子どもの年齢ごとの発達段階を理解し、指導計画に基づく模擬保育を通し、各年齢別の指導方法を具体的に理解し、保育記録に繋がります。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の保育と教育の基本を理解し、乳幼児の発達と生活および遊びの関係性を学び、総合的指導法について理解する	目標	A・B
② 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」のねらい及び内容から幼児の発達の過程を見通した指導計画の作成方法を理解する	目標	E・F
③ 子どもの生活全体を通じた教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）と養護（生命の保持、情緒の安定）の関係性を理解し、模擬保育から具体的な指導を理解し総合的指導力を身に付ける	目標	B・F

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、 授業の進め方、その他の留意点 保育内容総論の概要	授業計画 教科書、プリント資料1	教科書P10～19の復習
2	幼稚園の役割と幼稚園教育要領、幼保連携型 認定こども園教育・保育要領の基礎理解	* 復習内容の確認 教科書、プリント資料2	幼稚園の役割の復習 教科書P20～45
3	保育所の役割と保育所保育指針、幼保連携型 認定こども園教育・保育要領の基礎理解	* 復習内容の幼稚園の役割を確認 教科書、プリント資料3	保育所の役割の復習 教科書P20～45
4	教育課程・保育課程と保育内容5領域の考え方	* 復習内容の保育所の役割を確認 教科書、プリント資料4	教育課程・保育課程(全 体的な計画)復習 教科書P47～62
5	領域「健康」のねらい及び内容の基礎理論と 遊びを通した指導方法	* 復習内容の教育課程・保育課程(全 体的な計画)の確認 DVD視聴 保育記録と幼児理解(3歳児)20分 教科書、プリント資料5	領域「健康」のねらい及 び内容の復習
6	領域「人間関係」のねらい及び内容の基礎理論 と遊びを通した指導方法	* 領域「健康」のねらい及び内容の 確認 DVD視聴 保育記録と幼児理解(4、5歳児) 20分 教科書、プリント資料6	領域「人間関係」のねら い及び内容の復習
7	領域「環境」のねらい及び内容の基礎理論と 遊びを通した指導方法	* 領域「人間関係」のねらい及び内 容の確認 教科書、プリント資料7	領域「環境」のねらい及 び内容の復習
8	領域「言葉」のねらい及び内容の基礎理論と 遊びを通した指導方法	* 領域「環境」のねらい及び内容の 確認 教科書、プリント資料8	領域「言葉」のねらい及 び内容の復習
9	領域「表現」のねらい及び内容の基礎理論と 遊びを通した指導方法	* 領域「言葉」のねらい及び内容の 確認 教科書、プリント資料9	領域「表現」のねらい及 び内容の復習
10	指導計画作成における基本的な考え方	* 領域「表現」のねらい及び内容の 確認 教科書、プリント資料10	レポート① 「保育現場における遊び」
11	指導計画作成における具体的な手順とポイント	* レポート①「保育現場における遊 び」についてのディスカッション (10分) 教科書、プリント資料11	指導計画作成における具 体的な手順プリント資料 復習
12	指導計画の作成と保育の実際 (0、1、2歳児の保育方法)	* 復習内容指導計画作成における具 体的な手順の確認 教科書、プリント資料12	指導計画の作成プリント 資料復習
13	指導計画の作成と保育の実際 (3、4、5歳児の遊びの指導方法)	教科書、プリント資料13	レポート② 「指導計画案」

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	模擬保育と振り返り	*レポート②「指導計画案」での模擬保育 教科書、プリント資料14	模擬保育と振り返りとまとめ
15	保育内容総論のまとめ	教科書、プリント資料15	保育内容総論のまとめ (プリント資料1～15復習)
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 期末試験 70%			
目標①② … レポート 30% (2回×15点)			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：実践を創造する演習「保育内容総論」 著者名：豊田和子 発行所：株式会社みらい 価格：2,000円(税別)  幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針、保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書		書名：最新保育資料集 著者名：子どもと保育総合研究所 森上史朗監修 発行所：ミネルヴァ書房 価格：2,000円(税別)	

授業科目名	<b>保育内容指導法 環境</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 <small>すぎ</small> 杉 <small>うら</small> 浦 <small>ひろ</small> 広 <small>ゆき</small> 幸	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	無	
授業に関する主な実務経験と期間	新潟県園芸試験場（1989年4月～1996年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	全農福島県特定栽培農産物認証判定委員会委員長			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	農業改良普及員、毒物劇物取り扱い主任者（一般用） 博士（農学）、日本放射線安全管理学会、園芸学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは火曜日の昼休みの時間帯に研究室にて行います。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>本授業におけるテーマは、保育における環境（子どもの暮らし、あそび、学びにとって意味のある外界）としての物的環境、人的環境、自然環境および社会的環境を学習します。</p> <p>また、基本的に知っておくべき動植物についても学習します。そして、出身地・実習先の環境に関わる特徴の学習について、学生の自主的な学習を促します。さらに、放射能の問題もまだ残っているため、保護者に安心してもらえるよう、対策と必要な知識を学びます。さらに、能動的学習についても取り入れていきます。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
	○	C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	○	ウ	グループワーク	
		エ	プレゼンテーション	
	○	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	子どもが周囲の環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味関心を持たせられるように保育できる	目標	A	
②	子どもが身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れられるように保育ができる	目標	B	
③	身近な事象を見たり考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚が豊かになるよう保育ができる	目標	C	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	<p>オリエンテーション</p> <p>授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法</p> <p>授業の進め方、その他の留意点</p> <p>子どもを取り巻く環境について(1)</p> <p>子どもにとっての環境について</p>	<p>授業計画</p> <p>教科書（P11～17、45～68）</p> <p>Power Point</p> <p>園庭見学</p>	<p>予習：幼児期に遊んだ空間を思い出し、整理しておく</p> <p>教科書(左記頁)を読んでおく</p>	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	子どもを取り巻く環境について(2) 園庭と環境地図について	教科書 (P17～31、147～150) Power point 園庭見学	予習・復習：園庭の構造物の設置理由を理解しておく 教科書(左記頁)を読んでおく
3	乳幼児・保育の基本について 環境を通して行う保育と保育者の役割について(模擬保育)	教科書 (P21～32、83～102) 手製資料(文部科学省・厚生労働省、都道府県より)	復習：保育所保育指針(H30年度改訂)の環境に関する部分、教科書(左記頁)を読んでおく
4	幼稚園教育要領・保育所保育指針での領域「環境」について(1) 「ねらい」について	教科書 (P33～38) 手製資料(文部科学省・厚生労働省、都道府県より)	復習：幼稚園教育要領・保育所保育指針の環境に関する部分、教科書(ネット掲載)を読んでおく
5	幼稚園教育要領・保育所保育指針での領域「環境」について(2) 「内容」と「内容の取扱い」について	教科書 (P39～44) 手製資料(文部科学省・厚生労働省、都道府県より)	予習・復習：幼稚園教育要領・保育所保育指針の環境に関する部分を読んでおく
6	幼稚園教育要領・保育所保育指針での領域「環境」について(3) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領について	教科書 (P39～44) 手製資料(文部科学省・厚生労働省、都道府県より)	予習・復習：幼保連携型認定こども園教育保育要領(ネット掲載)を読んでおく
7	施設環境と認可・無認可について 施設基準等について	教科書 (P78～81) 手製資料(文部科学省・厚生労働省、都道府県より)	予習・復習：幼稚園・保育所の設置認可基準(ネット掲載)を読んでおく
8	前半のまとめ(確認テストを含む)	教科書 (P1～68、147～154) 配布資料	予習：試験に備え、今まで学習したことを復習しておく
9	環境の構成について(1) 人的環境・物的環境について(教材研究)	教科書 (P69～74) キャンパス敷地から学ぶ 手製資料、Power Point	予習：出身地周辺の自然と国立・国定公園を調べておく 教科書(左記頁)を読んでおく
10	環境の構成について(2) 美しい自然環境について (小テスト①)	教科書 (P75～77、136～146) キャンパス敷地から学ぶ Power Point	予習：基本的な草や花の名前を覚えておく 教科書(左記頁)を読んでおく
11	環境の構成について(3) 自然環境と植物について (小テスト②)	教科書 (P103～135) キャンパス敷地から学ぶ Power Point	予習：基本的な樹種の名前を覚えておく 教科書(左記頁)を読んでおく
12	環境の構成について(4) 自然環境と動物について (小テスト③)	教科書 (P103～135) キャンパス敷地から学ぶ Power Point	予習：基本的な動植物の名前を覚えておく 教科書(左記頁)を読んでおく
13	環境の構成について(5) 自然環境とさまざまな生き物について (小テスト④)	教科書 (P103～135) 手製資料 Power Point	予習：基本的な動植物の名前を覚えておく 教科書(左記頁)を読んでおく
14	環境の構成について(6) 社会環境と行事について(情報機器の活用)	教科書 (P78～82、155～176) 手製資料 Power Point	予習：様々な行事等について、情報機器を用いて調査・整理しておく
15	子どもを守る安全な環境について (レポート)(指導案作成)	教科書 (P177～203) 手製資料 Power Point	予習：東日本大震災の資料について、情報機器を用いて調査・整理しておく 教科書(左記頁)を読んでおく
期末試験	実施しない		

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標① … 確認テスト40%  
 目標① … 小テスト（4回）40% \*小テスト①～④は、間違った回答に対しレポートでの再チャレンジを認める。  
 目標② … レポート（1回）10%。  
 目標③ … プレゼンテーション（2回）10% \*グループ活動  
 ※欠席は1回につき3点減点、遅刻・早退は1回につき1点減点（遅刻・早退3回は欠席1回とみなして3点減点）とします。ただし、実習、自然災害、公共交通の遅れ等、正当な理由と判断される欠席（届出のあるもの）は除きます。  
 また、授業への取り組みに積極性が評価できる場合は3点加点、授業中の問題行動は1件につき1点減点とします。

教科書

参考書

書名：生活事例からはじめる  
 — 保育内容 — 環境  
 著者名：徳安 敦・瀧川光治・杉浦広幸  
 発行所：青踏社  
 価格：1,900円（税別）

書名：環境を生かした保育 春、夏、秋、冬  
 著者名：青木久子  
 発行所：チャイルド本社  
 価格：1,500円（税別）×4巻  
  
 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

その他補足事項

季節感や屋外での観察を重視するため、基本的に毎回屋外へ出ることから、靴は土の上を歩くことができるものを履いてきてください。また、日差しが気になる場合は帽子、寒い時期は防寒着を準備してください。

授業科目名	<b>保育内容指導法 言葉</b>	授業形態・単位数	演習・1単位
		開講年次	1年次
担当教員	准教授 <small>なかのまき</small> 中野真樹	開講期	前期・後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了 文学(博士)		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修	
保育士資格	専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>幼児の言葉の発達の特徴や言語環境とのかかわりから、幼児の言語的資質を高める理論と実践について理解を深めます。「言葉のモデル」としての保育者の言葉遣いについても触れます。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク		
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>		
①	子どもの言葉の獲得と発達について理解を深める	目標	A・B	
②	乳幼児期の言葉の特徴やその指導について知識・能力を深化させたい	目標	A・B	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業概要と到達目標、評価方法 領域「言葉」とは	授業計画 教科書・講義資料を用いての 解説・質疑応答	予習 授業計画の確認	
2	「言葉」に関するねらいと内容 — 幼稚園教育要領	教科書・講義資料を用いての 解説・質疑応答	予習 幼稚園教育要領「言葉」の 項を事前学習する	
3	「言葉」に関するねらいと内容 — 保育所保育指針 — 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	教科書・講義資料を用いての 解説・質疑応答	予習 保育所保育指針、教育・保 育要領「言葉」の項を事前 学習する	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	保育者のことば — 方言・敬語・幼稚園語	教科書・講義資料を用いての解説 グループディスカッション・質疑 応答	予習 グループディスカッション のための課題作成
5	保育者のことば — 保育者の話し方・発問と助言・保育者の 発声(模擬保育)	教科書・講義資料を用いての解説 グループワーク(模擬保育)・質 疑応答	予習 模擬保育のための課題準備
6	子どものことば — ことばの発達・ことばの発達と条件・ 音声の発達(DVD視聴)	教科書・講義資料を用いての解説 DVD「ことばの発達」視聴(20分)・ 質疑応答	予習 教科書第2章の事前学習
7	子どものことば — 語彙の発達・文字の発達・言語障害 (DVD視聴)	教科書・講義資料を用いての解説 DVD「早期教育を考える」視聴(21 分)・質疑応答	予習 教科書第2章の事前学習
8	ことばの指導と計画 — 年間・学期別・月間指導計画表、週案、 日案(指導案作成)	教科書・講義資料を用いての解説 指導案研究発表・質疑応答	予習 教科書第3章の事前学習 研究発表のための課題作成
9	子どもの言葉を発達させる活動 — ことば遊び(教材研究)	教科書・講義資料を用いての解説 教材研究発表・質疑応答	予習 教科書第4章の事前学習 研究発表のための課題作成
10	子どもの言葉を発達させる活動 — 日本の絵本(教材研究)	教科書・講義資料を用いての解説 教材研究発表・質疑応答	予習 研究発表のための課題作成
11	子どもの言葉を発達させる活動 — 外国の絵本(教材研究)	教科書・講義資料を用いての解説 教材研究発表・質疑応答	予習 研究発表のための課題作成
12	「ブックスタート」について(DVD視聴)	教科書・講義資料を用いての解説 DVD視聴「クシュラの奇跡」(24 分)・「ブックスタートの活動」(16 分)・質疑応答	予習 指定した講義資料の事前 学習
13	子どもの言葉を発達させる活動 『タブレット等にてデジタル化された教材(電 子紙芝居など)を用いた方法と併せて学ぶ』 — 紙芝居(教材研究)	教科書・マルチメディア 教材・講義資料を用いての解説 教材研究発表・質疑応答	予習 指定したマルチメディア 教材のダウンロード・閲覧
14	子どもの言葉を発達させる活動 『タブレット等にてデジタル化された教材(電 子紙芝居など)を用いた方法と併せて学ぶ』 — 人形劇・テレビ・ラジオ(ラジオ聴取)	教科書・講義資料を用いての解説・ 質疑応答 カセットテープ聴取NHKラジオ 第2「お話出てこい」(15分)	予習 教科書第9章の事前学習
15	総括質疑 — 今までの授業内容を踏まえて「言葉」に ついて質疑する	教科書・配布資料・スライドを用 いての解説・質疑応答、研究発表 の講評	予習 これまでの学習内容のまと めを行い、質問項目を作成 する
期末 試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 期末試験 80%  
 目標② … 課題提出（3回） 10%  
 目標① … 教科書の朗読 10%

ほか、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。

教科書

書名：新訂 保育内容指導法「言葉」  
 著者名：田上貞一郎・高荒正子  
 発行所：萌文書林  
 価格：1,900円（税別）

参考書

幼稚園教育要領、保育所保育指針  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
 \*教科書の他に適宜講義資料を配布します。

授業科目名	保育内容指導法 言葉		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 佐藤 佐敏 〔本務先：福島大学 職名：教授〕		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島大学人間発達文化学類での「保育内容言葉」授業担当（平成26年～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	福島県立図書館協議会会長、日本国語教育学会地区理事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	新潟大学大学院 現代社会文化研究科博士後期課程修了 学位取得博士 (教育学)、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状、日本学校教育学会、日本教育実践学会 日本国語教育学会、全国大学国語教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等				

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
胎児から学童期前期に至るまで子どもが言語を獲得していく過程について、発達心理学、大脳生理学等の知見を援用して究明していきます。また、「幼稚園教育要領」に基づき、言語の獲得を促進させるための支援の方法を確認していきます。すべての授業で学習課題を提示し、その課題を解決していくためにグループディスカッションを取り入れます。主体的、対話的な活動のもとで実感をもった深い学びとなることを目指します。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力		
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	<input type="radio"/>	E	課題対処力		
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力		
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション			
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
① 子どもの言葉の獲得と発達について、発達心理学や大脳生理学の知見から、理解を深める	目標	A			
② 幼稚園教育要領と照らし合わせながら、子どもの言葉の獲得と発達を支援するための方法について理解を深める	目標	A			
③ 乳幼児期の子どもの保育の仕方について、模擬保育等を通して実践的な方略を身に付ける	目標	B・E			
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容、評価方法 授業の進め方、その他(領域「言葉」について)	授業計画 講義			
2	乳幼児の言葉と胎教 「胎教」は言葉の発達とどのようにかわるのか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	乳幼児の言葉の獲得と早期教育(1) 早期教育は言葉の発達を促進するのか その方法論とメリット	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
4	乳幼児の言葉の獲得と早期教育(2) 早期教育は言葉の発達を阻害しないか その方法論とデメリット	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
5	身体的な発達の視点から言葉の獲得を考える なぜ人は他の動物よりも高度な言葉を操作できる ようになったのか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
6	認知的な発達の視点から言葉の獲得を考える 子どもには生来的にどのような能力が備わっている のか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
7	言葉の発達と親の対応 どんな親の対応が、子どもの言葉の発達を促進 させたり、阻害させたりするのか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
8	言語能力の発達とコミュニケーション障害 特別な支援が必要だと思われる子どもとどうかかわるか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
9	幼稚園教育と言葉の獲得(1) 幼稚園教育要領における「言葉の獲得」	ディスカッション	本時の課題についての復習
10	幼稚園教育と言葉の獲得(2) 指導案の作成の要諦	ディスカッション	絵本の読み聞かせの予習
11	幼稚園教育と言葉の獲得(3) 模擬保育① — 絵本の読み聞かせ — (映像教材等の活用、タブレット等情報機器の 活用を含む)	実演	ことば遊びの予習
12	幼稚園教育と言葉の獲得(4) 模擬保育② — ことば遊び — (映像教材等の活用、タブレット等情報機器の 活用を含む)	実演	アニメーションなどの練習
13	幼稚園教育と言葉の獲得(5) — アニメーション、リテラチャーサークル、 ブックトークといった読書活動 — (映像教材等の活用、タブレット等情報機器の 活用を含む)	実演	本時の課題についての復習
14	幼児のことばと学童期の言語活動の関連 乳幼児の言語能力と学童期の語彙力、表現力、その他 思考力はどのような相関があるのか	グループワーク ディスカッション	本時の課題についての復習
15	総括 これまでの講義の整理とリフレクション	グループワーク ディスカッション	総復習
期末 試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）**

幼稚園教諭二種免許状等の取得に値する学びが認められたかどうかを評価基準とします。  
十分に認められた場合、認められた場合、およそ認められた場合、努力を要する場合、認められない場合等で評価  
します。評価方法は以下の通りです。

- 目標①② … 期末試験 50点  
 目標①②③ … 毎時間提出するリアクションペーパー 30点  
 目標③ … 模擬保育における実技 20点  
 ※出席を重視します。1回欠席するごとにマイナス3点とします。

教科書	参考書
毎時間、プレゼンテーションスライドで説明し、適宜、資料を配布します。	書名：保育内容指導法 言葉 著者名：田上貞一郎 発行所：萌文書林 価格：1,900円（税別）
	幼稚園教育要領
その他補足事項	
主体的、対話的な活動（課題解決に向けたディスカッションなど）を中心にして授業を進めます。	

授業科目名	保育内容指導法 表現		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 石田 敏和 (造形) 非常勤講師 鈴木 裕美子 (身体) 【本務先:福島大学人間発達文化学類 職名:特任教授】	いしだ としかず すずき ゆみこ	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の実施	有
			授業に関する主な実務経験と期間	
社会貢献としての委員会・職等		石田:幼稚園教諭免許状対象教員免許状更新講習講師(平成23年~平成30年) 社会福祉法人謁謁会理事 鈴木:東北厚生局東北地方社会保険医療協議会委員、公益財団法人福島県スポーツ振興基金理事、公益財団法人福島市スポーツ振興公社理事、郡山市男女共同参画審議会委員、福島県女子体育連盟会長(平成18年度~平成27年度)、同連盟顧問、社会福祉法人聖母愛真会こじか保育園評議員、特定非営利活動法人愛の里理事、特定非営利活動法人シェア・ラブ・チャリティーの会理事		
資格・免許及び所属学会等		石田:多摩美術大学美術学部デザイン科卒業 芸術学士、中学校「美術1種」教員免許状、高等学校「美術・工芸2種」教員免許状、美術科教育学会、日本保育学会、全国造形美術教育教員養成協議会 鈴木:東京教育大学体育学研究科体育学専攻修士課程修了 体育学修士 中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭専修免許状(保健体育) 日本体育学会、日本体育科教育学会、日本スポーツ教育学会、舞踊学会		
卒業	卒業	専門教育科目	必修・選択必修・選択の別	
幼稚園教諭二種免許状	幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択必修	
保育士資格	保育士資格	専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス		授業時間以外の必要な学修時間	15時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>本科目では、保育内容における領域「表現」の指導法を学びます。授業内容は身体表現領域(8回)と造形表現領域(7回)とします。</p> <p>身体表現では、幼児の身体表現の特性について理解を深め、実際の現場に即した様々な遊びを体験し、感じたことや考えたことを身体の動きで表現できるようにします。また、模擬保育や指導案作成を通して身体表現指導法を学び、保育者にとって必要な協調性や自主性を身につけます。</p> <p>造形表現では、幼児の発達段階をふまえ、幼児期の表現の特徴やその意義を理解します。幼児の姿を具体的に把握しながら「表現」と「感性」の関係や、イメージの形成について考えます。実技では材料・用具の特徴を知り、保育現場で行う様々な表現技法と指導上の留意点を学びます。</p>	<input type="radio"/>	A	知識
	<input type="radio"/>	B	技能
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E	課題対処力
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク	
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション	
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目(受講して得られる力)		
① 領域「表現」の基本的な捉え方や意義、ねらいを理解することができる	目標	A	
② 保育の場に即した身体表現の実技を経験することで、幼児と同じ目線で遊ぶ楽しさや面白さを味わい、幼児の発達段階に即した身体表現の指導法を身につけることができる	目標	B・D	
③ 身体表現活動を通して、仲間と協働する喜びや達成感を味わい、保育者にとって必要な保育技術を修得することができる	目標	B	
④ 幼児の造形表現の姿や、表現活動の意義を理解し、保育者として望ましい指導・援助の仕方を考えることができる	目標	A・B	
⑤ 感性が豊かになり、造形的な表現力を高めることができる	目標	D	
⑥ 材料・用具の特性を把握し、それを生かした様々な技法を習得することができる	目標	A・B	

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>身体表現 担当:鈴木裕美子</b> <b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 <b>領域「表現」のねらいと内容</b> - 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領より - <b>乳幼児期における身体表現の特性</b>	授業計画、資料に基づいて説明 演習(身体を動かす) グループディスカッション	授業計画確認 次のテーマとなる題材の情報や保育雑誌などに関心を持つ
2	<b>さまざまな身体表現遊びと指導法</b> 「身近な生き物や事象になりきって遊ぼう」 「手作り楽器や道具を使って体いっぱい表現しよう」 「バルーンで遊ぼう」 「オノマトペの歌でダンスを作って踊ろう」	講義・実技・演習(音楽を聴いて体を動かす、簡単な楽器を作る、ゲームを行うなど) グループディスカッション	復習:次のテーマとなる題材の情報や保育雑誌などに関心を持つ
3	<b>指導計画と幼児理解</b> ・身体表現指導案の立て方と指導案作成 ・身体表現指導案を基にした模擬保育と振り返り	資料に基づいて説明、指導案を書く(模写)、模擬保育を行う グループディスカッション	復習:次のテーマとなる題材の情報や保育雑誌などに関心を持つ
4	<b>劇遊び(オペレッタ)(1)</b> ・劇遊びにおける指導案とは ・グループ分け、題材の決定と役割分担 ・グループごとに指導案作成(台本や脚本作成、音響編集に対する情報機器の活用(DVD・インターネット))	資料に基づいて説明 グループ分け グループディスカッション	指導案を書く 題材に沿った台本 歌やダンスを考える
5	<b>劇遊び(オペレッタ)(2)</b> ・台本作り(歌とダンス) ・流れの確認(小道具とBGMについて) (台本や脚本作成、音響編集に対する情報機器の活用(DVD・インターネット))	資料に基づいて説明 グループディスカッション 歌やダンスの練習 ステージの立ち位置確認	復習 役割ごとの打ち合わせ
6	<b>劇遊び(オペレッタ)(3)</b> ・最終確認	発表の説明 グループディスカッション 歌やダンスの練習 音響や小道具などの確認	指導案のまとめと最終確認、役割ごとに練習
7	<b>劇遊び(オペレッタ)(4)</b> ・グループごとの発表(VTR記録) ・指導案提出	発表(VTR記録) 模擬保育を行う レポートの説明	レポートをまとめる 復習
8	<b>身体表現とまとめ</b> ・身体表現活動とは・発表会の振り返り ・レポート提出	VTR鑑賞 グループディスカッション	復習と振り返り
9	<b>造形表現 担当:石田敏和</b> <b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 <b>感性と表現について</b>	授業計画 プリント①	自然観察 プリント①の復習
10	<b>領域「表現」のねらいと内容</b> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をふまえて ・幼児造形表現の発達と特質	プリント② 映像教材視聴視聴(20分) 「0歳からの表現活動」 感想や意見を述べる	プリント②の復習と プリント③の予習 ビデオ視聴後の感想をまとめる *次回レポート提出
11	<b>造形表現の内容とその指導(1)</b> ・技法による表現(マーブリングなど) *教材研究を含む	プリント③ 絵具、画用紙等で表現する 意見を述べ、疑問点を質問する	プリント③の復習と プリント④の予習
12	<b>造形表現の内容とその指導(2)</b> ・技法による表現(フロッタージュなど) *教材研究を含む	プリント④ 絵具、画用紙等で表現する 意見を述べ、疑問点を質問する	プリント④の復習と プリント⑤の予習

13	<b>造形表現の内容とその指導(3)</b> ・技法による表現(スパッタリングなど) *教材研究を含む	プリント⑤ 絵具、画用紙等で表現する 意見を述べ、疑問点を質問する	プリント⑤の復習と プリント⑥の予習
14	<b>造形表現の内容とその指導(4)</b> ・技法による表現(ぼかし・にじみなど) *教材研究を含む	プリント⑥ 絵具、画用紙等で表現する 意見を述べ、疑問点を質問する	プリント⑥の復習と プリント⑦の予習
15	<b>造形表現のまとめ</b> ・造形表現における指導方法の分類 ・指導計画について(指導案の作成)	プリント⑦ 意見を述べ、疑問点を質問する	プリントの①～⑦の復習 期末試験の学習
期末 試験	<b>期末試験</b>		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>○身体表現 … 50%</p> <p>目標②③ : 発表・模擬保育などの実技 30%</p> <p>目標① : 期末試験 10%</p> <p>目標① : レポート(指導案) 10%</p> <p>○造形表現 … 50%</p> <p>目標④⑤ : 製作物の評価 20%</p> <p>目標① : 期末試験 20%</p> <p>目標① : レポート 10%</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
必要に応じて授業時にプリントを配布します。		*身体表現第1回目と造形表現第2回目に持参してください。 幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針・保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書	
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. 授業スケジュールを別途配布します。(造形表現は、クラスの人数を半分にして実施します)</p> <p>2. 身体表現 … 教室は体育館とします。授業内容などによって変更する場合があります。</p> <p>(1) 2回目から運動できる服装、および室内用シューズを着用してください。 (スカート、ジーンズ、サンダル、素足等の受講は安全上認めません)</p> <p>(2) 授業が始まるまでに、アクセサリー類は必ず外してください。</p> <p>(3) 髪が長い学生は一つにまとめてください。</p> <p>(4) 貴重品はロッカーに入れてください。 ※授業内容、および順序は進捗状況により変更する場合があります。</p> <p>3. 造形表現 … 教室は工芸棟とします。 ※学習の進度等により、内容が一部変更になる場合があります。</p>			

授業科目名	乳児保育 I		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	講師	なかのあきこ 中野明子	開講期	前期・後期
		客員講師	ながさわたかこ 永澤孝子	授業回数
				期末試験の実施
授業に関する主な実務経験と期間	<p>中野:横浜市認可保育園園長(平成18年10月~平成20年3月) 船橋市医療センター保育室室長(平成14年2月~平成18年1月) 福島めばえ幼稚園教諭(昭和57年4月~平成元年3月)</p> <p>永澤:福島福祉施設協会保育所保育士等(昭和47年4月~平成4年3月) 福島福祉施設協会保育所主任保育士(平成4年4月~平成12年3月) 福島福祉施設協会保育所所長(平成12年4月~平成24年3月) 福島学院大学認定こども園教職員・保護者カウンセラー(平成28年5月~現在)</p>			
社会貢献としての委員会・職等	<p>中野:福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム(保育士キャリア形成) NPO法人福島SAND-STORYサポーター(学生ボランティア統括) 第52回全国保育団体合同研究会実行委員(副実行委員長)</p> <p>永澤:福島市民生委員児童委員、福島地区少年補導員、福島学院大学同窓会理事</p>			
資格・免許及び所属学会等	<p>中野:福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士(こども心理) 保育士、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会</p> <p>永澤:福島女子短期大学保育科第一部(現福島学院大学短期大学部保育学科) 準学士、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、甲種防火管理講習課程修了証</p>			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	<p>中野:オフィスアワーは初回授業時に説明します。 メールアドレス:nakano.akiko@fukushima-college.ac.jp</p> <p>永澤:授業終了後に教室で質問等に対応します。</p>			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等の理解を通して、保育所・乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解します。</p> <p>また、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制についての理解と共に、職員間の連携・協働、及び保護者や地域の関係機関との連携について理解を深めます。</p> <p>※乳児保育とは、3歳児を念頭においた保育を示します。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目(受講して得られる力)	
① 乳児保育の意義、目的と歴史の変遷及び役割等について理解する	目標	A
② 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する	目標	F
③ 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する	目標	C
④ 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する	目標	C

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション ・授業の進め方と評価方法等 乳児保育とは ・乳児保育における養護及び教育 ・人が育つことへの理解 赤ちゃん人形を抱く	授業計画 たて抱き・横抱きの体験 第1回レポート作成	教科書第1章「乳児保育とは」を復習する 新生児の赤ちゃん人形を抱いた時に感じたこと、捉えたこと等を考察する
2	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷 ・乳児保育の役割と機能 ・乳児保育の様々な場(保育所・認定こども園・小規模保育所)における現状 ・保育所以外の児童養護施設(乳児院等)における乳児保育	プリント DVD視聴 「保育者の歩み」20分	教科書第3章「乳児保育の制度と課題」を復習する
3	平成29年告示「保育所保育指針」について ・改正された保育指針の構成と内容の特徴 平成29年告示「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について ・改訂された教育・保育要領の構成と内容の特徴 乳児保育に関わる法律 ・児童福祉法 労働基準法 育児介護休業法等	プリント 保育所保育指針解説から学ぶ 幼保連携型認定こども園教育 ・保育要領解説から学ぶ	教科書第3章「乳児保育の制度と課題」を復習する
4	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育(1) ・3歳未満児の安全と環境 乳児の心の発達 ・子どもの人見知り ・アタッチメントの形成とその意義 乳幼児が喜ぶわらべうた・手遊びうた	プリント グループ討議 ・保育現場におけるアタッチメント DVD視聴 「赤ちゃんの秘密」20分	教科書第4章「3歳未満児の発達過程からみる保育内容」を復習し、アタッチメントの重要性を考察する
5	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育(2) ・3歳未満児の生活と環境 乳児のこことばの発達 ・ことばの発達と必要な力 ・三項関係の出現 ～9か月の軌跡～ 0歳児、1歳児、2歳児の喜ぶ絵本	プリント DVD視聴 「絵本の読み聞かせ」20分	「ブックスタート運動」について調べておく
6	諸外国の出産の現状と子育て ・カンボジア(アンコールワット)等の出産現状 ・自分が生まれた時のことを知る	プリント DVD視聴 「ちいさな命の詩」30分	授業後、自分が産まれてきた時のことを家族に聞く
7	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題 ・子育て支援の背景 ・虐待の発見と対応 ・産後ケアとは	プリント DVD視聴 「ママ達が非常事態①」20分 グループ討議 ・虐待の対応を知る	教科書第7章「乳児保育における連携」を事前に読む
8	保育所における乳児保育 ・3歳未満児の遊びと環境 乳幼児の砂遊び ・砂遊びによる発達の要素 ・感覚遊びの重要性	プリント DVD視聴 「砂遊びから見る子どもの発達」20分	教科書第9章コラム「砂遊びが子どもの生きる力を引き出す」を事前に読む
9	子どもの育ちと家庭との連携 ・外国につながる子ども、保護者の支援 ・民族・宗教等の多文化共生を目指した支援	プリント グループ討議 ・多文化保育の意義と実践 「保育の現場での事例、エピソード」からの考察	外国につながる子どもや保護者について配慮すべき事を考えておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
10	家庭的保育等における乳児保育 ・児童福祉法の子どもの権利と保護者関係 ・教育基本法の子どもの権利と保護者関係 ・ユニセフと子どもの権利条約	プリント DVD視聴 「ママ達が非常事態②」20分	教科書第9章「子育てをめぐる家族の権利と責任」を事前に読む
11	3歳未満児の発達を踏まえた保育における配慮 ・発達障害とは ・発達の遅れに気づく ・保育者からの発信の仕方	プリント DVD視聴 「君が僕の息子についておしえてくれたこと」30分 第2回レポート作成	発達障害がある子どもへの支援の多様性について振り返りをする
12	乳児保育における連携・協働 ・職員間の連携・協働 ・保護者との連携・協働 ・自治体や地域の関係機関等との連携・協働	プリント グループ討議 ・保護者支援の進め方	保護者支援においてどのような連携が実践され、必要とされているかを調べておく
13	乳児保育における計画・記録・評価の理解(1) ・保育の全体的な計画の構造 ・保育の計画と評価・改善	プリント	教科書第6章「乳児保育の計画と記録」を事前に読む
14	乳児保育における計画・記録・評価の理解(2) ・0歳児、2歳児クラス運営 ・保育の記録のとり方	プリント グループ討議 ・子どもの姿がわかる記録のとり方	乳児保育における計画・記録・評価等の見直しをして、次年度の実習に生かせるようにする
15	まとめ ・乳児保育における保育者の役割と専門性	DVD視聴 「地域の顔が見える子育て支援」20分 第3回レポート作成	保育者の役割と専門性についての考えをまとめておく
期末試験	期末試験	筆記試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 60点 目標③④ … レポート作成（3回）30点 目標③④ … 授業内での意見発表及び討議態度等 10点 ※授業計画の「成績評価への補足的対応措置」により、欠席・遅刻・早退による減点を行います。 詳細は初回授業時に説明します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：コンパス乳児保育 著者名：咲間まり子編著 発行所：建帛社 価格：1,900円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 本授業の3・4・7・10・12回において、平成29年告示「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び平成29年告示「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」を使用します。詳細は授業時に指示します。 2. 授業配布資料は、適宜授業内容を書き込み、重要な点にアンダーラインを引く等して整理し、各自ファイルしてください。			

授業科目名	<b>障害児保育</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <small>あら い みちこ</small> 荒井美智子	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	千葉県松戸市健康管理課心理士（昭和56年4月～昭和63年3月） 松戸市知的障害児通園施設・こども発達センター心理士 （平成8年4月～平成11年3月） 松戸市障害福祉課ケースワーカー（平成11年4月～平成16年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	社会福祉法人なのはな会評議員 世界幼児教育・保育機構（OMEP）日本委員会子どもの権利プロジェクト委員			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北大学教育学部（教育学士） お茶の水女子大学家政学研究科児童学専攻修了（家政学修士） 中学校教諭1級免許状（社会）、高等学校教諭2級免許状（社会） 聾学校教諭1級免許状、日本特殊教育学会、日本保育学会 日本発達心理学会、日本教育心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>保育所や幼稚園で、障害のある子どもや障害は明らかではないが気になる子どもとの出会いはよくあることです。共に育ちあうためには、どのようなことを大切にしていればよいのでしょうか。障害児保育を支える理念や歴史の変遷をおさえた上で、それぞれの障害の特性や心身の発達等に応じた援助の仕方について事例を基にしながら考えていきます。あわせて障害児その他の特別な配慮を要する子どもをもつ家庭への支援や関係機関との連携についても理解を深めながら、障害児保育に関する現代の社会的状況と課題について学んでいきます。</p>	○ A	知識
	○ B	技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○ F	多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○ イ	ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
○ エ	プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 障害児保育を支える理念や歴史について述べるができる	目標	A・F
② 個々の障害とその子どもの配慮の基本について説明できる	目標	A・B・F
③ 障害のある子の支援・保育計画をたてることができる	目標	A・B・F
④ 家庭への支援、関係機関との連携の要点を説明できる	目標	A・F
⑤ 障害児保育の現状と課題を述べるができる	目標	A・F

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション (1) 授業の概要と到達目標 (2) 授業内容と評価方法 (3) 授業の進め方、その他の留意点 「障害」とはどのようなことか	授業計画 プリント配布 パワーポイント使用	予習：授業計画を事前に読んでおく 復習：プリントを見直す
2	障害のとらえ方の歴史の変遷	プリント配布 パワーポイント使用 映像教材使用 「みんなひかっている」(30分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
3	障害のある子どもの地域社会への参加 ノーマライゼーション、インクルージョン、合理的配慮について	プリント配布 映像教材使用 「ノーマライゼーションについて」(15分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
4	障害児保育の歴史 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育の基本	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
5	障害の理解と援助(1) 肢体不自由 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用 「いっしょっていいね～統合保育の現場から～」(30分)	予習：次回の内容に関する小レポートを指示する 復習：プリントを見直す
6	障害の理解と援助(2) 視覚障害 — 事例を基に考える 点字を読んでみよう、打ってみよう	プリント配布 映像教材使用 「視覚障害幼児の保育について」(15分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
7	障害の理解と援助(3) 聴覚障害 — 事例を基に考える 手話に挑戦!	プリント配布 映像教材使用 「聴覚障害幼児の保育について」(15分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
8	障害の理解と援助(4) 知的障害とはどのようなことか	プリント配布 映像教材使用 「ダウン症児の早期発達支援 第2巻」(うち保育についての部分20分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
9	障害の理解と援助(5) 知的障害 — 事例を基に考える	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
10	障害の理解と援助(6) 発達障害(自閉性障害) — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用 「発達障害の理解と支援～わかり合って素敵だね～」(30分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
11	障害の理解と援助(7) 発達障害(注意欠陥多動性障害、学習障害) — 事例を基に考える	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
12	障害の理解と援助(8) 重症心身障害、医療的ケアについて — 事例を基に考える	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
13	障害児保育の実際 — 保育計画について 職員間の連携、協働について	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
14	家庭及び関係機関との連携について	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
15	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題	プリント配布	全体的見直しをする
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 50点 目標③④ … 事例についてのレポート 30点 目標⑤ … 毎回の小レポート・授業の感想 20点 ほか、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 配布資料を整理するための専用ファイルを1冊準備してください。 2. 授業の最後に、次の授業のポイントになる小課題を出し、次回の授業の中で発言を求めます。また、「分かったこと分からなかったこと印象に残ったこと」(小レポート)を書いて提出を求めます。ここに書かれた疑問・質問や感想については、次の回にコメントし復習に役立つようにします。授業の中で数回、次の授業に関する事例を読んで答える課題を出し、関連する授業の中で発言を求めます。			

授業科目名	<b>幼児理解の理論及び方法</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	兼任講師 やぎ たかのり 憲		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	静岡県スクールカウンセラー（平成21年4月～平成26年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	東海心理療法研究会幹事（平成24年4月～現在）			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程 修士（臨床心理学） 臨床心理士、専門社会調査士、公認心理師、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>幼児の成長発達に関する基礎理論や方法論はもちろんのこと、目の前の子どもへの対応力を高めるべく、よく観察し、一人ひとりの子どものニーズを的確に把握できる力を養うことが大事です。</p> <p>本授業では、とくに一人ひとりの子どもに対応するために、幼児教育に対する的確な理解と多面的視点での考察を行っていきます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 教育現場における幼児理解の意義と課題について理解している	目標	A
② 幼児理解の具体的な方法や原理について理解している	目標	B
③ 一人ひとりの幼児を多面的に理解することができる	目標	F

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション (授業の概要と到達目標、評価) 人(幼児)を理解するとは？	授業計画 DVD「発達を学ぶ意義」6分	予習：幼児の定型発達について文献を読む「保育者のたまごのための発達心理学 第3版 保育者のたまご応援ボックス」北樹出版
2	幼児理解のための発達理論	DVD「0～3歳までの基本的な発達」15分	予習：他者関係性の発達について文献を読む「保育者のたまごのための発達心理学 第3版 保育者のたまご応援ボックス」北樹出版

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	幼児理解の視点(1) 生育歴・家族歴・他者関係性・発達特性からみる個性記述的理解	DVD「ジェノグラムとは」 9分	予習：レビューテーマ「間主観性とは何か」400字
4	幼児理解の視点(2) 間主観的理解	間主観性に関する文献講読	予習：幼児の言語の発達について文献を読む「保育内容・言葉 乳幼児のことばを育む」教育出版
5	幼児理解のための面接法 言語メッセージと非言語メッセージ	言語・非言語メッセージの意味と受容の体験ワーク	予習：観察法の内容について理解する
6	幼児理解のための観察法 何を見て、どのように記録するか	アセスメントツールを使用した記述的理解	予習：遊びの発達と効果について文献を読む「遊びのリアリティ—事例から読み解く子どもの豊かさ」と奥深さ」新曜社
7	幼児理解の実際(1) 遊びに見る幼児理解	遊びの意義と効果に関する文献講読	予習：ピアジェの発達論について理解する
8	幼児理解の実際(2) 感覚のアンバランスについて	感覚運動に関するワークにより体験的に理解する	予習：発達障害の種類を理解する
9	幼児のつまずきの表われとその理解(1) 発達障害	DVD「エリクソンの心理社会的発達理論」10分	予習：虐待の種類と発生件数を理解する
10	幼児のつまずきの表われとその理解(2) 虐待	DVD「子どもの権利とは」 12分	予習：愛着理論に関する文献を読む「愛着臨床と子ども虐待」ミネルヴァ書房
11	幼児のつまずきの表われとその理解(3) 登園しぶり保護者への対応	DVD「アタッチメント(愛着)」 15分	予習：いじめの構造に関する文献を読む「子どものいじめ問題ハンドブック 発見・対応から予防まで」明石書店
12	幼児のつまずきの表われとその理解(4) いじめ	いじめに関する文献講読	予習：アセスメントについて文献を読む「臨床心理アセスメント演習」培風館
13	幼児理解と評価	DVD「子どもと家族を支援するための包括的アセスメント」 14分	予習：保護者支援における注意点を理解する
14	幼児理解と保護者支援	DVD「しつけと虐待」13分	予習：精神疾患に関する文献を読む「DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引」医学書院
15	幼児理解を支える保育者のメンタルヘルス	DVD「専門性と子どもの権利」 13分	総復習：ミニレポートを課す
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標① … 期末試験 50%  
 目標② … 毎回のリアクションペーパー、授業内でのレポート 30%  
 目標③ … 授業内での意見発表 20%  
 ほか、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。

教科書	参考書
使用しません。 適宜、資料を配布します。	書名：おさなごころを科学する 進化する乳幼児観 著者名：森口佑介 発行所：新曜社 価格：3,344円（税別）
	書名：哲学する赤ちゃん 著者名：アリソン・ゴブニック著・青木玲（翻訳） 発行所：亜紀書房 価格：2,500円（税別）
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

授業科目名	ピアノ演習Ⅰ		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 佐藤敦子		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学認定こども園園長（平成28年2月～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	日本音楽療法学会東北支部福島県代表、財団法人福島市私立幼稚園協会監事 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会監事			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国立音楽大学教育音楽学科 芸術学士、幼稚園教諭一種免許状 明星大学大学院修了修士（教育学）、幼稚園教諭専修免許状 日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本音楽教育学会、日本音楽療法学会 日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>1. 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。</p> <p>2. 幼児の歌を中心に、歌曲（童謡・あそび歌等）、練習曲（バイエル・ツェルニー等）を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。</p> <p>3. 個々のピアノ演奏技術に応じて、4つのグレードから一つを選択します。</p> <p>◆グレードの名称と選択する際の基準</p> <p>「初心者グレード」 バイエル1番～バイエル60番程度</p> <p>「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度</p> <p>「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度</p> <p>「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度、バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度</p> <p>4. グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式で授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック（確認テスト）を受けます。</p> <p>◆グレードの課題曲数</p> <p>「初心者グレード」 28曲（練習曲8曲＋歌曲20曲）</p> <p>「初級者グレード」 35曲（練習曲11曲＋歌曲24曲）</p> <p>「中級者グレード」 42曲（練習曲11曲＋歌曲31曲）</p> <p>「上級者グレード」 47曲（練習曲8曲＋歌曲39曲）</p> <p>5. 年度途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組むこととなります。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
	○	エ	プレゼンテーション	
	○	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 初心者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、ピアノ演奏の基礎力を身につけることができる	目標	B・D		
② 初級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、曲想をつけながら表情豊かにピアノを弾くことができる	目標	B・D		
③ 中級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、弾きながら歌えるような応用力を身につけることができる	目標	B・D		
④ 上級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、アレンジして弾くことができるような応用力を身につけることができる	目標	B・D		

授 業 計 画				
回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
1	オリエンテーション ・授業の目的、概要、到達目標 ・評価方法 ・グレードの確認 ・授業の進め方 ・その他		授業計画 テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	テキストを見て、弾ける曲を練習しておく
	ピアノ奏法の基本知識・技術①	課題曲の個別レッスン		
2	ピアノ奏法の基本知識・技術②	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
3	ピアノ奏法の基本知識・技術③	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
4	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
5	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
6	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
7	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
8	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
9	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
10	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
11	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
12	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
13	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
14	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
15	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
期末試験	前期末試験(中間試験) 到達度確認のための演奏会①		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾いた曲を復習しておく
16	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
17	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
18	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
19	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
20	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく

回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
21	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
22	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
23	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
24	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
25	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
26	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
27	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
28	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
29	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
30	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
期末試験	後期末試験 最終到達度確認のための演奏会②		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
<b>期末試験の講評</b>				
期末試験終了後、希望者は期末試験の講評について、オフィスアワーを通じて説明します。				
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>				
<p>各グレードの課題曲を達成します。演奏技術・表現力により加点・減点を行い、成績評価を行います。          なお、課題曲を達成しない場合は、単位を認定しません。</p> <p>目標① … 「初心者グレード」60点～75点          目標② … 「初級者グレード」60点～80点          目標③ … 「中級者グレード」75点～90点          目標④ … 「上級者グレード」80点～100点</p> <p>*前期末試験、後期末試験は、演奏会形式で実施します。          *演奏会はクラスごとに実施し、全履修者と授業担当者前で1曲を演奏します。          ※「成績評価への補足的対応措置」により、欠席、遅刻、早退による減点を行います。</p>				
<b>教科書</b>			<b>参考書</b>	
書名：標準バイエル教則本 発行所：全音楽譜出版社 価格：900円(税別) ※グレードに応じて、楽譜のプリントを配布します。			特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グレード分けは、年度当初の学科オリエンテーションにて行います。</li> <li>2. 初心者グレードのみ、第1～3回(3コマ分)の授業は、ピアノ奏法の基礎的な知識・技術を全員で学習します。(音符の読み方・長さ、リズム、指の使い方など。)</li> <li>3. 課題曲練習確認票は毎時間ごとに授業担当者へ提出してください。</li> <li>4. 年度内に課題曲を達成しないと見込まれる場合、授業担当者が補習授業(2月上旬の後期末試験前)の受講を指定するので、必ず受講してください。</li> </ol>				

授 業 科 目 名	ピアノ演習 I	授業形態・単位数	演習・2単位
		開 講 年 次	1年次
担 当 教 員	兼任教授 ミハウ・ソブコヴィアク	開 講 期	通年
		授 業 回 数	30回
		期 末 試 験 の 有 無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学客員教員「ピアノ演習」担当（平成14年4月～平成17年2月） 尚美ミュージックカレッジ「伴奏法」「実技レッスン」非常勤講師 （平成17年4月～平成23年3月） 洗足音楽大学「ピアノレッスン」非常勤講師（平成27年4月～平成29年3月） 昭和音楽大学「ピアノレッスン」非常勤講師（平成29年4月～現在） 平成7年6月 フランツ・リスト国際ピアノコンクール（ポーランド共和国） ヴロツワフ・プレスセンター賞受賞 平成8年6月 ヤマハ音楽振興会主催コンサート「パー・ピアノフォルテ」 （ポーランド共和国）優勝 平成29年2月 第8回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan 最優秀指導者賞受賞 平成30年2月 第9回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan 最優秀指導者賞受賞		
社会貢献としての委員会・職 等	ショパン国際ピアノコンクールin Asia 審査員、ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan 審査員、及び審査員長（平成22年～現在）		
最終卒業(修了)学校及び学位 等 資格・免許及び所属学会 等	ショパン音楽院ピアノ、チェンバロ、オルガン科（ポーランド共和国） 修了（学術修士）※平成20年大学名変更、現在 ショパン音楽大学 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択	
保育士資格	専門教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。		

授 業 の 概 要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
1. 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。 2. 幼児の歌を中心に、歌曲（童謡・あそび歌等）、練習曲（バイエル・ツェルニー等）を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。 3. 個々のピアノ演奏技術に応じて、4つのグレードから一つを選択します。 <b>◆グレードの名称と選択する際の基準</b> 「初心者グレード」 バイエル1番～バイエル60番程度 「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度 「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度 「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度、バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度 4. グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式で授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック（確認テスト）を受けます。 <b>◆グレードの課題曲数</b> 「初心者グレード」 28曲（練習曲8曲＋歌曲20曲） 「初級者グレード」 35曲（練習曲11曲＋歌曲24曲） 「中級者グレード」 42曲（練習曲11曲＋歌曲31曲） 「上級者グレード」 47曲（練習曲8曲＋歌曲39曲） 5. 年度途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組むこととなります。	○	A 知識
	○	B 技能
	○	C 論理的思考力
	○	D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
○	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	初心者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、ピアノ演奏の基礎力を身につけることができる	目標	B・D
②	初級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、曲想をつけながら表情豊かにピアノを弾くことができる	目標	B・D
③	中級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、弾きながら歌えるような応用力を身につけることができる	目標	B・D
④	上級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、アレンジして弾くことができるような応用力を身につけることができる	目標	B・D

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
1	オリエンテーション ・授業の目的、概要、到達目標 ・評価方法 ・グレードの確認	・授業の進め方 ・その他	授業計画 テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	テキストを見て、弾ける曲を練習しておく
	ピアノ奏法の基本知識・技術① (佐藤敦子教授担当)	課題曲の個別レッスン		
2	ピアノ奏法の基本知識・技術② (佐藤敦子教授担当)	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
3	ピアノ奏法の基本知識・技術③ (佐藤敦子教授担当)	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
4	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
5	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
6	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
7	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
8	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
9	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
10	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
11	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
12	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく

回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
13	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
14	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
15	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
期末試験	前期末試験 (中間試験) 到達度確認のための演奏会①		テキスト・楽譜課題曲練習確認票	演奏会で弾いた曲を復習しておく
16	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
17	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
18	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
19	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
20	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
21	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
22	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
23	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
24	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
25	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
26	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
27	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
28	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
29	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
30	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
期末試験	後期末試験 最終到達度確認のための演奏会②		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく

### 期末試験の講評

期末試験終了後、希望者は期末試験の講評について、オフィスアワーを通じて説明します。

### 授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

各グレードの課題曲を達成します。演奏技術・表現力により加点・減点を行い、成績評価を行います。

なお、課題曲を達成しない場合は、単位を認定しません。

目標① … 「初心者グレード」 60点～75点

目標② … 「初級者グレード」 60点～80点

目標③ … 「中級者グレード」 75点～90点

目標④ … 「上級者グレード」 80点～100点

\*前期末試験、後期末試験は、演奏会形式で実施します。

\*演奏会はクラスごとに実施し、全履修者と授業担当者の前で1曲を演奏します。

※「成績評価への補足的対応措置」により、欠席、遅刻、早退による減点を行います。

### 教科書

書名：標準バイエル教則本

発行所：全音楽譜出版社

価格：900円（税別）

※グレードに応じて、楽譜のプリントを配布します。

### 参考書

特に指定しません。

### その他補足事項

1. グレード分けは、年度当初の学科オリエンテーションにて行います。
2. 初心者グレードのみ、第1～3回（3コマ分）の授業は、ピアノ奏法の基礎的な知識・技術を全員で学習します。  
（音符の読み方・長さ、リズム、指の使い方など。）【佐藤敦子教授が担当します】
3. 課題曲練習確認票は毎時間ごとに授業担当者へ提出してください。
4. 年度内に課題曲を達成しないと見込まれる場合、授業担当者が補習授業（2月上旬の後期末試験前）の受講を指定するので、必ず受講してください。

授業科目名	ピアノ演習Ⅰ		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	客員准教授	わた なべ あき こ 渡 邊 聡 子	開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		福島県保育士実技試験委員・全国保育士養成協議会保育士実技試験採点委員 歴任		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		国立音楽大学 音楽学部 教育音楽学科卒業 芸術学士 中学校教諭一級免許状(音楽)、高等学校教諭二級免許状(音楽)		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択	
保育士資格		専門教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>1. 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。</p> <p>2. 幼児の歌を中心に、歌曲(童謡・あそび歌等)、練習曲(バイエル・ツェルニー等)を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。</p> <p>3. 個々のピアノ演奏技術に応じて、4つのグレードから一つを選択します。</p> <p>◆グレードの名称と選択する際の基準</p> <p>「初心者グレード」 バイエル1番～バイエル60番程度</p> <p>「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度</p> <p>「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度</p> <p>「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度、バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度</p> <p>4. グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式で授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック(確認テスト)を受けます。</p> <p>◆グレードの課題曲数</p> <p>「初心者グレード」 28曲(練習曲8曲+歌曲20曲)</p> <p>「初級者グレード」 35曲(練習曲11曲+歌曲24曲)</p> <p>「中級者グレード」 42曲(練習曲11曲+歌曲31曲)</p> <p>「上級者グレード」 47曲(練習曲8曲+歌曲39曲)</p> <p>5. 年度途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組むことになります。</p>		A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
○	エ	プレゼンテーション		
○	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	初心者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、ピアノ演奏の基礎力を身につけることができる	目標	B・D	
②	初級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、曲想をつけながら表情豊かにピアノを弾くことができる	目標	B・D	
③	中級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、弾きながら歌えるような応用力を身につけることができる	目標	B・D	
④	上級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、アレンジして弾くことができるような応用力を身につけることができる	目標	B・D	

授 業 計 画				
回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
1	<b>オリエンテーション (専任教員担当)</b> ・授業の目的、概要、到達目標      ・授業の進め方 ・評価方法      ・グレードの確認      ・その他		授業計画 テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	テキストを見て、弾ける曲を練習しておく
	<b>ピアノ奏法の基本知識・技術①</b> (佐藤敦子教授担当)	<b>課題曲の個別レッスン</b>		
2	<b>ピアノ奏法の基本知識・技術②</b> (佐藤敦子教授担当)	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
3	<b>ピアノ奏法の基本知識・技術③</b> (佐藤敦子教授担当)	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
4	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
5	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
6	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
7	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
8	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
9	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
10	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
11	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
12	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
13	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
14	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
15	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
期末試験	<b>前期末試験 (中間試験)</b> <b>到達度確認のための演奏会①</b>		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾いた曲を復習しておく
16	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
17	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
18	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
19	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
20	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく

回数	授業テーマ・授業内容		授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
	初心者グレード	初級者・中級者・上級者グレード		
21	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
22	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
23	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
24	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
25	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
26	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
27	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
28	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
29	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
30	課題曲の個別レッスン 課題曲の進度・完成度をチェック(確認テスト)		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
期末試験	後期末試験 最終到達度確認のための演奏会②		テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
<b>期末試験の講評</b>				
期末試験終了後、希望者は期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。				
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>				
<p>各グレードの課題曲を達成します。演奏技術・表現力により加点・減点を行い、成績評価を行います。          なお、課題曲を達成しない場合は、単位を認定しません。</p> <p>目標① … 「初心者グレード」60点～75点          目標② … 「初級者グレード」60点～80点          目標③ … 「中級者グレード」75点～90点          目標④ … 「上級者グレード」80点～100点</p> <p>*前期末試験、後期末試験は、演奏会形式で実施します。          *演奏会はクラスごとに実施し、全履修者と授業担当者の前で1曲を演奏します。          ※「成績評価への補足的対応措置」により、欠席、遅刻、早退による減点を行います。</p>				
<b>教科書</b>			<b>参考書</b>	
書名：標準バイエル教則本 発行所：全音楽譜出版社 価格：900円(税別) ※グレードに応じて、楽譜のプリントを配布します。			特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グレード分けは、年度当初の学科オリエンテーションにて行います。</li> <li>2. 初心者グレードのみ、第1～3回(3コマ分)の授業は、ピアノ奏法の基礎的な知識・技術を全員で学習します。(音符の読み方・長さ、リズム、指の使い方など)【佐藤敦子教授が担当します】</li> <li>3. 課題曲練習確認票は毎時間ごとに授業担当者へ提出してください。</li> <li>4. 年度内に課題曲を達成しないと見込まれる場合、授業担当者が補習授業(2月上旬の後期末試験前)の受講を指定するので、必ず受講してください。</li> </ol>				

授業科目名	<b>ギター演習</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師 <sup>さとう</sup> 佐藤 <sup>たかし</sup> 隆 〔本務先：福島ギター学院 職名：院長〕		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島ギター学院（院長）でのギター演奏指導（1977年～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	福島アカデミー音楽学院ギター科（9年間） NHK文化センター福島教室（6年間）			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了時に教室で質問等に対応します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
ピアノ以外の楽器で、ギターを履修したい学生を対象とします。 ギターの特性を生かしながら、歌の伴奏を通して、表現豊かに演奏を行います。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力		
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	<input type="radio"/>	E	課題対処力		
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力		
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション			
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① ギターのコードを覚え、弾き語りができるようになる			目標	A・B・D	
② 保育現場でのギター演奏をできるようにする			目標	D	
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 ギターを弾いてみる	授業計画			
2	ハ長調 Iポジション ド～ソを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1		課題曲について自学自習をする	
3	ハ長調 Iポジション ソ～シを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1		課題曲について自学自習をする	
4	ハ長調 Iポジション ド～ファを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1		課題曲について自学自習をする	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
5	ハ長調 Iポジション 低いミ～シを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
6	C & G <sub>7</sub> コードを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
7	C & G <sub>7</sub> コードでいろいろなリズムパターン伴奏	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
8	メロディーと伴奏の同時演奏法	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
9	イ長調 Am & E <sub>7</sub> コードを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
10	Dmコードを覚える アルペジオ	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
11	ここまで覚えた内容の確認	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
12	今までの曲をスムーズに弾く (弾き語り)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
13	小セーハのFコードを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
14	大セーハのFコードを覚える	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
15	課題曲の練習	ヤマハクラシックギター コースVol. 1	課題曲について自学自習 をする
期末 試験	前期末試験 (中間試験)	実技試験 (発表)	
16	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(1)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
17	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(2)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
18	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(3)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
19	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(4)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
20	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(5) Eグループのコード群	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
21	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(6) Eグループのコード群	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
22	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(7) Aグループのコード群	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
23	ハ長調を重視した現場で役に立つ曲(7) Aグループのコード群	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
24	パワーコード	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
25	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(1)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
26	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(2)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
27	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(3)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
28	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(4)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
29	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(5) 課題曲(選曲)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
30	現場で役立つ曲いろいろ 反復練習(6) 課題曲(練習)	ヤマハクラシックギター コースVol. 1・こども歌謡曲集	課題曲について自学自習 をする
期末 試験	後期末試験	実技試験(発表)	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標①② … 前期末試験(実技試験) 40% 目標①② … 後期末試験(実技試験) 40% 目標① … 課題曲への取り組む態度 20% ※詳しくは初回授業時に示します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：ヤマハクラシックギターコースVol. 1 著者名：音楽振興会 発行所：(株)ヤマハミュージックメディア 価格：900円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 履修者7名以上で開講します。「ピアノ演習Ⅰ」を履修する方も受講することができます。 2. ギターは各自で準備してください。			

授業科目名	バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流 国際理解演習（バリ島）	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	1・2年次
担当教員	教授 佐藤敦子	開講期	前期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学認定こども園園長（平成28年2月～現在）		
社会貢献としての委員会・職等	日本音楽療法学会東北支部福島県代表、財団法人福島市私立幼稚園協会監事 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会監事		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国立音楽大学教育音楽学科 芸術学士、幼稚園教諭一種免許状 明星大学大学院修了修士（教育学）、幼稚園教諭専修免許状 日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本音楽教育学会、日本音楽療法学会 日本保育学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	専門教育科目・教養教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目・教養教育科目	選択	
保育士資格	専門教育科目・教養教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>1. バリ島研修（8月23日～8月28日）の6日間に参加することを条件として、授業は6月から行います。授業の履修届は5月29日（金）17:00までとし、他学科の履修者「国際理解演習（バリ島研修）」を含め、10名以上の履修者で開講します。バリ島研修日程の詳細及び研修費用は、関心のある方に別途配布します。</p> <p>2. 本授業は、研修旅行前にバリ島の歴史、文化、芸術等を学び、かつ現地での交流のための準備を行います。</p> <p>3. 研修終了後はレポートを提出し、反省会を行います。 * 渡航手続き等は、時間外に行うことがあります。</p>	A	知識		
	B	技能		
	C	論理的思考力		
	○ D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	E	課題対処力		
	○ F	多様性の理解力		
	○ G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	イ	ディスカッション、ディベート		
○ ウ	グループワーク			
○ エ	プレゼンテーション			
○ オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	バリ島の伝統芸術・文化に触れながら、日本との比較研究を行い、国際感覚を身につける	目標	F	
②	友人と協力しながら、バリ島幼稚園や村の子どもたちとの交歓交流を通して、表現力向上、協調性、思いやりを身につける	目標	D・G	
③	バリ島に関する文化、芸術、生活、歴史、宗教、教育の中からテーマを一つ選び研究を行いレポートにまとめる	目標	F	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	オリエンテーション（授業の進め方・評価方法他） バリ島研修の目的、意義、概要について ・ 現地の子どもたちとの交歓交流の内容 ・ 訪問先の具体的な説明	授業計画 資料配布	バリ島の宗教・歴史・芸術・文化・気候風土などを事前に調べておく	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	バリ島について (宗教・歴史・芸術・文化・気候風土・人々の生活の様子・ 現地の治安など) バリ島研修のDVD鑑賞	資料配布 DVD「バリ島研修旅行」 60分	バリ島の宗教・歴史・芸術・文化・気候風土などをまとめ、研究テーマを考えておく
3	研究テーマとレポート作成について (研究テーマの決定) 渡航手続きの説明 交流の練習(1) 交流の選曲	資料配布 ダンスの練習	研究テーマについて事前に調べ学習しておく
4	交流の練習(2) ダンスの振り付け	ダンスの練習	研究テーマについて事前に調べ学習しておく 交流の曲を考えておく
5	交流の練習(3) ダンスの振り付け・衣装の選定	ダンスの練習	交流の曲に合わせてダンスの練習をしておく
—	研修旅行の実施(1日目) ・飛行機、空港、ホテル内のマナー等の注意事項確認 (移動バス内で実施) ・飛行機搭乗(成田=バリ島)	バリ島海外研修の実施 2020年8月23日~28日 [4泊6日] 予定 全体および個別指導	現地での学習・研究 (記録)
6 7 8	研修旅行の実施(2日目) / 3コマ ・バリダンスレッスン ・現地での文化施設の視察(美術館、寺院見学) ・ヌサドゥアシアター「デブダンシアターショー」鑑賞	実地研修	現地での学習・研究 (記録)
9 10 11	研修旅行の実施(3日目) / 3コマ ・ハラパン幼稚園での歓迎式典、園児との交歓交流、自分たちのパフォーマンス、幼稚園・小学校見学 ・ケチャックダンス鑑賞	実地研修	現地での学習・研究 (記録)
12 13	研修旅行の実施(4日目) / 2コマ ・ケランピタン宮殿での子どもたちとの交歓交流、バリダンスレッスン ・ケランピタン宮殿でのバリダンス鑑賞 ・ケランピタン宮殿でのバリ衣装体験(ミニ・模擬結婚式)	実地研修	現地での学習・研究 (記録)
14	研修旅行の実施(5日目) / 1コマ ・自由研修 ・レゴンダンス鑑賞	実地研修	現地での学習・研究 (記録)
—	研修旅行の実施(6日目) 日本への帰国準備、バリ島からの出国準備 空港・飛行機でのマナー(ホテル・移動バス内で実施)	実地研修	研究テーマに沿ったレポートを作成する
15	事後指導 反省会・レポート提出について		研究テーマに沿ったレポートを作成する

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 現地での公式プログラム参加（50点）

（真剣に参加したか、交流の仕上がりはどうか、友人と協調していたか、子どもたちと積極的に交流していたか、交流先でのマナーは良かったか、健康管理は保たれていたかなど）

目標②③ … 交流のためのダンスレッスン参加（20点）

（積極的に参加していたか、アイデアは出していたか、お互いに協力し合っていたかなど）

\* 1回欠席につき3点減点

目標③ … 事前指導への参加態度（10点）

（積極的に参加していたか、注意事項を聞いていたか、持参品をきちんと準備できていたか、書類の提出はなされていたかなど）\* 1回欠席につき3点減点

目標③ … 最終レポートの内容（20点）

（1000字以上1200字以内）

※海外研修における現地研修・公式プログラムについては、体調不調もしくは病気・怪我等で所定のプログラムに参加できなかった場合は、1プログラムごとに5点の減点とします。

その他補足事項

1. 履修届は指示された日時までに行ってください。
  2. 渡航手続き、交歓交流の練習等は、授業時間外に実施します。\*夏期休業期間に実施する場合があります。
  3. 全学科合同のダンス練習については、6月以降、毎週2～3回程度行います。
  4. 現地での活動に備えて、体力や精神力を鍛えておいてください。  
（現地の食べ物や気候風土に対し、適応能力があることが望ましい）
  5. 現地での健康状態を把握する上で、健康チェックの用紙を提出していただきます。
  6. 研修旅行中、常備薬や医師からの薬が必要な場合は、各自の責任において薬を持参してください。
  7. 現地での体調管理については、最大限のサポートをしますが、自己管理、自己責任とします。
  8. 団体で行動するので協調性を身につけておいてください。  
（現地での単独行動は、治安上の観点から禁止とします）
  9. 海外旅行保険の付保が必要となります。また、ご家族からの「承諾書」も提出していただきます。
  10. ご家族に対しても研修旅行の説明会を開催します。旅行中緊急事態が発生した場合、ご家族の協力を要請する場合があります。
  11. 最少催行人数は10名、最高催行人数は16名とします。
- ※海外研修の実施にあたり、自然災害、国際情勢（テロ等）等によって、十分な安全を確保できないと判断した場合、または、鳥インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症が終息しない場合については、海外研修の実施を中止、もしくは延期する場合があります。

授業科目名	<b>特別研究 I (子どもと園芸)</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	教授 <small>すぎ</small> 杉 <small>うら</small> 浦 <small>ひろ</small> 広 <small>ゆき</small> 幸	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	新潟県園芸試験場 (1989年4月～1996年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	全農福島特定栽培農産物評議委員会 (委員長)			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	農業改良普及員、毒物劇物取り扱い主任者 (一般用) 博士 (農学)、日本放射線安全管理学会、園芸学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは火曜日の昼休みの時間帯に研究室にて行います。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>保育所・幼稚園・こども園では、多くでサツマイモ栽培など農作物の栽培が実施されています。これは保育所保育指針に「身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり大切にしたり、農作物を育てたり味わうなどし生命の尊さに気づく」と明記されています。本授業ではこの点を重視し、農作物・植物の栽培と利用活動を保育に活用する方法を体験しながら学習し、発展させていきます。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
		イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
○	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	子どもが自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づくような保育ができる知識を得る	目標	A	
②	子どもが農作物栽培や庭園での活動を通し、自然に関心を持ち、遊びや生活に取り入れる保育ができるようになる	目標	B	
③	保育で農作物を育てたり味わうなどのプログラムを実施し、子どもが生命の尊さに気づくような課題を設定できる	目標	E	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	<b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法 授業の進め方、その他の留意点 <b>子どもと野菜</b> 野菜の畑作り・定植準備 (圃場案内と栽培活動の準備)	授業計画 手製資料、Power Point による解説、土作り体験	予習:畑作りに必要な服装・ 用具を考え、準備・手配し ておく	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	<b>野菜植え付け・播種</b> 前期：ジャガイモ・ニンジン / 後期：ツケナ類 ビオトープ整備(1)	手製資料 作業着・長靴	復習：野菜の作型を覚えてくる
3	<b>プランターの活用</b> 前期：ニンジン播種 / 後期：七草プランター	手製資料 作業着・長靴	復習：畑の灌水を適宜行う
4	<b>野菜とのふれあい</b> 前期：サツマイモ・野菜苗定植 後期：ハロウインのランタン作り	手製資料 作業着・長靴	復習：畑の灌水を適宜行う
5	<b>畑の整備</b> 前期：野菜畑作り / 後期：ランタンの片付け	手製資料 作業着・長靴	復習：畑の灌水を適宜行う
6	<b>庭園、畑の整備</b> ビオトープ整備(2)	手製資料 作業着・長靴	復習：ビオトープの構造を学んでおく
7	<b>苗づくり</b> 前期：カボチャ苗作り① 後期：植え替え前の花苗保存	手製資料 作業着・長靴	復習：季節の苗をホームセンター等で観察しておく
8	<b>花苗植え替え</b> 前期：夏物定植 / 後期：冬・春物定植	手製資料 作業着・長靴	復習：夏の花の名前を復習しておく
9	<b>季節の畑作業</b> 前期：カボチャ苗作り② 後期：サツマイモの収穫とふかしサツマイモ	手製資料 作業着・長靴、エプロン	予習：野菜類の栽培を学習しておく
10	<b>収穫物の利用(1)</b> 前期：ウメ収穫とシロップ / 後期：焼きイモ	手製資料 作業着・長靴、エプロン (焼き芋では服装注意)	予習：シロップの作り方・焼き芋の方法を学んでおく
11	<b>野菜の作業</b> 前期：カボチャ交配・サツマイモ弦の整理・ジャガイモの土寄せ / 後期：ツケナ類収穫と保存	手製資料 作業着・長靴	予習：野菜の交配、加工について調べておく
12	<b>植物の利用</b> 前期：ビワの収穫とジャム作り 後期：本物クリスマスリース	手製資料 作業着・長靴、エプロン	復習：ジャム作り、リース作りの方法を調べておく
13	<b>野菜の収穫</b> 前期：ジャガイモでこふきイモ 後期：七草収穫で七草がゆ	手製資料 作業の服装、エプロン	復習：野菜の過熱時間を調べておく
14	<b>収穫物の利用(2)</b> 植物色素利用 前期：色付きライスでカレー / 後期：団子さし	手製資料 エプロン	予習：カレー作り、団子さしについて調べておく
15	<b>野菜の利用と今後の準備</b> 前期：スイカ割とツケナ播種 後期：恵方巻・温室整理	手製資料 エプロン	予習：彼岸や節分などの行事の意味を調べておく
期末試験	<b>期末試験</b>	レポート形式(持込可)	今まで取り組んだ内容を復習しておく
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）**

目標① … 期末テスト 10%

目標②③ … 毎時間に設定された課題への取り組み（栽培作業、収穫物加工や作品作り等）90%  
（1回につき6%（②3%+③3%）×15回）

※欠席は1回につき3点減点、遅刻・早退は1回につき1点減点（遅刻・早退3回は欠席1回とみなして3点減点）とします。ただし、実習、自然災害、公共交通の遅れ等、正当な理由と判断される欠席（届出のあるもの）は除きます。また、授業への取り組みに積極性が評価できる場合は3点加点、授業中の問題行動は1件につき1点減点とします。

**教科書**

使用しません。資料を配布します。

**参考書**

書名：環境を生かした保育  
著者名：青木久子  
発行所：チャイルド本社  
価格：1,500円（税別）×4巻

**その他補足事項**

農作業や食品加工をするので、作業時は作業着と長靴、食品加工時はエプロンを用意してください。  
なお、最終回の材料の一部を各自で準備していただきます（数百円程度）。

授業科目名	<b>特別研究 I (障害児生活支援演習)</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1年次
担当教員	講師 <small>たか はし ゆう じ</small> 高橋雄二	開講期	後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	特別養護老人ホーム而今荘 介護職員 (平成2年4月～平成8年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	NPO法人あざみ会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻 修士 (こども心理) 介護福祉士、社会福祉士、介護福祉教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本科目では、身体的に障害のある児童の日常生活を支援するための基本的な「食事・入浴・排泄」を中心とした生活支援に必要な知識と技術を修得していく。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
		ウ グループワーク
	○	エ プレゼンテーション
	○	オ 実習・フィールドワーク

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 介護の基本的な視点である「安心・安全・自立」を中心とした知識を学ぶ	目標	A
② 介護を必要とする児童の基本的介護技術を実践する能力を身に付ける	目標	B
③ 様々な障害者に応じた適切な支援ができる能力を身に付ける	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> (1) 授業の概要と到達目標 (2) 評価方法、授業の進め方と留意点 <b>生活支援の基本理念</b> 「介護」とは ボディメカニクス 感染予防 介護における専門用語	授業計画 資料1 DVD「ボディメカニクスの応用、感染予防」15分	
2	<b>環境整備</b> ギャジベッドの使用法 ベッドメイキング① 三角コーナーのベッドメイキング	資料2 DVD視聴「ベッドメイキング」10分	技術演習に必要な服装を準備しておく

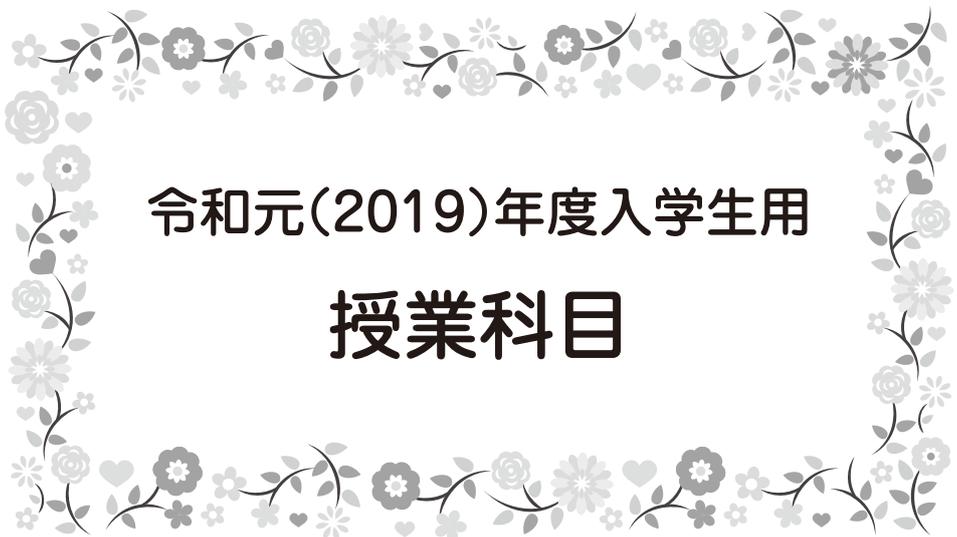
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	ベッドメイキング② 四角コーナーのベッドメイキング 実技試験(1)内容提示	実技試験問題 1	前回授業時配布資料を復習する
4	実技試験(1)	練習及び実技試験の実施	実技試験の自主練習
5	移動介助 ベッド上の移動介助 体位変換・平行移動 引き上げ 端座位	資料 3 DVD「体位と姿勢の変換の介助」15分	褥瘡について調べる
6	移乗の介助 ベッドから車いす リフターの操作	資料 4	前回授業時配布資料を復習する
7	移乗の介助 車いすの介助 車いすの名称・種類 車いす介助法	資料 5 DVD「車いすの介助」15分	前回授業時配布資料を復習する
8	車いす介助の実践 建物内の移動介助 路上の移動介助	学内を車いすに乗り移動する。車いす利用者と介助者を実体験する	前回授業時配布資料を復習する
9	杖歩行の介助 杖の種類と使用対象者 杖使用者への介助	資料 6	前回授業時配布資料を復習する
10	視覚障害者の移動介助 ガイドヘルプの方法	資料 7 レポート課題の説明	前回授業時配布資料を復習する
11	衣服の着脱の介助 座位姿勢での介助 ベッドに寝たままでの介助	資料 8 DVD「衣服の着脱の介助」15分	前回授業時配布資料を復習する
12	実技試験(2)内容提示 「パジャマの着替え (ベッド上)」	実技試験問題のデモンストレーション	前回授業時配布資料を復習する
13	実技試験の実施(2)	練習及び実技試験の実施	実技試験の自主練習
14	食事の介助 食事介助時の留意点	資料 9 DVD「こうすれば食べられる」15分	前回授業時配布資料を復習する
15	入浴の介助 入浴の効果 入浴介助の注意事項 排泄の介助 ポータブルトイレの介助 おむつ交換	資料10 DVD「入浴の介助」15分 DVD「排泄の介助」15分	排泄のメカニズムを調べる
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標① … 期末試験60% 目標②③ … 実技試験(介護技術試験)を2回実施30%、課題レポート10% 合計100点満点で評価する。ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	

授業科目名	特別研究Ⅱ（保育者の音楽遊び）	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	1年次
担当教員	教授 佐藤あつこ 藤 敦子	開講期	後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学認定こども園園長（平成28年2月～現在）		
社会貢献としての委員会・職等	日本音楽療法学会東北支部福島県代表、財団法人福島市私立幼稚園協会監事 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会監事		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国立音楽大学教育音楽学科 芸術学士、幼稚園教諭一種免許状 明星大学大学院修了修士（教育学）、幼稚園教諭専修免許状 日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本音楽教育学会、日本音楽療法学会 日本保育学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択	
保育士資格	専門教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>保育現場での音楽遊びと「幼児と表現（音楽）」の応用編です。</p> <p>現在、保育現場で大きな課題の一つである「気になる子」、「発達障害児」への音楽指導法（音楽療法）についてもより具体的に、歌唱、踊り、楽器の観点から学びます。リトミックも学んでいきます。</p> <p>また、本学認定こども園などの子どもたちと保育現場で触れ合うなどの実地体験も行います。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力	
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	<input type="radio"/>	E	課題対処力	
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力	
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力	
	アクティブラーニングの要素		<input type="radio"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
	<input type="radio"/>	ウ	グループワーク	
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション		
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 音楽を通して保育現場で実践できる知識、技術を身につける	目標	A・B・D		
② 気になる子、発達障害児への音楽療法を修得する	目標	A・B		
③ 実際に保育現場で発表できる表現力を身につける	目標	B・D		
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点 気になる子、発達障害児への音楽療法について	授業計画 プリント	授業計画を事前に読んでおく 気になる子、発達障害児、音楽療法について調べておく	
2	保育現場で活用されている音楽体験(1) 保育現場での気になる子、発達障害児への音楽指導法 (歌唱・歌あそび・踊りの歌①)	教科書、プリント	こどもの歌（童謡・季節の歌等）を練習し、楽譜なしでも歌えるようにしておく 発達障害児への理解を深め、音楽療法を復習しておく	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	保育現場で活用されている音楽体験(2) 保育現場での気になる子、発達障害児への音楽指導法 (歌唱・歌あそび・踊りの歌②)	教科書、プリント	こどもの歌(現代の子ども達に適切な歌等)を練習し、楽譜なしでも歌えるようにしておく 発達障害児への理解を深め、音楽療法を復習しておく
4	保育現場で活用されている音楽体験(3) 保育現場での気になる子、発達障害児への音楽指導法 (歌唱・歌あそび・踊りの歌③)	教科書、プリント	こどもの歌(現代の子ども達に必要な歌等)を練習し、楽譜なしでも歌えるようにしておく 発達障害児への理解を深め、音楽療法を復習しておく
5	保育現場で活用されている音楽体験(4) 保育現場での気になる子、発達障害児への音楽指導法 (歌唱・歌あそび・踊りの歌④)	教科書、プリント	こどもの歌(伝統的なわらべ唄)を練習し、楽譜なしでも歌えるようにしておく 発達障害児への理解を深め、音楽療法を復習しておく
6	保育現場で活用されている音楽体験(5) (リトミック①)	プリント、身体表現	リトミックについて調べておく
7	保育現場で活用されている音楽体験(6) (リトミック②)	プリント、身体表現	リトミックについて復習しておく
8	保育現場で活用されている音楽体験(7) (楽器演奏:ハンドベル・トーンチャイム①)	楽器(ハンドベル、トーンチャイム)	ハンドベル、トーンチャイムで実践が出来るよう練習する
9	保育現場で活用されている音楽体験(8) (楽器演奏:ハンドベル・トーンチャイム②)	楽器(ハンドベル、トーンチャイム)	ハンドベル、トーンチャイムで実践が出来るよう練習する
10	保育現場で活用されている音楽体験(9) (楽器、身体表現、歌唱のまとめ)	楽器、歌唱、身体表現	身体表現、歌唱、楽器についてのまとめをする
11	保育現場で活用されている音楽体験(10) (グループに分かれて楽器、歌唱、リトミックで音楽療法の実践をする①)	個人、あるいはグループでの発表練習、楽器、グループディスカッション	空き時間を利用して個人、あるいはグループで発表する内容の練習をする
12	保育現場で活用されている音楽体験(11) (グループに分かれて楽器、歌唱、リトミックで音楽療法の実践をする②)	個人、あるいはグループでの発表練習、楽器、グループディスカッション	空き時間を利用して個人、あるいはグループで発表する内容の練習をする
13	保育現場で活用されている音楽体験(12) (練習の成果を、グループごとに履修者全員の前で発表する)	個人、あるいはグループでの発表、楽器、グループディスカッション	空き時間を利用して個人、あるいはグループで発表する内容の練習をする
14	保育現場での発表会(1) (保育現場での発表会、子ども達とあそびの実践①) ※発表会の日程は未定(12月以降に決定)	個人、あるいはグループでの発表 (本学認定こども園を予定)	空き時間を利用して個人、あるいはグループで発表する内容の仕上げをする
15	保育現場での発表会(2) (保育現場での発表会、子ども達とあそびの実践②) ※発表会の日程は未定(12月以降に決定)	個人、あるいはグループでの発表 (本学認定こども園を予定)	発表会や実践した内容についてのレポートをまとめておく(800字程度)
期末試験	期末試験 発表会の反省と講評	グループディスカッション レポート提出	

期末試験の講評	
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。	
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）	
目標①②③ … 保育現場での発表会内容 60% 目標①②③ … 保育現場での発表会への取り組み 30% 目標① … レポート提出（800字程度） 10%	
教科書	参考書
幼児と表現（音楽）で購入する「こどもの歌名曲選」を使用します。 *その他は、プリントを配布します。	特に指定しません。
その他補足事項	
1. 開講するクラスによって、福島東稜高等学校との「高大接続教育（連携授業）」を実施する場合があります。11月に4コマ程度実施予定。 2. 保育現場での発表会は、高大接続教育（連携授業）に振り替える場合があります。	

A decorative border composed of various floral motifs, including roses, daisies, and hearts, arranged in a rectangular frame around the central text.

令和元(2019)年度入学生用

**授業科目**

## 令和2(2020)年度 保育学科「授業計画」目次【2年生】

授 業 科 目	授 業 担 当 者	卒 業		幼稚園教諭		保 育 士		備 考	ペー ジ
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		
<b>教 養 教 育 科 目</b>									
ウェブ動画制作	菅 田 清 正		2		2		2		181
日 本 国 憲 法	菅 原 好 秀		2	2			2		184
テレビ報道に見る現代理解	菅 田 清 正		2		2		2		187
教 養 演 習 II	酒 井 創		2		2		2	保育に役立つコンピュータ	190
英 会 話 I (ベーシックレベル)	カンホ・リツ・ブラザ 高 橋 了 治	2		2			2	いずれか2単位必修	193
英 会 話 II (アドバンスレベル)	カンホ・リツ・ブラザ								196
国 際 理 解 演 習	佐 藤 敦 子	2		2			2	時間割外 (バリ島研修旅行)	167
	中 丸 一 志							時間割外 (シンガポール研修旅行)	77
<b>専 門 教 育 科 目</b>									
教 育 原 理	関 本 仁	2		2			2		199
教 育 行 政	渡 辺 博 志 仁 関 本 仁		2	2			2		201
子ども家庭支援論	高 橋 雄 二		2		2	2			203
教 育 心 理 学	田 辺 稔		1	1			1		205
子ども家庭支援の心 理 学	荒 井 美 智 子		2		2	2			207
臨 床 心 理 学 I	渡 邊 宏 周		2		2		2		210
臨 床 心 理 学 II	杉 山 雅 彦		2		2		2		212
特 別 支 援 教 育	鶴 巻 正 子 高 橋 純 一		2	2			2		214
子どもの食と栄養	宮 下 朋 子		2		2	2			218
保育・教育課程論	渡 辺 博 志		2	2			2		221
幼 児 と 環 境	杉 浦 広 幸		1	1			1		224

幼児と言葉	中野真樹		1	1		1			227
保育内容指導法 健康	藤本要		1	1		1			230
保育内容指導法 人間関係	鈴木智子		1	1		1			233
乳児保育Ⅱ	中野明子		1		1	1			236
子どもの健康と安全	渡邊一代	1			1	1			240
社会的養護Ⅱ	鑑さやか		1		1	1			243
子育て支援	今清孝		1		1	1			246
教育方法及び技術	酒井創英 佐藤博		2	2			2		249
教育相談の 理論及び方法	八木孝憲		2	2			2		252
保育・教職実践演習 (幼稚園)	佐藤博英 関本仁		2	2			2		255
ピアノ演習Ⅰ *再履修科目	佐藤敦子	2			2	2			257
ピアノ演習Ⅱ	シウ・ソブコヴァク		2		2		2		260
創作ミュージカル	長島輝子	2			2	2			264
	中野明子								266
バリダンスレッスンと バリ島幼稚園交流	佐藤敦子		2		2		2		167
教育実習	長島輝子 関本仁		5	5			5	2年間継続履修 (事前・事後指導Ⅰ単位を含む)	268
保育実習指導Ⅰ	鈴木翔太		2		2	2		2年間継続履修	272
保育実習Ⅰ	鈴木智子		4		4	4			275
保育実習指導Ⅱ	鈴木智子		1		1	1		} Ⅱ・Ⅲどちらか 計3単位保育士必修	277
保育実習Ⅱ			2		2	2			279
保育実習指導Ⅲ			1		1	1			281
保育実習Ⅲ	高橋雄二		2		2	2		283	

授業科目名	ウェブ動画制作		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 菅 田 清 正		開講期	前期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	(株)テレビユー福島において番組制作ディレクター及び報道記者として番組・TV-CM等の制作を担当(昭和58年4月～平成14年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	学校法人福島学院元理事・元評議員			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	千代田工科芸術専門学校 放送芸術科 映像情報メディア学会(正会員)			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	教養教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択		
保育士資格	教養教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは月曜日午後4時以降 研究室(宮代キャンパス)			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>技術の進歩によりモバイルデバイスが劇的に普及して数年。その実用性が高まっている現在、インターネット上で見られる動画の割合が増えてきています。</p> <p>本科目は、そのような背景を踏まえ、スマートフォンで動画制作を行い、様々なビジネスシーンで活用するための基礎知識と技能を学び、身に付けます。</p> <p>撮影から編集まで個人のスマートフォンを使用して、動画制作を行い発表します。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力	
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	<input type="radio"/>	E	課題対処力	
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力	
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク		
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション		
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 動画制作に必要な基礎知識と技能を身に付ける	目標	A・B		
② 動画による感性等の表現力を身に付ける	目標	D		
③ 実習を通して他者との協力関係を築き、併せてプレゼン力も身に付ける	目標	D		
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	オリエンテーション ・授業の概要と評価方法の説明 ・「動画制作のワークフロー」	・授業計画 ・資料配布	指定したウェブサイトで予習復習する	
2	「著作権とは何か」 ・著作権隣接権と権利制限について	・資料配布	著作権をネットで調べておく	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	「 <b>撮影の基礎</b> 」 ・画面サイズとカメラワーク ・イマジナリーラインとは？	・資料配布 ・DVD（ハリウッド白熱教室・撮影篇）視聴（30分）	指定したウェブサイトですり習復習する
4	「 <b>音声・照明の基礎</b> 」 ・マイクアレンジ ・人物照明	・資料配布 ・実演で説明	指定したウェブサイトですり習復習する
5	「 <b>絵コンテとは何か</b> 」 ・コンテの要素と構成 ・動画制作の立案	・資料配布	次回までに企画案をまとめる
6	「 <b>絵コンテの作成</b> 」 ・CM絵コンテの企画と作成 ※小テスト実施予定	・資料配布 ・企画書の作成 ・小テストの実施	次回までに企画案をまとめる
7	「 <b>撮影1</b> 」 ・動画撮影アプリVIVA VIDEOの説明 ・ビデオカメラの操作方法説明	・アプリ操作法DVD視聴（15分） ・カメラ操作法の実地説明 ・フィールドワーク	時間外でコンテに基づいて撮影する
8	「 <b>撮影2</b> 」 ・撮影開始及び継続 ・DVD（ハリウッド白熱教室）視聴	・DVD（ハリウッド白熱教室・編集篇）視聴（30分） ・フィールドワーク	次回までに撮影を完了させる
9	「 <b>編集とは何か？</b> 」 ・編集とは何か？ ・モンタージュ理論について	・DVD（モンタージュ理論篇）視聴（15分） ・資料配布	指定したウェブサイトですり習復習する
10	「 <b>編集1</b> 」 ・アプリで編集開始	・個人のスマホで編集を開始する	編集を続ける
11	「 <b>編集2</b> 」 ・編集の継続 ・MA（音編集）作業	・個人のスマホで編集の継続 ・映像、音声の最終編集	編集が完了しないときは継続する
12	「 <b>インサートカット及び映像加工処理</b> 」 ・挿入と上書き ・特殊効果	・資料配布	指定したウェブサイトですり習復習する
13	「 <b>CM作品発表</b> 」 ・個々に作品を発表する ・講評	・資料配布	発表用の資料を作成する
14	「 <b>放送・舞台用語の理解</b> 」 ・放送用語、舞台用語	・資料配布	用語の復習
15	「 <b>まとめ、振り返り</b> 」 ・これまでの振り返り	・資料配布	次回のプレゼン資料を作成する
期末試験	<b>前期末試験</b> 制作したCM作品の上映と作品についてのプレゼンテーションを実施し、評価する	・一人3分で作品の上映とプレゼンテーションを行う	プレゼンテーション用の資料を準備しておく
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）	
目標① … 小テスト20点 目標① … 期末試験（CM作品完成度40点） 目標②③ … 期末試験（プレゼンテーション力20点） 目標③ … 授業への積極性等（発言、協調性等20点） ほか、評価に関する共通理解に則る減点（欠席等）を総合点により行います。	
教科書	参考書
使用しません。資料を配布します。	特に指定しません。
その他補足事項	
1. 個人のスマートフォンを使用するため、データ通信料が発生する場合があります。 2. 撮影に必要な小物などは自己負担で準備してください。 3. 完成した作品をDVD出力する場合は、DVDを自己負担とします。	

授業科目名	テレビ報道に見る現代理解	授業形態・単位数	講義・2単位
		開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 菅 田 清 正	開講期	後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	(株)テレビユー福島において番組制作ディレクター及び報道記者として番組・TV-CM等の制作を担当(昭和58年4月～平成14年3月)		
社会貢献としての委員会・職等	学校法人福島学院元理事・元評議員		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	千代田工科芸術専門学校 放送芸術科 映像情報メディア学会(正会員)		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択	
保育士資格	教養教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは月曜日午後4時以降 研究室(宮代キャンパス)		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>本科目は、食料、環境、福祉、経済、地域、文化、SNS等の分野で起こる様々な事例をテレビ報道の視点から捉え、その社会問題を理解する力を学びます。</p> <p>また、身近なテーマを手掛かりに社会への関心を広げ、積極的に発言し課題解決へのプレゼンテーション力を身に付けることを目的としています。</p>	○	A	知識	
		B	技能	
	○	C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
○	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
<b>授業の到達目標</b>		<b>授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)</b>		
①	現代社会を理解する力を身に付ける	目標	A	
②	多様な社会問題へ関心を広げ、課題解決までの思考力を身に付ける	目標	C・E	
③	積極的な発言およびプレゼンテーション力を身に付ける	目標	C	
<b>授業計画</b>				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション ・授業の概要と評価方法の説明 ・テレビ報道の仕組みと役割について	・授業計画 ・資料配布	TV報道についての役割を予習する	
2	「食品ロス」 ～フードロスをどう活かすか	・資料配布 ・TV番組DVD視聴(20分) ・ディスカッション	テーマについて予習する	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	「現金お断り、キャッシュレス最前線！」 ～キャッシュレス社会の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (30分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
4	「あなたのSNS投稿が危ない」 ～個人情報狙われている	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
5	「お金がタダでもらえる社会とは？」 ～ベーシックインカムとは何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
6	「ゲノム編集食品」 ～ゲノム編集とは何か、その安全性は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (20分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
7	「スマホ追放騒動」 ～小中学校におけるスマホ活用法は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
8	「追跡！ペットビジネスの最前線」 ～ペット引取り屋の実態!! ※小テスト実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (20分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習し、 テスト結果を復習する
9	「消費税増税のその後」(予定) ～増税と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
10	「ネット通販のやらせレビューとは」 ～追跡！やらせレビューの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
11	「コンビニ24時間営業の問題点」 ～働き方改革の現状と問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
12	「AIが個人を点数化」 ～あなたの個人データが利用される	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>クローズアップ現代+番組DVD視聴 (25分)</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
13	NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>•NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定</li> <li>•ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する
15	NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>•NHK「クローズアップ現代+」を視聴 ～2020年10月以降の最新話題を提供予定</li> <li>•ディスカッション</li> </ul>	テーマについて予習する 次回のプレゼン資料を作成する
期末試験	後期末試験 ～現代社会で起きている社会問題の中から出題(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•プレゼンテーション、筆記試験あり(これまでの授業の中から出題)</li> </ul>	プレゼンテーション用の資料を準備しておく
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 小テスト(20点)、期末試験(60点) 目標②③ … 授業への積極性(10点)、プレゼンテーション力(10点) その他、評価に関する共通理解に則る減点(欠席等)を総合点により行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 授業内容は最新の社会問題を扱うため、変更になることがあります。 2. 9、13～15回目の授業内容は、2020年10月以降の番組内容から選択する予定です。			

授業科目名	<b>教養演習Ⅱ (保育に役立つコンピュータ)</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	准教授 <small>さか</small> 酒 <small>い</small> 井 <small>はじめ</small> 創		開講期	前期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		玉川大学大学院工学研究科生産開発工学専攻博士課程 情報処理学会、コンピュータ利用教育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	選択必修	
保育士資格		教養教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		60時間
オフィスアワー・メールアドレス等		詳しくは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
1年次「情報機器操作Ⅱ」で習得した、ICTに関わるスキル・知識を踏まえ、社会人として、また保育・幼児教育に携わる保育者として必要な、実践的知識とスキルを、保育・幼児教育の現場での実践を意識した演習課題を通して身につける演習科目です。	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	<input type="radio"/>	エ プレゼンテーション
	<input type="radio"/>	オ 実習・フィールドワーク

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	卒業後に就く現場において、情報ネットワーク社会に積極的に参画する、情報リテラシーを踏まえた「より高度な情報活用の実践力」の修得を目標とする	目標	A・B・C
②	自分にとってどのような情報が必要かを自分で判断する力、必要な情報を、ICTを活用して主体的に収集・判断・表現・処理・創造する力を養成する	目標	A・B・C

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション ・授業の進め方など ネットワークの基礎知識(1) ・LAN、インターネット、クラウド・サービス、IoT ネットワーククラウド環境活用の基本(1) ・アカウント作成と確認 ・メール、ネットワークストレージ使用の基本	授業計画、テキスト Part 5 プリント資料配布 (ネットワーク配信あり)	事前理解：授業計画内容の確認

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	ネットワークの基礎知識(2) ・情報リテラシー、情報セキュリティ、情報モラル ネットワーククラウド環境活用の基本(2) ・メール、ネットワークストレージの実践的活用方法の理解	プリント資料 テキスト Part 6	・ネットワーククラウド環境活用課題 「提出課題1」
3	指導案作成の基本 ・フォームの配布と使用方法の理解 ・図形ツールを使用した環境構成モジュール作成	プリント資料配布 (ネットワーク配信あり)	・環境構成モジュール作成課題
4	文書作成応用編(1) ・ワープロソフト実践課題	テキストPart 2 Introduction 1～3 課題プリント配布	・文書作成課題
5	文書作成応用編(2) ・ワープロソフト実践課題	テキストPart 2 Introduction 1～3 課題プリント配布	・文書作成課題 「提出課題2」
6	文書作成応用編(3) ・ワープロソフト実践用課題	テキストPart 2 Introduction 1～3 課題プリント配布	・文書作成課題 「提出課題3」
7	ネットワーククラウド環境活用実践編(1) ・地図アプリの理解と実践的活用	プリント資料配布 (ネットワーク配信あり)	・授業復習課題 「提出課題4」
8	ネットワーククラウド環境活用実践編(2) ・課題解決のための情報分析・評価ツールの活用 ・情報探索実践活用	テキストPart 5 プリント資料 (ネットワーク配信あり)	・授業復習課題 「提出課題5」
9	指導案作成実践編(1) ・実習で使用する指導案の作成	配布済みプリント資料	・指導案作成課題
10	指導案作成実践編(2) ・実習で使用する指導案の作成	配布済みプリント資料	・指導案作成課題 「提出課題6 / 7」
11	表計算ソフト実践活用(1) ・「写真購入申し込み管理簿」シート構成の理解 ・実践的活用方法の理解	テキストPart 3 Unit 9	・事前理解：テキスト内容 ・Exercise復習
12	表計算ソフト実践活用(2) ・課題解決のための情報分析・評価ツールの活用	テキストPart 3 Unit 9	・事前理解：テキスト内容 ・Exercise復習 「提出課題8」
13	プレゼン用ソフト実践活用(1) ・スライド作成、スライドショー ・各種画像の挿入 ・アニメーション	テキストPart 4 プリント資料配布 (ネットワーク配信あり)	・事前理解：テキスト内容 ・プレゼン資料作成課題
14	プレゼン用ソフト実践活用(2) ・SmartArtの活用 ・発表者ツールの理解とプレゼン実践	テキストPart 4 プリント資料	・事前理解：テキスト内容 ・プレゼン資料作成課題 「提出課題9」
15	まとめ ・ネットワーク・クラウド環境と、この利活用に伴う知識・スキル(情報リテラシー等)の確認 ・作成した課題の確認 ・授業の振り返りと自己評価の実施	プリント資料配布 (ネットワーク配信あり)	・事前理解：テキスト内容、配布資料の復習 「提出課題10」

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
期末試験	実施しない		
<b>授業の到達目標に必ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 課題 90点 ・授業時作成および授業時間外での「提出課題1～10」 授業参加状況 10点 ・評価基準により採点(初回授業時に説明) 詳細は、初回授業時に説明する。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
*1年次で購入した教科書を使用します。 書名: 保育者のためのパソコン講座 著者名: 阿部正平 他 発行所: 萌文書林 価格: 2,000円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 基本的には、テキスト、配布プリント資料に従い、課題を進める授業形態となります。授業内外において積極的な態度で受講することを希望します。 2. 授業内容については、演習の進行状況などにより、一部入れ替えや変更を実施する場合があります。 3. 演習で作成した課題などを一時的に保存し、持ち運ぶための外部メディアとして、USBフラッシュメモリを各自で準備してください(1年次使用のもので良い)。			

授業科目名	<b>英会話 I (ベーシックレベル)</b>	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	2年次
担当教員	講師 オカンポ・メリッサ・ブラザ 非常勤講師 たか はし りょう じ 高 橋 了 治	開講期	前期・後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	オカンポ：藤女子大学「総合英語」等 非常勤講師（平成26年～平成28年） 北海学園大学「English Communication and Reading」 非常勤講師（平成27年～平成28年） 会津大学言語研究センター「English for Active Communication」 非常勤講師（平成28年～平成29年） 高 橋：特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等	オカンポ：特記事項なし 高 橋：特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	オカンポ：博士(教育学)北海道大学大学院、教師認可試験(フィリピン) 衛生検査官国家ボードの検査(フィリピン) 言語学習の国際心理学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会 高 橋：東北学院大学大学院文学研究科英語英文学専攻博士前期課程修了 文学修士(英文学)、中学・高等学校教諭専修免許状(英語)		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択必修	
保育士資格	教養教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オカンポ：オフィスアワーは初回授業時に説明します。 高 橋：授業終了後に教室で質問等に対応します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>社会のグローバル化に伴い、保育の現場でも外国人の子どもや保護者とかかわることが多くなってきました。</p> <p>本授業では保育の現場で話される会話と音楽(歌)を英語で修得していきます。また、英語を学びながら、保育所や幼稚園の生活や子どもの発達も理解できるようにします。さらに、基本的な英語構文や語彙力を身に付け、英語での自己表現力を高めていきます。そして、英語で絵本を読んだり、童謡を歌うことを通してリスニングと英語の発音に慣れるようにします。</p> <p>授業は、アットホームな雰囲気です。</p>	○	A 知識
		B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
	○	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
○	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 保育現場で頻繁に使われる英語表現を修得する	目標	A
② 基本的な英語構文や語彙力を身に付け、英語での自己表現力を高める	目標	A
③ 英語で童謡を歌うことができる	目標	G

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 幼保英検について Introduction : Please Speak More Slowly もっとゆっくり話してください	授業計画 テキストの使用法	自分なりに英語を学ぶ 意義を考えておくこと
2	Unit 1. Hi, I'm Yuri Tanaka 挨拶・自己紹介、人に何かを頼む表現 保育時間、英語での自己紹介	テキスト・CD	Unit 1 (p. 4～8) 意味調べ・音読
3	Unit 2. Where Is the Multi-purpose Room? 園内の案内、位置を伝える表現 園の構成員、戸外での道案内	テキスト・CD	Unit 2 (p. 9～13) 意味調べ・音読
4	Unit 3. Good Morning. How Are You Today? 登園時の会話、今日の調子を聞く・答える表現 持ち物、数学 手遊び歌 “Ten Little Pumpkins” 他	テキスト・CD	Unit 3 (p. 14～18) 意味調べ・音読
5	Unit 4. What Color Do You Like? 工作時間の会話、好きなもの・嫌いなものを聞く 工作やお絵かきで使う道具 英語で「かぐや姫」を読む	テキスト・CD	Unit 4 (p. 19～23) 意味調べ・音読
6	Unit 5. There's a Ladybug on the Leaf? 園外散歩での会話、場所を表す表現 集団で行う園活動、教室内の物の場所を示す	テキスト・CD	Unit 5 (p. 24～28) 意味調べ・音読
7	Unit 6. It's Time to Play Outside. 園庭での会話、遊具の名前 人に何かするよう・しないように言う表現 英語で「桃太郎」を読む	テキスト・CD グループディスカッション	Unit 6 (p. 29～33) 意味調べ・音読
8	Unit 7. She Is Allergic to Eggs. 保護者からの相談、手洗いや歯磨き、食に関する好き嫌い、アレルギーの有無を伝える表現、食材の名前 肉じゃがのレシピを英語で書く	テキスト・CD	Unit 7 (p. 34～38) 意味調べ・音読
9	Unit 8. You Should Go to the Bathroom. お昼寝時間の会話、お昼寝に関する表現 しなければならないこと・する必要があることを伝える表現、英語圏のジェスチャー 手遊び歌 “Twinkle, Twinkle, Little Star”	テキスト・Wee Sing CD 人気のある外国と日本の歌をうたう(シミュレーションロールプレイ)	Unit 8 (p. 39～43) 意味調べ・音読
10	Unit 9. We Made Masks Today. 降園時の会話、一日の活動と様子を伝える表現 子どもの歌を勉強する	テキスト・CD	Unit 9 (p. 44～48) 意味調べ・音読
11	Unit 10. If It Rains, What Happens? 園行事予定についての会話 「もし～なら」という仮定の表現 園行事の英語名、体操の名称	テキスト・CD	Unit 10 (p. 49～53) 意味調べ・音読
12	Unit 11. What shall We Do Today? ネイティブとの打ちを合わせ Shall I/we…?と Will you…?を用いた表現と応答 時刻を表す英語 歌 “Old MacDonald Had a Farm”	テキスト・Wee Sing CD 人気のある外国と日本の歌をうたう(シミュレーションロールプレイ)	Unit 11 (p. 54～58) 意味調べ・音読

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
13	Unit 12. I Feel Feverish. 体調不良の園児との会話 病気やけがの症状を伝える表現 身体の部位、家系図 英語ドラマの準備①	テキスト・CD グループディスカッション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の台本を考える	Unit 12 (p. 59~63) 意味調べ・音読
14	Unit 13. This is Yuri from Cosmos Day Care Center. 保護者との電話、電話対応に便利な表現 留守番電話の英語 英語で「浦島太郎」を読む 英語ドラマの準備②	テキスト・CD 小グループディスカッション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の台本を考え、練習する	Unit 13 (p. 64~68) 意味調べ・音読
15	Unit 14. Thank You Very Much for Everything. 最後の日の会話、お礼の表現 動きの表現、誕生日カード 英語ドラマの発表	テキスト・CD プレゼンテーション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の発表	Unit 14 (p. 69~73) 意味調べ・音読
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>目標① … 期末試験40%</p> <p>目標①②③ … グループディスカッション(授業への貢献・態度など)40%</p> <p>目標①②③ … プレゼンテーション(英語ドラマ発表)20%</p> <p>合計100点満点で評価します。</p> <p>※成績評価への補足的対応措置により減点などを行います。</p> <p>※幼保英検の受験は任意で、受験料は自己負担となります。単位取得の条件ではありません。</p> <p>詳細は初回の授業で説明します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名: Happy English for Childcare 著者名: Maiko Tsuchiya 発行所: Kinseido 価格: 2,150円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 授業には英和辞典を持参してください。(電子辞書可) 2. 授業の実施状況によって、進度や内容が変わることがあります。			

授業科目名	英会話Ⅱ（アドバンスレベル）	授業形態・単位数	演習・2単位
		開講年次	2年次
担当教員	講師 オカンポ・メリッサ・ブラザ	開講期	前期・後期
		授業回数	15回
		期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	藤女子大学「総合英語」等 非常勤講師（平成26年～平成28年） 北海学園大学「English Communication and Reading」非常勤講師（平成27年～平成28年） 会津大学言語研究センター「English for Active Communication」非常勤講師（平成28年～平成29年）		
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	博士（教育学）北海道大学大学院、教師認可試験（フィリピン） 衛生検査官国家ボードの検査（フィリピン） 言語学習の国際心理学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会		
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業	教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状	教養教育科目	選択必修	
保育士資格	教養教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>社会のグローバル化に伴い、保育の現場でも外国人の子どもや保護者とかがかわることが多くなってきました。</p> <p>本授業では保育の現場で話される会話と音楽（歌）を英語で修得していきます。また、英語を学びながら、保育所や幼稚園の生活や子どもの発達も理解できるようにします。さらに、基本的な英語構文や語彙力を身に付け、英語での自己表現力を高めていきます。そして、英語で絵本を読んだり、童謡を歌うことを通してリスニングと英語の発音に慣れるようにします。</p> <p>授業は、アットホームな雰囲気です。</p>	○	A	知識	
			B	技能
			C	論理的思考力
			D	文章・身体・感性等に関する表現力
			E	課題対処力
			F	多様性の理解力
		○	G	対人関係構築力
		アクティブラーニングの要素		
			ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		○	イ	ディスカッション、ディベート
	○	ウ	グループワーク	
	○	エ	プレゼンテーション	
		オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	保育現場で頻繁に使われる英語表現を修得する	目標	A	
②	基本的な英語構文や語彙力を身に付け、英語での自己表現力を高める	目標	A	
③	英語で童謡を歌うことができる	目標	G	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 幼保英検について 英会話の習得のコツ	授業計画 テキスト使用	自分なりに英語を学ぶ意義を 考えておくこと	
2	保育所・幼稚園で使われる単語演習 ・保育所・幼稚園のクラス名、保育数、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 1 (p. 6～8) の復習 Chap 1 (p. 9～11) の予習	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
3	自己紹介、会話演習 ・保育者の自己紹介、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 1 (p. 9~11) の復習 Chap 2 (p. 12~14) の予習
4	「実習初日」(1)給食用品、遊具などの単語演習 ・園にある遊び用品、給食用食器類の名前などを覚える、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 2 (p. 12~14) の復習 Chap 2 (p. 15~17) の予習
5	「実習初日」(2)園児との会話演習 ・園児との会話、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 2 (p. 15~17) の復習 Chap 3 (p. 18~20) の予習
6	園付近にある店、施設名の単語演習 ・園の近くにある店や施設の名前などを覚える、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 3 (p. 18~20) の復習 Chap 3 (p. 21~23) の予習
7	散歩しながらの会話演習 ・園の近くにある店や施設の名前などを覚える、泣いている園児をあやす、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 3 (p. 21~23) の復習 Chap 4 (p. 24~26) の予習
8	様々な遊びでの単語演習 ・プールで遊ぶ時の用具、その他の遊び(鬼ごっこ、ブランコ、積み木等)、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 4 (p. 24~26) の復習 Chap 4 (p. 27~29) の予習
9	様々な遊びをしながらの会話演習 ・プールで遊ぶ時の用具、その他の遊び(鬼ごっこ、ブランコ、積み木等)、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 4 (p. 27~29) の復習 Chap 5 (p. 30~32) の予習
10	おやつを作りながらの単語演習 ・簡単な料理の作り方、材料・用具 ・おやつの時間の話、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 5 (p. 30~32) の復習 Chap 5 (p. 33~35) の予習
11	おやつを作りながらの会話演習 ・簡単な料理の作り方、材料・用具 ・おやつの時間の話、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 5 (p. 33~35) の復習 Chap 6 (p. 36~38) の予習
12	読み聞かせの会話演習 ・絵本を読んで聞かせる、絵本を読んだ後の感想を聞く、実習日誌	テキスト使用 テキスト付属CD使用	Chap 6 (p. 36~41) の復習 Chap 7 (p. 42~44) の予習
13	「スイカ割り」スイカで遊ぼう ・季節の風物(こいのぼり・七夕・たこあげ等) 1月~12月を覚える、実習日誌 英語ドラマの準備①	テキスト使用 テキスト付属CD使用 グループディスカッション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の台本を考える	Chap 7 (p. 42~44) の復習 Chap 7 (p. 45~47) の予習
14	英語ドラマの準備②	グループディスカッション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の台本を考え、練習する	グループごとにオリジナルの英語ドラマを練習する
15	英語ドラマの発表	プレゼンテーション ・グループごとにオリジナルの英語ドラマ(15分程度)の発表	グループごとにオリジナルの英語ドラマを練習する
期末試験	期末試験		

### 期末試験の講評

期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。

### 授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標① … 期末試験40%  
目標①②③ … グループディスカッション（授業への貢献・態度など）40%  
目標①②③ … プレゼンテーション（英語ドラマ発表）20%  
合計100点満点で評価します。

※成績評価への補足的対応措置により減点などを行います。

※幼保英検の受験は任意で、受験料は自己負担となります。単位取得の条件ではありません。

詳細は初回の授業で説明します。

### 教科書

書名：Children's Garden  
著者名：赤松直子  
発行所：成美堂  
価格：2,400円（税別）

### 参考書

特に指定しません。

### その他補足事項

1. 授業には英和辞典を持参してください。（電子辞書可）
2. 授業の実施状況によって、進度や内容が変わることがあります。

授業科目名	<b>教育原理</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 関本 ひとし	せきもと	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	国立市役所子ども家庭部子育て支援課（現・児童青少年課）嘱託員（平成23年～25年） 荒川区自治総合研究所 研究員（平成28年～29年）			
社会貢献としての委員会・職等	幼稚園教諭免許状対象 教員免許状更新講習講師（平成29年～現在）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	早稲田大学大学院教育研究科 修士課程 学校教育専攻修士（教育学） 高等学校教諭1種（公民）、専修免許状（公民）、博物館学芸員、社会教育主事 教育史学会、日本社会教育学会、関東教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>これまで人間が営んできた歴史の中で、その時々 の社会・文化を背景として、どのように教育とい うものを捉えてきたのでしょうか。教育思想の 歴史を概観しつつ、その様々な思想が現在おこ なわれている教育に対してどのような影響を与 えているのか、について考えます。特に、子ど もの福祉に関わる教育論に注目しながら、子ど もたちにとって豊かな育ちを支える教育のあり 方について、ともに考えていきたいと思いま す。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 教育の意義・目的について学び、子ども家庭福祉とのかかわりについて理解する	目標	A・F	
② 教育の理念に関わる歴史を学び、基礎的な教育理論について理解する	目標	A・C	
③ 様々な教育実践の取り組み、及びその実践の土台となっている思想について理解する	目標	A・C	

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 <b>教育とは何か</b> ― 乳幼児期における教育とは ―	授業計画 スライド資料提示 ペア/グループディスカッション リアクションペーパーの記入	配布資料の復習

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	教育の目的について 教育・教化・形成の違い	スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
3	教育と子ども家庭福祉	スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
4	西洋における教育思想と歴史(1) 古代～コメニウス、ルソー、ペスタロッチまで	確認小テスト①、スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
5	西洋における教育思想と歴史(2) フレーベル、デューイ～現代に至るまで	スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
6	日本の教育の思想と歴史	スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
7	子ども観と教育観	確認小テスト②、スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
8	教育制度の基本理論	スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
9	教育にかかわる法律と行政	スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
10	様々な国の教育制度	確認小テスト③、スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
11	教育実践の基礎・理論	スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
12	様々な教育実践	スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
13	社会教育と生涯学習	確認小テスト④、スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
14	教育の権利保障	スライド資料提示 ペア／グループディスカッション リアクションペーパーの記入	予習：プリント下読み 配布資料の復習
15	教育の現代的課題／まとめ	スライド資料提示 リアクションペーパーの記入	配布資料の復習
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 50点 目標①②③ … 授業内での確認小テスト 20点（4回×5点） 目標①②③ … 各回終了後にまとめて記入するリアクションペーパー 30点 以上、合計100点満点で評価します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
教科書は使用しません。各回の終わりに次回使用するスライドの資料を配布します。予習として、配布した資料の下読みを行い、授業の準備をしておいてください。		書名：子どもの教育の原理 — 保育の明日をひらくために — 著者名：古橋和夫編 発行所：萌文書林 価格：1,900円（税別）	

授業科目名	教育行政			授業形態・単位数	講義・2単位	
				開講年次	2年次	
担当教員	兼任教授 講師	わたなべ 渡辺	なべひろ 辺博	し 志	開講期	前期・後期
					授業回数	15回
					期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間				渡辺：福島県教育庁教育指導領域学習指導グループ参事 (平成15年4月～平成17年4月) 福島大学総合教育研究センター准教授・教授 (平成19年4月～平成25年3月) 関本：国立市役所子ども家庭部子育て支援課(現・児童青少年課)嘱託員 (平成23年～25年) 荒川区自治総合研究所 研究員(平成28年～29年)		
社会貢献としての委員会・職等				渡辺：福島市教育事務評価検証委員、大玉村第三者評価委員 関本：幼稚園教諭免許状対象教員免許状更新講習講師(平成29年～現在)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等				渡辺：福島大学教育学部卒業学士(教育学)、小学校一級普通免許状 中学校一級普通免許状(国語)、日本カリキュラム学会 関本：早稲田大学大学院教育研究科 修士課程 学校教育専攻修士(教育学) 高等学校教諭1種(公民)、専修免許状(公民)、博物館学芸員 社会教育主事、教育史学会、日本社会教育学会、関東教育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分		必修・選択必修・選択の別		
卒業		専門教育科目		選択		
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目		必修		
保育士資格		専門教育科目		選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス		授業時間以外の必要な学修時間	60時間		
オフィスアワー・メールアドレス等				渡辺：オフィスアワーは金曜日午前宮代キャンパス研究室で行います。 関本：オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>教育に関する制度の基礎的・基本的な考え方(公教育の意義、原理、原則や法的制度などの仕組み)を幅広く理解するとともに、学校がおかれている社会的状況や変化について具体的事例を取り上げながら考察します。また、教育行政の具体が幼稚園・学校・教職員、家庭や地域社会とどのような関係をもっているのかについて考えを深め、近年の教育課題となっている学校安全や学校における適切で効果的な経営・教育実践の在り方について探究します。</p>	○	A	知識	
		B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
	○	F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標			授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	わが国の教育制度について、原理原則や法的制度、仕組みを理解し具体的に説明できるようになる	目標	A	
②	「到達目標①」で得た知見を活用しながら、教育行政が学校経営や教育活動、地域との連携と深い関わりをもっていることを探り、充実と安全を目指した学校経営や教育実践のあり方について自分の視点から論じることができるようになる	目標	E	
③	学校がおかれている社会的状況や教育改革の動向から、社会の変化に対応できる教育の在り方や成長する教師・保育者の在り方について具体事例をもとに論じることができるようになる	目標	F	

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 教育行政で何を学ぶのか	授業計画 スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	配布資料の復習
2	公教育と教育行政との関係	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
3	保育の専門家としての条件と教育行政の役割 ※ミニレポート①	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
4	日本の公教育制度と世界の教育制度	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
5	幼児教育のしくみ	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
6	教育や保育を支える法規	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
7	学校安全への対応 ※ミニレポート②	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
8	教育行政を動かす機関：文部科学省と教育委員会	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
9	学校（園）の組織マネジメント	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
10	教育行政からみた教師・保育者の仕事 学校と地域との連携	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
11	教職員の職務と服務	スライド資料提示	予習：プリント下読み 配布資料の復習
12	教育改革と教育行政 ※ミニレポート③	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
13	子どもの側からみた教育行政	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
14	教育行政と教育財政	スライド資料提示 ペア/グループディスカッション	予習：プリント下読み 配布資料の復習
15	世界の教育の動向と幼児教育改革への対応	スライド資料提示	配布資料の復習
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 60% 目標①②③ … 授業テーマに関する学修ミニレポート（3回）20% ※学修ミニレポートは、予習課題、振り返り課題、追究課題を設定。 目標①②③ … 授業後の「学びの着地点」（授業のまとめ）（15回）20% 以上、合計100点満点で評価する。			
<b>教 科 書</b>		<b>参 考 書</b>	
教科書は使用しません。各回の終わりに次回使用する資料を配布します。予習として、配布した資料の下読みを行い、授業の準備をしておいてください。		書 名：新しい時代の幼児教育 著者名：小田 豊・榎沢良彦 編 発行所：有斐閣 価 格：1,800円（税別）	
		書 名：教育行政学 著者名：勝野正章 編 発行所：学文社 価 格：1,800円（税別）	

授業科目名	<b>子ども家庭支援論</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 高橋雄二	たか はし ゆう じ	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	NPO法人あざみ会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻 修士 (こども心理) 社会福祉士、介護福祉士、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
保育の専門性を活かした、子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解すると共に、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解します。	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する	目標	A
② 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する	目標	A
③ 子育て家庭に対する支援の体制について理解する	目標	C
④ 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と必要性	授業計画 (授業の進め方を説明します) DVD「あなたと生きたい」15分	教科書とノートを持参
2	子ども家庭支援の目的と機能	授業資料1	予習：事前に教科書P14～24を読んでおくこと
3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	DVD「子育て労働者を支える」 20分	予習：事前に教科書P26～36を読んでおくこと

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	DVD「固く閉ざされた若者の心を開け」15分	予習：事前に教科書P38～48を読んでおくこと
5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	DVD「私たちのこれから」20分	予習：事前に教科書P50～60を読んでおくこと
6	子どもの育ちの喜びの共有	DVD「おうち診療所の3か月」15分	予習：事前に教科書P62～72を読んでおくこと
7	保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	授業資料2 DVD「共生ケアは地域を支える」15分	予習：事前に教科書P74～84を読んでおくこと
8	保育士に求められる基本的態度	DVD「プロフェッショナル仕事の流儀」20分	予習：事前に教科書P86～96を読んでおくこと
9	家庭の状況に応じた支援	DVD「ウワサの保護者会」15分	予習：事前に教科書P98～108を読んでおくこと
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	DVD「地域みんなで子どもを育てる」20分	予習：事前に教科書P110～120を読んでおくこと
11	子ども家庭支援の内容と対象	授業資料3 DVD「見えない貧困」20分	予習：事前に教科書P122～132を読んでおくこと
12	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	DVD「すくすく子育て」20分	予習：事前に教科書P134～144を読んでおくこと
13	地域の子育て家庭への支援	DVD「あそんでくれてありがとう」20分	予習：事前に教科書P146～156を読んでおくこと
14	要保護児童等及びその家庭に対する支援	授業資料4 DVD「すくすく子育て」20分 課題レポート内容説明	予習：事前に教科書P158～168を読んでおくこと
15	子育て支援に関する現状と課題	課題レポートの発表内容についてディスカッションを行うことにより今後必要とされる家庭支援について考察する	予習：ディスカッションの準備としてレポートの提出を求めます「子育て支援の課題」A4：2枚
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験80点 目標④ … ディスカッションの発言10点、課題レポート10点 総計100点満点で評価します。そのほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：子ども家庭支援論 著者名：松原康雄・村田典子・南野奈津子 発行所：中央法規出版株式会社 価格：2,000円（税別）		特に指定しません。	

授業科目名	<b>教育心理学</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 <small>たなべ</small> 田 辺 <small>みのる</small> 稔	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		福島市児童福祉専門部会 会長 (2018. 4 から現在) 二本松市立幼稚園適正規模検討委員会議長 (2019. 10 から現在)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		玉川大学大学院文学研究科修士課程 (教育学専攻) 修了 修士 日本応用心理学会・日本社会心理学科・日本カウンセリング学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは毎週月曜日、16:10～。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目				
<p>幼児及び児童の学びの場面を想定しながら、教育ならびに保育の過程における心理学的な法則や事実を理解し、より効果的な教育を展開するために、必要な教育心理学の基本的事項を修得していきます。各単元を通し、子どもの心身の発達、日頃の生活や遊びを通して、「学び(学習)」の過程について理解を深め、幼児・児童教育における支援の在り方や課題について考えていきます。</p>	○	A	知識			
		B	技能			
	○	C	論理的思考力			
		D	文章・身体・感性等に関する表現力			
		E	課題対処力			
		F	多様性の理解力			
		G	対人関係構築力			
	<b>アクティブラーニングの要素</b>					
	○	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習			
		イ	ディスカッション、ディベート			
	ウ	グループワーク				
	エ	プレゼンテーション				
	オ	実習・フィールドワーク				
授業の到達目標				授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 子どもの心身の発達への理解				目標	A	
② 学習の過程について理解				目標	A・C	
授業計画						
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	オリエンテーション 教育心理学で何を学ぶのか 評価方法等	授業計画 教育心理学で扱う領域の説明と授業の進め方を説明します				
2	心理学の研究手法と教育心理学の課題 個人差をどのように捉えていくのか	友人と自分の違いをディスカッションテーマとし、授業の導入とします		次回のための予習 子どもの頃の自分と今の自分の違いを挙げてみる		
3	発達段階の理解(1) 生涯発達の発達段階と発達課題	子どもの頃の自分と今の自分の違いをテーマとして発達のとらえ方を議論していきます		教科書 p 4～p 13を 事前に読むこと		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	発達段階の理解(2) エリクソン、ハヴィガーストの発達課題	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	1年次発達心理学の学習内容を復習のこと
5	学習(1) 学習の意味、子どもが学ぶ事の意味やその心理学的な過程の理解 小テスト：日常の行動にみる「学習」	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定 小テストを基に「学習」の観点を議論していきます	教科書 p 71～ p 78を事前に読むこと
6	学習(2) 学習の過程と理論（条件付けの理解）	小テスト：資料提示はパワーポイントを使用予定	教科書 p 71～ p 78を事前に読み疑問点を整理
7	学習(3) 学習の過程と理論（学習の転移、認知心理学からの知見）	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定 予習による疑問点から展開	教科書 p 78～ p 82を事前に読み疑問点を整理
8	学習(4) 学習の過程と理論、こどもがどのように考え、気づき、理解していくか 小テスト：学習のまとめ	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定 疑問点を基に議論していきます	教科書 p 78～ p 82を事前に読み疑問点を整理
9	個人差の理解と教育(1) パーソナリティの理解・代表的な見方ととらえ方	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	教科書 p 37～ p 40を事前に読むこと
10	個人差の理解と教育(2) パーソナリティの発達	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	教科書 p 42～ p 45を事前に読むこと
11	個人差の理解と教育(3) パーソナリティの測定	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	具体的な測定例として自己分析を試みる
12	教育評価(1) 評価の種類、その方法と整理	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	教科書 p 197～ p 200を事前に読むこと
13	教育評価(2) 教育・保育場面で活用できる統計手法 小テスト：代表値を求める	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	卓上計算機（携帯電話でも可）を用意
14	まとめ(1) 総括的な振り返り（発達から学習）	教科書、資料提示はパワーポイントを使用予定	
15	まとめ(2) 総括的な振り返り（人格から教育評価）	資料提示はパワーポイントを使用予定	
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に必ず到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標①② … 期末試験 70点満点の記述方式のテストを学期末に実施。</p> <p>目標①② … レポート 期末に課題レポートを提出。レポートは30点満点の採点とします。 課題は授業内容に添い、興味関心を持った領域に関して課題を各自で設定する方式とします。</p> <p>目標①② … 小テスト 授業内容の理解度あるいは授業項目上必要とされる事前の知識等の確認のため、単元区分で3回の小テストを実施します。</p> <p>総計100点満点で評価します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：基礎から学ぶ教育心理学 著者名：工藤俊郎・高井直美・上田恵津子 発行所：八千代出版 価格：2,200円（税別）		特に定めませんが、「発達心理学」、「教育相談の理論及び方法」等で使用される教科書をよく読んでください。	
<b>その他補足事項</b>			
本科目では、コンピュータを用いたスライド（パワーポイント）を活用していきます。実習等により欠席した場合は、ファイル形式あるいはプリント資料にて配布できるので申し出てください。			

授業科目名	<b>子ども家庭支援の心理学</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 <small>あら い みちこ</small> 荒井美智子		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	千葉県松戸市健康管理課心理士（昭和56年4月～昭和63年3月） 松戸市知的障害児通園施設・こども発達センター心理士 （平成8年4月～平成11年3月） 松戸市障害福祉課ケースワーカー（平成11年4月～平成16年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	社会福祉法人なのはな会評議員 世界幼児教育・保育機構（OMEP）日本委員会子どもの権利プロジェクト委員			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北大学教育学部（教育学士） お茶の水女子大学家政学専攻修了（家政学修士） 中学校教諭1級免許状（社会）、高等学校教諭2級免許状（社会） 聾学校教諭1級免許状、日本特殊教育学会、日本保育学会 日本発達心理学会、日本教育心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本授業では、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期と生涯にわたる発達について理解した上で、各時期の発達課題や初期経験の重要性について学びます。また、親子関係や家族関係等について、発達の、包括的にとらえる視点を習得し、子どもの心の健康にかかわる問題への影響を考えていきます。さらに、子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を知り、家庭支援における保育者の役割を学びます。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について説明することができる	目標	A・C
② 家族・家庭の意義や機能を理解した上で、親子関係や家族関係などについて発達の観点からとらえることができる	目標	A・C
③ 子育て家庭をめぐる現代的な課題について説明することができる	目標	A・C
④ 子どもの精神保健とその課題について説明することができる	目標	A・C

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 生涯発達とは ・「生涯発達心理学」という新たな視点についての変化を理解する	授業計画 プリント配布 パワーポイント使用	予習：授業計画を事前に読んでおく 復習：プリントを見直す
2	乳児期の発達と発達課題 ・乳児期の発達と発達課題を理解する	プリント配布 映像教材使用「乳児期」(30分)	予習：乳児期の特徴を調べる 復習：上記についてまとめる
3	幼児期の発達と発達課題 ・幼児期の発達と発達課題を理解する	プリント配布 映像教材使用「さくらんぼ坊や・2 模倣と自立」(30分)	予習：幼児期の特徴を調べる 復習：上記についてまとめる
4	児童期の発達と発達課題 ・児童期の発達と発達課題を理解する	プリント配布 映像教材使用「乳幼児期から児童期へ」(30分)	予習：児童期の特徴を調べる 復習：上記についてまとめる
5	青年期の発達と発達課題 ・青年期の発達と発達課題を理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：青年期の特徴を調べる 復習：上記についてまとめる
6	成人期・老年期の発達と発達課題 ・成人期・老年期の発達と発達課題を理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：成人期・老年期の特徴を調べる 復習：上記についてまとめる
7	家族・家庭の意義と機能 ・家族・家庭の意義と機能について学ぶ	プリント配布 パワーポイント使用	予習：家族・家庭の機能を調べる 復習：上記についてまとめる
8	親子関係・家族関係の理解 ・親子関係・家族関係について発達の観点から理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：親子関係の機能を調べる 復習：上記についてまとめる
9	子育ての経験と親としての育ち ・親としての発達、家族の発達について学ぶ	プリント配布 パワーポイント使用	予習：子育てと親の育ちについて調べる 復習：上記についてまとめる
10	子育て環境の社会的状況 ・子育てにかかわる社会的状況の変化や現代的課題について学ぶ	プリント配布 パワーポイント使用	予習：子育て家庭の現状と課題について調べる 復習：上記についてまとめる
11	ライフコースとワークライフバランス ・ライフコースの多様化やワークライフバランスについて理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：仕事と子育ての関係を調べる 復習：上記についてまとめる
12	多様な子育て家庭への支援 ・現代家庭の多様さ、特別な配慮を必要とする家庭について理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：多様な家庭の現状と課題を調べる 復習：上記についてまとめる
13	特別な配慮を要する家庭 ・子育てにおける特別なニーズ——養育者のメンタルヘルス、子どもの障害、不適切な養育などと家族の機能不全を考える	プリント配布 パワーポイント使用	予習：特別な配慮を要する家庭の現状と課題を調べる 復習：上記についてまとめる
14	子どもの生活・成育環境とその影響 ・発達初期の経験の重要性について学ぶ	プリント配布 映像教材使用「あかちゃんの育ち」(30分)	予習：発達初期の経験の重要性について調べる 復習：上記についてまとめる

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	子どもの心の健康にかかわる問題 ・子どもの精神保健とその課題について理解する	プリント配布 パワーポイント使用	予習：子どもの精神保健の現状と課題を調べる 復習：上記についてまとめる
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①② … 期末試験 50点 目標③④ … 授業内の課題 30点 目標② … 毎回の小レポート・授業の感想 20点 そのほか、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 配布資料を整理するための専用ファイルを1冊準備してください。 2. 授業の最後に、「分かったこと分からなかったこと印象に残ったこと」(小レポート)を書いて提出を求めます。 ここに書かれた疑問・質問や感想については、次の回にコメントし復習に役立つようにします。 授業の中で数回、関係する課題についてのレポートを課します。また、テーマを設けグループワークをしていきます。			

授業科目名	<b>臨床心理学 I</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任助教 <small>わた なべ ひろ ちか</small> 渡 邊 宏 周	開講期	前期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻、修士(臨床心理学) 臨床心理士、公認心理師、日本認知・行動療法学会、日本不安症学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本科目では、臨床心理学における様々な援助理論とその技法に関して基礎的な知識を解説していきます。また、代表的な症状に対するアプローチについても学びます。</p>	<input type="radio"/>	A 知識
		B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	<input type="radio"/>	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 臨床心理学とはどのような学問か説明できる。	目標	A・F
② 心理療法の基本的な理論について説明できる。	目標	A
③ 人を援助する際の心構えや、その方法論について説明できる。	目標	C・F

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要、到達目標、評価方法の説明 臨床心理学の背景	授業計画 配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
2	臨床心理学に関わること カウンセリングの基本的技法	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
3	こころの理解の仕方(1) こころの発達に関する理論 発達障害に関して	配布資料 個人ワーク	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
4	こころの理解の仕方(2) 力動論	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
5	こころの理解の仕方(3) 行動論①	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
6	こころの理解の仕方(4) 行動論②	配布資料 グループワーク	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
7	こころの理解の仕方(5) 認知行動療法	配布資料 個人ワーク／ペアワーク	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
8	こころの理解の仕方(6) パーソンセンタード・アプローチ	配布資料 グループワーク	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
9	こころの理解の仕方(7) 家族療法	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
10	気分障害(1)	配布資料 映画「ツレがうつになりました」鑑賞 (60分)	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
11	気分障害(2)	配布資料 映画「ツレがうつになりました」の続き鑑賞 (61分)	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
12	統合失調症(1)	配布資料 映画「ビューティフル・マインド」鑑賞 (75分)	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
13	統合失調症(2)	配布資料 映画「ビューティフル・マインド」の続き鑑賞 (60分)	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
14	大学生の悩みに関するアプローチ	配布資料 個人ワーク	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
15	総復習	配布資料	復習：配布資料を読み返す
期末試験	期末試験	ペーパーテスト	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 期末試験 70点満点 (テストを学期末に実施して成績を評価します。) 目標①③ … リアクションペーパー 30点満点 (授業ごとに提出を求め評価します。) 総計100点満点で評価します。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		書名：よくわかる臨床心理学 (改訂新版) 著者名：下山晴彦 発行所：ミネルヴァ書房 価格：3,000円 (税別)	
<b>その他補足事項</b>			
授業の進捗具合により内容の前後や、一部変更が生じる場合がありますが、その時は事前に指示します。			

授業科目名	臨床心理学Ⅱ		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 すぎやままさひこ 杉山雅彦	開講期	後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	あかつき心理相談研究所 顧問・指導相談員（平成23年4月～平成27年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島県いじめ問題対策委員会・委員長 認知行動療法学会常任編集員、編集委員会副委員長			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	筑波大学大学院博士課程心身障害学研究所 修了（教育学博士） 臨床心理士（臨床心理士資格認定協会） 専門行動療法士（認知・行動療法学会） 認知・行動療法学会、行動療法学会、カウンセリング学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>様々な心の問題あるいはそれに関連する問題に関して、臨床心理学の枠組みからそれを解説し理解するとともに、具体的な事例を通して学びます。</p> <p>また、臨床心理学が活動する領域や、子どもの問題に関して理解を深め、事例を通して学んでいきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	様々な心の問題に関して心理学の立場から説明できる	目標	A・F
②	心理療法の適用に関して説明できる	目標	A
③	人への援助に関して具体的な例から基本的な枠組みを提示できる	目標	C・F

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要、到達目標、評価方法の説明 前期「臨床心理学Ⅰ」の振り返り	授業計画 配布資料	授業計画を事前に読んでおく 予習：臨床心理学Ⅰで使用した資料を読んでおく
2	強迫症	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	摂食障害	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
4	パーソナリティ障害	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
5	学校領域における臨床	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
6	医療領域における臨床	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
7	福祉領域における臨床	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
8	産業領域における臨床	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
9	司法領域における臨床	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
10	子どもの問題と対応(1) 発達障害、知的障害、学習障害	配布資料 グループワークでは事例をもとに支援の方法を話し合います	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
11	子どもの問題と対応(2) 不登校	配布資料 グループワークでは事例をもとに支援の方法を話し合います	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
12	子どもの問題と対応(3) 親支援	配布資料 グループワークでは事例をもとに支援の方法を話し合います	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
13	子どもの問題行動と心理療法(1) プレイセラピー	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
14	子どもの問題行動と心理療法(2) 家族療法	配布資料	復習：配布資料を読み返す 予習：次回テーマの資料を読む
15	子どもの問題行動と心理療法 行動論的なアプローチ	配布資料 グループワークでは事例をもとに支援の方法を話し合います	復習：配布資料を読む
期末試験	期末試験	ペーパーテスト	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験 70点満点（テストを学期末に実施して成績を評価します。） 目標①③ … リアクションペーパー 30点満点（授業ごとに提出を求め評価します。）			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。資料を配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
「臨床心理学Ⅱ」を履修する方は、前期の「臨床心理学Ⅰ」を履修してください。			

授業科目名	特別支援教育		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 鶴巻正子 〔本務先：福島大学 職名：教授〕	非常勤講師 高橋純一 〔本務先：福島大学 職名：准教授〕	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		鶴巻正子：福島市教育支援委員会、伊達市発達支援アドバイザーなど 高橋純一：福島市教育支援委員会など		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		鶴巻正子：東北大学大学院文学研究科博士後期課程 博士(文学) 日本特殊教育学会、日本行動分析学会 他 臨床発達心理士 高橋純一：東北大学大学院文学研究科博士後期課程 博士(文学) 日本特殊教育学会、日本心理学会、日本認知心理学会 他		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		非常勤教員のためオフィスアワーは設けません。 質問等は、メールにて受け付けます。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>障害（障害特性と障害概念）および特別支援教育（教育課程とインクルーシブ教育）の基礎的知識を説明します。その上で、特別支援学校、幼稚園・保育所・こども園、小学校（通常学級、特別支援学級）、中学校（通常学級、特別支援学級）、高等学校、通級指導教室、交流教室など、子どもの学びの場に焦点を当てて、個別の教育的ニーズに応じた教育課程及び支援の方法について、事例を踏まえて演習を行います。子どもの就学前から就労およびその後の支援について連続的に解説します。以上を踏まえて、学校や社会における障害理解の必要性について考察します。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する	目標	A・F
② 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害など様々な障害特性を踏まえて、個別の教育的ニーズに応じた教育課程及び支援の方法を理解する	目標	A・F
③ 障害の有無に関わらず、個別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の特徴を把握して支援の方法を理解する	目標	C・E・F
④ 学校や社会における障害理解の必要性について自分なりの考察を行える	目標	C・E・F

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> <b>障害児・者との交流意識に関する振り返り</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義概要の説明、これまでの自分の生活を振り返って障害者との交流に関する意識の確認を行う</li> <li>特別支援教育が対象とする心身障害の分類について、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害など様々な障害について紹介する(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方の説明を行った後、障害児・者との関わりを振り返ってもらう(授業計画)</li> <li>障害の特性を理解するためにDVD教材を用いる 「子どもの障害の理解と支援(視覚障害、聴覚障害)」</li> </ul>	予習： 障害児・者との関わりについて自分なりに振り返る
2	<b>障害特性の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害など様々な障害の特性について概説する(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>障害の特性を理解するためにDVD教材を用いる 「子どもの障害の理解と支援(知的障害、脳性麻痺、ダウン症候群)」</li> </ul>	予習： 心身障害の種類
3	<b>障害概念の変遷</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICIDHからICFへの変遷および医学モデルと社会モデルの障害概念について触れた上で、「障害者の権利に関する条約」について説明する</li> <li>条約については全体的に触れるが、教育において必要な条約の解釈については、インクルーシブ理念の観点も交えて説明する(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>特別支援教育の理解を深めるためにDVD教材を用いる 「特別支援学校(知的障害)」</li> </ul>	予習： ICFの特徴
4	<b>障害理解の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や社会における障害児・者への偏見・差別の解消について説明する</li> <li>障害児・者への偏見・差別のメカニズムについて触れ、障害理解教育の促進について説明する</li> <li>障害者差別解消法についても触れる(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>特別支援教育の理解を深めるためにDVD教材を用いる 「特別支援学校(聴覚障害)」</li> </ul>	予習： 障害児・者に対する偏見および差別
5	<b>教育課程の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常教育に準じた教育課程、知的障害の教育課程、自立活動を主とした教育課程について説明する</li> <li>指導の形態として、領域別の指導、教科別の指導、領域・教科を合わせた指導についても解説する</li> <li>通級、交流及び共同学習についても触れる(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>特別支援教育の理解を深めるためにDVD教材を用います 「特別支援学校(肢体不自由)」</li> </ul>	予習： 特別支援学級および特別支援学校の時間割
6	<b>インクルーシブ教育システムの理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>分離教育、統合教育、インクルーシブ教育の変遷について説明する</li> <li>校内支援体制、就学システム、特別支援学校のセンター的機能、特別支援教育コーディネーター、個別の指導計画および個別の教育支援計画の作成など、子どもを取り巻く特別支援教育システムを概説する(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>療育の実際について理解を深めるためにDVD教材を用いる 「つまずきのある子への保育(重症心身障害児施設)」</li> </ul>	予習： インクルーシブ教育システム
7	<b>個別の教育ニーズに応じた支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害の有無に関わらず、子どもたちの教育的ニーズに対応した教育について説明する</li> <li>このなかには、障害はないが特別な支援を必要とする子どもも対象となる</li> <li>学びに対する動機づけ、学習意欲、多様な能力の理解を通して、子どもたち一人ひとりには個別の教育ニーズが存在し、それに対応する教育が必要であることを説明する(担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>療育の実際について理解を深めるためにDVD教材を用いる 「つまずきのある子への保育(肢体不自由児施設)」</li> </ul>	予習： 学習意欲

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
8	<p>「特別支援教育の理論的理解」に関するまとめと振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の理論的理解について、これまで解説した内容のまとめを行い、今後の課題について理解する</li> <li>講義の最後に、第1回～7回の確認として試験(記述式)を実施する (担当：高橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、質問に対する回答を行いながら、前回の授業内容を振り返る</li> <li>その後、授業内容の振り返りを行う</li> </ul>	予習： 第1回目～第7回目で学んだ内容について見返しておくこと
9	<p>連続的な学びの場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校における個別の教育的ニーズを必要とする子どもたちの学びについて説明する</li> <li>幼稚部、小学部、中学部、高等部の支援内容および卒業後の連続的な支援内容について説明する</li> <li>演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)</li> </ul>	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 特別支援学校での学び
10	<p>乳幼児期における学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所・こども園における個別の教育的ニーズを必要とする子どもたちの学びについて説明する</li> <li>障害の気づき、就学に向けた支援について触れる</li> <li>演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)</li> </ul>	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 幼稚園・保育所・こども園での学び
11	<p>児童期における学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の通常学級および特別支援学級における個別の教育的ニーズを必要とする子どもたちの学びについて説明する</li> <li>インクルーシブ教育の必要性、障害の有無に関わらず個別の教育ニーズに対応した支援、社会的養護の必要な子どもへの支援について触れる</li> <li>特別支援学級については、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、情緒障害の各障害種に対応した支援内容について扱う</li> <li>通級指導教室、交流及び共同学習についても触れる</li> <li>演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)</li> </ul>	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 小学校における特別支援学級での学び
12	<p>青年期における学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の通常学級および特別支援学級における個別の教育的ニーズを必要とする子どもたちの学びについて説明する</li> <li>インクルーシブ教育の必要性、障害の有無に関わらず個別の教育ニーズに対応した支援、社会的養護の必要な子どもへの支援について触れる</li> <li>特別支援学級については、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、情緒障害の各障害種に対応した支援内容について扱う</li> <li>中学校卒業後の進路選択、および高等学校における特別支援教育の現状についても触れる。</li> <li>中学校・高等学校における通級指導教室、交流及び共同学習についても理解する</li> <li>演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)</li> </ul>	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 中学校における特別支援学級での学び
13	<p>家庭における学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭における個別の教育的ニーズを必要とする子どもたちの学びについて説明する</li> <li>特に、保護者支援、家庭における支援(家族支援)について触れる</li> <li>演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)</li> </ul>	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 保護者支援

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	<b>支援の実際①</b> ・ 個別の指導計画および個別の教育支援計画の作成方法について説明する ・ 演習として、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 個別の指導計画と個別の教育支援計画
15	<b>支援の実際②</b> ・ 応用行動分析学を用いた支援の実践事例について説明する ・ 演習して、実際の支援を想定し、架空事例を用いた事例検討を行う (担当：鶴巻)	架空事例を用いた事例検討を行うことにより、実践的に学ぶ	予習： 応用行動分析
期末試験	<b>期末試験</b> (担当：鶴巻)		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①② … 第8回目に行う確認試験 (50点) 目標③④ … 期末試験 (50点) 以上により評価を行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	<b>図書館購入・本人購入の別</b>
使用しません。		書名：特別支援教育 著者名：石部元雄・柳本雄次 発行所：福村出版 価格：2,500円(税別)	1. 図書館購入 (1冊) 2. 本人購入 (0冊)
<b>その他補足事項</b>			
1. 将来、乳幼児期の子どもの保育を担う専門家として高い意識をもって授業に取り組んでください(私語等はありません)。 2. 出欠状況や試験の成績だけでなく、授業態度およびディスカッション等への貢献についても成績評価に影響します。			

授業科目名	<b>子どもの食と栄養</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 <sup>みや</sup> <sup>した</sup> <sup>とも</sup> <sup>こ</sup> 宮下朋子 〔本務先：会津大学短期大学部 職名：教授〕		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		日本栄養改善学会評議員、福島県栄養士会研究教育協議会会長 県産品選定委員会副会長		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		東京家政大学大学院家政学研究科人間生活学専攻修了 博士(学術) 日本家政学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本災害食学会 管理栄養士		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に対応します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>保育士・幼稚園教諭を目指す学生は、栄養学、調理学、食品学等の基本的知識のほか、子どもの身体発育・発達、精神的特徴などの理解が必要です。それらを踏まえ、食の大切さを子どもに教えられるようになることが大事です。</p> <p>現代の子どもたちの食は、「こ食」や朝食の欠食、食物アレルギーなど、様々な問題をかかえる事例が多くあります。こうした背景を踏まえ、乳児期・幼児期はもちろん、妊娠期から授乳期、思春期に至るまでの発育・発達と食生活に関する適正な食事、食事のあり方に関する基本的知識を身につけるとともに、食育の企画や技術を学びます。</p>	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
	<input type="radio"/>	D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E 課題対処力
	<input type="radio"/>	F 多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
<input type="radio"/>	エ プレゼンテーション	
<input type="radio"/>	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 子どもの健康と食生活の意義について理解する	目標	A
② 栄養素及び消化吸収に関する基礎的知識を学ぶ	目標	A・B
③ 子どもの食と栄養、発育・発達との関連、栄養評価について学ぶ	目標	A・B
④ 調乳および離乳食に関する基礎知識を学ぶ	目標	A
⑤ 妊娠期から思春期の発育・発達と適する食生活について理解できる	目標	A・D
⑥ 食育に関する法規、食育の企画および実施ができる	目標	A・D

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標(授業内容7)、評価方法、授業の進め方、自分の食事について考えてみる	授業計画教科書	授業計画を事前に読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	<b>第1章 子どもの健康と食生活の意義</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の健康問題と食事内容との関連を知る</li> <li>栄養摂取の評価方法について知る</li> <li>食習慣、食機能・精神の発達を理解する</li> </ul>	教科書 p. 10～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食の大切さについて (200字程度)</li> </ul>
3	<b>第2章 栄養に関する基礎知識(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事と栄養素の関係について理解する</li> <li>栄養素の種類・働きを理解する</li> </ul>	教科書 p. 22～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>三大栄養素・五大栄養素について (200字程度)</li> </ul>
4	<b>第2章 栄養に関する基礎知識(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養素の種類・働きを理解する</li> <li>栄養素がどのように体内へ取り込まれるかを知る</li> </ul>	教科書 p. 22～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第2章を事前に読む</li> </ul>
5	<b>第3章 栄養に関する制度</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事摂取基準・食事バランスガイドについて理解する</li> <li>子どもの献立作成について様々な工夫が必要であることを理解する</li> </ul>	教科書 p. 36～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第3章を事前に読む</li> </ul>
6	<b>第4章 妊娠期と授乳期の食生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠前からの栄養管理の必要性について理解する</li> <li>妊娠期・授乳期の身体的変化、その注意点について理解する</li> </ul>	教科書 p. 48～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第4章を事前に読む</li> </ul>
7	<b>第5章 乳児期の食生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>母乳の特徴と調製乳の種類を知る</li> <li>離乳の進め方及び乳児期に起きやすい栄養の問題点を理解する</li> </ul>	教科書 p. 62～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>3)「調製粉乳の調乳と消毒」を事前に読む</li> </ul>
8	<b>第6章 乳児期の発育・発達と食生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>摂食機能の発達を理解し、食事の形態や食卓環境などの配慮および支援方法を学ぶ</li> </ul>	教科書 p. 76～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第6章を事前に読む</li> </ul>
9	<b>第7章 学童期・思春期の発育・発達と食生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学童期・思春期の栄養管理は、成人期以降の健康状態に影響することを理解する</li> </ul>	教科書 p. 90～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>B肥満と痩せについて事前に読む</li> </ul>
10	<b>第8章 生涯発達と食生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達の観点から、各ライフステージの特徴と位置づけを理解する</li> </ul>	教科書 p. 106～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第8章を事前に読む</li> </ul>
11	<b>第9章 食育の基本と内容(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期の食育目標は、「食を営む力」の育成に向け、その基礎を養う」ことを理解する</li> </ul>	教科書 p. 117～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第9章を事前に読む</li> </ul>
12	<b>第9章 食育の基本と内容(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育の推進には、子どもの発達段階に応じたねらいと内容を踏まえることを理解する</li> </ul> <b>実習</b> 食育をテーマにしたプレゼンテーション教材を作る	教科書 p. 117～ 補足資料 パワーポイント 実習 食育の教材を作る (グループワーク・プレゼンテーション)	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>第9章を事前に読む</li> </ul>
13	<b>第10章 家庭や児童福祉施設における食事と栄養</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育所・乳児院・児童養護施設における給食の役割について理解する</li> </ul>	教科書 p. 132～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>保育所における給食のすすめ方 (200字程度)</li> </ul>

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
14	<b>第11章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養</b> ・子どもの急な体調不良に対する対応方法について理解する ・障害のある子どもの特徴と支援方法について理解する	教科書 p.144～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ ・障害のある子どもへの対応 (200字程度)
15	<b>第12章 アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養</b> ・食物アレルギーの定義、症状について理解する ・食品の選択や提供方法について理解する ・まとめ	教科書 p.161～ 補足資料 パワーポイント	予習テーマ ・第12章を事前に読む
期末試験	<b>期末試験</b>	筆記試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に不応する到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③④⑤ … 期末試験 80% 目標⑥ … 制作物 10% 目標⑥ … プレゼンテーション内容 10% 以上を合算して、100%とします。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：子どもの食と栄養 保育現場で活かせる食の基本 著者名：太田百合子・堤ちはる 発行所：羊土社 価格：2,400円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. DVDによる学習：関連するDVDを用いた授業を数回実施します。 2. 食育教材の作成：各班でテーマに沿った食育教材を企画・作成します。(色鉛筆、水性ペン等を持参)			

授業科目名	<b>保育・教育課程論</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 <small>わた なべ ひろ し</small> 渡 辺 博 志	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	福島県教育庁教育指導領域学習指導グループ参事 (平成15年4月～平成17年4月) 福島大学総合教育研究センター准教授・教授 (平成19年4月～平成25年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	福島市教育事務評価検証委員、大玉村第三者評価委員			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島大学教育学部卒業学士(教育学) 小学校一級普通免許状、中学校一級普通免許状(国語) 日本カリキュラム学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは金曜日午前宮代キャンパス研究室で行います。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>認定こども園、幼稚園、保育所及び連節する小学校低学年で行われている保育・教育活動は、国の意図的、計画的な仕事として行われていることを理解できるようにします。国はその目的を達成するため保育・教育活動の基準として幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領を公示し、充実した保育・教育の具現に努めていること、また各幼稚園、保育所では、地域や子どもの実態を踏まえた保育・教育活動を行うために最適な教育課程を編成し、特色ある保育・教育を実施・推進していること、保育・教育の質の向上に向けて教育課程を評価して改善を図り新しい教育課程の編成・実施につなぐ一連のPDCAサイクルを取り入れていること、家庭や地域社会の人的・物的資源を活用し連携して保育・教育を充実しているなどを捉えることができます。</p> <p>さらに教育課程編成の必要性、指導計画や保育・指導案の作成についても具体事例などをもとに考察するとともに、計画作成の作業に取り組むことができます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 指導と評価の観点に立ち、より効果的で質の高い教育課程編成のあり方・実施方法、カリキュラム・マネジメントの方法について創造的に探究する	目標	A
② 「到達目標①」の知見を活用して、日々の保育・教育に必要な具体的な指導計画や保育・教育のための指導案を作成することができるようにする	目標	B・E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション ・幼児教育・保育の基本とカリキュラムの考え方と展望	授業計画 授業の進め方、資料活用、評価、ミニレポート作成について説明します パワーポイント資料、プリント資料、ペア・グループ討議	事前配布する資料の授業テーマキーワードについて予習し、ミニレポートに整理します
2	教育・保育の目的と計画的な営み ・教育課程・保育課程の意義と必要性 ・目的と計画性のある教育・保育の具体事例研究	教科書・プリント教材、メディア資料、パワーポイント資料、ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート①
3	「保育」「教育」の専門性 —— 意図的・計画的にすすめるために —— ・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」の基準性と必要性	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート②
4	幼稚園の教育課程の編成の原則と手順 ・法的根拠 ・ビジョンの構成(理念、方針、目標) ・指導計画	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート③
5	保育課程の編成と原則 ・保育のねらい、内容と保育課程の編成 ・「一体化」の意味と具体	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート④
6	教育・保育内容と子どもの活動 ・教育課程と指導計画 ・教育・保育課程の具体事例研究	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート⑤
7	意図的・計画的に保育・教育を行うための「計画」の必要性 ・長期の指導計画      ・年間指導計画 ・月指導計画            ・期の指導計画 ・短期の指導計画      ・週計画週案 ・日指導計画(日案)	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート⑥
8	短期の指導計画：日案(日の計画)の作成(1) ・生活と保育のデザイン ・日案作成の基本と諸要素 試案「部分案」の作成	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 「部分案の作成」
9	短期の指導計画：日案(日の計画)の作成(2) ・「ねらい」の具体化と環境構成 ・日案の具体事例研究 ・総合的指導の構想と具体化 試案「一日案」の作成	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 「1日案の作成」
10	週案の必要性和週案の作成(1) ・週案作成の基本と子どもの生活リズム ・週案と日案の共通点、相違点 ・週案の具体事例研究	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 週案の具体事例について解説文作成
11	週案の必要性和週案の作成(2) ・園行事や環境構成を生かした週計画 ・記録と省察 ・試案「週案」の作成とグループ検討	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 週案作成

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
12	「評価」とカリキュラム・マネジメント (PDCAサイクル) ・PDCAサイクル、反省・評価の方法、記録の意義・方法	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート⑦
13	保育・教育の「連携」と子どもの育ち ・幼稚園教育要領と外部の教育資源 ・地域の物的環境・人的環境 ・地域との連携事例研究 — その効果と成果 (聞き取り調査発表)	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 学修ミニレポート⑧
14	さまざまな教育・保育課程のデザインと実践展開 ・特色ある教育・保育活動の実際 ・保幼小の連携 ・預かり保育・延長保育	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	次時の授業に関するキーワード予習 私の幼稚園ビジョン等 作成
15	私たちの考える理想の〇〇園 ・園の保育・教育ビジョン ・特色ある教育環境 教育・保育活動 ・プレゼンテーションと冊子作り (完成)	教科書・プリント教材 パワーポイント資料 ペア・グループ討議	プレゼンテーション資料 作成
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①② … 期末試験70点 (指答案、レポートを含む) 目標①② … 「感想・質問・意見」の提出 30点 (授業後、毎回提出)			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：教育課程・保育課程を学ぶ 著者名：松村和子 他 発行所：ななみ書房 価格：1,800円 (税別) *幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の最新版		書名：教育課程の理論 保育におけるカリキュラム・デザイン 著者名：磯部裕子 発行所：萌文書林 価格：1,800円 (税別)	
		書名：保育課程・教育課程総論 著者名：柴崎正行・戸田雅美・増田まゆみ編 発行所：ミネルヴァ書房 価格：2,200円 (税別)	
<b>その他補足事項</b>			
1. 毎時間の授業内容は「学びのナビゲーション」として概要を提示し、授業に取り組みやすくします。 2. 授業の初めにそれまでの授業内容の振り返りを「クリッカー問題」として提示し、ペア・グループ討議を通して理解を深めます。 3. 自己採点方式の確かめテストを数回実施し、理解の定着を図ります。 4. 授業に使用する教材は前週に配布するので、「授業のキーワード」について下調べをしておいてください。			

授業科目名	幼児と環境		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	教授 すぎ 浦 ひろ ゆき 杉 浦 広 幸	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	無	
授業に関する主な実務経験と期間	新潟県園芸試験場（1989年4月～1996年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	全農福島特定栽培農産物評議委員会委員長			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	農業改良普及員、毒物劇物取り扱い主任者（一般用） 博士（農学）、日本放射線安全管理学会、園芸学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは火曜日の昼休みの時間帯に研究室にて行います。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本授業におけるテーマは、地球環境問題や社会の環境問題について、基本的な知識を学び考えることです。日本は経済大国になるために環境に大きな犠牲を強いてきたので、多くの環境問題が生じた過去を持っています。環境問題については、小学校から種々学んできたと思いますが、子どもを守る立場になって、改めてその問題がどのようなものであったか、私たちはどうすべきかを考えていきます。</p> <p>本授業では、緑豊かな本学宮代キャンパスにおいて、植栽されている植物や、訪れる野鳥などの自然を活用した体験学習を含みます。さらに、能動的学習を深めるため、グループ活動についても取り入れていきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 子どもを守る立場にある保育者が、家庭生活などで極めて身近な環境だけでなく、野菜栽培などの動植物に触れる機会を通し、様々な環境に目を向けることができるようにする	目標	A
② 忘れられがちな多くの環境問題があることを学び、問題に直面した際に自分なりに対応を考えることができようになる	目標	C
③ 人は様々な人・社会と共存していることから、今後自分や子どもたちが生きていく中で、地球環境に目を向けながらどのように振る舞って行ったら良いかを考えられるようになる	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 幼児を取り巻く環境での学びに関する事例紹介 活用する本学宮代キャンパスの緑地環境・本学認定こども園の園庭等の見学	授業計画 ビデオ鑑賞「田んぼの幼稚園」 (15分) Power Point 「本学保育学科の体験」	予習：キャンパスマップをキャンパス入口掲示で把握しておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	幼児が身近な環境から体験学習するプラン作り 「野菜栽培計画」「ビオトープ計画」の計画 ※レポート(1)	手製資料 キャンパス緑地での体験学習	予習：キャンパスのビオトープ(整備中)を見学しておく
3	幼児と生き物「ビオトープ作り」(1) 小川を作ろう(前期) / 小川の整備(後期)	手製資料 キャンパスのビオトープ整備地での体験学習	予習：ビオトープの事例を調べておく
4	幼児と野菜(1)野菜苗のポット作り 野菜(トマト、カボチャ、ピーマン)からタネを採って播種(前期) / シノブフユナ(後期)	手製資料 キャンパス野菜圃場での体験学習	予習：主な野菜の栽培方法を調べておく
5	幼児と生き物「ビオトープ作り」(2) 水が溜まる構造に固めよう(前期) 補修(後期)	手製資料 キャンパスのビオトープ整備地での体験学習	復習：キャンパスのビオトープの問題を再度理解しておく
6	幼児と野菜(2)野菜畑作り どんな雑草が生えてる?土中に何が居る?	手製資料 キャンパス野菜圃場での体験学習	予習：身近な雑草を調べておく
7	幼児と生き物「ビオトープ作り」(3) 水性植物を植えよう(前期) 水性植物の追加(後期)	手製資料 キャンパスのビオトープ整備地での体験学習	予習：水生植物にどのようなものがあるか調べておく
8	幼児と野菜(3)野菜を植えよう 作った苗のほかスプラウト播種も実施	手製資料 キャンパス野菜圃場での体験学習 ミニ野菜栽培体験	予習：幼稚園・保育所で栽培される野菜を調べておく
9	幼児と生き物「ビオトープ作り」(4) 石を入れて流れを作ろう(前期) 石を追加して流れを調整(後期)	手製資料 キャンパスのビオトープ整備地での体験学習	復習：キャンパスのビオトープの問題を再度理解しておく
10	幼児と生き物「ビオトープ作り」(5) 生き物を育てよう(カワニナ等放流)	手製資料、キャンパス野菜圃場での体験学習	予習：水生生物(非魚類)の種類を調べておく
11	幼児と野菜(4)野菜を世話しよう 除草・施肥・灌水・周囲の虫	手製資料 キャンパス野菜圃場での体験学習 ミニ野菜栽培体験	予習：野菜ごとの特徴的な世話を調べておく
12	幼児と生き物「ビオトープ作り」(6) 生き物を観察しよう ※レポート(2)	手製資料 キャンパスのビオトープ整備地での体験学習	予習：今まで周辺で見られた生き物を整理しておく
13	幼児と動植物を探そう(1) 動植物発見ビンゴ作り	手製資料 キャンパス(周囲を含む)ツアー	予習：市街地で見られる生き物の種類を調べておく
14	幼児と動植物を探そう(2) 動植物発見ビンゴ体験	手製資料 キャンパス(周囲を含む)ツアー	予習：ビンゴで記載の生き物の居場所を把握しておく
15	まとめレポート(野菜の活用体験後)	キャンパスでの体験 ビオトープレポート作り	予習：今までの体験をレポート用に整理しておく
期末試験	実施しない		
<b>まとめレポートの講評</b>			
希望者には「まとめレポート」の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標① … レポート(1) 10点  
 目標② … レポート(2) 10点  
 目標③ … ビンゴ作り 10点  
 目標② … まとめレポート 40点  
 目標① … 作業（体験）参加確認（第3回～11回、13回）30点（3点×10回）  
 ※欠席は1回につき3点減点、遅刻・早退は1回につき1点減点（遅刻・早退3回は欠席1回とみなして3点減点）とします。ただし、実習、就職面接、自然災害、公共交通の遅れ等、正当な理由と判断される欠席（届出のあるもの）は除きます。また、授業への取り組みに積極性が評価できる場合は3点加点、授業中の問題行動は1件につき1点減点とします。

教科書

使用しません。資料を配布します。

参考書

書名：ISO環境法等環境法令（環境省）  
 発行所：環境省  
 ＊インターネットで閲覧可。

その他補足事項

農作業等をするので、作業時は作業着と長靴を用意し、また虫刺され対策（長袖・長ズボン等）をしてください。

授業科目名	幼児と言葉		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	准教授 <sup>なか</sup> <sup>の</sup> <sup>ま</sup> <sup>き</sup> 中野真樹	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		特記事項なし		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		国学院大学大学院文学研究科後期課程修了 博士(文学)		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>この授業では、幼児が言葉の世界を広げ、豊かな言葉や感覚を育む環境、言葉を用いた活動について、絵本・紙芝居等の児童文化財を用いて実践的に学び、必要な基礎的知識・技能を習得していきます。</p> <p>特に、習得の中で児童文化財に使用されている死語・化石語は、幼児にとっては極めて難解となっているので、それらを抽出し、その対応策を考える研究も行います。時代とともに変化する名作の内容の変遷についても、過去にさかのぼって調べるようにし、その原因・理由などの時代背景についても考えるようにします。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
		E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 絵本・紙芝居等の児童文化財の基礎的知識・技能を習得し、保育現場での活用法を身に付ける	目標	A・B・D		
② 児童文化財の表現に使われている語彙等について、多面的に観察・分析して理解を深めるとともに、現代の幼児たちへどのように対応すべきかについて考察する	目標	A		
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業計画と評価方法 担当する児童文化財の基本学修	教科書・授業計画 講義資料を用いての解説・質疑応答 DVD「子どもの発達と支援 vol. 4 言葉の発達」視聴(20分)	授業計画の事前確認	
2	絵本についての基礎的知識・技能	教科書・講義資料を用いての解説・ 質疑応答	教科書2章の事前学習	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	絵本における死語・化石語の事例	教科書・講義資料を用いての解説・質疑応答	教科書2章の事前学習
4	絵本における内容の変遷の事例	教科書・講義資料を用いての解説・質疑応答	教科書2章の事前学習
5	絵本の教材研究の発表(1) 年少児対象の絵本 — 日本の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
6	絵本の教材研究の発表(2) 年少児対象の絵本 — 外国の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
7	絵本の教材研究の発表(3) 年中児対象の絵本 — 日本の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
8	絵本の教材研究の発表(4) 年中児対象の絵本 — 外国の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
9	絵本の教材研究の発表(5) 年長児対象の絵本 — 日本の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
10	絵本の教材研究の発表(6) 年長児対象の絵本 — 外国の名作 —	教科書 グループワーク・ディスカッション 絵本の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい絵本を探し、読む
11	紙芝居についての基礎的知識・技能	教科書 講義資料を用いての解説・質疑応答	教科書3章の事前学習
12	紙芝居の教材研究の発表(1) 年少児対象の紙芝居	教科書 グループワーク・ディスカッション 紙芝居の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい紙芝居を探し、読む
13	紙芝居の教材研究の発表(2) 年中児対象の紙芝居	教科書 グループワーク・ディスカッション 紙芝居の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい紙芝居を探し、読む
14	紙芝居の教材研究の発表(3) 年長児対象の紙芝居	教科書 グループワーク・ディスカッション 紙芝居の教材研究・発表	図書館で発表内容に相応しい紙芝居を探し、読む
15	総括質疑 小レポート作成	教科書・配布資料 スライドを用いての解説・質疑応答 研究発表の講評、小レポートの作成	これまでの学習内容のまとめを行い、レポート作成のための先行研究を調べる
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 期末試験 40点  
 目標② … 小レポート 20点  
 目標① … 発表 40点

教科書

書名：保育者のための言語表現の技術  
 著者名：古橋和夫  
 発行所：萌文書林  
 価格：2,000円（税別）

参考書

書名：保育内容指導法 言葉  
 著者名：田上貞一郎・高荒正子  
 発行所：萌文書林  
 価格：1,900円（税別）

授業科目名	<b>保育内容指導法 健康</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	准教授 <sup>ふじもと</sup> 藤本 <sup>かなめ</sup> 要	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員 (2004年まで6年間) 全国私立短大体育大会運営委員競技副委員長、テニスの部競技委員長 (日本私立短期大学協会 体育研究委員会委員在籍中) 国見町子ども・子育て支援推進協議会委員 (2015年まで2年間)		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		日本体育大学体育学部健康学科卒業 学士(体育学) 日本体育大学体育専攻科修了(高等学校教諭一級免許状取得) 中学校教諭一級免許状(保健体育)、高等学校教諭一級免許状(保健体育) 衛生管理者証、日本応用心理学会、日本ブリーフセラピー協会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		教養教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		教養教育科目	必修	
保育士資格		教養教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワー：研究室前に掲示(月曜3時限/12:50~14:30)		

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解し、講義と演習を通して具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけます。	○	A	知識		
		B	技能		
		C	論理的思考力		
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	○	E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
		イ	ディスカッション、ディベート		
	○	ウ	グループワーク		
	○	エ	プレゼンテーション		
		オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
① 領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させて理解する		目標	A		
② 幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける		目標	D・E		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要、到達目標、評価方法の説明等 領域「健康」のねらい及び内容(1) ～健康のねらい及び内容並びに全体構造の理解	授業計画 教科書・資料をもとに展開 グループワーク：健康のねらい及び内容並びに全体構造について		領域「健康」のねらい及び内容を読んでおくこと	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	領域「健康」のねらい及び内容(2) ～ねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点	教科書・資料をもとに展開 グループワーク：幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点について	領域「健康」のねらい及び内容と指導上の留意点を読んでおくこと
3	領域「健康」のねらい及び内容(3) ～幼児の健康にかかわる現代的課題と保育実践	教科書・資料をもとに展開 グループワーク：幼児の健康にかかわる現代的課題と保育実践について	幼児の健康にかかわる現代的課題について調べておくこと
4	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成とその指導法(1) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその指導法(食事、排せつ)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表①	基本的な生活習慣の形成(食事、排せつ)について調べておくこと
5	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成とその指導法(2) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその指導法(着脱衣、睡眠)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表②	基本的な生活習慣の形成(着脱衣、睡眠)について調べておくこと
6	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成とその指導法(3) ～幼児期の基本的な生活習慣の形成とその指導法(清潔)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表③	基本的な生活習慣の形成(清潔)について調べておくこと
7	安全な生活とケガや病気の予防を理解する(1) ～幼児の安全教育・健康管理に関する指導法・指導案の作成(映像等情報機器の活用)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表④	幼児の安全教育・健康管理について調べておくこと
8	安全な生活とケガや病気の予防を理解する(2) ～幼児の安全教育(交通安全指導と防犯指導)・指導案の作成(映像等情報機器の活用)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑤	幼児の安全教育(交通安全指導と防犯指導)について調べておくこと
9	安全な生活とケガや病気の予防を理解する(3) ～幼児の安全教育(危険な行動、特に注意を要する遊具・道具の指導)・指導案の作成(映像等情報機器の活用)	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑥	幼児の安全教育(危険な行動、特に注意を要する遊具・道具の指導)について調べておくこと
10	幼児期の運動発達(1) ～幼児期運動指針と多様な動きの獲得を目的とした指導法・指導案の作成	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑦	幼児期運動指針の骨子を読んでおくこと
11	幼児期の運動発達(2) ～多様な動きの獲得を目的とした模擬保育	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑧	多様な動きの獲得を目的とした模擬保育について調べておくこと
12	幼児期の運動発達(3) ～日常生活における幼児の動きを引き出す環境構成	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑨	幼児の動きを引き出す環境構成について調べておくこと
13	幼児期の運動発達(4) ～伝承遊び(鬼遊び他)の指導法	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑩	伝承遊び(鬼遊び他)について調べておくこと
14	幼児期の運動発達(5) ～屋内遊び、屋外遊び、季節遊びの指導法	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑪	乳幼児期の屋内遊び、屋外遊び、季節遊びについて調べておくこと

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	食育基本法と食育教育 ～発達段階に沿った食育指導	教科書・資料をもとに展開 ※グループ発表⑫	食育基本法について調べておくこと
期末試験	期末試験	ペーパー試験を実施	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標① … 期末試験25%</p> <p>目標② … グループ発表（制作を含む）60%（5点×12回）</p> <p>目標③ … 毎回の授業の最後に提出する小レポート15%（1点×15回）</p> <p>その他、遅刻早退欠席による減点（欠席1回3点減点、遅刻早退1回1点減点）、また授業内における積極的な発言等により加減点を行い、100点を上限として評価を行います。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：領域「健康」 著者名：近藤充夫編 発行所：同文書院 価格：1,900円（税別）		幼児期運動指針ほか授業中に適宜資料を配布する。 幼稚園教育要領（最新版） 保育所保育指針（最新版） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）	

授業科目名	保育内容指導法 人間関係		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	准教授 鈴木 智子		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間）		
社会貢献としての委員会・職等		国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」講師 （平成26年～現在）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		福島学院大学大学院こども心理専攻修士課程修了 修士（こども心理） 保育士、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		15時間
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
幼稚園教育要領と保育所保育指針、及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「人間関係」について、乳児期から幼児期にかけて他の人々と親しみ、支え合って生活するために自立心を育て人と関わる力を養うために必要な、幼児が体験し身に付けていく内容と指導上の留意点など事例を通し様々な側面から理解できるようにします。人間関係の他領域との関係と指導方法を実践事例から具体的に培います。	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	アクティブラーニングの要素	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
○	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	現代社会における子どもを取り巻く環境とその「人間関係」を理解する	目標	A
②	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育及び教育の基本を踏まえ、領域の「人間関係」のねらいや内容を具体的事例から学び、その指導法について理解する	目標	B・F
③	保育実践での「人間関係」に関わる具体的問題を取り上げ、基本的な考え方と方法を考察し適切な援助や対応ができる力を培う	目標	E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点 保育内容指導法「人間関係」の概要	授業計画 教科書、プリント資料1	乳幼児にとっての人間関係について 教科書P9～18予習

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	乳幼児にとっての人間関係について	*予習内容「乳幼児にとっての人間関係」のグループワーク(10分) 教科書、プリント資料2	乳幼児にとっての人間関係について 教科書P19～22復習
3	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」について	教科書、プリント資料3	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の人間関係 教科書P23～36 P150～183復習
4	教育課程・保育課程(全体的な計画)における領域「人間関係」の考え方	*幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の人間関係の解説 教科書、プリント資料4	教育課程・保育課程(全体的な計画)における領域「人間関係」の復習 教科書P46～58
5	領域「人間関係」と他領域との関係の基礎理解	*復習内容:領域「人間関係」の考え方の解説 教科書、プリント資料5	領域「人間関係」と他領域との関係 教科書復習P23～36
6	領域「人間関係」のねらい及び内容の基礎理論 レポート①	*領域「人間関係」と他領域との関係(復習内容の解説) 教科書、プリント資料6	レポート① 領域【人間関係】 教科書復習P72～82 P150～183
7	乳幼児の発達と人間関係(1) 0歳児～3歳未満児の発達とかかわりの方法(映像教材等の活用、情報機器の活用を含む)事例を通した指導方法	*レポート内容のグループワーク(10分) 教科書、プリント資料7	乳幼児の発達と人間関係復習 教科書P37～45
8	乳幼児の発達と人間関係(2) 3、4、5歳児の発達とかかわりの方法(映像教材等の活用、情報機器の活用を含む)事例を通した指導方法	*乳幼児の発達と人間関係(0～3歳児)をテーマにスライドによる解説(10分) 教科書、プリント資料8	乳幼児の発達と人間関係復習 教科書P37～45 P104～115
9	領域「人間関係」の指導計画の考え方	*乳幼児の発達と人間関係(3、4、5歳児)をテーマにスライドによる解説(15分) 教科書、プリント資料9	領域「人間関係」の指導計画の考え方 教科書復習P141～149 P158～183
10	「遊びを通した保育者とかかわり」 保育者とかかわりをねらいにした保育計画案の作成と保育方法「0.1.2歳児」	*復習事項:領域「人間関係」の指導計画の考え方のグループワーク 教科書、プリント資料10	保育計画案の作成復習 教科書P141～149 P158～183
11	「遊びを通した友達とかかわり」 友達とかかわりをねらいにした指導計画案の作成と保育方法「3.4.5歳児」 レポート②	*保育計画案の作成教科書を参考に作成した指導計画案をグループ内で発表 教科書、プリント資料11	レポート② 「遊びと人間関係」

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
12	幼稚園・保育所・小学校の連携のあり方 具体的指導方法の理解	*レポート② 「遊びと人間関係」をテーマにグループディスカッション(15分) 教科書、プリント資料12	幼稚園・保育所・小学校の連携のあり方復習 教科書P104～115
13	模擬保育における保育実践・指導方法の理解・振り返り(1)	*復習内容「幼稚園・保育所・小学校の連携のあり方」グループディスカッション(10分) 教科書、プリント資料13	模擬保育における保育実践・指導方法の理解・振り返りの復習 プリント13
14	模擬保育における保育実践・指導方法の理解・振り返り(2)	*模擬保育における保育実践・指導方法の解説 教科書、プリント資料14	模擬保育における保育実践・指導方法の理解・振り返りの復習 プリント14
15	保育内容指導法「人間関係」のまとめ	*1～15の授業内容の解説 教科書、プリント資料15	保育内容指導法「人間関係」のまとめ 教科書P116～124 P125～132
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 期末試験 70点 目標②③ … レポート 30点(2回×15点)			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：保育実践を学ぶ「人間関係」保育内容 著者名：咲間まりこ編 発行所：(株)みらい 価格：2,000円(税別)  幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針、保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書		特に指定しません。	

授業科目名	乳児保育Ⅱ		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 <small>なかのあきこ</small> 中野明子	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム（保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理） 保育士、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明する。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>本授業では、「乳児保育Ⅰ」で学んだ乳児保育の現状と課題、乳児保育の理念や知識を基に、乳児保育の技術や技能について実践演習等を通して学びます。乳児との関わり、援助の仕方の実際を通して、乳児保育における保育士の役割を再考します。</p> <p>また、グループディスカッション、ロールプレイングなどを通して乳児期の発達に応じた保育計画や保育方法、保護者支援の実際について理解を深め、乳児保育を総合的に捉え、実践に応用できる力を養います。</p> <p>※乳児保育とは、3歳児未満を念頭においた保育を示します。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する	目標	A
② 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する	目標	B
③ 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する	目標	B
④ 上記①～③を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する	目標	E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> ・授業の進め方と評価方法等 <b>乳児保育の基本(1)</b> ・子どもと保育士等の関係の重要性 ・個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わりについて <b>抱っこ・おんぶ・おむつの替え方</b> ・乳児とのふれ合いの基本を学ぶ ・抱っこ・おんぶ・おむつ交換の技術 ・応答的な援助の実践	授業計画 グループ演習 ・抱っこ・おんぶ・おむつ交換を学ぶ(ベビー人形) <b>第1回レポート作成</b>	教科書 第2章「乳児保育の基本」、 第5章「基本的生活習慣の獲得」(3)援助の実際1) おむつ交換を事前に読む
2	<b>乳児保育の基本(2)</b> ・子どもの主体性の尊重と自己の育ち ・子どもの体験と学びの芽生え <b>乳児の発達過程からみる保育内容</b> ・0～6か月未満児の発達と保育内容 ・6か月以上1歳未満児の発達と保育内容	保育所保育指針・保育所保育指針解説から学ぶ  DVD視聴 「乳幼児へのまなざし」15分	保育所保育指針 第2章保育の内容「乳児保育に関するねらい及び内容」を事前に読む P13～P16
3	<b>乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際(1)</b> ・子どもの1日の生活の流れと保育の環境 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際と保育内容 ・子ども同士の関わりとその援助の実際 <b>乳児の噛みつき・ひっかき等のトラブルへの対応</b>	グループ演習 ・噛みつきへの対応(ロールプレイング) プリント	保育所保育指針 第2章「1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容」を事前に読む P16～P22
4	<b>乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際(2)</b> ・子どもの生活や遊びを支える環境の構成 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際と保育内容 <b>手作りおもちゃの製作(1)</b> ・人と関わる楽しさを伝えるおもちゃ作り	おもちゃの製作 ・音の鳴るおもちゃを作る プリント	乳児の発達を考慮し、音の鳴る玩具を考えておく
5	<b>手作りおもちゃの製作(2)</b> ・完成したおもちゃの発表	製作したおもちゃの発表 ・実際にどのように遊ぶのか伝える <b>第2回レポート作成</b>	子どもがどのように遊ぶのか理解できるように発表の仕方を工夫する
6	<b>乳児保育における配慮の実際</b> 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 ・保育室内外の衛生 ・乳児期特有の病気と予防 ・薬の取り扱いと与薬依頼票 集団での生活における配慮・環境の変化や移行に対する配慮 ・日常生活における危険 ・人数確認による子どもの把握 ・不審者の侵入防止	VTR視聴 「保育の安全管理と事故防止」20分 プリント グループ討議 ・日常生活での危険と回避の仕方 <b>第3回レポート作成</b>	保育所保育指針 第3章「健康及び安全」を事前に読む P32～P35  乳幼児の日常生活での危険についてまとめておく
7	<b>基本的生活習慣 食事(1)</b> ・授乳の仕方・調乳の仕方 ・人工乳・冷凍母乳 ・離乳食の進め方	グループ演習 ・調乳の仕方を学ぶ プリント DVD視聴 「離乳食のすすめかた」20分	教科書 第8章「食事の計画、提供及び評価・改善」1 冷凍・冷蔵母乳の取り扱いについてを事前に読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
8	<b>基本的な生活習慣 食事(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーの対応</li> </ul> <b>基本的な生活習慣 睡眠</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児の睡眠</li> <li>睡眠の援助</li> </ul>	DVD視聴 「聞いてみよう！食物アレルギーのこと」20分 プリント	教科書 第8章2乳幼児と食物アレルギー3保育室での配慮、第5章「基本的な生活習慣の獲得」食事・睡眠を事前に読む
9	<b>基本的な生活習慣 排泄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>おむつはずれの援助</li> </ul> <b>基本的な生活習慣 衣服の着脱</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の選び方</li> <li>衣服の着せ方、脱がせ方</li> </ul>	グループ討議 ・トイレの誘い方 グループ演習 ・衣服の着せ方・脱がせ方 ベビー人形、プリント	教科書 第5章2排泄 5衣服の着脱を事前に読む
10	<b>基本的な生活習慣 清潔</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>清潔とは</li> <li>沐浴の仕方、清拭の仕方</li> </ul>	DVD視聴「やさしい沐浴法」20分 グループ演習 ・沐浴の仕方を学ぶ ベビー人形、プリント	教科書 第5章4清潔の習慣を事前に読む
11	<b>保護者支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の子育て支援システム 保育所、認定こども園、地域子育て支援の実態</li> <li>子育て支援の連携法 絵本、わらべうた、連絡帳の活用法</li> </ul>	DVD視聴 「育ち育てる子育ての時間」20分 グループ演習：連絡帳を書く プリント	教科書 第7章「乳児保育における連携」を復習 実習等で経験した保育施設での子育て支援について振り返りを行う
12	<b>乳児保育における計画の実態(1)</b> <b>長期的な指導計画と短期的な指導計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画の作成ポイント</li> <li>月間指導計画の作成ポイント</li> <li>保育の計画と評価・改善の理解</li> </ul>	プリント	教科書 第6章「乳児保育の計画と記録」を事前に読む
13	<b>乳児保育における計画の実態(2)</b> <b>個別的な指導計画と集団の指導計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の個別計画とクラス全体の指導計画</li> <li>月間指導計画の部分作成</li> </ul>	グループ討議 ・4月指導案の部分作成 プリント	作成した指導案の見直しをし、実際の保育に生かせるように改善する
14	<b>手作り絵本の製作</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>終わらない絵本作り</li> </ul> <b>絵本の読み聞かせ(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の役割と選び方</li> </ul>	簡単な絵本を作る ・絵本の発表 グループ討議 ・3歳未満児の絵本選択	乳児に見せたい絵本を持参する 絵本の5場面を考えておく
15	<b>絵本の読み聞かせ(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせの発表</li> </ul> <b>まとめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児保育演習を通して捉えた、保育士の援助や関わりについて考察を深める</li> </ul>	グループ演習 ・グループ毎の読み聞かせ <b>第4回レポート作成</b>	読み聞かせの練習をしていく 保育士の援助や関わりについて、学び捉えたことをまとめておく
期末試験	<b>期末試験</b>	筆記試験	授業ノート 配布資料を整理して臨む
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

目標①② … 期末試験 60点

目標②③ … レポート作成（4回）20点 製作物10点 計30点

目標③④ … 授業内での意見発表及び討議態度等 10点

※授業計画の「成績評価への補足的対応措置」により、欠席・遅刻・早退による減点を行います。

※詳細については初回授業時に説明します。

教科書

参考書

※1年次で使用した教科書を使用します。

書名：コンパス乳児保育

著者名：咲間まり子編著

発行所：建帛社

価格：1,900円（税別）

書名：保育者のための外国人保護者支援の本

著書名：咲間まりこ他

発行所：かもがわ出版

価格：2,200円（税別）

その他補足事項

1. 本授業において、平成29年告示「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び平成29年告示「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」を適宜使用します。詳細は授業時に指示します。
2. 授業配布資料は、適宜授業内容を書き込み、重要な点にアンダーラインを引く等して整理し、各自ファイルしてください。

授業科目名	<b>子どもの健康と安全</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 <sup>わた なべ かず よ</sup> 渡 邊 一 代 〔本務先：福島県立医科大学 職名：講師〕		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		福島赤十字病院他（看護師・助産師）昭和56年～平成23年（26年間） 福島学院大学（非常勤講師）平成17年～現在 福島県立医科大学（講師）平成23年～現在		
社会貢献としての委員会・職等		福島県助産師出向支援事業協議会（会長）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		福島大学大学院政策科学研究科修士課程修了（地域政策） 看護婦（看護師）免許、助産婦（助産師）免許 日本助産学会、日本母性衛生学会、日本健康学会、日本疫学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		15時間
オフィスアワー・メールアドレス等		授業終了後に質問等に対応します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学びます。 健康な小児の発育・発達を理解し、適切な保育のあり方の基本知識と技術態度を学んでいきます。	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する	目標	A・B
② 関連するガイドラインや近年のデータなどを踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する	目標	A・G
③ 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する	目標	A・B・G
④ 関連するガイドラインや近年のデータなどを踏まえ、保育における感染症対策について、具体的に理解する	目標	A・B
⑤ 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータに基づく、子どもの発達や状態などに即した適切な対応について、具体的に理解する	目標	A・B
⑥ 子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取り組みや保健活動の計画及び評価などについて、具体的に理解する	目標	A・G

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標 評価方法・その他の留意点 <b>保健的観点を踏まえた保育環境及び援助(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康と保育の環境</li> <li>子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理</li> </ul>	授業計画 教科書 第1～2章	教科書P 2～15を事前に通読し、理論のポイントを理解する
2	<b>保健的観点を踏まえた保育環境及び援助(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健康と保育の環境</li> <li>子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理</li> </ul>	教科書 第1～2章 演習：手洗い	教科書P 2～15を事後に通読し、理論のポイントを理解する
3	<b>保育に必要な保健的対応(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育における保健的対応の基礎</li> <li>3歳未満児への対応</li> <li>個別的な配慮を要する子どもへの対応</li> <li>障害のある子どもへの対応</li> </ul>	教科書 第4章 <b>小テスト①</b> 演習：抱き方、おんぶ、スリング	教科書P 32～43を事前に通読し、理論のポイントを理解する
4	<b>保育に必要な保健的対応(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育における保健的対応の基礎</li> <li>3歳未満児への対応</li> <li>個別的な配慮を要する子どもへの対応</li> <li>障害のある子どもへの対応</li> </ul>	教科書 第4章 <b>小テスト②</b> 演習：衣類の着脱、おむつ交換	教科書P 32～43を事後に通読し、理論のポイントを理解する
5	<b>保育に必要な保健的対応(3)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育における保健的対応の基礎</li> <li>3歳未満児への対応</li> <li>個別的な配慮を要する子どもへの対応</li> <li>障害のある子どもへの対応</li> </ul>	教科書 第5章 <b>小テスト③</b> 演習：身体計測 <b>実技テスト①：計測部位確認</b>	教科書P 48～57を事前に通読し、理論のポイントを理解する
6	<b>保健的観点を踏まえた保育環境及び援助(3)</b> 子どもの保健に関する個別対応の健康及び安全の管理	教科書 第6章 <b>小テスト④</b> 演習：呼吸・脈拍・体温の測定 <b>実技テスト②：脈拍測定</b>	教科書P 62～67を事前に通読し、理論のポイントを理解する
7	<b>保健的観点を踏まえた保育環境及び援助(4)</b> 子どもの保健に関する個別対応の健康及び安全の管理	教科書 第7章、第8章 <b>小テスト⑤</b>	教科書P 73～87を事前に通読し、理論のポイントを理解する
8	<b>保育に必要な保健的対応(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育における保健的対応の基礎</li> <li>3歳未満児への対応</li> <li>個別的な配慮を要する子どもへの対応</li> <li>障害のある子どもへの対応</li> </ul>	教科書 第9章 <b>小テスト⑥</b> 演習：歯磨き	教科書P 90～99を事前に通読し、理論のポイントを理解する
9	<b>保育に必要な保健的対応(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育における保健的対応の基礎</li> <li>3歳未満児への対応</li> <li>個別的な配慮を要する子どもへの対応</li> <li>障害のある子どもへの対応</li> </ul>	教科書 第10章 <b>小テスト⑦</b> 演習：沐浴、調乳	教科書P 102～110を事前に通読し、理論のポイントを理解する
10	<b>子どもの体調不良等に対する適切な対応(1)</b> 体調不良や障害が発生した場合の対応 <b>感染症対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の集団発生の予防</li> <li>感染症発生時と罹患後の対応</li> </ul>	教科書 第11章 <b>小テスト⑧</b> ビデオ「ママの応急手当」21分	教科書P 114～127を事前に通読し、理論のポイントを理解する

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
11	子どもの体調不良等に対する適切な対応(2) ・応急処置	教科書 第12章 小テスト⑨	教科書P130～145を事前に通読し、理論のポイントを理解する
12	子どもの体調不良等に対する適切な対応(3) ・救急処置と救急蘇生法	教科書 第13章 小テスト⑩ 演習：三角巾の活用、心肺蘇生法実技	教科書P148～156を事前に通読し、理論のポイントを理解する
13	子どもの体調不良等に対する適切な対応(4) ・救急蘇生法	教科書 第13章 演習：心肺蘇生法 実技テスト③：心肺蘇生法	心肺蘇生法を各自のグループで練習してくる
14	保育における健康及び安全の管理 ・衛生管理      ・事故防止及び安全対策 ・危機管理      ・災害への備え	教科書 第14章	教科書P158～169を事前に通読し、理論のポイントを理解する
15	健康及び安全の管理の実施体制 保育における保健活動の計画及び評価	教科書 第15章	教科書P175～178を事前に通読し、理論のポイントを理解する
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①④⑤ … 期末試験 50点、 目標③ … 単元の小テスト 30点（10回） 目標③ … 実技テスト 9点（3回） 目標②⑥ … 発表 6点 目標③ … 演習、実技等への取組み 5点			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：子どもの保健Ⅱ 演習ガイド 著者名：高内正子編集 発行所：建帛社 価格：2,200円（税別）		1. 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（平成23年3月、厚生労働省） 2. 「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」（平成30年3月、厚生労働省） 3. 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（平成28年3月、内閣府・文部科学省・厚生労働省）	

授業科目名	<b>社会的養護Ⅱ</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 <sup>かがみ</sup> 鑑 さやか 〔本務先：東北文化学園大学 職名：准教授〕	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	宮城県中央地域子どもセンター 平成19年4月～平成20年3月 (児童緊急通報ダイヤル対応員・一時保護所非常勤職員)			
社会貢献としての委員会・職等	宮城保育団体合同研修会委員			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北福祉大学大学院社会福祉研究科社会福祉学専攻修士課程修了 社会福祉学修士、社会福祉士、日本子ども虐待防止学会 他			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>社会的養護を必要とする子どもとその家族の現状を踏まえ、児童福祉施設の具体的な役割の理解を深めます。さらに、保育士としてどのように向き合い、支援することが求められるかについて実践的に学びます。具体的には、事例等を用いたロールプレイやディスカッション、グループワークを通じた学習により、多角的な視点に触れることで、保育者を目指す者として必要な実践的技術の理解を図ります。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	<input type="radio"/>	E	課題対処力	
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク		
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する	目標	A		
② 施設養護及び家庭養護の実際について理解する	目標	A・F		
③ 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する	目標	A・B		
④ 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する	目標	E		
⑤ 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する	目標	A・E		
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	<p>オリエンテーション</p> <p>授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点</p> <p>社会的養護の理論と実際</p> <p>～社会的養護の実践と保育士</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画</li> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<p>【予習】教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します)</p> <p>【復習】ミニレポートの作成</p>	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	社会的養護の理論と実際 ～社会的養護の理念と機能、法制度と枠組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
3	社会的養護の理論と実際 ～社会的養護を必要とする子どもの理解と権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
4	社会的養護の理論と実際 ～施設養護のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
5	社会的養護の理論と実際 ～記録および評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
6	ケーススタディ ～施設への入所前後の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
7	ケーススタディ ～個別支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
8	ケーススタディ ～日常生活支援(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
9	ケーススタディ ～日常生活支援(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
10	ケーススタディ ～治療的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
11	ケーススタディ ～施設養護の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
12	ケーススタディ ～家庭養護へ向けての支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
13	ケーススタディ ～ソーシャルワークとその応用(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	ケーススタディ ～ソーシャルワークとその応用(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<p>【予習】教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します)</p> <p>【復習】ミニレポートの作成</p>
15	社会的養護実践における課題と展望 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<p>【予習】教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します)</p> <p>【復習】ミニレポートの作成</p>
期末試験	期末試験	レポートを課します	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、メール等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②⑤ … 期末試験 (レポート) 30% 目標①②③④ … ミニレポート 20% 目標①②③④⑤ … グループワークへの参加 30% 目標①②③④⑤ … ワークシート 20%			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：演習・保育と社会的養護実践 著者名：橋本好市・原田旬哉 編 発行所：みらい 価格：2,000円 (税別)		書名：保育実践と社会的養護 著者名：井村圭壯・相澤譲治 編著 発行所：勁草書房 価格：2,000円 (税別)	
<b>その他補足事項</b>			
1. 理解を深めるために、事前にテキストの該当箇所を読んでおいてください。 2. 講義中の私語・飲食は認めません。(配慮が必要な場合には事前に申し出て許可を得てください) 3. スマートフォン等、講義と関係のない機器の使用・机上へ出しておくことは認めません。 4. 他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示する場合があります。			

授業科目名	子育て支援		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 こん 今 きよ たか 清 孝	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	筒井福祉会筒井保育園 保父（昭和59年4月～平成2年3月） 筒井福祉会筒井保育園 園長（平成2年4月～平成20年6月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島市産官学プラットフォーム 保育士キャリア形成プロジェクトチームリーダー			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士課程修了 修士(社会福祉学)、保育士、日本社会福祉学会、日本家族研究・家族療法学会 日本子ども学会、日本保育者養成教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>保育士が行う保育技術と保育相談支援技術の組み合わせによる子育て支援により、保護者が抱える育児に関する問題を、子どものより良い保育環境を整える視点から具体的に考えます。</p> <p>子育てする保護者のライフサイクルを理解し、子育て支援の計画や環境構成を作成する力と、子育て支援の記録・評価ができる力を養います。</p> <p>多様な子育て家庭に対する対応法を、事例を通してグループ討議や模擬相談演習、ロールプレイなどを行い学びを深めていきます。</p>	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する	目標	A・B
②	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する	目標	A・B・E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> (1) 授業の概要と到達目標 (2) 授業内容と評価方法及び留意点 <b>プロジェクト・アドベンチャー</b>	授業計画 授業資料1・ゲーム	復習：課題解決過程

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	保育相談支援の意義	授業資料2 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討
3	保育相談支援の原則	授業資料3 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討
4	保育相談支援の進め方	授業資料4 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討
5	保育相談支援の技術(1)	授業資料5 授業資料完成 グループ討議	予習：保育者の立場での考え方の検討
6	保育相談支援の技術(2)	授業資料6 授業資料完成 グループ討議	予習：保育者の立場での考え方の検討 復習：「1～6のまとめ」
7	中間まとめ 小レポート作成	授業資料7	授業資料の整理 テーマ「1～6のまとめ」
8	保育相談支援の実際(1)	授業資料8 DVD視聴 「保育相談支援」37分	予習：「助言」「解説」「情報提供」 の在り方の検討
9	保育相談支援の実際(2)	授業資料9 模擬相談演習	予習：「助言」「解説」「情報提供」 の在り方の検討
10	保育相談支援の実際(3)	授業資料10 模擬相談演習	予習：「支持」「承認」の在り方の 検討
11	保育相談支援の記録(1)	授業資料11 ロールプレイ	予習：「支持」「承認」の在り方の 検討
12	保育相談支援の記録(2)	授業資料12 ロールプレイ	予習：「行動見本」「体験提供」の 在り方の検討
13	保育相談支援の評価(1)	授業資料13 ロールプレイ	予習：「行動見本」「体験提供」の 在り方の検討
14	保育相談支援の評価(2)	授業資料14 ロールプレイ	予習：「環境構成」の在り方の検 討 復習：「8～14のまとめ」
15	まとめ 小レポート作成		テーマ「8～14のまとめ」
期末 試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標①② … 期末試験 70点満点</p> <p>目標①② … レポート（2回）30点満点（各15点満点）の採点とします。 課題は授業内容に基づいた枠組みのなかで、学生が関心のある事柄を各自設定する方式とします。</p> <p>目標② … ロールプレイ時の気づきについて発表できた学生には加点をします。</p> <p>目標①② … その他 授業内容に関して、質問や意見を積極的に述べる学生には加点します。</p> <p>100点を越えたものは一律100点とし、ほかに、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。</p>			

教科書	参考書
書名：演習 保育相談支援（第3版） 著者名：小林育子 発行所：萌文書林 価格：1,600円（税別）	特に指定しません。
その他補足事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初回授業時に身体運動のゲームを行うので、活動しやすい服装で出席してください。</li> <li>2. ロールプレイ等の実施のため、軽度の運動ができる服装で出席することを求めます。</li> <li>3. 期末試験の際には、授業配布資料のみ持ち込みを可とし、教科書やノートの持ち込みは不可とします。</li> <li>4. 配布資料に授業内容及び必要事項を書き込み、授業中または授業後に完成させ試験に臨むようにしてください。</li> </ol>	

授業科目名	教育方法及び技術		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	准教授 酒井 創 講師 佐藤 博 英	さか い はじめ さとう ひろ ひで	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	酒井：特記事項なし 佐藤：福島市立ひらの幼稚園園長（平成28年度～平成29年度） 福島県公立幼稚園・こども園教育研究会幹事として、本県の幼稚園・こども園教諭の研修を担当（平成28年度～平成29年度）			
社会貢献としての委員会・職等	酒井：特記事項なし 佐藤：福島県小学校教育研究会田村地区算数科研究部長（平成26年4月） 福島県小学校教育研究会福島地区算数科研究部長（平成28年4月）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	酒井：玉川大学大学院工学研究科生産開発工学専攻博士課程 情報処理学会、コンピュータ利用教育学会 佐藤：福島大学教育学部卒業学士（教育学）、小学校教諭一級普通免許状 中学校教諭一級普通免許状（数学）、高等学校教諭二級普通免許状（数学） 日本保育学会、日本教育心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>教育方法の定義とそれを学ぶ意義を理解した上で、欧米と日本の教育方法の歴史の変遷を関連づけながら概観し、教育方法の基礎的理論と授業（保育）を構成する基本的要件についての理解を深めます。また、幼児理解に基づいた評価の方法を含めた、これからの幼児教育に求められる教育（保育）の基本的技術を身に付けていきます。</p> <p>さらに、教育に活用できる情報機器、教材・教具についての理解を深め、それらを活用する技術を身につけます。子どもたちのリテラシー（情報モラルを含む）を育てるための指導法を理解していきます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	○ ウ グループワーク	
	○ エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 教育方法の定義とそれを学ぶ意義について理解する	目標	A
② 教育方法の歴史的展開を概観し、今日の教育（保育）活動の基になっている基礎的理論を理解する	目標	A・C
③ 次代を生きる子どもたちに求められる資質や能力を育てる授業（保育）を構成する基本的要件を理解し、これからの幼児教育の現場に必要な指導（保育）技術を身に付ける	目標	A・B
④ 教育技術の革新について理解するとともに、子どもの体験と関連を考慮しながら情報機器を効果的に活用し教材を作成したり提示したりすることができる	目標	A・B・E
⑤ 情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している	目標	A・B・E
⑥ 幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解し、指導計画が作成できる	目標	A・B・C・E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、評価方法 教育方法の定義とそれを学ぶ意義 (担当：佐藤博英)	授業計画 講義とグループ討議 配布資料	授業計画を読んでおく
2	欧米と日本の教育方法の歴史的展開とその関連 (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく 小テストの事前学習
3	今日の教育（保育）の基になっている基礎的理論 (担当：佐藤博英)	グループワーク (ポスターセッション)	配布資料を読んでおく
4	遊びを通した幼児期の総合的な学び *小テスト① (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく
5	幼児の主体的活動を促す環境構成と保育者の関わり (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料 レポート課題	配布資料を読んでおく
6	子どもたちの資質や能力を育成するための 「主体的・対話的で深い学び」の具体化 (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく
7	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども 園教育・保育要領を共通して貫く教育・保育の理念と方法 *小テスト② (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく
8	情報機器及び教材の活用 ICTと教育、ICTと幼児教育(1) (担当：酒井 創)	解説・課題プリント使用	ネットワーククラウド環 境の確認
9	情報機器及び教材の活用 ICTと教育、ICTと幼児教育(2) (担当：酒井 創)	解説・課題プリント使用	ネットワーククラウド環 境の活用
10	情報機器及び教材の活用 ICTと教育、ICTと幼児教育(3) (担当：酒井 創)	解説・課題プリント使用	教育現場でのアプリケー ションソフト活用の理解 と実践
11	情報機器及び教材の活用 ICTと教育、ICTと幼児教育(4) (担当：酒井 創)	解説・課題プリント使用	知的所有権の理解と事例 調査
12	幼児理解に基づく教育評価の理論と実践 (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく
13	指導計画の立て方と作成 (担当：佐藤博英)	グループ討議 指導計画の作成	学びと評価が明確になる 指導計画を考える
14	指導計画の作成と模擬実践 *レポート (担当：佐藤博英)	グループワーク 読み聞かせの模擬授業	指導計画と模擬授業の振 り返しをする
15	まとめ 教育方法及び技術の課題と今後の展望 (担当：佐藤博英)	講義とグループ討議 配布資料	配布資料を読んでおく
期末 試験	期末試験	講義のまとめ	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）

1. 「教育の方法」「教育の技術」について（佐藤担当）：70%  
 目標②③⑥ … 期末試験40% レポート（1回）20%  
 目標①②③ … 小テスト（2回）10%  
 2. 「情報機器及び教材の活用」について（酒井担当）：30%  
 目標④⑤ … 課題（3回）30%（10%×3回）

教科書	参考書
使用しません。印刷教材を配布します。	「新しい保育・幼児教育方法」（ミネルヴァ書房）広岡義之編著 「教育方法学」（岩波書店）佐藤 学 「教育の方法と技術」（図書文化）平沢 茂編著 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）

授業科目名	<b>教育相談の理論及び方法</b>		授業形態・単位数	講義・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任講師 やぎ たかのり 孝 憲		開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	静岡県スクールカウンセラー（平成21年4月～平成26年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	東海心理療法研究会幹事（平成24年4月～現在）			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程 修士（臨床心理学） 臨床心理士、専門社会調査士、公認心理師、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に通知します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>教育相談の意義とその必要性を理解し、カウンセリングの初歩的な技法を身につけ活用できるようにします。また、日常的な教育相談のあり方やいじめや不登校（園）、暴力や非行その他の問題行動等の現場における現状と課題について理解を深め、適切に予防、未然防止、対応ができるようにします。</p>	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
	<input type="radio"/>	D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E 課題対処力
	<input type="radio"/>	F 多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="checkbox"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
<input type="checkbox"/>	エ プレゼンテーション	
<input type="checkbox"/>	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 学校における教育相談の意義と課題を理解するとともに、心理学的な基礎理論とを理解してカウンセリングの初歩的な技法を身につける	目標	A・B
② 学校教育におけるカウンセリングマインドの重要性を理解する	目標	A
③ 幼児、児童・生徒理解の意義と方法を理解する	目標	A
④ いじめ、不登校（園）、児童虐待、非行等の問題行動を理解し、それぞれの個に応じた教育相談の進め方を考えることができる	目標	E・F
⑤ 子どもだけではなく保護者等との教育相談の必要性を理解し、その計画や進め方を例示することができる	目標	E
⑥ 医療、福祉、心理、その他の関係機関との連携や「チーム学校」としてかわることの重要性を理解する	目標	A

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション (授業の概要と目標、評価) 教育相談とは何か	授業計画 パワーポイントによる資料	予習：授業計画の内容を確認する
2	教育相談の種類と担い手	DVD「教育相談に関するマネジメントの推進」12分	予習：教育相談の種類を文献で理解する
3	子どもの発達をとらえた教育相談	パワーポイントによる資料	予習：子どもの発達段階を文献で確認する
4	家庭で育つ心と幼稚園で育つ心	パワーポイントによる資料	予習：家庭と家庭外の教育の違いを考察する
5	言葉と体を通して見えてくる子どもの心	パワーポイントによる資料	予習：心と体の関係性を文献で理解する
6	話を聴くためのところ構えとカウンセリングの初歩的な技法 *小テスト①	DVD「傾聴の学習」11分	予習：受容と共感について文献で理解する
7	気になる子どもへのかかわり	DVD「特別支援教育の実際」13分	予習：気になる子どもの総数を調べる
8	気になる親へのかかわり *レポート	パワーポイントによる資料	予習：保護者支援の方法を文献で理解する
9	いじめの理解とかかわり	DVD「いじめ対策のポイントといじめ防止基本方針の改定」9分	予習：いじめの構造を文献で理解する
10	不登校・登園しぶりの理解とかかわり	パワーポイントによる資料	予習：不登校理由の種別を文献で確認する
11	発達障害の理解とかかわり *小テスト②	パワーポイントによる資料	予習：発達障害の種類を調べる
12	校内・園内での組織的な教育相談	DVD「子どもたちのSOSに気づき耳を傾ける」15分	予習：教育相談体制について文献で理解する
13	関係機関との連携	パワーポイントによる資料	予習：関係機関の種別と機能を調べる
14	教師自身のケア	パワーポイントによる資料	予習：これまでのテーマで感心のあるものを考察する
15	まとめと振り返り、今後の展望	パワーポイントによる資料	総復習：ディベート中心に理解を深める
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③⑥ … 期末試験 50% 目標④⑤ … レポート（1回）40% 授業中に課題を提示します。 目標④ … 小テスト（2回）10% 授業の終わりに小テストを行います。 ほかに、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。			

教科書	参考書
使用しません。(印刷教材を配布します)	書名：教師のたまごのための教育相談 著者名：会沢信彦・安濟順子編著 発行所：北樹出版 価格：2,052円（税別）
	書名：子どもとかかわる人のためのカウンセリング入門 著者名：西美奈子編著 発行所：萌文書林 価格：1,600円（税別）
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）

授業科目名	<b>保育・教職実践演習（幼稚園）</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 関本仁 講師 佐藤博英	せきもと ひとし さとうひろ ひで	開講期	後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間		関本：国立市役所子ども家庭部子育て支援課（現・児童青少年課）嘱託員（平成23年～平成25年） 荒川区自治総合研究所 研究員（平成28年～平成29年） 佐藤：福島市立ひらの幼稚園園長（平成28年度～平成29年度） 福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会幹事として、本県の幼稚園・こども園教諭の研修を担当（平成28年度～平成29年度）		
社会貢献としての委員会・職等		関本：幼稚園教諭免許状対象 教員免許状更新講習講師（平成29年～現在） 佐藤：福島県小学校教育研究会田村地区算数科研究部長（平成26年4月） 福島県小学校教育研究会福島地区算数科研究部長（平成28年4月）		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		関本：早稲田大学大学院教育研究科 修士課程 学校教育専攻修士（教育学） 高等学校教諭1種（公民）、専修免許状（公民）、博物館学芸員 社会教育主事、教育史学会、日本社会教育学会、関東教育学会 佐藤：福島大学教育学部卒業学士（教育学）、小学校教諭一級普通免許状 中学校教諭一級普通免許状（数学）、高等学校教諭二級普通免許状（数学） 日本保育学会、日本教育心理学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等		関本：オフィスアワーは初回授業時に説明します。 佐藤：オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>「学びの軌跡の集大成」としての本科目では、保育者・教育者としての生活を円滑にスタートするために自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能を補い定着を図ります。</p> <p>演習を通して、次に関する事項について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使命感や責任感、教育愛情等</li> <li>社会性や対人関係能力</li> <li>幼児・児童理解や学級運営等</li> <li>保育内容等の指導力</li> </ul>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
	○	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
○	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 組織の一員としての自覚をもち、他の職員と協力して職務を遂行することができるようになる	目標	G
② 子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解して適切な指導を行うことができるようになる	目標	B
③ 子どもの活動や反応等の状況に応じて、指導計画や形態を工夫することができるようになる	目標	E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、評価方法 保育・教育実習の振り返り	講義 授業計画 グループ討議	保育・教育実習における 自己の課題を整理する
2	子どもを理解すること 見る・視る・看る・診る	グループ討議、全体討議 配布資料	「みる」の違いを整理する
3	子どもを見る“まなざし” 「加点法」で「ほめる」こと	グループ討議、ロールプレイ レポート①課題提示	「ほめる」という活動の意義 をまとめる
4	子ども一人ひとりに「寄り添う」ということ 保育士、教師の動き *レポート①	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	レポート①の資料を準備する
5	保育士・教師の指導、援助 子どもへの柔らかな対応	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	「子どもへの柔らかな対応」 ということの意味をまとめる
6	子どもの活動(遊び)の統合性 遊び・5領域にまたがる活動 幼稚園教育で育みたい資質・能力	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	「遊び」における遊具の条件 を検討する
7	指導と評価 子どもの姿の見とりと支援(気になる子への対応) 評価を生かした指導計画の改善	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	指導と評価の一体化について まとめる
8	職場における人間関係構築 組織の一員としての自覚 教職員の協力	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	「学習の記録」を整理する
9	学級運営と保護者 保護者の課題と子育て支援	グループ討議、ロールプレイ 配布資料、新聞資料	「学習の記録」を整理する
10	地域との関係の構築 声に耳を傾けることと理解を得る説明	グループ討議、ロールプレイ 配布資料、新聞資料	「学習の記録」を整理する
11	保育所・幼稚園における危機管理(1) 事件・事故の未然防止	グループワーク (お散歩安全マップの作成)	「学習の記録」を整理する
12	保育所・幼稚園における危機管理(2) 事件・事故への適切な対応	グループ討議、ロールプレイ 配布資料、新聞資料	「学習の記録」を整理する
13	教員の研修と自己評価	グループワーク (自己分析アンケートの考察)	「学習の記録」を整理する
14	目指したい保育者・教師像 *レポート②	グループ討議、ロールプレイ 配布資料	レポート②の資料を準備する
15	まとめ 自己を振り返りまとめる(1)	グループ討議	「学習の記録」を整理する
期末 試験	後期末試験 まとめ 自己を振り返りまとめる(2)	全体討議	「学習の記録」を提出する
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標②③ … レポート① 30点満点・レポート② 30点満点 目標①②③ … 期末試験「学習の記録」30点満点 (最終的に「学習の記録」を提出しない場合は、単位の認定はしません) 目標① … 授業中の積極的活動、参加態度 10点満点			
<b>教 科 書</b>		<b>参 考 書</b>	
使用しません。資料を配布します。		関連する文献については、授業中に紹介します。	

授業科目名	ピアノ演習Ⅰ(再)		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	教授 佐藤敦子	あつこ	開講期	前期
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学認定こども園園長(平成28年2月～現在)			
社会貢献としての委員会・職等	日本音楽療法学会東北支部福島県代表、財団法人福島市私立幼稚園協会監事 公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	国立音楽大学教育音楽学科 芸術学士、幼稚園教諭一種免許状 明星大学大学院修了修士(教育学)、幼稚園教諭専修免許状 日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本音楽教育学会、日本音楽療法学会 日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>*1年次「ピアノ演習Ⅰ」の単位を取得できなかった履修者を対象とします。</p> <p>1. 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。</p> <p>2. 幼児の歌を中心に、歌曲(童謡・あそび歌等)、練習曲(バイエル・ツェルニー等)を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。</p> <p>3. 原則として、1年次に達成できなかったグレードを選択します。</p> <p>◆グレードの名称と選択する際の基準</p> <p>「初心者グレード」 バイエル1番～バイエル60番程度  「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度  「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度  「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度、バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度</p> <p>4. グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式で授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック(確認テスト)を受けます。</p> <p>5. グレードの課題曲数は、1年次での課題曲の残曲数を含めて、「初心者グレード」15曲、「初級者グレード」17曲、「中級者グレード」20曲、「上級者グレード」22曲とします。</p> <p>6. 前期途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組むこととなります。</p>	○	A 知識	
	○	B 技能	
		C 論理的思考力	
	○	D 文章・身体・感性等に関する表現力	
		E 課題対処力	
		F 多様性の理解力	
		G 対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ	ディスカッション、ディベート
	ウ	グループワーク	
	○	エ プレゼンテーション	
	○	オ 実習・フィールドワーク	
<b>授業の到達目標</b>		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 初心者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、ピアノ演奏の基礎力を身につけることができる	目標	B・D	
② 初級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、曲想をつけながら表情豊かにピアノを弾くことができる	目標	B・D	
③ 中級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、弾きながら歌えるような応用力を身につけることができる	目標	B・D	
④ 上級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、アレンジして弾くことができるような応用力を身につけることができる	目標	B・D	

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の目的、概要、到達目標</li> <li>授業の進め方</li> <li>評価方法</li> <li>グレードの確認</li> <li>その他</li> </ul> <b>課題曲の個別レッスン</b>	授業計画 テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	テキストを見て、弾ける曲を練習しておく
2	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
3	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
4	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
5	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
6	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
7	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
8	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
9	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
10	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
11	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
12	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
13	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
14	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
15	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト) <b>中間実技試験 (到達度確認のための演奏会)</b>	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
16	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
17	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
18	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
19	<b>課題曲の個別レッスン</b> 課題曲の進捗・完成度をチェック (確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
20	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
21	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
22	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
23	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
24	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
25	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
26	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
27	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
28	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
29	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
30	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
期末試験	前期末試験 最終到達度確認のための演奏会	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者は期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>各グレードの課題曲を達成します。演奏技術・表現力により加点・減点を行い、成績評価を行います。</p> <p>評価点については、再履修科目であることからB評価以下とします。また、課題曲を達成しない場合は、単位を認定しません。</p> <p>目標①②③④ … 課題曲の達成状況 60%</p> <p>目標①②③④ … 中間実技試験 20%</p> <p>目標①②③④ … 前期末試験 20%</p> <p>*中間実技試験、前期末試験は、演奏会形式で実施します。</p> <p>*演奏会は全履修者と授業担当者前で1曲を演奏します。</p> <p>※「成績評価への補足的対応措置」により、欠席、遅刻、早退による減点を行います。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
グレードに応じて、1年次で購入した「標準バイエル教則本」と楽譜を使用します。その他、グレード別に楽譜のプリントを配布します。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<p>1. 各グレードの課題曲(1年次の残曲以外)は、担当教員が選定します。</p> <p>2. 課題曲練習確認票は毎時間ごとに授業担当者へ提出してください。</p>			

授業科目名	<b>ピアノ演習Ⅱ</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 ミハウ・ソブコヴィアク		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学客員教員「ピアノ演習」担当（平成14年4月～平成17年2月） 尚美ミュージックカレッジ「伴奏法」「実技レッスン」非常勤講師 （平成17年4月～平成23年3月） 洗足音楽大学「ピアノレッスン」非常勤講師（平成27年4月～平成29年3月） 昭和音楽大学「ピアノレッスン」非常勤講師（平成29年4月～現在） 平成7年6月 フランツ・リスト国際ピアノコンクール（ポーランド共和国） ヴロツワフ・プレスセンター賞受賞 平成8年6月 ヤマハ音楽振興会主催コンサート「パー・ピアノフォルテ」 （ポーランド共和国）優勝 平成29年2月 第8回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 最優秀指導者賞受賞 平成30年2月 第9回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 最優秀指導者賞受賞			
社会貢献としての委員会・職等	ショパン国際ピアノコンクール in Asia 審査員、ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 審査員、及び審査員長（平成22年～現在）			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	ショパン音楽院ピアノ、チェンバロ、オルガン科（ポーランド共和国） 修了（学術修士）※平成20年大学名変更、現在 ショパン音楽大学 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは、初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
1. 教育・保育の現場で必要となる、ピアノ演奏の基礎技能を修得します。 2. 幼児の歌を中心に、歌曲（童謡・あそび歌等）、練習曲（バイエル・ツェルニー等）を通して読譜力やピアノの表現力を養い、ピアノの奏法を学びます。 3. 個々のピアノ演奏技術に応じて、1年次履修した次のグレードを選択します。 ◆グレードの名称と選択する際の基準 「初級者グレード」 バイエル40番～バイエル80番程度 「中級者グレード」 バイエル終了程度からツェルニー30番、ブルグミュラー25番程度 「上級者グレード」 ツェルニー30番の10番以降、ブルグミュラー25番の10番以降程度、バッハインヴェンション二声程度、ソナチネ程度 4. グレードごとに課題曲を設定し、アチーブメント方式で授業を展開します。各自の課題曲を自学学習し、完成度が基準に達した課題曲ごとに、担当教員からチェック（確認テスト）を受けます。 ◆グレードの課題曲数 「初級者グレード」 18曲（練習曲6曲＋歌曲12曲） 「中級者グレード」 30曲（練習曲12曲＋歌曲18曲） 「上級者グレード」 35曲（練習曲15曲＋歌曲20曲） 5. 年度途中で、選択したグレードの課題曲を終了した場合は、次のグレードへ順次、移行することができます。ただし、上級者グレードの学生は、そのグレードに応じた新たな課題曲に取り組むこととなります。	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
	○	D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
○	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	初級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音でピアノを正しく演奏し、曲想をつけながら表情豊かにピアノを弾くことができる	目標	B・D
②	中級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、弾きながら歌えるような応用力を身につけることができる	目標	B・D
③	上級者グレード：歌曲、練習曲を正確なリズムや音で、曲想をつけながらピアノを表情豊かに演奏し、アレンジして弾くことができるような応用力を身につけることができる	目標	B・D
授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
1	オリエンテーション ・授業の目的、概要、到達目標 ・評価方法 課題曲の個別レッスン ・授業の進め方 ・グレードの確認 ・その他	授業計画 テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	テキストを見て、弾ける曲を練習しておく
2	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
3	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
4	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
5	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
6	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
7	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
8	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
9	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
10	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
11	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
12	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
13	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
14	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
期末試験	前期末試験(中間試験) 到達度確認のための演奏会①	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾いた曲を復習しておく
16	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
17	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
18	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
19	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
20	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
21	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
22	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
23	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
24	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
25	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
26	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
27	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
28	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
29	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
30	課題曲の個別レッスン 課題曲の進捗・完成度をチェック(確認テスト)	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	各自、課題曲を練習しておく
期末試験	後期末試験 最終到達度確認のための演奏会②	テキスト・楽譜 課題曲練習確認票	演奏会で弾く曲を練習しておく
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者は期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）**

各グレードの課題曲を達成します。演奏技術・表現力により加点・減点を行い、成績評価を行います。  
 なお、課題曲を達成しない場合は、単位を認定しません。

目標① … 「初級者グレード」 60点～80点

目標② … 「中級者グレード」 75点～90点

目標③ … 「上級者グレード」 80点～100点

\* 前期末試験、後期末試験は、演奏会形式で実施します。

\* 演奏会は全履修者と授業担当者の前で1曲を演奏します。

※「成績評価への補足的対応措置」により、欠席、遅刻、早退による減点を行います。

**教科書**

**参考書**

グレードに応じて、1年次で購入した「標準バイエル教則本」を使用します。  
 グレード別に楽譜のプリントを配布します。

特に指定しません。

**その他補足事項**

1. 履修者数が15名を超える場合には、履修者数を制限します。
2. 課題曲練習確認票は毎時間ごとに授業担当者へ提出してください。

授業科目名	創作ミュージカル		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次(計画履修生)
担当教員	講師 <small>ながしまてるこ</small> 長島輝子		開講期	後期
			授業回数	15回
			期末試験の実施	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島女子短期大学附属幼稚園 教諭、副園長、園長(昭和50年4月～平成17年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
資格・免許及び所属学会等	國學院大學幼児教育専門学校 幼稚園教諭二級普通免許、幼稚園教諭一種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
<b>テーマ：表現遊び ～お誕生会の出し物を考える～</b>  保育現場において、お誕生会や園全体の集会等で保育者が子どもたちの前で出し物を行うことがあります。手遊びやパネルシアター等は1～2人で、ダンスやオペレッタ等は、保育者複数で行い、子どもたちを楽しませながら、道徳や表現遊び等を保育します。  本年度の創作ミュージカルは、個人、もしくは2～3人で、子どもたちの前で発表することを前提とした、お誕生会の出し物の計画を立て、準備及び練習を行います。  そして、これからの学外実習や卒業後の保育現場で活用ができるようクラス全員の前で発表する授業内容とします。		<input type="checkbox"/>	A 知識		
		<input type="checkbox"/>	B 技能		
		<input type="checkbox"/>	C 論理的思考力		
		<input type="checkbox"/>	D 文章・身体・感性等に関する表現力		
		<input type="checkbox"/>	E 課題対処力		
		<input type="checkbox"/>	F 多様性の理解力		
		<input type="checkbox"/>	G 対人関係構築力		
		<b>アクティブラーニングの要素</b>		<input type="checkbox"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		<input type="checkbox"/>	イ ディスカッション、ディベート		
		<input type="checkbox"/>	ウ グループワーク		
<input type="checkbox"/>	エ プレゼンテーション				
<input type="checkbox"/>	オ 実習・フィールドワーク				
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
① 行事のあり方を学び、実技を通して保育者としての専門知識や技能を身につける		目標	B・D		
② 豊かな感性及び表現力を養う		目標	D		
③ 幼児理解を深める		目標	D		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	<b>オリエンテーション</b> 授業内容、進め方、評価方法等 本年度の創作ミュージカルについて	授業計画 講義	出し物の構想を練る		
2	<b>教育課程における保育現場での行事について</b>	講義	出し物の構想を練る		
3	<b>出し物を個人、もしくは少人数のグループで行うかを決め、実施内容を考える</b>	プリント	出し物の内容を決定する		

4	出し物の計画書作成	プリント	出し物の計画書を完成させる
5	出し物の教材準備及び作成	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
6	出し物の練習①	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
7	出し物の練習②	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
8	出し物の練習③	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
9	出し物の練習④	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
10	出し物の練習⑤	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
11	出し物の練習⑥	演習 ディスカッション	出し物の練習 教材の準備
12	出し物の発表①	演習 発表風景を録画	出し物の仕上げ 発表の感想等をまとめる
13	出し物の発表②	演習 発表風景を録画	出し物の仕上げ 発表の感想等をまとめる
14	出し物の発表③	演習 発表風景を録画	出し物の仕上げ 発表の感想等をまとめる
15	出し物の発表④	演習 発表風景を録画	出し物の仕上げ 発表の感想等をまとめる
期末 試験	発表のまとめ(発表風景の映像を視聴) 講評・助言	講評・助言から省察する	発表の感想や反省等をまとめ レポート提出
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
<p>目標①② … 表現力(歌唱力、演技力等)、作品の完成度 50点満点</p> <p>目標①② … 創作過程の取り組む姿勢、態度 30点満点</p> <p>目標①③ … レポート提出 20点満点</p> <p>※ 詳細は初回授業時に説明します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
使用しません。		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、授業内容(発表を含む)等を変更して実施する場合があります。</p> <p>また、授業途中で遠隔授業になった際は、授業内容を大幅に変更し、映像(動画)による発表となる場合もあります。</p>			

授業科目名	創作ミュージカル		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 <small>なかのあきこ</small> 中野明子		開講期	後期
			授業回数	15回
			期末試験の実施	有
授業に関する主な実務経験と期間		横浜市認可保育園園長(平成18年10月～平成20年3月) 船橋市医療センター保育室室長(平成14年2月～平成18年1月) 福島めばえ幼稚園教諭(昭和57年4月～平成元年3月)		
社会貢献としての委員会・職等		福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム(保育士キャリア形成) NPO法人福島SAND-STORYサポーター(学生ボランティア統括) 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員(副実行委員長)		
資格・免許及び所属学会等		福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士(こども心理) 保育士資格 幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	必修	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択	
保育士資格		専門教育科目	必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。 メールアドレス:nakano.akiko@fukushima-college.ac.jp			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>本授業では、領域「表現」のねらいを基盤に、応用的な指導方法及び、保育現場で子どもの身体表現あそびや活動に対応できる実践力を養います。</p> <p>実践経験豊かなゲストスピーカーの講義や演習を通して捉えたことを、授業を通して理解を深め、創作過程の中で豊かな感性や表現力を培い、表現する楽しさや喜びを味わいます。</p> <p>クラスごとに発表を行い、学生同士で学び合う機会といたします。</p>	A	知識		
	B	技能		
	C	論理的思考力		
	○	D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
○	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目(受講して得られる力)		
①	今まで学んできた保育内容や実習経験を生かし、表現の楽しさ、豊かさを味わう	目標	D・E	
②	創作ミュージカルをグループ単位でつくり上げ、皆で表現することの楽しさや子どもたちに伝える喜びを知る	目標	D・E	
③	創作過程において、自主性・責任感・思いやりなどを身に着け、保育者として必要なことを学ぶ	目標	D・E	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	<b>オリエンテーション</b> 授業の進め方と評価方法等 創作ミュージカル「テーマ」の発表 グループ(5名程度)を決める	授業計画 グループワーク	創作ミュージカル 「テーマ」について 話し合い考える	
2	<b>ゲストスピーカー①</b> ミュージカルなど、表現活動の実際について 創作ミュージカルのテーマについて	資料配布 グループワーク	ゲストスピーカーの講義を通して舞台をイメージする	

3	<b>ゲストスピーカー②</b> ミュージカル作品から学ぶ	DVD視聴 レポート提出①	作品を通してミュージカルへの理解を深める
4	<b>各グループで脚本の構想を話し合う</b> 10分間の作品を考える	グループワーク テーマに添った脚本の構想 脚本担当を決定する	脚本を具体的に構想する
5	<b>各グループの脚本を作成する</b> 配役(キャスト)構想 演じるのに必要な音響、衣装、選曲を話し合う	グループワーク 担当を決定し準備を進める	主な担当を決定し、自分の担当について準備を進める
6	<b>各グループの脚本を完成させ提出する</b> 配役(キャスト)決定 演じるのに必要な音響、衣装、選曲、小道具決定	グループワーク 担当ごとに作業を進める	主な担当について作業を進める
7	<b>脚本読み合わせ①</b> パートごとに練習、音響編集、衣装作成、小道具作成 *グループごとに実施	グループワーク 脚本読み合わせはグループ全員が 参加し、作品のイメージを共有する	脚本のイメージに合わせ 担当ごとに改善する
8	<b>脚本読み合わせ②</b> パートごとに練習、音響編集、衣装作成、小道具作成 *グループごとに実施	グループワーク ダンス・歌など動きを入れて脚本の 読み合わせ	舞台の進行に合わせ 担当ごとに改善する 詳細打合せ
9	<b>教室の舞台で立ち稽古①</b> 前半3グループ実施(後半3グループは自主練習)	前半3グループ立ち稽古 衣装、小道具などを用いて行う	舞台の展開に合わせ 担当ごとに改善する 詳細打合せ
10	<b>教室の舞台で立ち稽古②</b> 後半3グループ実施(前半3グループは自主練習)	後半3グループ立ち稽古 衣装、小道具などを用いて行う	舞台の展開に合わせ 担当ごとに改善する 詳細打合せ
11	<b>ゲストスピーカー③</b> <b>通しで立ち稽古(全てのグループ実施)</b> ゲストスピーカーからの助言・指導	通し稽古は全員参加し、 他のグループの舞台から学ぶ	指導された内容の検討
12	<b>各グループで内容の再検討</b> 発表の順番を決定する	グループワーク 指摘された内容の改善	詳細打合せ
13	<b>各グループの通し稽古①</b> 創作ミュージカルのリーフレットをグループごとに作成	グループワーク、リーフレットの作成 通し稽古	詳細打合せ
14	<b>各グループの通し稽古②</b> 創作ミュージカルのリーフレットをグループごとに作成	グループワーク、リーフレットの完成 通し稽古	詳細打合せ
15	<b>創作ミュージカル発表に向けての確認、準備</b>	グループワーク、各グループのリーフレットをまとめ配布準備、発表の確認	詳細打合せ
期末試験	<b>「創作ミュージカル発表」実施</b> <b>ゲストスピーカー④</b> 各クラスで授業のまとめとして発表を行う ゲストスピーカーから講評・助言	創作ミュージカルの発表 グループごとに10分間の作品を 発表する 講評・助言から省察する	創作ミュージカル発表の感想や 反省等をまとめる レポート提出②

#### 期末試験の講評

期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。

#### 授業の到達目標に応ずる到達度の評価(評価方法・基準)

目標①② … テーマと脚本の整合性、表現力(歌唱力、演技力等)、作品の完成度 50点満点

目標② … 創作過程の取り組む姿勢、態度 30点満点

目標①②③ … レポート提出(2回) 20点満点

※ 詳細は初回授業時に説明します。

#### 教科書

使用しません。

#### 参考書

特に指定しません。

#### その他補足事項

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、授業内容(発表会を含む)等を変更して実施する場合があります。

また、授業途中で遠隔授業になった際は、授業内容を大幅に変更し、個人での創作活動に切り替え、映像(動画)による発表となる場合もあります。

授業科目名	教育実習		授業形態・単位数	実習・5単位
			開講年次	1～2年次
担当教員	講師 ながしまてる 長島輝子 講師 せきもとひとし 関本ひとし		開講期	通年
			授業回数	時間割外
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間		長島：幼稚園教諭、副園長、園長（昭和50年度～平成16年度） 関本：国立市役所子ども家庭部子育て支援課（現・児童青少年課）嘱託員（平成23年～25年） 荒川区自治総合研究所 研究員（平成28年～29年）		
社会貢献としての委員会・職等		長島：特記事項なし 関本：幼稚園教諭免許状対象 教員免許状更新講座 講師 文部科学省認定（平成29年～現在）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		長島：國學院大學幼児教育専門学校 幼稚園教諭二級普通免許、幼稚園教諭一種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会 関本：早稲田大学大学院教育研究科 修士課程 学校教育専攻修士（教育学） 高等学校教諭一種、専修免許状（公民） 教育史学会、日本社会教育学会、関東教育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	必修	
保育士資格		専門教育科目	選択	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	—	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>教育実習は「基本実習」（1週間）、「幼稚園実習」（3週間）、及びその事前・事後指導からなる、長期にわたる学習です。</p> <p>1年次においては、「基本実習」と事前指導の一部を実施します。2年次では、「幼稚園実習」と事前指導、実習終了後に行う「実習反省会」などの事後指導を実施します。</p> <p>※教育実習（5単位）の内訳 「基本実習」（1単位）／「幼稚園実習」（3単位） 「教育実習事前・事後指導」（1単位） *「教育実習事前・事後指導」（1単位）の授業計画は以下に示します。</p>	○	A 知識
		B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
	○	G 対人関係構築力
	アクティブラーニングの要素	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 幼稚園教諭としての基礎的な幼児理解や専門技術を修得する	目標	A・E
② 保育の方法を総合的に学び、望ましい幼稚園教諭としての資質・能力を養う	目標	E・G

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 実習の概要説明 ・教育実習について ・出勤表、書類の作成 など 〔1年次：クラスセミナーで実施〕	講義 授業計画 学生便覧 プリント	復習： 配布資料を熟読 書類の下書き作成
2	「基本実習」事前指導(1) ・基本実習の目的と意義 ・評価について ・実習内容（観察、演習、記録）について など 〔1年次：時間割内で実施〕	講義 基本実習の手引き プリント	復習： 配布資料を熟読 教材研究
3	「基本実習」事前指導(2) ・実習生としての心構え ・書類の作成 ・観察、日誌について ・教材決定 など 〔1年次：時間割内で実施〕	講義 基本実習の手引き 実習関係書類 日誌用紙	復習： 配布資料を熟読 教材製作
4	「基本実習」事前指導(3) ・技術演習、指導案作成について など 〔1年次：時間割内で実施〕	講義 基本実習の手引き 技術演習指導案用紙	復習： 配布資料を熟読 指導案の作成
5	「基本実習」事前指導(4) ・技術演習の実演（指導案提出） 〔1年次：時間割内で実施〕	演習 技術演習で使用する教材 技術演習指導案	技術演習の練習
6	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(1) ・次年度の教育実習 ・幼稚園の役割と機能 など 〔1年次：クラスセミナーで実施〕	講義 プリント	復習： 配布資料を熟読
7	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(2) ・次年度「教育実習計画」について ・実習先の選定・依頼について① 〔1年次：クラスセミナーで実施〕	講義 プリント 実習依頼関係資料	次年度実習依頼先 （幼稚園・幼保連携型認定こども園）を考えておく
8	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(3) ・実習先の選定（調整）・依頼について② 〔1年次：クラスセミナーで実施〕	講義 プリント	復習： 配布資料を熟読 書類作成
9	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(4) ・1年次：実習反省会への出席	代表学生によるプレゼンテーション ディスカッション	事前に「実習反省会要項」を熟読しておく
10	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(5) ・教育実習の意義・目的① ・実習先確認 ・実習先との打合せ 〔2年次：実習オリエンテーション（AB） ／時間割内（CD）で実施〕	講義 プリント	復習： 配布資料を熟読
11	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(6) ・教育実習の意義・目的② ・実習関係書類の作成 ・守秘義務について ・実習保障制度について 〔2年次：実習オリエンテーション（AB） ／時間割内（CD）で実施〕	講義 プリント	復習： 配布資料を熟読
12	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(7) ・実習日誌作成について① ・記録の目的・方法 〔2年次：実習オリエンテーション（AB） ／時間割内（CD）で実施〕	講義 基本実習の日誌 プリント	復習： 配布資料を熟読

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
13	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(8) <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の概要、内容、評価方法について</li> <li>教育実習の意義・目的③</li> <li>幼稚園教諭免許状について</li> </ul> ・幼稚園の概要 [2年次：時間割内で実施]	講義 授業計画 実習日誌 プリント	復習： 配布資料を熟読
14	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(9) <ul style="list-style-type: none"> <li>実習生としての心得</li> <li>実習関係書類の作成</li> </ul> [2年次：時間割内で実施]	講義 プリント 資料配布	復習： 配布資料を熟読 実習関連書類の作成他
15	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(10) <ul style="list-style-type: none"> <li>実習先とのオリエンテーションについて</li> <li>実習の実際について</li> </ul> ・子ども理解について [2年次：時間割内で実施]	講義 質疑応答 プリント	復習： 配布資料を熟読
16	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(11) <ul style="list-style-type: none"> <li>実習日誌作成について②</li> </ul> [2年次：時間割内で実施]	講義 質疑応答 プリント	復習： 配布資料を熟読
17	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(12) <ul style="list-style-type: none"> <li>指導案とは</li> <li>指導計画の立て方</li> <li>指導案提出(立案の過程・部分実習・半日実習・全日実習)</li> <li>実習報告書について</li> </ul> [2年次：時間割内で実施]	講義 プリント	予習：部分案作成
18	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(13) <ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究               <ul style="list-style-type: none"> <li>*手歌遊び、歌遊び、パネルシアター、絵本、手作り人形他</li> <li>*ゲームや鬼ごっこ、踊りや体操、製作遊び他</li> </ul> </li> </ul> [2年次：時間割内で実施]	講義 演習 プリント 折り紙他	予習：部分案作成
19	「教育実習（幼稚園実習）」事前指導(14) <ul style="list-style-type: none"> <li>特別講義(教育実習の実際、実習生の具体的実習方法他)</li> </ul> [2年次：時間割内で実施]	ゲストスピーカーによる特別講義(幼稚園長など) ディスカッション 質疑応答 DVD	予習： 実習に向け準備計画を立てる 実習の準備(教材作成など)
20	「教育実習（幼稚園実習）」事後指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>2年次：実習反省会への出席</li> </ul>	代表学生によるプレゼンテーション ディスカッション	事前に「実習反省会要項」を熟読しておく
<b>実習終了後の講評</b>			
実習終了後、希望者には実習の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標① … 基本実習（1単位） 20%（実習評価10%・基本実習事前指導10%） 目標①② … 幼稚園実習（3単位）60% 目標①② … 教育実習事前・事後指導（1単位） 20%（受講態度10%・実習日誌5%・指導案5%） ※基本実習と幼稚園実習の実習評価点が、それぞれ60点以上であることを単位認定の条件とします。 詳細については、授業時に説明します。			

教科書	参考書
<p>[1年次] 令和2年度福島学院大学認定こども園基本実習の手引き ※その他必要に応じて、資料を配布します。</p>	<p>特に指定しません。</p>
その他補足事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習費（実習先への委託費）を実費徴収します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本実習・委託費 3,000円</li> <li>(2) 幼稚園実習・委託費 15,000円</li> </ol> </li> <li>2. 教育実習の履修制限・再実習等については、福島学院大学短期大学部履修規程を参照してください。</li> <li>3. 教育実習を行うにあたり、誓約書、麻疹（はしか）・風疹の抗体を有する証明書（コピー）を実習先に持参します。</li> <li>4. 実習先から、腸内感染症検査証明書の提出を指示された場合は、必ず提出してください。（腸内感染症検査料550円程度は自己負担）</li> <li>5. 食物アレルギーがある学生は、実習先へ必ず申し出てください。また、実習先から指示された際は、食物アレルギーに関する診断書を提出してください。</li> <li>6. 実習先からの評価に関し、学生もしくは家族等が直接実習先に照会を行ったとき、単位を認定しない場合があります。</li> </ol>	

授業科目名	<b>保育実習指導 I</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	1～2年次
担当教員	兼任助教 <sup>すず</sup> 鈴 <sup>き</sup> 木 <sup>しょう</sup> 翔 <sup>た</sup> 太		開講期	通年
			授業回数	15回 (1年次5回・2年次10回)
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	福島学院大学附属幼稚園 幼稚園教諭 (平成17年4月～平成22年3月) 福島学院大学認定こども園主幹保育教諭 (平成29年4月～平成31年3月)			
社会貢献としての委員会・職等	特記事項なし			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修士課程修了 修士(こども心理学)、保育士、幼稚園教諭第二種免許 日本保育者養成教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	60時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの課題を明確化して実習に臨めるよう実習に向けての準備をします。また、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容についても理解します。</p> <p>事後指導では実習の総括と自己評価を行い、今後の課題や目標を明確にしていきます。</p>	○	A	知識	
	○	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	○	E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	<b>アクティブラーニングの要素</b>			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	○	イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	保育実習の意義・目的を理解する	目標	A	
②	実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする	目標	E	
③	実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する	目標	A	
④	実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する	目標	B	
⑤	実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする	目標	E	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	<b>1年次</b> 児童福祉施設見学実習(1)	児童福祉施設2か所の見学 ※9月もしくは10月に実施	見学先の施設の事前学習 (配布資料) 見学実習報告書提出(A4判2枚)	
2	児童福祉施設見学実習(2)			

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	<b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他(本科目の留意点) <b>「保育実習」の目的と意義(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者に求められる人間性と専門職</li> <li>実習の内容と評価</li> <li>児童福祉施設見学実習の振り返り</li> </ul>	授業計画 配布資料 見学実習の報告書をもとにディスカッション	配布資料の熟読 次年度保育所実習先の概要をまとめる
4	<b>「保育実習」の目的と意義(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育所や施設の役割と機能</li> </ul>	配布資料	配布資料の熟読 提出課題①(施設実習事前調査用紙等)
5	<b>実習反省会への出席</b> 実習生の発表を聞き、次年度の実習への意欲を高める	実習反省会要項	実習反省会要項を熟読して、発表者への質問事項等をまとめておく
1	<b>2年次</b> <b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他(本科目の留意点) <b>施設実習事前指導(1)</b> 実習の目的と意義、実習先配当、実習の実際	授業計画 教科書、配布資料	配布資料熟読 提出課題②(実習生プロフィール、実習巡回カード下書き等) 実習の準備 (配当施設の概要を調べておく)
2	<b>施設実習事前指導(2)</b> 実習の概要、準備、実習生の心得、実習日誌の記入の仕方	教科書、配布資料	配布資料熟読 提出課題③(実習日誌の模写等) 実習の準備 (実習オリエンテーションの準備)
3	<b>施設実習事前指導(3)</b> 施設実習の実際(事例研究)、指導計画、誓約書、腸内感染症検査、保険、準備物	教科書、配布資料	配布資料熟読 実習の準備 (誓約書の記入、実習オリエンテーションの準備)
4	<b>施設実習事前指導(4)</b> 特別講義(事例研究) 各施設の特徴、利用児(者)の実態や援助、処遇の仕方	ゲストスピーカーによる特別講義(児童養護施設・障害系施設の施設長)	配布資料熟読 実習の準備 (実習オリエンテーション時の指導内容を実習日誌に記入)
5	<b>施設実習事後指導</b> 実習報告会、礼状と実習報告書の作成	教科書、配布資料 施設実習の報告書をもとにディスカッション	配布資料熟読 実習報告書作成(A3判1枚) *実習終了後に提出
6	<b>保育所実習事前指導(1)</b> 実習の目的と意義、実習の概要、準備、実習生の心得	教科書、配布資料	配布資料熟読 提出課題④(次年度保育所実習先の概要確認等) 実習の準備 (実習施設の詳細を調べておく)
7	<b>保育所実習事前指導(2)</b> オリエンテーションの受け方 指導計画案の作成①	教科書、配布資料	配布資料熟読 提出課題⑤(指導計画案作成等) 実習の準備 (実習オリエンテーションの準備)
8	<b>保育所実習事前指導(3)</b> 実習日誌の記入の仕方① 指導計画案の作成②	教科書、配布資料	教科書、資料熟読 実習の準備(教材・教具等の研究)

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
9	保育所実習事前指導(4) 実習日誌の記入の仕方② 指導計画案の作成③ 礼状と実習報告書の作成	教科書、配布資料	教科書、資料熟読 実習の準備 (実習オリエンテーション時の指導内容を実習日誌に記入) 実習報告書作成 (A3判1枚) *実習終了後に提出
10	実習反省会への出席 実習生代表の発表を聞き、自己の実習を振り返り考察する	実習反省会要項	実習反省会要項を熟読して、自己の実習を振り返り、今後の課題をまとめておく

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)**

1. 単位を取得するには、授業回数の5分の4以上の出席が必要です。
2. 「保育実習I」終了後、各実習報告書を提出してください。
3. 下記の内容により評価を行います  
 目標②③ … 1年次：児童福祉施設見学実習報告書 20%  
 目標①②③④⑤⑥ … 2年次：児童福祉施設実習報告書 20%・保育所実習報告書 20%  
 目標①②④ … 実習事前指導時の提出課題 (5回) 40% (8点×5回)

**教科書**

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 1. 書名：「保育実習の手引き」<br>発行所：福島県保育者養成校連絡会編 | 2. 書名：「福島県保育実習施設」<br>発行所：福島県保育者養成校連絡会編 |
|---------------------------------------|--|
- ※1～2の教科書は1年次に配布します。(代金は大学で補助) その他の資料はその都度配布します。
- |   |  |
|---|--|
| 3. 書名：保育所保育指針<br>発行所：フレーベル館<br>価格：120円(税別)            | 4. 書名：保育所保育指針解説書<br>発行所：フレーベル館<br>価格：320円(税別)            |
| 5. 書名：幼稚園教育要領<br>発行所：フレーベル館<br>価格：100円(税別)            | 6. 書名：幼稚園教育要領解説書<br>発行所：フレーベル館<br>価格：240円(税別)            |
| 7. 書名：幼保連携型認定こども園教育・保育要領<br>発行所：フレーベル館<br>価格：150円(税別) | 8. 書名：幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書<br>発行所：フレーベル館<br>価格：350円(税別) |
- ※3～8の教科書は、平成29年告示のものとし、他の専門教育科目の授業でも使用します。  
各担当教員から指示がありますので、その授業に持参してください。

**その他補足事項**

1. 1年次の児童福祉施設見学実習先への委託費として、実習費(実費徴収)1,500円程度を徴収します。
2. 2年次で予定している保育所実習先(保育所、もしくは認定こども園)でのボランティア活動を、1年次の学生休業期間等を利用して実施します。※ボランティア活動の詳細は別途説明します。

授業科目名	保育実習Ⅰ		授業形態・単位数	実習・4単位	
			開講年次	2年次	
担当教員	准教授 講師	すずき 鈴木 なかの 中野	ともこ 智子 あきこ 明子	開講期	通年
				授業回数	時間割外
				期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間			鈴木：認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間） 中野：横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 学校法人福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）		
社会貢献としての委員会・職等			鈴木：国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」 講師（平成26年～現在） 中野：福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム （保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等			鈴木：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会 中野：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業		専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択		
保育士資格		専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		—	
オフィスアワー・メールアドレス等			鈴木：オフィスアワーは初回授業時に説明します。 中野：オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>実習施設の各種別の役割や機能と、保育士の業務及び職業倫理を具体的に理解し、子どもとのかかわりの中から子どもの理解を深めます。</p> <p>また、保育の計画・観察・記録・自己評価等について具体的に理解します。</p> <p>さらに、既習の教科目を踏まえ、保育並びに保護者支援についても総合的に理解を深めていきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する	目標	A	
② 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める	目標	F	
③ 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する	目標	C	
④ 保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する	目標	E	
⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する	目標	A	
実習期間			
児童福祉施設実習：5月～6月（概ね10日間） 保育所実習：7月下旬～8月、もしくは10月（概ね10日間）			
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）			
目標①②③④⑤ … 実習先からの評価点 80% ※実習先の評価点が60点以上であることが単位認定の条件となります。			
目標①②③④⑤ … 実習日誌 10%、指導計画案 10%			
実習費（実費徴収）			
1. 児童福祉施設実習委託費	10,000円		
2. 保育所実習委託費	10,000円		
3. 腸内感染症検査料（2回分）	1,100円（550円程度×2回）		
その他補足事項			
1. 実習の履修制限・再実習については、福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。			
2. 履修にあたって、「保育実習指導Ⅰ」授業に5分の4以上出席していることが前提となります。 ※詳細は福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。			
3. 学外実習を行うにあたり、腸内感染症検査証明書、麻疹（はしか）・風疹の抗体を有する証明書（コピー）を実習先へ持参してください。			
4. 食物アレルギーがある学生は、実習先へ必ず申し出てください。また、実習先から指示された際は、食物アレルギーに関する診断書を提出してください。			
5. 実習先の評価に関し、学生もしくは家族等が直接実習先に照会を行ったときは、単位を認定しない場合があります。			

授業科目名	保育実習指導Ⅱ		授業形態・単位数	演習・1単位	
			開講年次	2年次	
担当教員	准教授 講師	すずき 鈴木 なかの 中野	ともこ 智子 あきこ 明子	開講期	前期
				授業回数	8回
				期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間	鈴木：認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間） 中野：横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 学校法人福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）				
社会貢献としての委員会・職等	鈴木：国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」 講師（平成26年～現在） 中野：福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム （保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）				
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	鈴木：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会 中野：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会				
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別			
卒業	専門教育科目	選択			
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択			
保育士資格	専門教育科目	選択必修			
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間		
オフィスアワー・メールアドレス等	鈴木：オフィスアワーは初回授業時に説明します。 中野：オフィスアワーは初回授業時に説明します。				

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>「保育実習Ⅰ」での保育所実習の自己評価及び学びを生かし、さらには既習の教科目の関連性を強く意識し、保育について総合的に理解します。</p> <p>事後指導では実習の総括と自己評価を行い、自身の保育に対する課題や認識を明確にしていきます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
①	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する	目標	A
②	実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する	目標	B
③	保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する	目標	E
④	保育士の専門性と職業倫理について理解する	目標	A
⑤	実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする	目標	E
授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 保育実習Ⅱにおける総合的な学びについて (1) 子どもの最善の利益を生かした保育について (2) 保育所の生活の流れや展開について確認する	授業計画 保育実習の手引き 保育実習日誌の記載方法の最終確認	教科書の熟読 実習の準備、確認
2	保育方法について 子どもへの具体的ななかかわりについて理解する	配布資料 グループワーク	模擬保育の保育教材準備
3	指導計画について(1) 指導計画と実践の理解	配布資料 グループワーク (指導計画案の作成)	模擬保育の保育教材準備
4	指導計画について(2) 指導計画と実践の理解	配布資料 グループワーク (指導計画案に基づいた保育の展開)	模擬保育の保育教材準備
5	模擬保育(1) グループで作成した指導計画に基づく保育実践と評価	模擬保育(20分×2グループ) 保育実践、振り返り (反省・評価)	模擬保育の振り返り(1) 振り返りシートの記録および指導計画案の再提出
6	模擬保育(2) グループで作成した指導計画に基づく保育実践と評価	模擬保育(20分×2グループ) 保育実践、振り返り (反省・評価)	模擬保育の振り返り(2) 振り返りシートの記録および指導計画案の再提出
7	特別講義 保育所実習の実際、実習生に望むこと	ゲストスピーカーによる講義 (保育所長または主任保育士)	特別講義のまとめ (レポート提出)
8	保育実習Ⅱ事後指導 実習報告、礼状・報告書	実習の振り返り 配布済み資料の確認 グループワーク 保育実習Ⅱ報告書、実習日誌	保育実習Ⅱ「報告書」の作成 保育実習Ⅱ「実習日誌」の整理
授業の到達目標に应ずる到達度の評価 (評価方法・基準)			
1. 単位を取得するには、授業回数の5分の4以上の出席が必要です。 2. 「保育実習Ⅱ」終了後、実習報告書を提出してください。 3. 下記の内容により評価を行います 目標①②③ … 実習事前指導課題提出 40% 目標② … 指導案作成 20% 目標② … 演習教材作成 20% 目標③④⑤ … 実習報告書 20%			
教 科 書		参 考 書	
書 名:「保育実習の手引き」 発行所:福島県保育者養成校連絡会編 ※保育所保育指針、および解説書の2冊は授業で使用します。 事前に指示をするので持参してください。		特に指定しません。	

授業科目名	保育実習Ⅱ		授業形態・単位数	実習・2単位	
			開講年次	2年次	
担当教員	准教授 講師	すずき 鈴木 なかの 中野	ともこ 智子 あきこ 明子	開講期	通年
				授業回数	時間割外
				期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間			鈴木：認可保育園保育士（昭和58年～平成21年）（内副園長歴6年間） 中野：横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 学校法人福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）		
社会貢献としての委員会・職等			鈴木：国見町こども・子育て支援推進協議会委員（平成28年～現在） 福島県保育士・保育所支援センター「保育士再就職支援セミナー」 講師（平成26年～現在） 中野：福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム （保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）		
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等			鈴木：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状 日本保育学会、日本応用心理学会、日本小児学会 中野：福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理）、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業		専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択		
保育士資格		専門教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		—	
オフィスアワー・メールアドレス等			鈴木：オフィスアワーは初回授業時に説明します。 中野：オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深めます。</p> <p>また、保育の計画・観察・記録・自己評価等について、実際に取り組み、理解を深めていきます。</p> <p>さらに、既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ自己の課題を明確化し、保育及び子育て支援について総合的に理解していきます。</p>	○	A	知識
	○	B	技能
	○	C	論理的思考力
		D	文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E	課題対処力
	○	F	多様性の理解力
		G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ	ディスカッション、ディベート
	ウ	グループワーク	
	エ	プレゼンテーション	
○	オ	実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める	目標	B
② 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める	目標	F
③ 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する	目標	C
④ 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める	目標	F
⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する	目標	A
⑥ 実習における自己の課題を明確化する	目標	E
実習期間		
8月中旬～下旬、または10月中旬～12月（概ね10日間）		
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）		
目標①②③④⑤⑥ … 実習先からの評価点 80% <b>※実習先の評価点が60点以上であることが単位認定の条件となります。</b> 目標①②③④⑤⑥ … 実習日誌 10%、指導計画案 10%		
実習費（実費徴収）		
1. 保育実習Ⅱ委託費 10,000円 2. 腸内感染症検査料 550円程度		
その他補足事項		
1. 実習の履修制限・再実習については、福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。 2. 履修にあたって、次の事項を充足していることが前提となります。 ・「保育実習指導Ⅱ」授業に5分の4以上出席している ・「保育実習Ⅰ」保育所実習と児童福祉施設実習に合格している ※詳細は福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。 3. 学外実習を行うにあたり、腸内感染症検査証明書、麻疹（はしか）・風疹の抗体を有する証明書（コピー）を実習先へ持参してください。 4. 食物アレルギーがある学生は、実習先へ必ず申し出てください。また、実習先から指示された際は、食物アレルギーに関する診断書を提出してください。 5. 実習先の評価に関し、学生もしくは家族等が直接実習先に照会を行ったときは、単位を認定しない場合があります。		

授業科目名	<b>保育実習指導Ⅲ</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 <small>たか はし ゆう じ</small> 高 橋 雄 二	開講期	通年	
		授業回数	8回	
		期末試験の有無	無	
授業に関する主な実務経験と期間	特記事項なし			
社会貢献としての委員会・職等	NPO法人あざみ会監事			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻 修士(こども心理) 社会福祉士、介護福祉士、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	選択必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
既習の実習や教科目の内容を踏まえ、保育における実践力を修得します。保育における観察、記録および自己評価等について事例を通して理解すると共に、子どもの最善の利益を考慮した支援計画を立案する技術も修得していきます。	○	A	知識		
	○	B	技能		
		C	論理的思考力		
		D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	○	E	課題対処力		
		F	多様性の理解力		
		G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	○	イ	ディスカッション、ディベート		
	ウ	グループワーク			
	エ	プレゼンテーション			
	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
①	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する	目標	A		
②	実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する	目標	B		
③	保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する	目標	E		
④	保育士の専門性と職業倫理について理解する	目標	A		
⑤	実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする	目標	E		
授 業 計 画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等		授業時間以外の必要な学修【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、その他 保育士の職業倫理と役割認識	授業計画 教科書 DVD「あたりまえに生きたい」 15分 ディスカッション		授業計画は事前に読んでおいてください 教科書とノートを持参してください	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	多職種連携によるケアワーク	DVD「児童養護施設で育った人」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
3	記録の意義と自己評価のポイント	DVD「障害と心の傷と」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
4	施設の特質と機能	DVD「思いをかたちに」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
5	実習での留意点	DVD「知られざる虐待入院」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
6	日常生活支援と支援計画	DVD「ともに生きる」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
7	支援計画の作成	DVD「児童養護施設の現場から」20分 ディスカッション	教科書、資料の熟読
8	保育実習Ⅲ事後指導 実習報告、礼状・報告書	ディスカッションは全体の授業を通じた学びに基づいた各自の意見を発表し、その内容に関して協議します 保育実習Ⅲ報告書、実習日誌	保育実習Ⅲ「報告書」の作成 保育実習Ⅲ「実習日誌」の整理
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>1. 単位を取得するには、授業回数の5分の4以上の出席が必要です。</p> <p>2. 「保育実習Ⅲ」終了後、実習報告書を提出してください。</p> <p>3. 下記の内容により評価を行います。</p> <p>目標①②③ … 実習事前指導課題提出40%</p> <p>目標② … 個別支援計画作成20%</p> <p>目標② … 実習施設の目標課題設定20%</p> <p>目標③④⑤ … 実習報告書20%</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：「保育実習の手引き」 発行所：福島県保育者養成校連絡会編 書名：「福島県保育実習施設」 発行所：福島県保育者養成校連絡会編 ※教科書は1年次に配布済みです。		書名：障害のある子の支援計画作成事例集 著者名：日本相談支援専門協会編集 発行所：中央法規 価格：2,600円（税別）	

授業科目名	<b>保育実習Ⅲ</b>		授業形態・単位数	実習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 <small>たか はし ゆう じ</small> 高橋 雄 二		開講期	通年
			授業回数	時間割外
			期末試験の有無	無
授業に関する主な実務経験と期間		特記事項なし		
社会貢献としての委員会・職等		NPO法人あざみ会監事		
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等		福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻 修士 (こども心理) 社会福祉士、介護福祉士、日本保育学会		
卒業・資格・免許		授業科目区分	必修・選択必修・選択の別	
卒業		専門教育科目	選択	
幼稚園教諭二種免許状		専門教育科目	選択	
保育士資格		専門教育科目	選択必修	
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間		—
オフィスアワー・メールアドレス等		オフィスアワーは初回授業時に説明します。		

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>「児童福祉施設実習（保育所以外）」の役割や機能について当該施設での実践を通して、理解を深めます。</p> <p>また、施設の子ども（利用者）の家庭状況や地域との関係にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養います。</p> <p>そして、保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解し、自己の課題を明確化していきます。</p>	○	A 知識
		B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
○	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解する	目標	F
② 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する	目標	E
③ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する	目標	A
④ 実習における自己の課題を理解する	目標	E
実習期間		
8月中旬～下旬、または10月中旬～12月（概ね10日間）		
授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）		
目標①②③④ … 実習施設先からの評価点 80% ※実習先の評価点が60点以上であることが単位認定の条件となります。		
目標①②③④ … 実習日誌 10% 目標② … 個別支援計画 10%		

実習費（実費徴収）

1. 保育実習Ⅲ委託費 10,000円
2. 腸内感染症検査料 550円程度

その他補足事項

1. 実習の履修制限・再実習については、福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。
2. 履修にあたっては、次の事項を満たしていることが前提となります。
  - 「保育実習指導Ⅲ」授業に5分の4以上出席している。
  - 「保育実習Ⅰ」保育所実習と児童福祉施設実習に合格している。※詳細は福島学院大学短期大学部履修規程をご覧ください。
3. 学外実習を行うにあたり、腸内感染症検査証明書、麻疹（はしか）・風疹の抗体を有する証明書（コピー）を実習先へ持参してください。
4. 食物アレルギーがある学生は、実習先へ必ず申し出てください。また、実習先から指示された際は、食物アレルギーに関する診断書を提出してください。
5. 実習先の評価に関し、学生もしくは家族等が直接実習先に照会を行ったときは、単位を認定しない場合があります。



旧教育課程  
授業科目

## 保育学科 旧教育課程

### 教養教育科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教育方針 本学の教育	1		
表現力向上分野			
国語表現	4		
書写演習		1	指定者必修
会話演習		1	指定者必修
情報教育分野			
情報機器操作Ⅰ		2	初級レベル } 中級レベル } 中級習熟レベル } メディアミックス活用上級レベル } 入学時の能力検定により履修レベルを決定する。2単位以上必修とするが、初級レベルⅠの履修者は、中級レベルⅡまで計4単位以上を必修とする。
情報機器操作Ⅱ		2	
情報機器操作Ⅲ		2	
情報機器操作Ⅳ		2	
教養分野			
生活教養	4		
生活と安全		2	
音楽演習		2	
美術演習		2	
文学演習		2	
食彩演習		1	
日本国憲法		2	
女性の保健		2	
国際理解分野			
英会話Ⅰ		2	ベーシックレベル } アドバンスレベル } いずれか2単位必修
英会話Ⅱ		2	
国際理解論	2		
国際理解演習		2	
体育分野			
体育講義	1		
体育実技Ⅰ	1		
体育実技Ⅱ		1	

### 専門教育科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
保育者論	2		
社会福祉	2		
相談援助		1	
児童家庭福祉	2		
教育原理	2		
保育原理	2		
社会的養護		2	
教育行政		2	

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教 育 心 理 学		1	
発 達 心 理 学	2		
発 達 心 理 学 II		2	
臨 床 心 理 学		2	
臨 床 心 理 学 II		2	
子 ど も の 保 健	4		
子 ど も の 保 健 II	1		
子 ど も の 食 と 栄 養		2	
家 庭 支 援 論		2	
保 育 ・ 教 育 課 程 論		2	
保 育 内 容 総 論		1	この内より4単位必修
保 育 内 容 指 導 法		1	
(健 康)		1	
(人 間 関 係)		1	
(環 境)		1	
(言 葉)		1	
(表 現)		1	
教 育 方 法 及 び 技 術		2	
教 育 相 談		2	
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)		2	
社 会 的 養 護 内 容		1	
保 育 相 談 支 援		1	
乳 児 保 育	2		
障 害 児 保 育	2		
幼 児 音 楽 (子 ど も の う た)	2		
幼 児 音 楽 (子 ど も の う た) II		2	いずれか2単位必修
ピ ア ノ 演 習		2	
ギ タ ー 演 習		2	
ピ ア ノ 演 習 II		2	
図 画 工 作	2		
幼 児 体 育	2		
国 語		2	
算 数		2	
創 作 ミ ュ ー ジ カ ル	2		
パ リ ダ ンス レ ッ ス ン と バ リ 島 幼 稚 園 交 流		2	
特 別 研 究		2	
特 別 研 究 II		2	
教 育 実 習		5	事前・事後指導1単位を含む
保 育 実 習 指 導		2	
保 育 実 習		4	
保 育 実 習 指 導 II		1	
保 育 実 習 II		2	
保 育 実 習 指 導 III		1	
保 育 実 習 III		2	

※詳細は入学時に配布した「教育課程表」をご覧ください。

授業科目名	子どもの保健		授業形態・単位数	講義・4単位
			開講年次	1年次
担当教員	非常勤講師	湯田厚子	開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島県公立小中学校養護教諭（昭和53年4月～平成30年3月） 福島県スクールカウンセラー（小学校・高校）（平成30年4月～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	福島県養護教諭部会会長（平成23・24年度） 全国養護教諭連絡協議会副会長（平成27・28年度）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島大学大学院教育学研究科学校臨床心理専攻修士課程修了修士（教育学） 養護教諭、学校心理士、ガイダンスカウンセラー、日本学校心理士会 日本LD学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	120時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>この授業において前半は、幼稚園教諭や保育士に求められている子どもの命を守り、健やかな育ちを支えるために必要な資質としての、子どもの心身の健康と安全、成長発達に関する知識や技術を学びます。授業テーマに沿った講義を進めるだけでなく、授業テーマごとに、現代社会における保育の現状や実際に起こっている課題等について学生に提示し、グループディスカッションや意見発表等を取り入れて、考えを深めていきます。</p> <p>後半は、幼稚園教育要項、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を踏まえ、子どもが主体的に健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけるための教育的対応の一つである保健指導の在り方について、教材作成、模擬指導、逐語録、振り返りを通して具体的な指導方法を学びます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
	○	E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
○	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 子どもの健康を捉えるための基盤となる知識として健康とは何かについて理解し、述べるができる	目標	A
② 子どもの発育発達の実態を理解するとともに、疾病の予防とその適切な対応の仕方について理解し、述べるができる	目標	B・E
③ 子どもの安全管理の在り方や具体的な安全対策、応急処置について理解し、述べるができる	目標	B・E
④ 子どもの健康的な発育発達のために必要な効果的な保健指導について考え、教材を作成することができる	目標	A・B・E

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価の方法、その他 子どもの保健で何を学ぶのか？	授業計画、テキスト 保育所保育指針、幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	授業計画を事前に読んでおく
2	子どもの健康と保健の意義(1) 健康の概念とヘルスプロモーション	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習 (WHO憲章について調べてくる)
3	子どもの健康と保健の意義(2) 地域における保健活動と児童虐待防止	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習 (虐待事例について調べてくる)
4	子どもの発育・発達と保健(1) 生物としてのヒトの成り立ち	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
5	子どもの発育・発達と保健(2) 身体発育・生理機能運動機能の発達	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
6	子どもの疾病と保育(1) 健康状態の把握	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
7	子どもの疾病と保育(2) 疾病の理解と適切な対応①	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
8	子どもの疾病と保育(3) 疾病の理解と適切な対応②	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
9	子どもの疾病と保育(4) 疾病の予防のための適切な教育的対応①	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
10	子どもの疾病と保育(5) 疾病の予防のための適切な教育的対応②	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
11	子どもの精神保健(1) 子どものこころの健康	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
12	子どもの精神保健(2) 障害を持つ子どもへの適切な対応	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
13	環境及び衛生管理並びに安全管理 子どもの事故けがに対する応急処置・救命処置	スライドとテキストによる解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
14	健康及び安全の実施体制(1) 保育現場における危機管理と安全対策	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
15	健康及び安全の実施体制(2) 家庭・専門機関・地域との連携 前期のまとめ	スライドと講義資料による解説、 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
期末試験	前期末試験（中間試験）		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
16	前期末試験の解説 健康づくりに向けた指導・援助とは？	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
17	健康づくりに向けた指導・援助(1) 保健指導の基礎①	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
18	健康づくりに向けた指導・援助(2) 保健指導の基礎②	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
19	健康づくりに向けた指導・援助(3) 保健指導の基礎③	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
20	健康づくりに向けた指導・援助(4) 保健指導の基礎④	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
21	健康づくりに向けた指導・援助(5) 保健指導の基礎⑤	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
22	健康づくりに向けた指導・援助(6) 保健指導の実践①	スライドと講義資料による解説、教材作成	講義内容の復習
23	健康づくりに向けた指導・援助(7) 保健指導の実践②	スライドと講義資料による解説、教材作成	講義内容の復習
24	健康づくりに向けた指導・援助(8) 保健指導の実践③	スライドと講義資料による解説、教材作成	講義内容の復習
25	健康づくりに向けた指導・援助(9) 保健指導の実践④	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表 逐語録作成	講義内容の復習
26	健康づくりに向けた指導・援助(10) 保健指導の実践⑤	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表 逐語録作成	講義内容の復習
27	健康づくりに向けた指導・援助(11) 保健指導の実践⑥	スライドと講義資料による解説、ワークシート、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
28	健康づくりに向けた指導・援助(12) 保健指導の実践⑦	スライドと講義資料による解説、ワークシート、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
29	健康づくりに向けた指導・援助(13) 保健指導の実践⑧	スライドと講義資料による解説、ワークシート、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習 小レポート作成
30	後期のまとめ	スライドと講義資料による解説、ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
期末試験	後期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			

**授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）**

目標①②③④ … 前期試験40%・後期末試験40%  
 目標①②③④ … ノート・小レポート10%  
 目標②③④ … 意見発表及びディスカッション発言など積極的講義参加10%  
 ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点から行ないます。

**教科書**

使用しません。

**参考書**

保育所保育指針〈平成29年度告示〉  
 幼稚園教育要領〈平成29年度告示〉  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年度告知〉  
 ＊購入済の参考書です。毎時間持参してください。

**その他補足事項**

「講義ノート」として使用するので、A4サイズのノート（30ページ程度）1冊を購入し、第1回授業時に必ず持参してください。

授業科目名	子どもの保健Ⅱ		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師	湯田厚子	開講期	前期・後期
			授業回数	15回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	福島県公立小中学校養護教諭（昭和53年4月～平成30年4月） 福島県スクールカウンセラー（平成30年4月～現在）			
社会貢献としての委員会・職等	福島県養護教諭部会会長（平成23・24年度） 全国養護教諭連絡協議会副会長（平成27・28年度）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島大学大学院教育学研究科学校臨床心理専攻修士課程修了修士（教育学） 養護教諭、学校心理士、ガイダンスカウンセラー、日本学校心理士会 日本LD学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>この授業では、子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学びます。また、子どもの健康増進や心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考えて行きます。さらに、子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶとともに、現代社会における心の健康問題や地域保健活動等についても理解します。</p> <p>子どもの保健に関する知識を学び保育の中で、適切に保健活動を展開できるための基本的な技術と実践できる能力を養います。</p> <p>現代社会に起きている保育の課題や現状などについてもディスカッションを取り入れて考えを深めていきます。</p>	<input type="radio"/>	A 知識
	<input type="radio"/>	B 技能
	<input type="radio"/>	C 論理的思考力
	<input type="radio"/>	D 文章・身体・感性等に関する表現力
	<input type="radio"/>	E 課題対処力
	<input type="radio"/>	F 多様性の理解力
	<input type="radio"/>	G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
	<input type="radio"/>	ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	<input type="radio"/>	イ ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	ウ グループワーク	
<input type="radio"/>	エ プレゼンテーション	
<input type="radio"/>	オ 実習・フィールドワーク	

授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 子どもの健康を捉えるための基盤となる知識として健康とは何かについて理解し、述べるができる	目標	A
② 子どもの発育発達の実態を理解するとともに、疾病の予防とその適切な対応の仕方について理解し、述べるができる	目標	B・E
③ 子どもの安全管理の在り方や具体的な安全対策、応急処置について理解し、述べるができる	目標	B・E

授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標、授業内容と評価の方法、その他 子どもの保健Ⅱで何を学ぶのか？	授業計画、テキスト	授業計画を事前に読んでおく

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	保健活動の計画及び評価(1) 保育における保健計画と保健活動	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
3	保健活動の計画及び評価(2) 子どもの保健に係る個別対応と子どもの集団 全体の健康と安全・衛生管理	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
4	子どもの保健と環境(1) 子どもの健康増進と保育の環境	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
5	子どもの保健と環境(2) 子どもの生活習慣と心身の健康	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表、	講義内容の復習
6	子どもの保健と環境(3) 子どもの発達援助と保健活動	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
7	子どもの疾病の適切な対応(1) 体調不良や傷害が発生した場合の対応	テキストとテキストによる解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
8	子どもの疾病と適切な対応(2) 感染症予防と対策	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
9	子どもの疾病と適切な対応(3) 障害のある子どもへの適切な対応	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
10	子どもの疾病と適切な対応(4) 乳児への適切な対応	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
11	子どもの疾病と適切な対応(5) 障害のある子どもへの適切な対応	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
12	事故防止及び健康安全管理(1) 事故防止および救急蘇生法の習得	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
13	事故防止及び健康安全管理(2) 保育における看護と救急処置	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
14	事故防止及び健康安全管理(3) 災害への備えと危機管理	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の予習
15	心と体の健康問題と地域保健活動 子どもの養育環境と心の健康問題 地域保健活動	テキストと講義資料による解説 ディスカッション、意見発表	講義内容の復習
期末 試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
目標①②③ … 期末試験40点 目標②③ … 実技演習40点・ディスカッション発言など積極的講義参加20点 ほか、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。			

教科書	参考書
書名：子どもの保健Ⅱ 著者名：松田 博雄 金森光枝 発行所：中央法規 価格：2,000円（税別）	保育所保育指針＜平成29年度告示＞ 幼稚園教育要領＜平成29年度告示＞ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領＜平成29年度告知＞ ※購入済みの参考書です。
<b>その他補足事項</b>	
指定した参考書は、毎時間持参してください。	

授業科目名	<b>子どもの食と栄養</b>		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任講師 田村佳奈美		開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	金森和心会雲雀ヶ丘病院（1992年10月～2005年3月） 福島労災病院（2005年4月～2011年6月） かとう内科クリニック（2011年7月～現在に至る）			
社会貢献としての委員会・職等	日本在宅栄養管理学会評議委員、日本在宅栄養管理学会福島県支部長 日本褥瘡学会評議委員、日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会理事 日本メディカルダイエティシャン研究会副会長 福島県PEGと経腸栄養と在宅医療フォーラム世話人			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島女子短期大学食物栄養科（現福島学院大学）準学士 栄養士免許、管理栄養士免許			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワー・メールアドレスは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
乳児期から小児、学童期と子どもの食生活は心身の健全な発育、発達のみならず、生涯にわたる健康的な食習慣を築く基礎となります。さらに女性の妊娠期・子どもの胎児期においても「食」「栄養」は重要であり将来の疾病予防とも大きな関連があります。近年、栄養の偏りや「欠食」、「孤食」の問題も大きく取りざたされています。子どもの成長段階に応じた栄養・健康について食を通して考え、保育士として必要な「子どもの食と栄養」について学び、適正な食、栄養のあり方、栄養学の基本的知識、技術を習得します。	○	A 知識
	○	B 技能
		C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
	○	F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
		イ ディスカッション、ディベート
	○ ウ グループワーク	
	○ エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 栄養、食に関する基礎知識と栄養素の消化吸収について理解する	目標	A
② 健康な生活の基本としての食事の意義や食事の大切さを学ぶ	目標	A
③ 調理の基礎や離乳食に関する基礎知識を学ぶ	目標	A・B
④ 子どもの食と栄養を理解し栄養と発育の関連、栄養の過不足が理解できる	目標	A・F
⑤ 食育の基本を地域社会、文化との関わりを通して学び食育を企画ができる	目標	A・F
⑥ 家庭や児童福祉施設の食生活の現状、特別な配慮を要する子どもの食事を学ぶ	目標	A

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション 授業の概要と目標(授業内容)、評価方法・授業の進め方 自身の食事について考えてみる	授業計画 教科書	予習 授業計画を事前に読む
2	第1章 子どもの健康と食生活の意義 子どもをとりまく「食」の問題 *自身の食事について評価し発表する	教科書P9～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 「なぜ食事をするのか？」 200字
3	第2章 栄養に関する基本的知識 三大栄養素・五大栄養素 *栄養素の流れを図に書いて理解を深める	教科書P17～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 「三大栄養素、五大栄養素とは」200字
4	第2章 栄養に関する基本的知識 その他の栄養素(食物繊維、水) *脱水と熱中症状の違いを考える	教科書P23～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 「食物繊維の働きについて」 200字
5	第3章 消化・吸収・代謝に関する基礎知識 口～肛門まで、消化管について *食べ物の消化の旅、流れをまとめる	教科書P25～ 補足資料 パワーポイント	予習 第3章を事前に読む
6	DVD学習(消化管の構造、食物の流れ) *消化について理解したことをまとめる	教科書P25～ 補足資料 パワーポイント DVD「人体の小宇宙：消化管」約60分	予習：テーマ 「胃の役割」200字
7	第4章 食事摂取基準と小児の特徴 食生活指針・年齢区分・推奨量・目安量 *自分のBMIを計算して評価してみよう	教科書P33～ 補足資料 パワーポイント	予習：教科書 第4章を事前に読む
8	第4章 食事のバランスについて 「食事バランスガイドコマ」を使ってみる *食事バランスについて評価し発表(各自)	教科書P39～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 食べたものの記録
9	第5章 献立・調理の基本 食品区分(3つ、4つ、6つ)PFCバランス *モデル献立を区分してバランスを調べる	教科書P41～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 3色食品群について調べる
10	第5章 献立・調理の基本 主食・主菜・副菜(一汁三菜の考え方) *3歳児用の献立を班で考えてみよう	教科書P45～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 「献立作成の手順」200字
11	第6章 食品の基礎知識 旬の食材・食品のマーク・栄養補助食品 *食品の旬について調べてみよう	教科書P49～ 補足資料 パワーポイント	予習：テーマ 「食品のマークについて」 200字
12	第7章 調理 だしの取り方、だしの違い 野菜の切り方	教科書P57～ 補足資料 パワーポイント	復習： 授業のまとめ問題プリント
13	第7章 調理演習(調理室) だしの取り方と味の違い	調理演習(1)	復習： 授業のまとめ問題プリント
14	第7章 調理演習(調理室) 野菜の切り方	調理演習(2)	予習 事前配布のレシピをよく読んでくる

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
15	<b>第7章 調理演習</b> こどものおやつ「プリン」の作り方を考える 前期まとめ	教科書、補足資料 パワーポイント	復習 授業のまとめ問題プリント
期末試験	<b>前期末試験 (中間試験)</b>	筆記試験	
16	<b>第7章 調理演習 (調理室)</b>	調理演習(3)	予習 「食品添加物について」 200字
17	<b>食の安全性、食品添加物について考える(1)</b> DVD学習「Supper size me」 「食の安全性に関して」	教科書、補足資料 DVD「Supper size me」 (120分) 前半	予習 「食品添加物の種類」200字
18	<b>食の安全性、食品添加物について考える(2)</b> DVD学習「Supper size me」 「食の安全性に関して」レポート提出①	教科書、補足資料 DVD「Supper size me」 (120分) 後半	
19	<b>第8章 出生前期の特徴と食生活</b> 悪阻・便秘・貧血・肥満 妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病	教科書P65～ 補足資料 パワーポイント	予習 「妊娠期の食生活」300字
20	<b>第9章 授乳期・離乳期の心身の特徴と食生活</b> 成長と発達・食習慣の形成 離乳食・市販ベビーフード	教科書P73～ 補足資料 パワーポイント	予習 「離乳食のすすめ方」300字
21	<b>第9章 授乳期・離乳期の心身の特徴と食生活</b> 市販食品や市販のベビーフードを調べる アレルギー表示、原材料、見た目、味、食感	教科書、補足資料 パワーポイント	予習 「離乳食の種類」200字
22	<b>第10章 幼児期の心身の特徴と食生活</b> 幼児期における心身の発達と食生活	教科書P81～ 補足資料 パワーポイント	予習 「幼児期の食生活の問題点」 200字
23	<b>第11章 学童期の心身の特徴と食生活</b> 学童期、思春期の心身の特徴と食生活	教科書P89～ 補足資料 パワーポイント	予習：教科書 第11章を事前に読む
24	<b>第12章 保育所・幼稚園の給食</b> 保育所給食の役割	教科書P97～ 補足資料 パワーポイント	予習：「保育所給食の役割」 300字
25	<b>第13章 食育の基本と内容</b> 保育所保育指針・食育基本法・ 食育推進基本計画、食文化・地産地消	教科書P105～ 補足資料 パワーポイント	予習：教科書 第13章を事前に読む
26	<b>食育</b> DVD学習「ぼくが命をいただいた3日間」 感想をまとめてレポート提出②	教科書、補足資料 DVD「ぼくが命をいただいた3日間」60分	予習 授業のまとめ問題プリント
27	<b>食育ポスター作成 ポスター提出</b> 班で食育のテーマを決めポスターを作る (色鉛筆、水性ペンなどを持参する)	教科書、補足資料 グループワーク	予習 「食育ポスターの構想」 200字
28	<b>食育ポスター発表会</b> 班でポスター内容を発表する (色鉛筆、水性ペンなどを持参する)	教科書、補足資料 グループワーク	復習 授業のまとめ問題プリント

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
29	第14章 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 共食・孤食・個食・家庭支援	教科書P113～ 補助資料 パワーポイント	予習：家庭での食事の問題点をまとめる(300字)
30	第15章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 子どもの疾患と栄養 食物アレルギーがある子どもへの対応 これまでのまとめ	教科書P121～ 補助資料 パワーポイント	予習：特定原材料7品、特定原材料に準ずる20品目を調べる(200字)
期末試験	後期末試験	筆記試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に不応する到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標①②③④⑤⑥ … 期末試験 80点(前期末と後期末に40点満点の試験を2回実施) 目標③④⑤ … 授業内レポート 20%(10点満×2回実施)			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：「コンパクト版保育者養成シリーズ 〈新版〉子どもの食と栄養」 著者名：水上由紀・細川裕子編著 発行所：一藝社 価格：2,000円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 調理演習：簡単な調理演習を3回実施します。(エプロン、バンダナ、調理室用上履きを各自準備) 2. 離乳食調べ：市販の離乳食の成分や味などを調べる授業を1回行います。 3. 食育ポスター作成：各班で食育ポスター作成を行い発表します。(色鉛筆、水性ペンなどを持参) 4. DVDによる学習：授業内容に関連するDVDによる授業も数回実施します。			

授業科目名	<b>社会的養護内容</b>		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師 <sup>かがみ</sup> 鑑 さやか 〔本務先：東北文化学園大学 職名：准教授〕	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	宮城県中央地域子どもセンター 平成19年4月～平成20年3月 (児童緊急通報ダイヤル対応員・一時保護所非常勤職員)			
社会貢献としての委員会・職等	宮城保育団体合同研修会委員			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北福祉大学大学院社会福祉研究科社会福祉学専攻修士課程修了 社会福祉学修士、社会福祉士、日本子ども虐待防止学会 他			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目			
社会的養護を必要とする子どもとその家族の現状を踏まえ、児童福祉施設の具体的な役割の理解を深めます。さらに、保育士としてどのように向き合い、支援することが求められるかについて実践的に学びます。具体的には、事例等を用いたロールプレイやディスカッション、グループワークを通じた学習により、多角的な視点に触れることで、保育者を目指す者として必要な実践的技術の理解を図ります。	<input type="radio"/>	A	知識		
	<input type="radio"/>	B	技能		
	<input type="radio"/>	C	論理的思考力		
	<input type="radio"/>	D	文章・身体・感性等に関する表現力		
	<input type="radio"/>	E	課題対処力		
	<input type="radio"/>	F	多様性の理解力		
	<input type="radio"/>	G	対人関係構築力		
	<b>アクティブラーニングの要素</b>				
	<input type="radio"/>	ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習		
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート		
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク			
<input type="radio"/>	エ	プレゼンテーション			
<input type="radio"/>	オ	実習・フィールドワーク			
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)			
①	社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理について具体的に学ぶ	目標	A		
②	施設養護及び他の社会的養護の実際について学ぶ	目標	A・F		
③	個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ	目標	A・B		
④	社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解する	目標	E		
⑤	社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める	目標	A・E		
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】		
1	<b>オリエンテーション</b> 授業の概要と到達目標、授業内容と評価方法、授業の進め方、その他の留意点 <b>社会的養護の理論と実際</b> ～社会的養護の実践と保育士	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画</li> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成		

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
2	社会的養護の理論と実際 ～社会的養護の理念と機能、法制度と枠組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
3	社会的養護の理論と実際 ～社会的養護を必要とする子どもの理解と権利	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
4	社会的養護の理論と実際 ～施設養護のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
5	社会的養護の理論と実際 ～記録および評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
6	ケーススタディ ～施設への入所前後の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
7	ケーススタディ ～個別支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
8	ケーススタディ ～日常生活支援(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
9	ケーススタディ ～日常生活支援(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
10	ケーススタディ ～治療的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
11	ケーススタディ ～施設養護の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
12	ケーススタディ ～家庭養護へ向けての支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
13	ケーススタディ ～ソーシャルワークとその応用(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	ケーススタディ ～ソーシャルワークとその応用(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
15	社会的養護実践における課題と展望 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク</li> <li>グループワーク</li> <li>発表</li> </ul>	<b>【予習】</b> 教科書の該当箇所の確認 (該当箇所は初回授業時に説明します) <b>【復習】</b> ミニレポートの作成
期末試験	期末試験	レポートを課します	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、メール等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に必ず到達度の評価(評価方法・基準)</b>			
目標①②⑤ … 期末試験(レポート) 30% 目標①②③④ … ミニレポート 20% 目標①②③④⑤ … グループワークへの参加 30% 目標①②③④⑤ … ワークシート 20%			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：演習・保育と社会的養護実践 著者名：橋本好市・原田旬哉 編 発行所：みらい 価格：2,000円(税別)		書名：保育実践と社会的養護 著者名：井村圭壯・相澤譲治 編著 発行所：勁草書房 価格：2,000円(税別)	
<b>その他補足事項</b>			
1. 理解を深めるために、事前にテキストの該当箇所を読んでおいてください。 2. 講義中の私語・飲食は認めません。(配慮が必要な場合には事前に申し出て許可を得てください) 3. スマートフォン等、講義と関係のない機器の使用・机上へ出しておくことは認めません。 4. 他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示する場合があります。			

授業科目名	保育相談支援		授業形態・単位数	演習・1単位
			開講年次	2年次
担当教員	兼任教授 <small>こん</small> 今 <small>きよ</small> 清 <small>たか</small> 孝	開講期	前期・後期	
		授業回数	15回	
		期末試験の有無	有	
授業に関する主な実務経験と期間	筒井福祉会筒井保育園 保父（昭和59年4月～平成2年3月） 筒井福祉会筒井保育園 園長（平成2年4月～平成20年6月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島市産官学プラットフォーム 保育士キャリア形成プロジェクトチームリーダー			
最終卒業(修了)学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士課程修了 修士(社会福祉学)、保育士、日本社会福祉学会、日本家族研究・家族療法学会 日本子ども学会、日本保育者養成教育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	選択		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	15時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要		授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>具体的に保護者が抱える育児に関する問題を、子どものより良い保育環境を整える視点から考えます。</p> <p>子どもにかかわる大人の生活(ライフサイクル)を理解し、保護者の子育てに関する問題に適切な対処をし、相談支援の記録・評価ができる力を養います。</p> <p>本授業は講義のほかグループ討議、模擬相談演習、ロールプレイなどを行います。</p>	<input type="radio"/>	A	知識	
	<input type="radio"/>	B	技能	
		C	論理的思考力	
		D	文章・身体・感性等に関する表現力	
	<input type="radio"/>	E	課題対処力	
		F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力	
	アクティブラーニングの要素			
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	<input type="radio"/>	イ	ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/>	ウ	グループワーク		
	エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク		
授業の到達目標		授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
①	子どもや保護者の様子、また実際の保護者からの相談内容から、問題を見出し、支援を具体化する能力を身につける	目標	A・B	
②	問題の整理方法と支援方法、またそれらの過程を記録し評価する技術を身につける	目標	A・B・E	
授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修 【予習・復習】	
1	オリエンテーション 授業の概要と到達目標 授業内容と評価方法及び留意点 プロジェクト・アドベンチャー	授業計画 授業資料1・ゲーム	復習：課題解決過程	
2	保育相談支援の意義	授業資料2 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討 →資料完成に活用	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
3	保育相談支援の原則	授業資料3 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討 →資料完成に活用
4	保育相談支援の進め方	授業資料4 授業資料完成 グループ討議	予習：親の立場での考え方の検討 →資料完成に活用
5	保育相談支援の技術(1)	授業資料5 授業資料完成 グループ討議	予習：保育者の立場での考え方の検討 →資料完成に活用
6	保育相談支援の技術(2)	授業資料6 授業資料完成 グループ討議	予習：保育者の立場での考え方の検討 →資料完成に活用 復習：「1～6のまとめ」
7	中間まとめ 小レポート作成	授業資料7	授業資料の整理 テーマ「1～6のまとめ」
8	保育相談支援の実際(1)	授業資料8 DVD視聴 「保育相談支援」37分	復習：「助言」「解説」「情報提供」 の在り方の検討→DVD理解に活用
9	保育相談支援の実際(2)	授業資料9 模擬相談演習	予習：「助言」「解説」「情報提供」 の在り方の検討→演習に活用
10	保育相談支援の実際(3)	授業資料10 模擬相談演習	予習：「支持」「承認」の在り方の 検討→演習に活用
11	保育相談支援の記録(1)	授業資料11 ロールプレイ	予習：「支持」「承認」の在り方の 検討→ロールプレイに活用
12	保育相談支援の記録(2)	授業資料12 ロールプレイ	予習：「行動見本」「体験提供」の 在り方の検討→ロールプレイに活用
13	保育相談支援の評価(1)	授業資料13 ロールプレイ	予習：「行動見本」「体験提供」の 在り方の検討→ロールプレイに活用
14	保育相談支援の評価(2)	授業資料14 ロールプレイ	予習：「環境構成」の在り方の検討 →ロールプレイに活用 復習：「8～14のまとめ」
15	まとめ 小レポート作成		テーマ「8～14のまとめ」
期末 試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標①② … 期末試験 70点満点</p> <p>目標①② … レポート（2回）は30（各15）点満点の採点とします。 課題は授業内容に基づいた枠組みの中で、学生が関心のある事柄を各自設定する方式とします。</p> <p>目標② … ロールプレイ時の気づきについて発表できた学生には加点します。</p> <p>目標①② … その他 授業内容に関して、質問や意見を積極的に述べる学生には加点します。</p> <p>100点を越えたものは一律100点とし、ほかに、評価に関する共通理解に則る減点を総合点より行います。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：演習 保育相談支援（第2版） 著者名：小林育子 発行所：萌文書林 価格：1,600円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初回授業時に身体運動のゲームを行うので、活動しやすい服装で出席してください。</li> <li>2. ロールプレイ等の実施のため、軽度の運動ができる服装で出席することを求めます。</li> <li>3. 期末試験の際には、授業配布資料のみ持ち込みを可とし、教科書やノートの持ち込みは不可とします。</li> <li>4. 授業配布資料は、授業内容及び必要事項を書き込み、授業中または授業後に完成させ試験に臨んでください。</li> </ol>			

授業科目名	乳児保育		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	講師 中野明子	の	開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	横浜市認可保育園園長（平成18年10月～平成20年3月） 船橋市医療センター保育室室長（平成14年2月～平成18年1月） 学校法人福島めばえ幼稚園教諭（昭和57年4月～平成元年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチーム（保育士キャリア形成） NPO法人福島SAND-STORYサポーター（学生ボランティア統括） 第52回全国保育団体合同研究集会実行委員（副実行委員長）			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	福島学院大学大学院心理学研究科こども心理専攻修了 修士（こども心理） 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、日本保育学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	選択		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	オフィスアワーは初回授業時に説明します。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目	
<p>「乳児保育」は児童福祉施設における3歳未満児の保育について学ぶ科目です。0、1、2歳の発達を学ぶ過程で、この時期が人の一生に大きな影響を及ぼすことを理解し、心身共に最も養護を必要とすること、愛情豊かに応答的に行われることが保育者として求められます。</p> <p>本授業では、保育所、認定こども園、乳児院における乳児保育の現状と課題、乳児保育の歴史的変遷、乳児の成長発達に即した援助の仕方、乳児保育指導計画の立案等専門的知識を学び、さらに乳児保育の技術や技能を実践演習を通して取得していきます。</p>	○	A 知識
	○	B 技能
	○	C 論理的思考力
		D 文章・身体・感性等に関する表現力
		E 課題対処力
		F 多様性の理解力
		G 対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>	
		ア 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○	イ ディスカッション、ディベート
	ウ グループワーク	
	エ プレゼンテーション	
	オ 実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)	
① 乳児保育の理念と歴史的変遷や役割について認識ができ、自分の言葉で説明ができるようになる	目標	A
② 3歳未満児の発達の特徴をふまえて、感覚や運動機能の発達を支え、情緒的絆の形成を理解し、実践に備えることができるようになる	目標	B
③ 乳児期の遊びを通して発達が促されることを認識し、子どもの探索活動を十分に保障する環境や自発的活動を尊重する意義について理解できるようになる	目標	C
④ 乳児保育の計画・保育内容・環境構成や観察・記録等について理解ができて、実践に備えることができるようになる	目標	B
⑤ 乳児保育を通して保護者や関係機関との連携について理解ができて、保育者としての職務に、誇りと自覚が持てるようになる	目標	C

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	<b>オリエンテーション</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の概要と到達目標（授業内容）</li> <li>評価方法・授業の進め方の留意点</li> </ul> <b>乳児保育とは</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心身共に最も養護を必要とする保育</li> <li>人が育つことの理解</li> </ul> <b>赤ちゃん人形を抱く</b>	授業計画 たて抱き・横抱きの体験 <b>第1回レポート作成</b>	教科書第1章「乳児保育とは」を復習する 新生児の赤ちゃん人形を抱いた時に感じたこと捉えたこと等を考察する
2	<b>抱っこ・おんぶ・おむつの替え方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児とのふれ合いの基本を学ぶ</li> <li>抱っこ・おんぶ・おむつ交換の技術</li> </ul>	プリント、グループ演習・抱っこ・おんぶ・おむつ交換を学ぶ、ベビー人形	教科書第5章「基本的な生活習慣の獲得」(3)援助の実際1) おむつ交換を事前に読む
3	<b>乳児保育の基本</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児保育の理念と歴史の変遷</li> <li>乳児保育の役割と機能</li> <li>乳児保育の様々な場（保育所・認定こども園・小規模保育所・乳児院等）における現状</li> </ul>	プリント VTR視聴「保育者への歩み」20分	教科書第2章「乳児保育の基本」第3章「乳児保育の制度と課題」を復習し、保育実習を行う保育施設の歴史を理解する
4	<b>平成29年告示「保育所保育指針」について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>改正された保育指針の構成と内容の特徴</li> </ul> <b>平成29年告示「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>改訂された教育・保育要領の構成と内容の特徴</li> <li>乳児保育に関わる法律</li> <li>児童福祉法 労働基準法 育児介護休業法等</li> </ul>	プリント 保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説から学ぶ	教科書第3章「乳児保育の制度と課題」を復習し、保育実習を行う保育施設の状況、特徴を確認する
5	<b>乳児の発達過程からみる保育内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>0～6か月未満児の発達と保育内容</li> <li>6か月以上1歳未満児の発達と保育内容</li> </ul> <b>ポルトマン「生理的早産」から学ぶ</b>	保育所保育指針、保育所保育指針解説から学ぶ	保育所保育指針第2章保育の内容「乳児保育に関するねらい及び内容」を事前に読む P13～P16
6	<b>3歳未満児の発達過程からみる保育内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1歳以上2歳未満児の発達と保育内容</li> <li>2歳以上3歳未満児の発達と保育内容</li> </ul> <b>乳児の噛みつき・ひっかき等のトラブルへの対応</b>	プリント グループ演習・噛みつきへの対応(ロールプレイング)	保育所保育指針第2章「1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容」を事前に読む P16～P22
7	<b>乳児の心の発達</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの人見知り</li> <li>アタッチメントの形成とその意義</li> </ul>	プリント、グループ討議・保育現場におけるアタッチメント、DVD視聴「赤ちゃんの秘密」20分	教科書第4章「3歳未満児の発達過程からみる保育内容」を復習する
8	<b>乳児のことばの発達</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ことばの発達と必要な力</li> <li>三項関係の出現 ～9か月の軌跡～</li> </ul> <b>0歳児1歳児2歳児の喜ぶ絵本</b>	プリント、VTR視聴「絵本の読み聞かせ」20分	「ブックスタート運動」について調べておく
9	<b>基本的な生活習慣 食事(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授乳の仕方</li> <li>人工乳・冷凍母乳</li> <li>離乳食の進め方</li> </ul>	プリント、グループ演習・調乳の仕方を学ぶ、DVD視聴「離乳食のすすめかた」20分	教科書第8章「食事の計画、提供及び評価・改善」1冷凍・冷蔵母乳の取り扱いについてを事前に読む
10	<b>基本的な生活習慣 食事(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーの対応</li> </ul> <b>基本的な生活習慣 睡眠</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児の睡眠</li> <li>睡眠の援助</li> </ul>	プリント、DVD視聴「聞いてみよう！食物アレルギーのこと」20分	教科書第8章2乳幼児と食物アレルギー 3保育室での配慮、第5章「基本的な生活習慣の獲得」1食事3睡眠を事前に読む

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
11	<b>基本的な生活習慣 排泄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつはずれの援助</li> </ul> <b>基本的な生活習慣 衣服の着脱</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選び方</li> <li>・衣服の着せ方・脱がせ方</li> </ul>	プリント、グループ討議・トイレの誘い方、グループ演習・衣服の着せ方・脱がせ方、ベビー人形	教科書第5章2排泄5衣服の着脱を事前に読む
12	<b>基本的な生活習慣 清潔</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔とは</li> <li>・沐浴の仕方</li> <li>・清拭の仕方</li> </ul>	プリント、DVD視聴「やさしい沐浴法」20分、グループ演習:沐浴の仕方を学ぶ、ベビー人形	教科書第5章4清潔の習慣を事前に読む
13	<b>手作りおもちゃの製作(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と関わる楽しさを伝えるおもちゃ作り</li> </ul>	プリント、おもちゃの製作・音の鳴るおもちゃを作る	乳児の発達を考慮し音の鳴る玩具を考えておく
14	<b>手作りおもちゃの製作(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したおもちゃの発表</li> </ul>	完成したおもちゃの発表・わかりやすい発表の仕方 <b>第2回レポート作成</b>	子どもが理解できるような発表の仕方を考えておく
15	<b>諸外国の出産の現状と子育て</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンボジア（アンコールワット）等の出産現状</li> <li>・自分が産まれてきたときのことを知る</li> </ul>	プリント、DVD視聴「小さな命の詩」30分	授業後、自分が産まれた頃のことを家族に聞く
期末試験	<b>前期末試験（中間試験）</b>	筆記試験	
16	<b>保護者支援(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の背景</li> <li>・虐待の発見と対応</li> <li>・産後ケアとは</li> </ul>	プリント、DVD視聴「ママ達が非常事態1」20分 グループ討議・虐待の対応を知る	教科書第7章「乳児保育における連携」を事前に読む
17	<b>保護者支援(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の子育て支援システム</li> <li>・保育所・認定こども園・地域子育て支援の実践</li> <li>・子育て支援の連携法</li> <li>・わらべうた、連絡帳の活用法</li> </ul>	プリント、DVD視聴「育ち育てる子育ての時間」20分 グループ演習・連絡帳を書く	教科書第7章「乳児保育における連携」を復習し、保育実習（保育施設）での子育て支援を振り返る
18	<b>乳幼児の砂遊び</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂遊びによる発達の要素</li> <li>・感覚遊びの重要性</li> </ul>	プリント、DVD視聴「砂遊びから見る子どもの発達1」20分	教科書第9章コラム「砂遊びが子どもの生きる力を引き出す」を事前に読む
19	<b>保育環境の衛生管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室内外の衛生</li> </ul> <b>乳児保育における安全管理(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児期特有の病気と予防</li> <li>・薬の取り扱いと与薬依頼票</li> </ul>	プリント、VTR視聴「保育の安全管理と事故防止」20分	保育所保育指針第3章「健康及び安全」を事前に読む P32～P35
20	<b>乳児保育における安全管理(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における危険</li> <li>・人数確認による子どもの把握</li> <li>・不審者の侵入防止</li> </ul>	グループ討議・日常生活での危険と回避の仕方 <b>第3回レポート作成</b>	実習等で経験した日常生活での危険についてまとめておく
21	<b>子どもの育ちと家庭との連携(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国につながる子ども、保護者のことば支援</li> <li>・民族・宗教等の多文化共生を目指した支援</li> </ul>	プリント、グループ討議・ことばの壁の支援の仕方	外国につながる子どもや保護者について配慮すべき事を考えておく
22	<b>子どもの育ちと家庭との連携(2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法の子どもの権利と保護者関係</li> <li>・教育基本法の子どもの権利と保護者関係</li> <li>・ユニセフと子どもの権利条約</li> </ul>	DVD視聴「ママ達が非常事態2」20分	教科書第9章「子育てをめぐる家族の権利と責任」を事前に読む
23	<b>子どもの発達課題(1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害とは</li> <li>・発達の遅れに気づく</li> </ul> <b>乳幼児が喜ぶわらべうた</b>	プリント、DVD視聴「君が僕の息子についておしえてくれたこと」30分 <b>第4回レポート作成</b>	

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
24	子どもの発達課題(2) ・保育者からの発信の仕方 ・保護者支援と医療との連携	プリント、グループ討議・保護者支援の進め方	障害がある子どもの保護者への支援の仕方について調べておく
25	乳児保育指導計画(1) ・年間指導計画の作成ポイント ・月間指導計画の作成ポイント ・保育の計画と評価・改善	プリント	教科書第6章「乳児保育の計画と記録」を事前に読む
26	乳児保育の指導計画(2) ・年間指導計画の見方 ・クラス運営の仕方 ・月案の部分作成	プリント、グループ討議・4月指導案の部分作成	作成した指導案の見直しをし、実際の保育に生かせるように改善する
27	福島の子どもの外遊び・砂遊び ・東日本大震災、原発事故の影響と現在の状況 ・外遊び・砂遊びと乳児の発達 乳幼児の外遊びの取り組みや配慮について	グループ討議・外遊びの取り組みや配慮 第5回レポート作成	実習先での外遊びの取り組み等をまとめておく
28	手作り絵本の製作 ・終わらない絵本作り 絵本の読み聞かせ(1) ・絵本の役割と選び方	簡単な絵本を作る・絵本の発表 グループ討議・3歳未満児の絵本選択	乳児に見せたい絵本を持参し、絵本の5場面を考えておく
29	絵本の読み聞かせ(2) ・読み聞かせの発表をする	グループ演習・グループ毎の読み聞かせ	読み聞かせの練習をする
30	まとめ ・乳児保育における保育者の役割と専門性	DVD視聴「地域の顔が見える子育て支援」20分 第6回レポート作成	保育者の役割と専門性についての考えをまとめておく
期末試験	後期末試験	筆記試験	
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、オフィスアワー等を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価（評価方法・基準）</b>			
<p>目標①②⑤ … 前期末試験25点・後期末試験25点          目標④⑤ … レポート作成30点（5点満点×6回）          目標②③ … 製作物提出10点          目標③⑤ … グループ討議・演習態度及び意欲10点          総計100点満点で評価（100点を超えたものは一律100点とします）          ※授業計画の「成績評価への補足的対応措置」により、欠席・遅刻・早退による減点を行います。          詳細は初回授業時に説明します。</p>			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：コンパス乳児保育 著者名：咲間まり子編著 発行所：建帛社 価格：1,900円（税別）		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 本授業の4・5・6・19回において、平成29年告示「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、及び「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」を使用しますので持ってきてください。 2. 乳児にふさわしい絵本を一人1冊用意しておいてください。 3. 配布資料は、適宜授業内容を書き込み、重要な点にアンダーラインを引く等して整理し、各自ファイルしておいてください。（配布資料から期末試験に出題することもあります）			

授業科目名	障害児保育		授業形態・単位数	演習・2単位
			開講年次	2年次
担当教員	非常勤講師	あら い みちこ 荒井美智子	開講期	通年
			授業回数	30回
			期末試験の有無	有
授業に関する主な実務経験と期間	千葉県松戸市健康管理課心理士（昭和56年4月～昭和63年3月） 松戸市知的障害児通園施設・こども発達センター心理士 （平成8年4月～平成11年3月） 松戸市障害福祉課ケースワーカー（平成11年4月～平成16年3月）			
社会貢献としての委員会・職等	社会福祉法人なのはな会評議員 世界幼児教育・保育機構（OMEP） 日本委員会子どもの権利プロジェクト委員			
最終卒業（修了）学校及び学位等 資格・免許及び所属学会等	東北大学教育学部卒業（教育学士） お茶の水女子大学家政学専攻修了（家政学修士） 中学校教諭1級免許状（社会）、高等学校教諭2級免許状（社会） 聾学校教諭1級免許状、日本特殊教育学会、日本保育学会 日本発達心理学会、日本教育心理学会			
卒業・資格・免許	授業科目区分	必修・選択必修・選択の別		
卒業	専門教育科目	必修		
幼稚園教諭二種免許状	専門教育科目	必修		
保育士資格	専門教育科目	必修		
開講キャンパス	宮代キャンパス	授業時間以外の必要な学修時間	30時間	
オフィスアワー・メールアドレス等	授業終了後に教室で質問等に対応する。			

授業の概要	授業の概要及び到達目標との対応項目		
<p>保育所や幼稚園で、障害のある子どもや障害は明らかではないが気になる子どもとの出会いはよくあることです。共に育ちあうためには、どのようなことを大切にしていればよいのでしょうか。障害児保育を支える理念や歴史の変遷をおさえた上で、それぞれの障害の特性や心身の発達等に応じた援助の仕方について事例を基にしながら考えていきます。あわせて障害児その他の特別な配慮を要する子どもをもつ家庭への支援や関係機関との連携についても理解を深めながら、障害児保育に関する現代の社会的状況と課題について学んでいきます。</p>	○ A	知識	
	○ B	技能	
		C	論理的思考力
		D	文章・身体・感性等に関する表現力
		E	課題対処力
	○ F	多様性の理解力	
		G	対人関係構築力
	<b>アクティブラーニングの要素</b>		
		ア	協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習
	○ イ	ディスカッション、ディベート	
	ウ	グループワーク	
○ エ	プレゼンテーション		
	オ	実習・フィールドワーク	
授業の到達目標	授業の概要・到達目標との対応項目 (受講して得られる力)		
① 障害児保育を支える理念や歴史について述べるができる	目標	A・F	
② 個々の障害とその子どもの配慮の基本について説明できる	目標	A・B・F	
③ 障害のある子の支援・保育計画をたてることができる	目標	A・B・F	
④ 家庭への支援、関係機関との連携の要点を説明できる	目標	A・F	
⑤ 障害児保育の現状と課題を述べるができる	目標	A・F	

授 業 計 画			
回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
1	オリエンテーション (1) 授業の概要と到達目標 (2) 授業内容と評価方法 (3) 授業の進め方、その他の留意点 「障害」とはどのようなことか	授業計画 プリント配布 パワーポイント使用	授業計画を事前に読んでおく
2	障害のとらえ方の歴史的変遷	プリント配布 パワーポイント使用 映像教材使用「みんなひかってる」(30分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
3	障害のとらえ方の変化 1980年「国際障害分類 (ICIDH)」から 2001年「国際生活機能分類 (ICF)」への変化	プリント配布 映像教材使用 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
4	障害のある子どもの地域社会への参加 ノーマライゼーション、インクルージョン、 合理的配慮について	プリント配布 「ノーマライゼーションについて」(15分)「障害児・社の歩み」 (パワーポイント)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
5	障害児保育の基本(1) 発達・発達支援とはどのようなことか	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
6	障害児保育の基本(2) 障害をもつ子どもとない子が共に育つことの意義	プリント配布	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
7	障害の理解と援助(1) 肢体不自由 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用「いっしょっぺいね〜統合保育の現場から〜」 (30分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
8	障害の理解と援助(2) 視覚障害 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用「視覚障害幼児の 保育について」(15分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
9	障害の理解と援助(3) 聴覚障害 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用「聴覚障害幼児の 保育について」(15分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
10	障害の理解と援助(4) 知的障害とはどのようなことか	プリント配布 映像教材使用「知的障害」(10分)	予習：次回の内容に関する事例を考えてくる 復習：プリントを見直す
11	障害の理解と援助(5) 知的障害 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用「ダウン症児の早期 発達支援 第2巻」(うち保育 についての部分20分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
12	障害の理解と援助(6) 知的障害 — ダウン症について、就学について (特別支援教育)	プリント配布 映像教材使用「ダウン症 — その先に」(20分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
13	障害の理解と援助(7) 発達障害 (自閉スペクトラム症とは — 歴史的な経緯)	プリント配布 映像教材使用「発達障害の理解 と支援〜わかり合おうって素敵だ ね〜」(30分)	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
14	障害の理解と援助(8) 発達障害(自閉スペクトラム症の特徴について)	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
15	障害の理解と援助(9) 発達障害(自閉スペクトラム症の子の保育について)	プリント配布 映像教材使用「軽度発達障害のある子どもたち(1)」(30分)	ここまでの見直しをする
期末試験	期末試験		
16	障害の理解と援助(10) 発達障害 (注意欠陥多動性障害、学習障害について)	プリント配布 映像教材使用「軽度発達障害のある子どもたち(2)」(30分)	予習: 次回の内容に関する事例を考えてくる 復習: プリントを見直す
17	障害の理解と援助(11) 重症心身障害・医療的ケア児 — 事例を基に考える	プリント配布 映像教材使用「保育士になるためのつまずきのある子どもへの保育: 重症心身障害児施設/肢体不自由児施設」(30分)	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
18	障害の理解と援助(12) 医療的ケアの必要な子ども — 事例を基に考える	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
19	障害児保育の実際(1) 障害児保育を支える記録と評価	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
20	障害児保育の実際(2) 障害児保育の実際	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
21	障害児保育の実際(3) 個々の発達を促す生活や遊びの環境	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
22	障害児保育の実際(4) 子ども同士の関わり合いと育ち (年少の子どもたちについて)	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
23	障害児保育の実際(5) 子ども同士の関わり合いと育ち (年長の子どもたちについて)	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する
24	職員間の協働	プリント配布 パワーポイント使用	復習: プリントを見直す
25	保護者や家族に対する理解と支援(1) 保護者に対する理解	プリント配布 パワーポイント使用	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す
26	保護者や家族に対する理解と支援(2) 保護者対応の留意点	プリント配布 映像教材使用「発達障害と虐待～教育現場で何かを感じたら～適切な対応のために」(30分)	予習: 次回の内容に関する課題を指示する 復習: プリントを見直す

回数	授業テーマ・授業内容	授業方法(アクティブラーニングの方法)及び、授業で使用する教材等	授業時間以外の必要な学修【予習・復習】
27	地域の専門機関との連携	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
28	個別の支援計画の作成	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
29	障害のある子どもにかかわる現状と課題(1) 保健・医療分野	プリント配布 パワーポイント使用	予習：次回の内容に関する課題を指示する 復習：プリントを見直す
30	障害のある子どもにかかわる現状と課題(2) 福祉・教育分野 全体のまとめ	プリント配布 パワーポイント使用	全体の見直しをする
期末試験	期末試験		
<b>期末試験の講評</b>			
期末試験終了後、希望者には期末試験の講評について、学科長を通じて説明します。			
<b>授業の到達目標に応ずる到達度の評価 (評価方法・基準)</b>			
目標①②③ … 期末試験 50点 目標③④ … 事例についてのレポート 30点 目標⑤ … 毎回の小レポート・授業の感想 20点 ほか、評価に関する共通の理解に則る減点を総合点より行います。			
<b>教科書</b>		<b>参考書</b>	
書名：障害児保育 — 子どもとともに成長する保育者を目指して — 著者名：阿部五月 大熊光穂 小泉佐江子 田中規子 村田カズ 藤永 保監修 発行所：萌文書林 価格：1,900円(税別)		特に指定しません。	
<b>その他補足事項</b>			
1. 配布資料を整理するための専用ファイルを1冊準備してください。 2. 授業の最後に、次の授業のポイントになる小課題を出し、次回の授業の中で発言を求めます。 また、「分かったこと分からなかったこと印象に残ったこと」(小レポート)を書いて提出を求めます。 ここに書かれた疑問・質問や感想については、次の回にコメントし復習に役立つようにします。 3. 授業の中で数回、次の授業に関する事例を読んで答える課題を出し、関連する授業の中で発言を求めます。			